

日本女子大学校長成瀬仁蔵先生述

# 実践倫理講話筆記

大正五・六年度ノ部

日本女子大学成瀬記念館

日本女子大学校長成瀬仁藏先生述

# 実践倫理講話筆記

大正五・六年度ノ部

日本女子大学成瀬記念館

## 「実践倫理講話筆記」の発行について

1. 表題は「実践倫理講話筆記」であるが、内容は本学創立者成瀬仁蔵が全学生あるいは卒業生に向けておこなった講話を収録したものである。当館所蔵のこの筆記原稿は、年度ごとにまとめて綴じられている。

所蔵年度

明治38年から大正6年度まで全13冊がある。

原稿

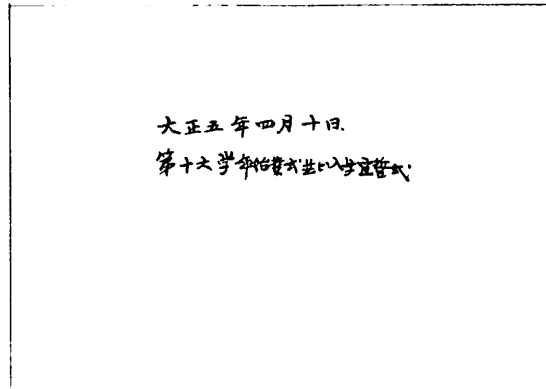
原稿は横書きで、特定の和紙にカーボン紙を使用して複写されている。

年度によっては2部残されているものもあるが、それらを照合すると片方に欠けているものも見られる。

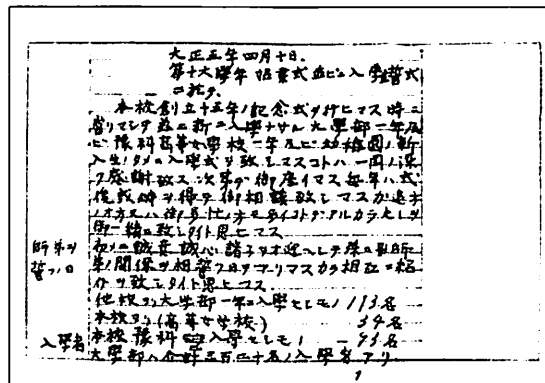
筆記状態

片仮名書き(一部平仮名書き)、句読点がない。

2. 今回の印刷は大正5・6年度のものである。山根知子氏(ノートルダム清心女子大学助教授、本学文学研究科日本文学専攻博士課程後期終了)の利用希望により、山根氏が筆記原稿を起こし、当館スタッフがそれを読みやすいように調整し校正をした。
3. 本印刷の順序は、原則として原稿が綴じられている通りである。
4. 初期のものは一部「成瀬記念館」No.1以降に発表しているが、それらを含めて今回と同様の体裁で順次発行することを予定している。



中表紙



本文

# 目次

大正五年四月十日 第十六学年始業式並び入学宣誓式	5	大正六年二月十九日 従順なれ	41
大正五年四月十二日 第二、三学年ニテ	7	大正六年二月二十六日 受験ノ態度ニ就テ	42
大正五年四月二十四日 大学部第一学年及び予科	8	大正六年三月五日 学問ノ土台ニナルベキ自分	42
大正五年四月二十六日 第二、三学年ニテ	9	大正六年三月十二日 卒業セントスル人へ	43
大正五年五月一日 第一学年及び予科ニテ	9	大正六年四月二十三日 婦人教育ノ諸問題	44
大正五年五月三日 第二、三学年ニテ	10	四月二十五日 大正六年度第一回三、四年実践倫理	45
大正五年五月八日 第一学年及び予科ニテ	12	大正六年四月三十日 時間ノ使ヒ方	48
大正五年五月十日 第二、第三学年ニテ	14	大正六年五月七日 一、二年実践倫理	49
大正五年五月十五日 第一学年及び予科	15	五月九日 午後二時より三、四年実践倫理	51
大正五年五月十七日 大学部全体	17	五月十四日(月曜日) 一、二年実践倫理	54
大正五年五月二十四日 大学部全体ニテ	19	大正六年五月十六日(水曜日) 三、四年実践倫理	56
大正五年五月三十一日 大学部全体ノタメニ	21	大正六年五月二十一日 月曜日 一、二年実践倫理	59
大正五年六月七日 大学部全体ノタメニ	22	五月二十三日(水曜日) 三、四年実践倫理	62
大正五年六月十四日 大学部全体ニ於テ	23	五月二十八日、月曜日 一、二年実践倫理	64
大正五年六月二十一日 大学部全体ノタメニ	23	五月三十日	65
大正五年六月二十五日 地久節ニ於テ	24	大正六年六月四日 月曜日 一、二年実践倫理	66
大正五年六月二十八日 大学部全体ノタメニ	26	大正六年六月十一日 一、二年実践倫理	67
大正五年七月五日 大学部全体ノタメニ	27	大正六年六月十八日 月曜日 一、二年実践倫理	67
大正五年七月十日 終業式ニ於テ	27	大正六年六月二十五日 月曜日 地節	69
大正五年七月十六日 日曜日修養会ニ於テ	29	大正六年七月二日 月曜日 一、二年実践倫理	71
大正五年九月十一日 第二学期始業式ニテ	30	大正六年七月九日 一、二年実践倫理	72
大正五年九月十三日 大学部全体ニ於テ	32	大正六年七月十六日	73
大正五年九月二十日 大学部全体ノ為ニ	33	大正六年九月十七日 月曜日 二時より。	
大正五年九月二十七日 大学部第二学期計画発表会ニ於テ	35	初めの時間は経緯のつづき、御注意	74
大正五年十一月二十八日 態度ト精神	36	大正六年九月十九日 水曜日休中の経験の会	75
大正五年十二月十一日 自特的精神	37	大正六年十月一日 月曜日 一、二年	75
大正六年一月二十二日 態度と自念	38	大正六年十月七日	76
大正六年一月二十九日 教育ノ真髓ト我	38		
大正六年二月五日 人格ノ修養ト婦人ノ自覚	39		
大正六年二月十二日 教育ノ真髓	40		



## 凡例

1. 印刷に際し、筆記原稿の体裁を保持しつつ、以下の点に留意して一部手を加え統一を図った。
2. 表記に関しては、明らかな誤字・脱字を改めると共に、文字を統一した。
3. 漢字は原則として常用漢字を用いた。
4. あて字については原文通りとした。
5. 文意を明確にするため、句読点を付した。
6. 欄外に書かれた註を一部見出しとした。
7. 筆記原稿の不明確な部分は原稿通りとした。

[中表紙]

大正五年四月十日

第十六学年始業式並ビ入学宣誓式

大正五年四月十日

第十六学年始業式並ビ入学宣誓式ニ於テ

本校創立十五年ノ記念式ヲ行ヒマス時ニ当リマシテ、茲ニ新ニ入学ナサル大学部一年及ビ予科高等女学校一年、及ビ幼稚園ノ新入生ノタメニ入学式ヲ致シマスコトハ一同ノ深く感謝致ス次第デ御座イマス。毎年ハ式後或時ヲ得テ御相談致シマスガ、遠方ノ方又ハ御多忙ノ方モ多イコトデア

ルカラ夫レヲ御一緒ニ致シタイト思ヒマス。

[師弟ヲ誓フノ日]。

初メニ誠意誠心諸子ヲオ迎ヘシテ、殊ニ師弟ノ關係ヲ相誓フ日デアリマスカラ相互ニ紹介ヲ致シタイト思ヒマス。

他校ヨリ大学部一年ニ入学セシモノ	113名	
本校ヨリ(高等女学校)	34名	
本校予科ニ入学セシモノ	93名	
大学部ハ合計三百二十名ノ入学者アリ。		
高等女学校一年東西	100名	} 110名
補欠	10名	
小学校一年	39名	
二年	1名	
六年	4名	
幼稚園	36名	
總計509名ノ入学者アリ。		

[在籍生徒数]

本校在籍生徒数	
大学部	508
高等女学校	502
小学校	163
幼稚園	65
	合計1238名

今日ハ主トシテ新入生ノ方ニ本校ノ主義、方針ヤ色々心得ニナツテ居ルベキコトヲオ話致シ、最後ニ入学式ヲ致シマス。

本年ハ母校ノ創立第十五年ニ当リマシテ、来ル二十日ニハ記念式ヲ挙ゲマス。尚当日ハ桜楓会員及ビ本校学生カラ母校ニ捧ゲマシタ家政研究館ノ起工式ト、例年ノ木植エノ式ヲ致シマス。斯ウ云フ時ニ於テ諸子ガ能ク母校ノ歴史ヲ御承知ニナルコトハ学校ヲ解スルタメニ誠ニ必要デアリマス。其ノ時ニ詳細ニ申シマスガ、此ノ女子大学ガ生レマシタ動機ニハ教育ニ對シテ一ツノ主義、目的ガアルノデア

ル。第一ハ我国ノ教育ヲ改善スルコト云フコトデ、夫レハ明治ノ教育ニハ種々ノ宿弊ガアル。殊ニ速成的教育デアツカラ時代ニ遅レテ居ルコトガ甚ダシイ。其ノ弊害ヲ矯メル、其ノ

教育ノ根本ヲ養フコト云フコトガ此ノ学校ノ起ツタ原因デ、其ノ完成ノタメニ二十五年間苦心慘澹シタノデア

ル。

[協同]

其ノ実ヲ見ル曉モ近ヅキツアルカラ、之レヲ期トシテ教育ノ刷新ヲ開始イタスノ決心デア

ル。其ノ計画、方針に就イテハ追々ニワカル様ニ致サンケレバナ

ラヌ。故ニ之レマデヨリモ師弟及ビ学生間ニ協同、協和ノ修養ガ実現サルハヤウニ致サンケレバナラヌ。夫レニハ相互ニ心ト心トヲ知り合フト云フコトガ大切デア

ル。諸子ヲ指導スルモノハ即チ此ノ大学ヘ笈ヲ負フテ入学シタ志、精神ヲ知ラナケレバナラヌ。遺伝及ビ教育ヨリ得タル傾向、性質、習慣等ヲ先ヅ知ラナケレバナラヌ。如何トナレバ此ノ学校ノ主義ハ自動、自学、自奮、自習ト云フノデア

ル。[我レヲ知ルコト] 一体教育ト云フモノハ自ラ尊バナケレバナラヌ。自分デ考ヘ自分デ働キ自分デ感ジナケレバナラヌ。其ノ自動ノ教育ヲ受ケルニハ諸子ガモッテル諸子ノ興味、性質、傾向ヲ本トセンケレバナラヌ。故ニ諸子ヲ知ラナケレバナラヌ。諸子モ亦先生ニ自分ヲ紹介シ表示センケレバナラヌ。先輩ニヨク了解サレ

ルヤウニセンケレバナラヌ。次ニ進ンデ諸子ガ自分ノ長所ヤ出来得ル点ナドノ自信、自重スルコトヲ知り、尚自分ノ弱点、欠点ヲ知ラナケレバナラヌ。自分ノ欠点ノワカッタ時ハ己ニ改メナケレバナラヌ。自分ガ順化シ同化シテ居ル四圍ノ境遇ヲ知ラナケレバナラヌ。夫レハ即チ母校ノ主義、方針ガ何処ニアルカト云フコトデア

ル。尚十五年間成長シ来リシ母校ノ校風ヲ感ジ得ルニ至ラナケレバナラヌ。次ニ当校デ研究、学習スル方法、自己修養ノ道ガ何処ニアルカ、如何ニスベキカヲヨクノミ込マナケレバナラヌ。此ノ境遇ニ如何ニ同化シ、我身ニ順応シテ行クベキカト云フ關係ヲヨクワカル様ニスルコトガ最モ大切ナコトデア

ル。其ノ方法トシテハ追々ト志、境遇、学科ヲ選ンダ理由ヲ誓イテ出シテ貰フト、諸子ヲ知ル手立テトナルノデア

ル。初メニ考ヘルコトハ之レヲノコトデ、之レヲ文章ニ綴ルト云フコトヲスルコトガ大切デア

ル。次ニハヨク聴イテ其ノ真相ヲ取ルコトニ努メルト云フコトガ必要デア

ル。此ノ大学ノ自動自発ノ主義又ハ自恃独立、即意志ノ訓練ト云フ方法ハ何デア

丁度今日ノ天気ノ如キデアル。昨日ハ氣清ク日麗ハシイ日デアツカガ暁ヨリ天ハ荒レテ塵ハ払キ散ラサレ、開カントスル蕾ハイタメラレテ居ルノデアル。昔ノ諺ノ如ク花ニモ嵐ガアル。諸子ガ当校ヘ入学ナサルマデニモ色々ノ障害ガアツクト、思フ。其ノ妨ゲニ破ラルコトナク一度定メシ決心ヲ百難ニ堪エ貫ク堅キ意志ヲ以テ入學式ニ列シナサルコトヲ衷心喜ビ、諸子ノ勝利ヲ祝スルノデアル。

#### [頭ノ教育]

今年ハ昨年ヨリモ志望者ガ増加致シマシタコトハ我が国家ノタメニ祝スベキコトデアラウト思フ。明治ヨリ大正ニウツリマシテカラ以来、我国ノ女子教育ヲ顧ルト、大ニ中等程度、殊ニ実科高等女学校ノ教育ガ大ニ進歩シテ、学校ノ数モ三百幾十デ生徒モ十多万ヲ越ス位ノ勢デアル。僅カノ間ニ二倍ヲモ増スト云フ勢力デアル。然ルニ実質ノ高マルト云フコトニ於テハ進歩ヲあまり見ルコトガ出来ナイ。之レハ一ツハ學問ハ理屈ノミヲ覺エルノデアルカラ、夫レヨリモ裁縫デモ上手ニナツテ置ケバヨイト云フ位ノ考ヘデアル。明治時代ニ色々教育ヲ施シタケレドモ其ノ効果ノ見ルベキモノガナイ。高等下女ニモ及バスト云フ如キ評ガ多クノ人ノ考ヘデアルノニ基ゾク。又一方ニハ教育ハ裁縫シ料理ヲスルノミデハダメデアル。即チ女子ノ頭ヲ進メルト云ウコトガ大切デアル。物ノ出来ルノハ頭デアル。即チ深ヲ開拓サヘシテ置ケバ手芸ナドハイツデモ身ニツケラレルト云フ説ガアル。

以上ノ二説ニハ尤モノ道理ガアルケレドモ共ニ半面ノ真理デ、ツマリハ間違ッテ居ル教育ノ考ヘデアル。教育ガ實際ノミデヨイナラバ下女、車夫、農夫ノミガ立派デアリ、国家ヲ治メルニモ夫等ノ人達デヨイ様デアルガ、實際ハソウハ行カヌ。只實際ノミデハソノ働キハ効果ヲ奏シナイノデアル。教育ハ裁縫、料理ノミヲ教ヘテヨイナラバ夫レデヨイガ、之レハ極端ナル考ヘデアル。又何デモ多ク知レバ心ヨイト云フコトモ間違ヒデアル。知ルダケヲ勉メル学生ハ真ニ知ルコトヲ知ラヌ人デアル。昔ヨリ論語読ミノ論語知ラズト云フコトヲ言フテ、只読ンダノミ知ツタノミデハ何ノ役ニモ立タヌ。却ッテ身ヲ狭メ身ヲ痛メル害物ニナラザルヲ得ナイノデアル。之レガ我国ニ行ハレテ居ル間違ヒノ教育デ、我国ノ教育ノ弊モ亦之レデアル。之レハ學問ヲスルト云フコト、實際ヲスルト云フコトヲ兩者相俟ッテセンケレバナラヌ。真ノ教育ハ此ノ学校ノ主義デアルトコロノ自動自学主義ト云フノニアル。之レハ先ツ考ヘル真理ヲ求メテ止マヌト云フコトヲスルガ、其ノ真理ヲ身ニ行フテ身ヲ磨クト云フコトヲシテ、立派ナル人格ヲ作ルト云フコトヲ目的ニシテ本ヲ読ミ研究ヲ重ネルノデ、之レガ自動自学主義デアル。

#### [生活改善ノタメノ學問]

學問ト共ニ生活ニ表ハシ、研究ト修養ト相俟タナケレバナラヌ。

學問ハ觀察實驗ニヨツテ証明シテ真理ヲ實際ニ應用スル様ニ努メルノニアル。此ノ學ト云フコトハ日常生活ニ実行シテ行クノデナケレバナラヌ。考ヘルコトハ実行ニ表ハシテ自分デ味フテ見ル、自分ノ性格ニ表ハシテ行クト云フコトニスルノデ、初メテワカッタトモ言ヘル。真理ヲ追及シテツカマ

ヘルト云フコトモ出来ルノデアル。學問ハ試験ヲ通過スルタメニ覺エテ居ル、筆ニ書キ口ニスルノデハナイ。之レヲ行ヒ生活ヲ改善スル、校風ヲ改善スル、社会国家ヲ改造スルタメニ考ヘ行ヒ境遇ニ應用スルト云フコトニナル。之レガ即チ自動自学ノ主義デアル。

自意自動ノ集注點ハ実践躬行ニアル。故ニ學問ハ之レヲ本トシテ行ク。即チ其ノ知識ガ統一サレテ実践躬行スルト云フコトニナラナケレバナラヌ。本校デハ之レヲ実践倫理トシテ説イテ居ル。之レヲ修身ト言ツ方ガヨイト云フ説モアルガ、心ニ思ツコトハ身ニ行フノデアル。知識ノ應用ガ出来ル様ニ、問題ノ研究ガ出来ル様ニシテアルノデアル。學問ヲスルニハ生活ニ表ハシ、之レヲ自身ノ経験トナシ、又相互ノ關係ヨリナル校風ヲ作ルニハ自治機關ガアル。係ガアリ会ガアル。会ニハ研究会、相談會ガアル。相互ノ關係ヲ立派ニ結合シ人間ト人間トノ調和ヲ求メルタメニ修養會ガアル。夫レニハ指導者ガアル。若キ考ヘヲ導キ進メテ行クノデ、之レハ諸子ニ學問ノ應用ヲセシメテ空デナク実ナリ。根本ノ動力ヲ養ハセンガタメニ此ノ如キ關係ガ作ラレテ居ルノデアル。尚当校ニハ寮舍ガアル。寮舍デ家族關係ヲ作ッテ學問ヲ日常生活ニ應用シ、家風ヲ作ル經驗ノタメニ組織セラレテ居ル。尚商業部、購買部、実業部ナドガアツテ夫々便宜ヲ計ル様ニナツテ居ル。係リニモ種々ノ自治機關ガアル。之レナドモ追々ワカルコトデアルガ、人生ノ第一義ヲ真ニ生活シ、第一ニ人間トナリ特色ヲ表ハシテ立派ナル婦人トナルヤウニシテ、茲ニ完全ナル教育、修養、學問ヲシタイト云フノガ精神デアル。故ニ先生ヨリ講義ヲキ本ヲ読ムノミデハダメデアル。自分デ考ヘル時間モ必要デアル。自分ガ修養スルノミナラズ校風、寮風、級風モ改善センケレバナラヌ。今日ノ學問ハ習フコトガ多イ。之レハ我国ノ弊デアル。故ニ本校ハ平素ノ主義ヲ実行スルタメニ制度モ改善シヨウトシテ居ル。学校モ生徒モ昨年ヨリ努メマシタ結果、今年一年ハ以前ノマデ經驗シテ来年度カラ大ニ改善ヲ計ルツモリデアル。其ノ目的ヲ達スルニハ、學問ヲスルニハ之レヲ実践躬行スルト云フコトデナケレバナラヌ。尚大切ナコトハ根本ノ原動力ガナケレバナラヌ。之レハ趣味、興味、良心ト云フモノヲ養ハナケレバナラヌコトニナル。此ノ第三ノ要件ハ入學式ヲ行ヒマス時ニオ話しマス。

#### [研究科]

此ノ女子大学ノ卒業生ガ千六百名アル。本年ハGraduateコース、研究科ト云フモノガ出来タノデアル。普通ノ課程ヲ終ツテカラ専門ニ従事スルノデアル。将来ハ女子ノ大学ニマデ進メル目的デアル。シカシ今日マデ其ノ実ヲ拳ゲルコトハ出来ナカッタガ、今年ノ十三回生ハ研究科ヲ組織シテUniversityノ課程ヲ取ルト云フ目的デ残ツク学生ガ十数名アツテ、今日此ノ宣誓式ニ列ナラタコトヲ深く喜ブモノデアル。今日之レヲ教職員及ビ諸子ニ紹介スルコトヲ榮誉ト思フ。新入生ト同ジク宣誓式ヲシテ決心ヲ堅メラレルコトヲ願ヒマス。人間ニハ學問及ビ実行ノ原動力ガアル。此ノ精神ノ力ガナカッタナラバ其ノ學問ハ死ンダモノデ、実践躬行シテモ形式ニスギヌノデアル。學問ヲ活用サセルモノハ其ノ原動

力ハ誠心誠意デアル。精神一到何事カ成ラザラント云フ諺ガアル通りデアル。外国デハ信仰ガアルカラ、山ヲ海ニマデモ遷スコトガ出来ルトモ言ッテ居ル。此ノ原動力ヲ養フト云フコトガ万事ノ本デアル。電車モ汽車モ其ノモノヲ動かス電気、電力、磁石ナドノ目ニ見エヌカデアル。我々ノ根本ノ原動力ガナクッタナラバ人間ノ目的、我々ノ理想ヲ真ニ表ハスコトハ出来ヌノデアル。

先ヅ学問ヲナシ日常生活ヲ律スルニ、矢張り我々ニ物ヲナス興味、学問ヲスルニ興味ガナクテハナラヌ。興味ハ楽シミコトデハナイ。興味ハ人ヲ犠牲ニスル。興味アツテコソ研究モ出来ル。

#### [飛行機]

一兩日前ヨリ青山原頭ニ其ノ妙技ヲ見セ、観客ヲシテ驚カシテ居ル飛行家スミス氏ハ、此ノ妙技ヲ得ルニ九度墜落シタ。時ニハ氣絶シテ無意識ニナツタコトモアルナドスベテ命ガケデアル。三年前ニシカゴ・ベルリンナドデ飛行機ヲ見タガ、三、四人ハ一時ニ命ヲ捧ゲテ居ル。人ハ興味ヲモツテ見物シテ居ルガ、本人ハ興味ヲモツテ、命ガケヲ以テ此ノ境ニ達シタノデアル。学問スルニモ真剣ニセンケレバ興味ハ起ラヌ。興味ハ一種ノ感興デアル。興味ハ向上心デアル。真理ヲ求メル好奇心デアル。人ハ飲ミ食フノミナラズ、何カナシタイト云フ心ガアル。此ノ好奇心ガアツテ初メテ何事モナシ得ラレルノデアルト信ズルノデアル。趣味ガアツテ実ニ我等ニハ天才ガ表ハレルノデアル。美ヲ慕フ精神ガ何人ニモアル。之レヲ發揮スレバ偉大ナル人トナルコトガ出来ル。我々ハ宇宙文化ノタメニ良心ニ従ッテ生活センケレバナラヌ。宇内ニ通フ真善美ヲ慕ふ情ハ偉大ナルカデアル。人格偉人ト云フノハ此ノ原動力ガ發揮シタノデアル。之レヲ養フ時ニハ如何ナル人モ如何ナル理想モ実現シ得ルノデアル。之レガ教育ノ目的デアル。之レヲ如何ニ養フカ問題デアル。

Shakespeare、Wordsworthハ自然ト一ニナツテ大詩人トナツタノデアル。PlatoヤSocrates等ハ無限ナルモノト合体シテ、夫レヨリ起ル感情ヨリ行為ヲナシテ大ナル人格者トナツタノデアル。宇宙ノ愛、恵、美、真ニ接シテ感ズルト云フ生活ニヨツテコソ人ハ向上シ得ラルノデアル。其ノ原動力ニヨルト云フコトハスクノ如ク大切デアル。此ノ修養ニハ瞑想ト云フコトヲスルノデアル。

#### [大調和]

明治天皇陛下ハ大事ナル国事ヲ遊バサルハ時ニハ神明ニ誓ハレルノデアル。「目に見えぬ神の心に通ふこそ人の心の誠なりけれ」ト仰セラレマシタ。

此ノ無限ナル目ニ見エヌ偉大ナル命ヲ生活スル宇宙ノ感情ヲ感じテ、大調和ヲ得ルトコロニ向上スルコトヲ得ルノデアル。私共ハ真ニ偉大ニナルニハ天ヲ先生トシ、天ト一緒ニナリ宇内ノ美ヲ味ハツテ偉大ニナルト云フコトデナケレバナラヌ。今日入門、入学ナサルト云フコトハ目ニ見エヌモノニ感動シ、夫レニ誓フテ根本ノ生活ヲ始メルト云フコトガアル。

今日ノ入学式ハ宣誓式トシタイ。先生ノ前デノミナラズ天ニ誓ッテ覚悟ヲ定メ、門ニ入ルト云フコトヲ希望スル確心ハ

何デアルカ。銘々ノ決心ヲカキ、下ニ姓名ヲ記シテ生涯ニハ成就スルト云フコトニ致シタイト思フ。

二分間瞑想シ、父兄、保証人、先生方ノ前デ順次ニ此所ニ出デ書キ入レルコトニイタシタイト思ヒマス。

[中表紙]

大正五年四月十二日

第二、三学年ニテ

大正五年四月十二日

二、三学年ニテ

今日ハ今年ノ計画ヲ立テ批評ヲ聞キタイト云フ事デアリマス。私ハ関西地方ヘ旅行中デ、昨日手ニ致シマシタカラ未ダヨク見テアリマセン。夫レハ第三時カラニシテ、私ハ初メニ本年度ニ集中ナサル点ニツイテオ話しイタシ、各自ノ決心ト本年度学校デ取りマス精神ヲ明カニスル必要ガアルト思ヒマス。

#### [主義、方針]

此ノ組織ヲ取ル主義、方針ヲ話シマス。此ノ教育ヲスルニハ学生自身ヲ知ル事ガ大切デ、夫レニハ遺伝、習慣、傾向ナドヲ知ル事ガ大切デアル。如何トナレバ教育ハコシラヘルモノデハナイノデ、今迄先天ノ二潜在シテ居ルモノガアル。即チ遺伝トカ傾向トカ個性ガアル。ツマリ種ガアル。之レヲ創生スルコトデアル。

人工的ニ作ルト云フモノデハナイ。之レト同様ニ団体ヨリナル傾向モアル。ツマリ之ノ団体的傾向ニナツテ居ルモノガアル。第十四回ト第十五回生タルベキ二年生ノ表ハス目的方法ト云フモノハ、一ツノ人格ヨリ大ナル人格トナツテ居ルノデアル。其ノ人格即チ意志、精神ハ今生レタモノデハナイ。此ノ桜ノ咲イテ居ルノモ昨冬カラ其ノキザシガアツタノデアル。否幾年、幾十年ノ前ヨリ準備シタ次第デアル。ソレト同様今年ノ回生ノ精神ニモ遺伝ガアル。今ヨリ続イテ居ルノデアル。

#### [本年ノ傾向及ビ計画]

本年ノ傾向ハ如何様デアルカ、又其ノ計画ハ如何様デナケレバナラヌカ。又此ノ十四回生ガ新ニ貢献スル新シキ力ハ如何ナルモノデアラウカト申シマスト、桜ガ蕾ノ時ニ予想出来ル様ニ大方ハ前ヨリワカルベキモノデアル。本当ノ生命ノ見エル人ノ心ニハ表ハレヌ前カラ予想シ得ルノデアル。之レハ前ヨリ育ツタ命ガ発生シテ出ルノデアルカラ、必ずヤ十五年ニ関係アルモノデアル。十三回生ト協同シテ育テタ命ガ今年ノ特色ヲ以テ表ハレルノデアル。私ハ入学ノ時遺伝ヤ習慣ヤ傾向ヲ知ル様ニ、諸子ノコトモ昨年ヨリノ習慣、風俗、十五年間ノ遺伝ヤ諸子ノ今年ノ心境ヲ研究シテ、極ク自然ニ改善サル案トナラネバナラヌト思フ。然ルニ今年ハ制度ヲ改善スルツモリデアル。其ノ準備ヲスルツモリデアル。一昨年カラ言ッテ居ルコトデ漸ク来学年度ヨリ実現サレルト思フ。此ノ制度ハ我國ノ教育上ニモ及ボスベキ時代デアル。故ニ

諸子モ空気が吸ッテ居ル。故ニ改善シヨウト云フ精神ガ強イノdeal。之レハ誠ニヨロシイコトdealガ、然シ進歩発展ハ革命ヲスルヨリモ日夜順々ト行ハレテCreateサレテ居ル。革命ハ時ニハ必要dealガ多クハ進化ノ法則ニヨラネバナラト思フ。

#### [進化ノ法則]

前回生ヨリノ遺伝ガ習慣ヲヨク研究シタノdealカ。改善ノ要点ガワカリ兼ネル様ニ見タノdeal。

昨年ノ計画デ其ノ組織ガアマリ欠点ガナイナラバ夫レヲ其ノマニ続ケテヨイカト思フノdeal。進化シテ行クモノデ、全部ガ年ト共ニ変ッテ行クモノデハナイ。団体ノ習慣、風俗ヲ変ヘルコトハムツカシイコトdeal。良習慣ヲ作ルコトモ大努力dealカラ、良習慣ハ之レヲ保存シ、悪習慣ハ取り去ルコトガ大切deal。改善ハ制度ノ内容ガ悪シク其ノ制度ヲ用フル人ガ悪イナラバ其ノ効ヲナサヌ。此ノ弊ト云フコトガ制度ノ悪イノdealカ、又ハ人ト人トノ関係ノヨカラヌカラ来ツタモノデアラウカ。國家ヨリ考ヘテモ如何ニ立派ナル立憲政治デモ人民ガヨカラヌ為ニ不結果ヲ来タシテ居ルコトガアル。之レト等ク学校ニ於テモ其ノ制度ヲ運用スル人ニ大関係ガアル。

昨今苦シンダノモ制度ガ悪イノデアツタガ、之レヲ運用スル人ニ欠点ガアツタノdealカラ研究センケレバナラヌ。之レガ内容ヨリ来ル弊害ナラバ尚更ニ不結果トナル。相互ノ修養ガ不十分ナラバ不結果トナルコトハ明カdeal。学校ノ制度ヲ変ヘル場合ニ於テ尤モ研究ヲ要スルコトdealト思フ。私ノ今日マデノ経験ニヨルト、形式ノコトハ第二ニスルコトガヨイト思フ。風俗ヲカヘルニシテモ先ヅ心ヨリ初メル時ニハ形ハ自ラ改スル事ガアル。昨年十分考ヘテ来ク計画ヲ変ヘテ了フコトハ効力アル仕方デアラウカ。制度ハ不自由デアツテモ制度ニ捕ハレヌダケノ生活ヲスルト云フ決心デスル時ニハ遂ニ制度ヲモ変化シ得ルト思フ。ツマリ外形ハ大体ヨイナラバ其ノ運用ヲ完全ニスル。内面ノ改善ヲ実行スル方ニカヲ入レルベキ時デアラウト思フ。又両方ヲナスベキ時dealカハ問題dealガ、私ハ此ノ制度ハ大方ヨイト思フカラ生活ヲ真ニナシテ実ヲ捕ヘルト云フ生活ニナスニアルノデハナイカト思フ。制度ガ明年ヨリ改マルマデニ内ニ充実スルト云フ事ハカヲコメタ方ガヨクハナイカト考ヘテ居ルノdeal。

#### [真ノ改善]

私共ノ内ノ精神ガ動イタナラバ如何ナル境遇モ貫クコトガ出来ルト思フノdeal。尚此ノ計画ハ真ニ経験シテ見テ真ノ改善ヲスルト云フ風ニスル事ガ尤モ急務dealト思フ。内容ヲ充タスニハ形式ノ変ヘ方モ違フカト思フガ、諸子ノオ考ヘ、希望、決心ヲキキタイノdeal。実践倫理モ来週ヨリ始メルノdealカラ要求ヲキキタイノdeal。十五年間ノ徒勞ヲ避ケタイト思フノdealカラ大決心ヲ要求スルノdeal。故ニ此ノ一年間ノ計画ヲ間違ハヌ様ニ、動カサレヌ様ニ生活ヲ致シタイト思フノdeal。母校ノ機運ハ熟シテ来タ。之レヲ進メルノハ私共ノ意志ノ力dealト思フノdealカラ、決心ヤ要求、希望ヲオ述ベニナル様ニシテ頂キタイト思フ。

#### [計画]

制度ノ根本研究ヲシテ確實ナ、適切ナ計画ヲ立テルコトヲ希望スルノdealカラ、之レニツイテ研究シテ頂キタイ。

#### [中表紙]

大正五年四月二十四日

大学部第一学年及び予科

大正五年四月二十四日

第一学年、予科ニ於テ

#### [記念日]

人間ハ決心ヲスルト直チニ希望ガオコリ問題ガオコリノdeal。皆サンガ非常ナル決心ヲナサツテ居ルト云フコトハ宣誓式ニ於テ感ズルトコロガアツタ。故ニ今皆サンニ聞キタイ事ハ如何ナル問題ヲ持ッテ居ルカト云フコトガアル。又如何ニ進マウカトシテ居ルカト云フコトニ就テ参考ノタメニ聞キタイト思フ。又過ギニシ記念日ニ於テノ皆様ノ疑問ハ何か? 或人ニキクト

当日ノオ話ハ古イ思想ト新シイ思想トニ方向ニ分類スルコトガ出来ル。或新聞ハ女子大学ハ極端ニ進歩主義ヲツツガ、近頃ハ古イ良妻賢母ニカヘツテ来クト評シテ居ル。ハタシテ女子大学ハカル新聞ノ言フ如キ古キモノニナツテ居ルdealカ。新入生ハ此際第一ニ如何ナル主義、方針ナルカヲ充分研究シナケレバナラヌ。

土方伯ノオ話、又奥田市長ノ御話、単ニ考ヘル時ハ相反シタ説ノ様ニ思ハレル。然シナガラ土方伯ノ御話モ古キニカヘレト言ハレタノデハナク、只ダ其ノ意味ハ今日ノ悪習ニ恐レテノ事デアツタノデアロト思ハサレル。此処ヨク考ヘテ両説ハ同一ノ説ニ考ヘラレルノdeal。

然シナガラ社会ニハ全ク相反シタ二ツノ説ガ確カニトナヘラレテアル。1ハ古来ノ女大学式deal。全ク欧米ノ学問、新シイモノヲ除イタモノdeal。今此学校ノ女子教育ニ對スル態度、方針ヲ如何ニトツテ居ルカト云フコトニ就テ考フル時ニ、教育ノ目的ハ人格ヲ主トスルモノト國家ヲ主トスルモノトガアル。人格ヲ主トスルコトハ國家ヲ主トスルコトノ間ニハ相違ガアル。昔ノ良妻賢母ハ全ク個人ヲ重クシナイデ家ノタメニト云フコトヲ主トシテ居ル。即チ古ハ良妻賢母ノ女ヲ道具ニシテ居ル。之レハ同ジク國家主義ニ於テモ國民ヲ國家ノ望ムマニ教育シテ行ク。ツマリ國民ヲ道具トスル様ニナル。

#### [人格主義ノ教育]

然ルニ人格ヲ主トスル教育ハ勿論國民トシテモ良妻賢母トシテモ教育スルカ、更ニ人間ト云フ価値ヲ尊重シテソレヲ教育シテ行クト云フ方針ヲトル。天地ニ性ヲ受ケタ其使命ヲ全フサセルタメニ教育ヲ施ス。之レガ人格主義ノ教育deal。

國家主義ト人格主義トハカク相違点ガアル。然シ此ノ二主義ハ真相ヲ穿テバ全クツニナルモノデ調和サセルコトガ出来ル。之レヲ調和サセルコトニヨリテ完全ナ教育ハ出来ル。故ニ我校ノ教育方針ハ、

- 1、人トシテ(人格トシテ)
- 2、婦人トシテ(良妻賢母トシテ)
- 3、國民トシテ

此ノ三ツノ方面ヲ完全ニ行フテ始メテ教育ノ目的ハ実現サレル。

殊ニ今年ハ國民トシテ教育ニ最モ意ヲ用ヒテ行キタイと思フ。然シテ賢母、良妻ノ内容ハ時勢ニ伴フモノデ、今日ノ賢母、良妻ハ明日ノ良妻賢母トハ更ニ進ンダ内完ヲモタネバナラヌ。然シテ今後ノ良妻賢母トナルニハ新シイ知識ガ入ル。新シイ知識ノ研究ニヨリ發明発見ニヨリテ得ラレルモノデアル。

故ニ今後ノ賢母、良妻ハ従来ノモノノ様デハ到底其使命ヲ完フスルコトハ出来ナイと思フ。其実例ハ今ノ戦争ニ於テ充分列挙スルコトガ出来ル。

大戦亂ガ起ツテヨリ以来婦人ハ各国共ニ大イニ活動シテ居ル。万国婦人大会等モ諸所ニ開カレテ居ル。然ルニ独逸ハ四面ニ敵ヲ有スル故自国内ニ於テ今ハ大活動ヲ治メテ居ル。最モ独逸ヲ危地ニ陥レルモノハ食物デアラウト一般ノ人ガ想像シタコロニテ、今迄人間ノ食ヲ維持シテ居ルコトハ之レ実ニ婦人タチノ研究ノ結果デアル。サレバ今後ノ社会ニ於テ研究心、改善心ガナケレバ到底進ンデ行クコトハ出来ナイ。今ノ通り満足スル様ナコトデハ遂ニ国家ハ滅亡スルヨリ外ハナイ。我國ニ於テモ今迄ノ教育ノ弊ヲ破リ改善シナケレバ國ノ滅亡ヲ見ルノデアル。此改善ハ誰レニマツカ。一家ヲ經營シ子女ヲ養育スル女子ガ之レヲシナケレバナラヌ。今後ノ境遇ニアテ出来ル、研究改善シ行キ得ル人間トナラナケレバ決シテ女子ノ使命ヲハタサスト云フコトハ出来ナイ。女子ノ教育ノ主義方針ハ今後ヲ思ヒ、明日ノ女子ノ家庭ヲ考ヘテ、其最上ノ道ヲ選ラバネバナラヌ。

[中表紙]

大正五年四月二十六日

第二、三学年ニテ

大正五年四月二十六日

第二、三学年ニテ

十三回生ノ時ニ私ハ各係ガ平等ニ価値ヲ有シ、責任ヲ全ウスル様ニシタイモノデアルと思フテ案ヲ立テ居リマシタ。ケレ共今日ノ学生々活ガ誠ニ複雑ニナツテ居リマスノデ之レヲ余程単純ニシナケレバ、サウシテヨクオ互ニ了解ノ出来ル様ニナラネバ出来ナイノデアルマス。夫レデ昨年ハ用意ノタメニ日ガ暮レタカラ、今年ハ必ズ実行ガ出来ルデアラウト思ッテ居リマス。夫レハ学制ガ改革ニナラネバ出来ヌ事モアルケレ共、アナタ方ノ態度ニ由ツテ出来ル点モアリマス。故ニアナタ方ガ其処ヘ共鳴シテ、サアシヤウト云フ風ニナラネバ骨折り損ニナツテ了フノデアル。

[使命ノ了解]

ソコデアナタ方ヨク使命ヲ了解ナサツテ、出来ルダケ速ク

着手ノ出来ル様ニナサラネバナラヌ。形式ヤ語ノ論デハナイ。実質デアルカラ其ノ実質ヲドースベキカト云フ事ガ問題デアリマス。

ソコデ係ノ事ヲヨク研究ナサツテ、キマリ次第私ノ処ヘ御報告ヲナサル様ニ、成ルベクハ一週間以内位ニ決定致シ度イモノト考ヘマス。

[中表紙]

大正五年五月一日

第一学年及ビ予科ニテ

大正五年五月一日

第一学年及ビ予科

丁度アナタ方ノ年齢ノ女子ノ中カラ選バレテ、コノ時代ニ何カノ使命ヲ為ニソノ選ニ當タノハアナタ方デアル。アナタ方ハ知ラズ知ラズノ内ニ精神的ノ目ニ見エナイ光ヲ要求スル根本ニヨツテ、意識ニノボラナイ深イ心底ニ於テ、時代ノ精神ニ感ジテ志ヲ立テタ人ガ多人数アル様ニ觀察スル事ガ出来ル。コレハ我が国家ニ於テタイヘン喜ブベキ事デアツテ、今後将来新ナル文明ヲ開クコロノ物ニ富ンデ居ルトイフ深イ意味ガアルト感ズル。コレハ最モ意ヲ強クスルトコロデ、アナタ方モ将来ノ望ミヲカタクスル事ノ出来ルタシカナモノト思フ。

コレハ自発的ニ起ツタコロノ傾向ダラウト思フ。尚益々深イ暗示ヲ受ケテ強イ刺激ヲ与ヘラレテ益益発スルコトハ信ズル。シカシ其活キハ時代ノ刺激ニ大イニ起因スルガ、ソノ受ケルトコロノモトハ我々ノ意志ノ力デアル。其意志ノ力ハ即チアナタ方ガ書キ表シ、或ハソノ決心ニヨツテアラハレルノデアル。学生ニトツテコノ決心、志、向上心ナドイフモノ程大事ナモノハナイ。コノ志ガ固カクナラバコレカラ起ル困難、例ヘバ其中ニハ望ム様ナ力ガツカナイトカ或ハ学問ガムツカシイトカ、ソノ外イロイロ内外ニ誘惑ガ起ル。ソノ様ニ随分困難ハ日夜シバシバオコルガ、ソノ困難ガカタイ決心ヲ挫クコトハナイ。ソレバカリデハナク帝國ノ盛衰ニカハルヤウナ大事ナ事ガ起ルトモ、志ガカタケレバ働ク事ガ出来ヌトイフ事ハナイ。コノ決心位我々生涯ニ確カナモノハナイ。我々ハ其処デ業ヲハゲム。アナタ方ニ對シテハ尚一層志ヲカタクシ決心ヲ徹底ナサル様ニ望ムノデアル。アナタ方ガ入学ヲナサレタ當時ニ一番同情ヲスルノハ、自分ノ子供ノ時ニ志ヲ立テ、郷里ヲ出タソノ時ノ経験デアル。私ハ十三ニナツテ家ヲ出タ。ソノ以前ニモ家ヲ出タカッタノデアツタガ、十三ニナツタソノ時親ノ許ヲ得タノデアル。當時青年ノ口ニ説ヘラレテ居タ事ハ、男子志ヲ立テテ郷関ヲ出デ若シ学成ラナカッタラ死ンデモ帰ヘラントイフ事デアツク。モシ出来ルカ或ハ死スカトイフコノ二ツシカナイト云フ覚悟ヲ以テ郷里ヲ出タ私ハ、男デハアルガ少シモ親ノ所ニ歸リタイトカ家ヘカヘリ度イナド云フ事ハ思ハナイ。意氣ガ盛ンデアツタカラ只学ノ成ラナイノ許リヲ心配シタ。私ハ独立シテ学費ヲモラハズニ医学ヲ研究シタ。院長ノ所ニ行ツテ米搗キヲサセテモライナガラ学問ヲサセテ

モラッタ。夜ハ寒ニ眠イ。此時ハ塩ノ辛イ沢庵ヲカヂッテ勉強シタノデアル。朝ノ三時頃皆ガ起キ出スマデ勉強スルノデアッタ。ソレカラシバラクシテ卒業シ、聴講生トナッテ勉強シタノデアル。郷里ヲ思ヒ出スナドイフ事ハ寒ニナカッタ。三十二ナッテ外国ニ行ッテカラハ何ウシテモ国ノコトヲ思ヒ出シテ仕方ガナカッタ。不思議デ堪ヘラレナカッタ。十三ノ時ニハ少シモ考ヘタ事ノナカッタコトガ三十二ナッテカラ祖国ヲバカリ思ヒ出スノハドウシタノダラフト思ッタ。後六ヶ月許リタッテカラ病氣ヲシテ大学ノ寄宿舎デ呻吟シテ居タ。其時ハ祖国ノコトヲ思ハナイ。タゞ非常ニ心配ガアッタ。ソレハ国ノ家族ガ病氣シテ居ルト云フ手紙ガ沢山来ル。又看護婦ノ一日ノ手当ガ三円ヅハ与ヘテヤラナケレバナラズ、其ノ他薬代ヤイロイロノモノデ約拾円ヅノ費用ガカル。六十日モカウシテ居ッテハ何ウシヤウ。学費ハナイ。全々我腕ヲ以テヤラウト云フ考ヘダッタカラ如何ニシテ学費ヲ支ヘルト云フ問題デアッタ。其時ハ遂ニ死ヲ決シタ。然シ何モカモ其時ニハ考ヘテ居タ。万一癒ツタナラ何ウシヤウ。金ハナイ。国ニハ心配ガオコッテ居ル。国ヲ出テ来ル時ハ三年ノ計画デアッタガ、一年デ帰ッテハドウシヤウカ。シカシソノ時覚悟シタ事ハ此地ニ来タノハ確カニ使命ヲ感ジ、帝国ノ為ニ捧ゲタイ。若シコノ使命ヲハタサナカッタナラ、国ニ対シテ天ニ対シテ使命ヲハタサナイ事トナッテ実ニスマナイワケデアル。其時考ヘタノハ戦陣ニ働イテ居ル兵卒ノ事デアル。兵卒ガ働イテ居ル時、若シ家族ニ病人ガオコッタ時、其兵卒ハドウシテ帰レヤウカ。何ウシテモ使命ヲ果サナイデハ帰レナイ。コノ様ニドシナ困難ニ遭ッテモ志サヘアッタナラソレニ打勝ッテ行クコトガ出来ルノデアル。私ガ此時ハ寒ニ困難ノ極デアッタ。ソレカラハダンドン癒テ、ソノ後ウエスリー大学デ勉強シタノデアル。学費モ人ノ世話ニナラズ自分カラ働キ、己ノ決心通リウトウ勝チオホセタノデアル。人間ノ志程強イモノハナイ。此迄私ハ幾回経験ヲ重ねタカワカラナイガ、十三カラ今マデ其経験ハサッパリ変ハラナイ。今日ノ目的ノ為メニ困難ト戦フノハ少シモ違ヒハナイ。アナタ方デモ少シモ違ヒハナイノデアル。内外ノ淑女、賢母、良妻ノ覚悟モ皆同ジデアル。コノ経験ハ沢山アル。此志ニ励ムサレテ困難ニ勝ツノハ幸ヒデアル。勝ツ様ノ良心ヲ持ツノハ幸ヒデアル。此大学ニ関係ノ深い方デ土倉庄三郎ナル方ガ奈良ニアッテ、私ガ始メテ大阪ニ女子ノ学校ヲ建テタ時、当時ハ現今ヨリモ女子ノ高等教育ニ反対ノ人々ガ多クアッテ、女ノ子ヲ親ガ手離ストイフコト、特ニ女子ヲ学校ニ托スルト云フ事ハ非常ナ事デアッタ。私ハ極青年デアッタガ其時土倉サンハ自分ノ娘ト親戚ノ娘トヲ六人ツレテ来テ、其子等ノ教育ヲ私ニタノマレタ。ソノ時私ニ申サレルニハ、娘ガ手紙ヲ出ス時ニハ必ずアナタガ一度見テ、何ヲ書イテアルカシラベテ下サルヤウニ言ハレタ。其一番大キカッタ子ハ十五歳デ、一番幼イ子ハ六歳デアッタカラ、始メテ郷里ヲ出タ子等ハ淋シトイフ事ヲ感ジタデアラウ。色々食フモノガ悪イカ難儀ガアルトカ母親ニ言ッテヤルダラウ。ダカラ先生ニ見セテカラデナケレバ家ヘ手紙ヲ出シテハナラヌト娘ニ言テ聞カセ、私ニモ言ハレタ。子供等ニハソレ相当ニ悲シミモアルモノト見エテ、一番小サイ六歳ノ子ガ泣イテ仕

方ガナイ。慰メテモ六ツノ子ダカラ泣キ止マヌ。何ボウ言ウテモ叱ッテモ止マナイ。其処デ私ハ「泣キタイ程泣キナサイ。アスコノ蔵ノ前ニ行テ出来ル丈大キナ声デオ泣キナサイ」ト言ッテ。ソノ後ソノ子ハ二時間泣イテ居タガ、決心ガツイタト見エテ泣キ止ンデカラハ決シテ淋シトハ言ハナイ。又ナカナカ泣カナカッタ。今デハ立派ナ人格ヲソナヘタ婦人トナリ、宮様ノ御用係ヲシタ事ガアル。ソノ他ノ娘モ或ハ大臣ノ夫人トナリ、或ハ立派ナ貿易者ノ妻トナッテ居ル。昔カラカアイ子ニハ旅ヲサセルトイフ事ガアルガ、マツク苦シマスト為ニナラン。カウシテ娘等ハ立派ナ成長ヲ遂ゲタ。コレハ父母ガ子供等ノ前途ヲ思フテ志ヲ立テル様ニ奨励シタ其一例デアル。

志ヲ立テ進ンデ行クノハ女子モ男子モ変リハナイ。困難ノ為メニ挫折シナイト云フ婦人モ世ニハ随分アル。ソレデ学生ハサウ云フ立派ナ志ヲ立テ、カタイ決意ヲ以テスルト云フノ決意ヲモウツ永久ノニスルニハ深い信念ガ必要デアル。人間以上目ニ見エヌ或モノニ対シテ責任ヲ感ジ、又其誓ヒヲ折り、我が前ニ自分ノ決心ヲ誓フト云フ事ハ矢張り我が生活上欠クベカラザルコト思フ。デアルカラ此信念ヲ以テ入學式ニ於テ神命ニ誓フコロノ宣誓式ヲ行ッタノデアル。スデニアナタ方ノ志ハ確立シ、生涯ニ於ケル目的モ定ッタ事ハ先日ノ決心ヲ書イタモノニ現ハレテ居リマス。ソノ志ヲ遂ゲ、目的ヲ達スルソノ道ヲ開イテ、適意ニ実践窮行ナサラナケレバナラヌ。コレガ大切デアッテ、皆サンガモウ真面目ニ熱心ニ業ヲ取り修養スルトイフ完全ナ決心ハツイテ居リマスガ、今日大切ナ事ハソレヲ如何ニシテ現ハサウトイフ其如何ニガ大事デアリマス。其使用ヲアヤマツタナラ目的ヲ達スル事ガ出来ヌ。今日ノ問題ハ如何ニトイフ其処デアリマス。為方ガ間違ッテ居ル現今ハ其為メニ効果ヲ奏サナイ。ヨクバツテ色々ノ知識ヲムサボルヨリ何ウシテ消化シヤウ、何ウシテ応用シヤウカトイフ道ヲ知ラナケレバナラヌ。大学生ノ根本ハコノ根ヲ知ルト云フ事デ、色々中カラコレヲ選択シテ採ルカト云フ、ツマリアナタノ目的ノ為ニ何ヲ得ヤウカ、何ヲ選択シヤウカトイフ事ガ大切デアル。

何シテモ欲シト思フ最モ大切ナ宝ハ何デアラウ。又ソレヲ如何ニ選択シテ得ヤウカ。コノ問題ハ生活ニ適切ナ問題デアッテ、コレカラ一週間中ノ問題トシテ与ヘルニヨツテ答ヲ記シ置キナサルコトシヤウ。

[中表紙]

大正五年五月三日  
第二、三学年ニテ

大正五年五月三日  
第二、三学年ニテ

此ノ間カラ問題ニナッテ相互ノ意見ヲ交換シ了解シテ、皆サンガ充分ニオトリニナリマシト云フ報告ニ接シテ喜ンデ居ル次第デアリマス。モウソノ問題ニ付イテトク必要ハナイト思フ。尚ホ今後積極ノ二長イ間ノ問題ヲ建設スルト云フ事ニ力



ヲ用ヒタイ。

#### [建設]

母校ノ十五年ノ記念式ハ漸ク其ノ建築物ノ土台ヲ築イタ。其ノ親石トナル定礎式ヲ終ツタ云フ時期ニ達シタ。其ノ上ニ石或ハ煉瓦ヲ積ンデ建設スルト云フ用意ヲ致シタ処デアアル。問題ハソノ上ニ何ヲ建テルカ、ドー云フ建築ヲ組ミ立テル考ヘデアアルカト云フ事ニナルノデアラウト思フ。此ノ土台ノ上ニ建テル建物ハ其ノ土台ニ適應スル。又初メカラタテハアル計画ニ応ジテ立テ行カネバナナラヌ事ニナルト思フ。其ノ建テルモノハ如何ナル種類デ、如何ナル建設ヲスルカヲ解スルニハ之レマデノ歴史ヲ解ラス事ガ必要デアアル。

#### [象徴]

ソレニハ命ノ発展ヲ現ハシテ居ル象徴ノ建物ニ付イテ見テモワカル。ソノ建物が現ハス意味私共ガ建設シヤウトシテ居ル意味ヲ現ハシテ居ルト思フ。

記念式ニモ一寸申シマシタ様ニ、此ノ大学ノホントノ土台ヲスエル様ニナリタノハ十年カラ十五年デ、イヨイヨ我が国ニ高等教育ガ生レタノハ十六年前デ、コニ校舍ヲ建テ始メタ。之レハ大学ヲ建テルト云フ処ノ建物が出来タノデアアル。ソレカラ第二ノ発展ガ日清戦争ノ時煉瓦ノ建物が出来タノデアアル。此ノ建物が出来タ云フ事ハ此ノ大学ノ発展ノ象徴トナリテ居ル。第三ハアナタ方ノオタテニナリマス此ノ建物が、今後ノ発展ヲ建設シヤウトシテ居ル処ノ象徴トナリテ居ル。之レハ建テルニ問題ガ起リタノデ、ソレハ如何ナル材料ヲ用ヒテ如何ナル建物ヲスルカト云フノデアアル。之レハムツカシイモノト思ッテ居タガ、桜楓館ノ方デハ我が使命ト思ッテ働キ、二万ノモノガ三万円、三万四、五千円ニモナリタノデアアル。建テルト云フ事ニツイテモ建テル人ト桜楓会員トデ相談シテ、イヨイヨ煉瓦ト云フ事ニナリマシタ。

種々ナ危難ハマヌガレト云フ様デハナラヌト云フワケデ、ドーシテモ煉瓦ニシナケレバナナルマイト云フ問題ニナリタ。之レヲモ一万円程ハ増サネバナラナクナリテ来タ。コニ至リテハ躊躇シタノデ出来ルト云フ確信ガツキニクカッタノデアアル。之レヲ煉瓦ニシヤウト主ニ感ジタノハ森村サント渋澤サンデアアル。

永久的ノ建物ニ進ンダト云フ事ハ喜バシイ事デアアル。第三象徴ノ発展スル様ニアナタ方ノ建物トガ一樣ニナラネバナラヌ。土台ガ壊レヌ様ニ何ヲモッテ建テルカ、永久的ノモノカ一時ノ材木ヲモッテ建テルカ重大ナル問題デアアル。

十五年モカクテ永久ノ土台ヲモッテ建築物ヲツクリ、ドーカアナタ方モ永久ニ破ラナイモノヲ立テ得ル様ニナサル事ヲ切望スルノデアアル。之レハ謎デアアル。ソレヲ考ヘナケレバ立タヌ事デアアル。お互共同シテタテナケレバナラヌガ、ドーシタナラバ建築物ガタテ行クカト云フ事デアアル。今年カラ此ノ工ヲ起スト云フ事ハ長イ間ノ問題デアアッタ。ソレデ今年ノ計画ヲ発表スルマデニ其ノ謎ヲ解シテソノ方法ヲヨク考ヘテ目ニ見エヌ運動ヲ深く感知ナサラネバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ル。此ノ建物が建チ上ル時ニアナタ方モ其ノ時分ニ高調ナサル様ニシテ、此ノ謎ヲヨク解シテ充分考ヘテモライタイ。其ノ上デ私ノ立テタ案ニ着手シタイ切ニ希望スルノデアアル。如何

ニ骨ガ折レテモホントノモノヲ作ラネバナラヌ。ソレデ私ハ大学ノ建築ヲホントニスルト云フ事ヲ随分決シタ。ソシテ尚ホ今モ考ヘテ居ルノデアアル。

内部ノ関係ヲOrganizeスルタメニ書物ヲ買ッテ読ム時モナカッタノデ、十五年ヲ記念トシテ内外ノ事カラ少シク遠ザカリ度イノデアアルガ、マダマダソコニマデハコバヌ。ヒトリ私ノミデハナクアナタ方モイソガシイノデ非常ニ力ガ入ル。ハタシテ之レガ出来ルカト云フコト、信仰、確信ガアル。

私共ハドーカ無益ニナラヌ様ニ、人ニ心配ヲカケナイ様ニシタイト思フノデアアル。ソレデ私ノ経験ヲ少シ話シテ、互ニ生活ニ注意ヲシタラドーカト思フノデアアリマス。

歴史ニモ時代ガアル。変化ガアル。生活ハ常ニリズムデアアル。我ノ身体ニモ変化ガアル。之レハ小供カラ大人ニナルマデ変化ガアル。変化ガアル度ニ危機ガアル。之レヲ経験カラ言フテ厄年ト言フテ居ル。私ガ自分の身体ノ事ヲ考ヘテモ変化ニ逢ッタ。ソノ都度努力シタ。此ノ時ハ非常ニアヤウクナリタガ、其ノ後回復シテ丈夫ニナリタ。ソレヨリ十年後私ノ頂上ヲコス処デ其ノ時ハ不眠病ニナリテ箱根ニ行カズ輕井沢ニ行キテ、自然ト交リテソコニ時代ノ精神ニ接シテ第二ノ発展ヲ計画シタ。其ノ時ニ身体ガ回復シタ。其ノ時五十ノ峠ヲコヘテヨリ近来ニ至リ丈夫ニナリタ。イヨイヨ近来ニ至リ第三発展ニ集注シヤウト思フテ居ル。処ガ十年前ト同ジ病氣ニナリタ。五日ノ間不眠デアアッタ。其ノ間本ハ読マズ考ヘモセズ只新聞ダケハ読ンダ。ソコデ終ニ齒ヲスイテ回復シタ。ソノ翌日ハ式ニ出タ。ソレダカラ今日至リテモマダ熱ハ下ラヌ。ドーモ何ガ原因カドーモワカラヌ。ソコデ自分デ神経疲労トキメタノデアアル。之レハ第三ノ峠ヲ越ヘテ居ルカラドーモ起ルラシカッタ。今医者カラ二週間ノ静養言ハレタガ、今ココハナレル事ハ出来ヌノデ弱ッタ時ハ強イ時ノ様ナ努力ハシナイ。過度ニナラヌ様ニ面白ク暮ラス。喜ビヲモッテ安心ヲシテ生活スル。神経ニ慰安ヲアタヘル治療法ヲトル事ニシタ。之レヲアナタ方ニ申スノハアマリ働キスギテ身体ヲソコネヌ様ニシナケレバナラヌ。私ハ今度非常ニ集注ヲシヤウト思フテ居ルノデアアル。今シバラク静養シタイト思フノデアアル。ソレハ皆ヲ代表シテ言フノデアアル。私自身ガ集注シテミナケレバナラヌ所ヲアナタ方ガシテ、アナタ方ヲシテ考ヘサセ、アナタ自分デ考ヘレバ成功スルノデアアル。此ノ建築ヲ我々ガスルノデアアルト云フ決心ヲシテモライタイ。

#### [愉快ナ空気]

モ一一ツハオ互愉快ニシテ行キタイト思フ。我々ガ皆ト相共鳴シテ愉快ナ空気ヲツクリテ皆ガ互ニ進取ノ気性ヲ以ッテソノ空気ニ接シタラバドレダケ慰安シ励マサルハワカラヌ。ドーカ此ノ春ハ若葉ノ様ニ元氣デ共鳴シタ氣持チデモ一一層愉快ニ出来ル様ニシタイ。ソウ云フ疲レヲ直スヤウナ空気ヲ作ラウデハアリマセンカ。

私ガソウ云フ様ニスルノデ、アナタ方ニ一層ノ努力ヲシテ頂ク様ニシタイト思フノデアアリマス。

#### [生命ノ交通]

然ラバ第三発展ノ時期ニ於テ発展スル意味ハ機械的ノモノデナイ。各々ノ内ニアル根本生命ガ自発的ニ発展シ、又

其ノ間ニ共鳴スル。ソノ団体的生命ガホントノ発展ヲトゲル  
ト云フ事ニナル。ソレガ発展スルニ我々ニ非常ナ欠陥ガアル。  
ソノ欠陥ヲ補フ我々理想トシテ居ル生命ヲ発展シタイト  
思フノデアアル。ソノ計画ヲ現ハサウトシテ試ミタノデアアル。  
シカシ内ニ消費ガ多ク、外カラノ妨ゲガ多クテソコマデ行ッテナ  
イノデアアル。之レヲヒトリオ互ノ了解デハナイ。我々ノ目的トス  
ル実体、ソノ現代ノ生活ソレガ見エル。ソノ生命ト我々ノ生命  
トガ交通スルト云フソノ生キタ考ヘガ見エル、生キタ文通ガ  
出来ルト云フ事デナイト出来得ナイ。ドーモ消費ガ多イガ  
各々態度ヲアラタメレバヨイノデアアル。

[集注ヲ要ス]

ココニ非常ナ集注ヲ要ス。ソノ集注ヲ致スニハ各々ノ努力、  
働キト云フモノガ有効ニナランケレバナラヌノデアアル。然シ之  
レハ理想ヲエガク事ハ出来テモ、又主張スル事ハ出来テモ  
生活ニスルト云フ事ハ非常ニムツカシイ事デアアル。其ノムツ  
カシイト言フテ居ル事、今日マデニ出来ナイト言ッテ失望ヲシ  
テ居リマスガ、ドーモソレヲ信仰スル事ガ出来ナイ。又努力  
モホントニナラナイ。之レハ何故ニ出来ナイカラ考ヘタ。又  
始終之レニ付イテ考ヘタ。

之レハ自恃、自発、自動、自分ノ意志ノ力ガ弱イ所ニ帰  
ス。先ヅソノ力ヲ發揮スル事ノ修養ヲ積マウト努力ナサット  
思フ。ソノ弊害トシテ伴フモノハ自分ノ働キニヨリスギルト云  
フ。即チ人工的ニシヤウト云フ事デアアル。天才ト云フ事ハ自  
分ノ信仰、自分ノ実力ガ出来テコナケレバナラヌ。自分ノ創  
作ト云フ様ナ事ガ発達シナケレバナラヌ。之レガ思フ様ニ  
ビヌ。ソコデドーモ自分ハ将来力ノナイモノトシテ自暴自棄  
ス。サウ云フ人程我ガ儘ノ強イ人ガ多イ。欧米モ此ノ点ニ於  
テ争ッテ居ル。知ラズ知ラズノ間ニ自己的ニナリテホントノ  
誠ヲ見ル事ガムツカシクナル。自分ノ身ニ病毒ヲ作ル。ソレ  
ハ矢張り自恃ト云フ事ヲ悪用シテ居ルト云フ事ヲ知ラナイ。ホ  
ントノ自恃ト云フ事ハ自分ノ自我カラ開放スル。無邪氣ニ  
ナル。私ヲ去ル。つまり此ノ生活セントスル大我ノ生命ハ人  
工的ニ人間ガ製造スル事ハ出来ヌ。一大生命ハ私共ノ宗  
教的生命ノ言ッテイル我々人間ノ知ヲモッテ製作シタモノデ  
ハナイ。自然ノ生命デ、ソノ大生命ト共鳴スルノデアアル。之  
レガ銘々ノ心ノ中ニワカラナイト、無理ヲシタリ又失望落胆ニ  
陥ル。又一方ニ遍スルト云フ避ニ陥ル。ソレデ私共ガ一  
生懸命働キマセウト云フ事ハ永久流レテ居ル生命ト合シテス  
ルノデ、自分デスルト云ウ事デハナイ。私共ハ人工的ニシタ土  
台デハナイ。此ノ主義ヲ人工的ニシタイト云フ事ハ自然ヲモッ  
テ象徴トシテ居ル桜デアリ、楓デアアル。自然ニ生キテ生活シ  
テ居ル樹木デアアル。発展セントスル生命ハ自然ニ発展シテ  
行クモノデアアル。

[自然ノ生命]

樹木ヲウツシ植エタノハ人工デアアル。ソレヲツチカフノハ人  
工デアアル。アノツハヂ、アノ青イ木ハ我々ノ手ニヨリテ出来  
テ居ルト言フガ、ソレハ我々デナク自然ノ働キデ宇宙ノ象徴デ  
アル。我々ノ発展スルモノハ自然ノ生命デアアル。私共ノ理想  
ヲ実現シ、オ互ガ満足シテ生命維持シテ居ル事ハ私共以上  
ノ働キガアル。ソレト共同シ融合シテ行カウトスル事ガ私

共ノ日常生活デアアル。モシモ我々ガ休ンデ居テ、弱クハアッ  
テモ発展シ、新ニ生長発展スルニ違ヒナイ。我々ハホントニ  
ニ発展スルト云フ事ハ、小我ヲステ、自分以上ノモノニ捧ゲ  
ル意志ヲモッテ真ニ生キテ居ルナラバ、ソノ信念ニヨリテ働ク  
ト云フ事ニナルト思フノデアアル。然シナガラ信仰ハ何カノ形式  
ニヨラネバナラヌガ、ソノ根本ガ如何ニ建設サルハカラ考ヘテ  
モライタイト思フ。

[中表紙]

大正五年五月八日

第一学年及ビ予科ニテ

大正五年五月八日

第一学年及ビ予科

[先週ノ問題]

- a. アナタ方ハ此三年間ノ大学生生活ニ於テ何ヲ選択ス  
ルカ。
- b. 如何ニシテソレヲ獲得スルカ

私ガ此問題ヲアナタ方ニアゲタニツイテ一ツノ理由ガアル。  
ソレハ今年ノ一年ハ十六回生デアリ予科ハ十七回生デア  
ルガ、コノ十六回生、十七回生ヲ組ミタテアナタ方ニ何  
モノカカトナリ、今後發揮シテ価値アルモノガアル。ソレハ自  
発的ニ自分デ動カシテ居ル何か眼ニハ見エヌモノガアリ、其  
モノハ感化ヲ得ル何モノカアルデアラウト斯ウ思ッタノデア  
アル。斯ウイフ判断ヲ下スニハ色々ノ理由ガアル。第一即座ニ  
感ジタノハ彼ノ入学式ノ時デアアル。入学式ニ感ジタノハアナ  
タ方ノ頭ガ眼ニモ耳ニモ、即チ五管ニモ感ジ得ヌ処ノ本能  
ニヒビク、響ニ共鳴スル事ガ出来ル。ソノ何か深い感化ヲ受  
ケテ居ルト云フ生活ヲ味ハントシテ、ソレヲ要求シテ居ヤウト  
云フ事デアアル。然シ今迄ハ其ノ共鳴ノ出来ルノハ三年ノ後  
卒業シテ初メテ出来ルノデアアル。大学ニ理想ト云フ事ハ久  
シクヤッテ居ルガ、神明ニ誓フト云フ事ハツヒ近頃ニナッテシ  
タノデアアル。斯ウイフ事ガ人ノ心ニ起リ種々様々デアアツタガ、  
イザ愈々実行ト云フコトニ迄進ンダノハ即チ今年ガ初メテデ  
アル。完全ナ人間、立派ナ人間ニナラウトスル能力ヲ発展ス  
ルト云フ事ハ、機械的生活ノ物質的ノ智識ダケデハ到底出  
来ナイ。即チ機械的ノ物質的ノモノデハ根ノナイ、生命ノ  
ナイ、外面的ノ浅薄ナルモノヨリシカ出来ナイノデ、モーツ大  
学ノ生活ニハ一層深い根本的ノモノガ必要ノデアアル。ソレ  
ニ行クニハ宗教デアアルガ、コレ迄ノ形式的ノモノヲ宗教ト思  
ッテ居ルノデハ矢張駄目デアアル。我々ノ言フノハソノナモノ  
デハナイ。真髓デアリ生命デアアル。其ノ様ナ経験ヲ得ナケレ  
バナラナイノデアアル。其処デ此学校ノ入学式等モ今迄ト違ッ  
タ取り人間ヨリ偉大ナモノニ誓フト云フ態度デ居ラナケレバナ  
ラヌト云フノデアアツテ、此考ヘハ前カラアツタノデアアルガ、未  
ダ一度モ之ヲ真面目ニ行フ事ガデキナカツタガ、漸ク今年ハ  
皆ノ意見モ一致シ其ノ精神ガ成熟シテ居ルヤウニ感ジ、今  
マデヨリ進ンダ方法ヲ取ツタノデアアル。然ルニ三年生位ニナ

ッテ初メテ出来ルト云フ事ガ一年ノアナタ方ニデキテ居ルト云フノハ今迄ニナイ経験デア。今年ノ一年及ビ予科ノ方々ニ何モノカ深イモノガアルト云フ事ヲ感ジタノデア。コレガ一ツノ理由デア。

#### [第二理由]

ソレカラ次ニアナタ方ノ書イタモノ、又此大学ニ入ルト云フ決心ヲナシ色々障害ニマケズシテ、遂ニ志ヲ貫ク一歩ヲナス事ガオ出来ニナツト云フ。コレハ今ノ青年殊ニアナタ方女子ノ生涯ノ最モ活力ニ富メル我が国ノ諸青年ノ其頭ノ中ニ向上心ガアルト云フ事ガヨクワカルノデ、国家トシテハ非常ニ幸ナノデア。私ハ此ノ女子大学ヲ立テル時、当時華族女学校、今ノ学習院女学部長ヲシテ居ラタ下田歌子サンニ、私ハ女子ノ高等教育事業ヲ話シタ事ガアル。其時女史ハソレモ必要ト思フガ、ソレ迄日本ノ現在ガ行ッテ居ラナイ。貴族デサヘ女子ノ教育ト云フ事ニ氣ゾカヌ位デアト言ハレタ。私ガ女子大学ヲ立テルト云フ間ニ女史ハモット下ノ階級ノ実践女学校ヲ立テラレタ。ソシテ私ニ語ッテイフニハ、華族女学校ニ50人位ハ入学スルガ、卒業ノ頃ニナルト僅カニ数人シカナイト云フノハ、多クノモノハ女学校ヲ卒業スルノハ恥デア、五年ノ程度ヲ卒業スル迄モ嫁ニ行カナイノハ売レ残リ思ハレ、大変ナ恥辱デアト云フ様ナ時代デアカラデア。然ルニ今日ハ何ウカ言フニ50人が50人迄卒業シ、尚ソレデ足レリトセズ即チ自分ノ未熟ヲ悟リ、コレ以上ノ教育ノ道ヲ求メテ進マナケレバナラヌト言フテ居ルトイフ事ヲ聞キマシタ。之ハ我が国ニトツテ重大ナ問題デア。近時田舎ノ諸学校、例ヘバ実科高等女学校或ハ補習科ノ数ガ年々減ツテ来ルトイフ報告ヲ聞ク。此時ニ当リ最モ上流ナ方ノ才嬢サンガ自分デ選択シタリ決心スルヤウニナツノハ国家ニ対シテ実ニ婚イ事デアト思フ。又今年ノ一年及ビ予科ノ者ノ多クハ何カ一ツノ志ヲ持ッテ居リ、如何ナル障害ニモ困難ニモ負ケスト云フ決心ヲ持ッテ居ラレト云フ事デア。

千六百人ノ卒業生モ入学ノ際ハ随分迫害ヲ受ケタノデア。アナタ方ノ今度ト同ジク少シモ変リハナイノデア。之レ等ノ人ハ皆ソレ等ノ事ニ心ノ動カサレヌモノデア。而シテ此ノ一年ノ中ニハ最早己ニソレガ出来テ居ルヤウデア。アナタ方ノ中ニハ家族ノ人等カラ、又親族、学校等カラ随分止メラレタニモ拘ラズ此校ヘ来タ人ガアルヤウデア。ソレニ就テハアナタ方ガ此校ヲ選ンダ何カ理由ガナケレバナラヌ。何故ニ此ノ学校ヲ選ビ此ノ学校デナケレバナラヌト望ンデ来ラレタカヲ聞ク為メニ此ノ問題ヲ出シタノデア。確ニアナタ方ハ或何物カヲ得ヤウトシテ来ラレト推察スルノデア。此ノ学校ニ来ルト云フ志ヲ立テ、来ルニ就イテノ障害ト戦ッタ人ハ沢山アル。其ノ中僅カナルモノガ今勝利ヲ得ツアルノデア。一般ニ今年ハ女子モ高等教育ヲ受ケヤウトスル人ガ少クナイヤウデア。之レヲ見テ私ハ我が国ニ向上ノ発展シヤウトスル風ガ復興シタト思フ。即チ自ラ志ヲ立テテ自ラ選択スルト云フ傾キガ現代ニ起ツト推察スルニ足ルト思フ。

高等女学校程度ノ卒業生ガ我が国ノ将来ヲ虞リ母校ノ改善ヲ促シタモノ、アナタ方ハ一人デア。殊ニ卒業生ガ一

身ニナツテ母校ヲ改メヤウ、何かカヘテ貰ヒタイト云フ事ヲ預ツトデア。コンナ事ハ昔カラ言ヘバ女ハ生意氣ダトカ、訳ノワカラヌ先生等ハ同盟罷工トカ申スカモシレヌガ、之ハ学校騒動等トハ違フ。学校騒動等ノ起ルノハ大抵野心トカ不平等ノ為メニ騒グノデア。甚ダ宜シクナイ悪傾向デア。然ルニアナタ方ガ心カラ母校ヲ改善シテ貰ヒタイ、改メタイト云フ企テヲ起シタノハ余程ソノ精神ガ違フ私ハ自分で推察スル事ガ出来ル。私ハカヤウナ新シイカガアナタ方ノウチニ起ツト云フ事ハ非常ニ大切ナ、又カアルモノデアルト解釈シテ居ルノデアリマス。

国民トシテ、賢母、良妻トシテ、学校ノ娘トシテ人格ノ修養ヲシヤウトスルニハ自分ニアル色々ノ悪ルイ癖ヲツツ直シテ行カナケレバナラナイ。自分ノ心ガ僻ンデ居タリ、人ニ対シテ直グ悪感情ヲ抱ク者ハ皆ナホシテ行カナケレバナラヌ。

之等自分ニアル様々ノ悪習慣ハ矯正スルニ別ニ他カラ苦情ヲイハレナイ。容易ニ出来ルモノデア。併シ自分バカリスレバソレデヨイト云フノデナイ。古カラ伝ハッテ居ル風俗習慣ノ中ニハヨイモノモ沢山アルカラ夫ハ改メル必要ハナイガ、其ノ中ノ多クハ社会トシテモ或ハ学校トシテモ後進ノ為メニヨクナイ者ガアル。之ヲ認メタラドウシテモ改メナケレバ止マスト云フ愛校心、愛国心、家庭ヲ思フ心ガアリ、国民トシテ大ニカアルモノトセントスル傾向ガアナタ方ニアルト見ナサレ。

實際ニ社会ト云フヤウナ大キイモノノ風俗習慣ヲ改メルトイフ事ハ中々容易ナ事デハ出来ナイガ、シカシ国家ヲ改善スルヨイ基デア。之ハ決シテ生意氣デナイ。真ニ国ヲ思ヒ、母校ヲ愛シ、家ヲ思フ。愛校心、愛国心デア。私モ十六ノ時師範学校ニ於テ国家ノ制度モ母校ノ方針モ誤ッテ居ル事ヲ知り、我が国ノ教育ノ根本ヲ改善シナケレバナラナイト決心シテ、幾ラカ壯年ノ男子デアツタカラ荒カッタカモ知レヌガ、何シロ皆デ騒イダ事ガアツタ。コレヲ為スニ至ツタ心ノ動機ハ是非共改善シヤウト云フ点ニアツトデア。又母校ヲ改良シヤウトスル動機ガ卒業生ニ起リ、将来之ヲ行ハウトスル意志ガ出来タト云フ事ハ喜ブベキ事デアト思フ。私ハ皆ニ之ヲ奨励スルノデハナイガ、然シ奨励シテモ別ニ悪クハナイ。アナタ方ノウチニ己ニアルト云フ事ヲ認メタノデア。私ハカヤウナアナタ方ノ経験ヲ集メテ、今年ノ一年及ビ予科ノ中ニハ何モノカガアルカラ余リ子ドモ扱ヒニシナクテモヨイ。モウ少シ大キイ事ヲ考ヘラレト思ッテ此ノ問題ヲ提出シタノデア。

モウツハアナタ方ガ此校ヲ選択スルニ当リ、家庭ヨリ、学校ヨリ様々ニ悪ク言ハレタニモ拘ラズ、夫レ等ノ障害ヲ切り貫ケテ此校ニ来ラレタ。世間デモ余リヨクナイ評判ヲ立テ居ル此校ヲ自分ノ入ルベキ学校トシ、此校ニ入レバ他デ居ラナイ何モノカガアル。其何モノカヲ得タイト云フ望ミヲ持ッテ来ラレタノデア。アナタ方ハ此ノ学校デ何ヲ欲シト思フノデア。カト聞イタノデア。アナタ方ハソノ何モノカヲ是非共自分ハ取ラナケレバナラヌト云フ考ヘデ来ラレタデア。夫レデ私ハ先ツアナタ方ガ自分ノ意志ニアルナニモノカヲ尋ネタ

ノdeal。而シテアナタ方が選択シタ此ノ学校ニ何ガアルカ、学校ノ真髓ハ何dealカ。

学校ハ過去二十年ノ間色々困難、迫害ノアツク中ヲ今日ノ如ク進歩、経営シテ来タハ如何ナル事ニ命ヲ持ッテ居ルカ、何ノ為メニ奮闘努力シテ居ルカヲ知ラナケレバナラス。此ノ学校ノ出来ル当時ハ今処デハナイ。政治家ハ勿論、有力ナル学者、宗教家モ皆反対サレタノdeal。当時奥田サンハ文部次官デアツクガ賛成シテクレヌ。高田サン等モ女子ノ高等教育等ハ今頃到底出来ルモノデナイ。偉イ突飛ナ事ヲイフト言ハレ総テノ方面カラ之レヲタキ潰サウトシ、大抵ノ新聞ハ筆鋒ヲ揃ヘテ悪口ヲ書キタテ、他ノ女学校モ、師範学校モ之ヲ喜ブモノハナカッタ。然ラバ最モ之ニ近イヤウナ宗教学校ハ何ウデアツカトイフニ、ソレスラ同情ガナカッタ。ソレデモ私ハ少シモ世ニコリナイ。私ハ且ツ高等師範ノ教授ヤ学生ノ居ル前デ堂々ト今ノ宗教ナルモノノ誤テ居ル事、宗教家ハキリスト教ヲ破壊スルモノdealト言ツタ事ガアル。併シ私ハ出来ルダケ皆ト調和シヤウトシ、何時モ何時モ反対ノ間ニ立ッテ大イナル希望ヲ見テ居タノdeal。サレバ自分ハ主義方針ノ為メニハ仕方ガナイ。只思フ通り信ズル通りヲ行ッテ来タノdeal。カクモ此ノ学校ガ様々な敵ヲ得テ来タカト言フニ、ソレハ私共ガConventionalニ反対シConventionノ改良ヲ主張シ覚悟シタカラdeal。コレ迄ノConventionト云フモノハ心底ヲカンガミ、之ヨリ来ル悪弊ヲ直サナケレバ進歩ト云フ事ハ出来ヌ。発展スル事モ出来ヌ。尤習慣、風俗トイフテモ皆悪ルイト云フノデハナイガ、其ノ中ノ悪ルイモノハ改メナケレバナラナイト言フノdeal。社会ガ振ハナカツリ、悪ルイConventionガ出来タラ之ヲ破壊シナケレバナラス。社会ニ対シテハカウdealガ我々個人ニモアル。即チ我々ノ品性デアリ、之ハ最モ大切ナモノdealガ悪イ癖ガアル。種々ノ病氣ガアツテ、例ヘバ肺病トカ癩病トカアツテ人間ノ身体ヲ傷ツケ損スルヤウニ、精神的ノ病アツテ我々ノ心ヲ汚スモノガアル。其悪徳ハ即チ我々ノ悪ルイ病氣、習慣deal。或人ハ肺病ノ如キ、又肉ヲ腐敗サス癩病ノ遺伝ヲ持ッテ居ルモノガアル。斯様ナ悪ルイモノ、人ノ物ヲ盗ミ人ニ対シテ直グ悪感情ヲ持ツヤウナモノガアルナラ総テ破ッテシマハナケレバナラス。其ノヤウナ害ニナル病人ノ多イ國ハ、決シテ強クナリ永久ニ富ミ榮エテ行ク事ハ出来ナイ。前ニモ言ツタヤウニ自分ノ欠点、習慣ヲ改メルニ就テハ誰レモ何トモ言ハナイガ、社会ヲ改善シヤウトスルニハ非常ニ困難ガアルガ自分バカリデスムモノデナイ。同時ニ社会ノ方ニモ務メ、大イニ進歩発展ノ実ヲ擧ゲネバナラス。我々ノ努力奮闘スルハ此点deal。アナタ方が此校ヲ選ンデ入学スルニ就イテ様々な迫害、妨ゲガアツクノダカラ、母校ノ悪ルイ制度ハドウシテモ直サナケレバナラス。此ノ学校モ十五年間ハ始終ソレヲ務メテ居タノdeal。

[迫害ノ原因]

1. 嫉妬deal。其証拠ハ学校ガ発展スレバスル度毎ニ反対スル。到底出来ルモノカト輕蔑シテ居タモノガ成功スルヲ見テ悪ク言ヒ、入学スル事ヲ喜バヌト云フ人多イノdeal。

2. 悪イ風俗習慣ニ触レト云フ事デアツテ、之ヲ見ル世人ハ女子大学ヘ入ルト随落スルカラト云フ事deal。

3. 他ノ一ツハツマラヌ競争心カラdeal。

カクノ如ク其ノ当時多クノ学者カラモ新聞者カラモ大變反対ヲ受ケタガ、同時ニ又非常ニ賛成シテクレタ同情者ガアツタ。随分反対ガアツクニモ拘ラズ子女ヲ托サレタ人ガ学者ノ中ニモ政治家ノ中ニモアツタ。夫レデアナタ方ハヨク母校ヲ観察シテ見ルト、我ガ大学ハ真面目ナ人が保護者、設立者deal。決シテオツキアヒデ入ラウナド、云フ人ハナイノdeal。時ノ総理大臣ノ伊藤公モ、文部大臣デ居ラテ西園寺候モ出来ルダケノカヲ添ヘテ下サツクノdeal。総理大臣等モ国家ニ大学ヲ立テナケレバナラヌト心カラ同情セラレテ、其ノ普及ヲ地方ニ迄シテクレラタ。其他大隈伯モ山縣公モ大阪辺ニ行ッテ学校ノ為メ奔走シテクレタシ、学校出来テ以後ノ総理大臣ハ皆賛成シテ居ラタ。

又実業家トシテ主ナル方ハ森村翁、渋澤翁dealガ、若シモ此ノ人等ガ世間デ云フヤウナ悪ルイ学校dealナラソナニカヲ添ヘテクレル筈ハナイ。森村翁ノ如キハシカモ発起者デ、初メニ500円モ寄付セラレ、此ノ豊明館モ翁ニヨリテ成サレ、其他ダングントカヲ加ヘテクダサルノdeal。渋澤男モ非常ニ興味ヲ以ッテ発展ノ為メニ心配シテ居ラレルノdeal。尚此ノ外ニモ種々アルガ、此両翁ハ一番力ヲ入レテ居ラレルノdeal。若シモコレガツマラヌモノdealナラ何デモソナニカヲ入レ、興味ヲ以ッテ下サル訳ハナイト思フ。實際学校ハ一方ニハ非常ニ敵ガアルガ、同時ニ他ニハ味方ガアリ、学校ヲ深く信ジテ居ル方モアル。何故カク悪ク言ハレタ学校ガ漸次進歩シテクルノデアラウカ。世間ノ人ハ此学校ハ華美ダトカ贅沢ダトカ或ハ随落スルカ言ウテ居ルトイフノニ、アナタ方が此校デ何ヲ得ヤウトスルノdealカ。何ノ為メニカク迫害ヲ受ケテモ来タノdealカ？ 私ハ今年ノアナタ方ハ種々ノ障害ニ堪ヘテ此ノ校ヲ選ンダノハ何モノカ感ズベキモノガアツテシタノデアラウト思フ。又アナタ方ニモヨク考ヘテ貰ハナケレバナラス。如何トナレバ其レガ第一ノ基礎デアリ根本dealカラdeal。コレデザツト学校ノ歴史ノヤウナモノヲ話シテ来マシタカラ、アナタ方モヨクワカツタラウト思フ。私等ハ先ヅ自分ノ学校カラ制度ヲカヘテ行カウトシテ居ル。私等ガ其何モノカヲ得ル為メニ、其目的ヲ果ス為メニ取ル方法ヲ考ヘル事ガ最モ大切deal。我々自身が生活ノ根本ヲカヘナケレバ実質ヲ得ル事ガ出来ヌ。此次ニハ其方法ニツイテ考ヘル事ニシヤウト思フ。

[中表紙]

大正五年五月十日

第二、第三学年ニテ

大正五年五月十日

第二、三学年ニテ

フリーメーソンリーノ入門ハ石工トナル事デ、石工ノ最初ニ

スル事ハFitnessデ、之レハ人ト適合スル事デアリマス。我々ノ人格ガ偉大ナルモノニナラウトスル渴望ガオコッテ来ナケレバナラス。故ニ私ハ先ヅ今年ノ学生ガ人格完成ト云フ事ニ努メ、宇内ト融合スル様ニナツテ欲シイ。先ヅ自分ノ度量ヲ大ニシテ、宇内ヲ呑ムト云フ程シテ欲シイ。昨日ハ自分ヲ忘レルト云フ事ヲ申シマシタガ、自分ヲ忘レルトハ自分ヲ大キクスル事デアル。此ノ大キナ活劇ヲ演スルニハ、少ナクモアナタ方ガ先輩ニ対シテ桜楓会員ハ千六百人ト云フ大キナ身体デアルト云フ事ヲ知ツテ、其ノ総テノ活劇ニ共鳴スル事ノ出来ル様ニナラネバナラス。

[人格ノ偉大]

後輩ニ対シテ先ヅ二年生ト三年生ト間ガ日一日ト密接シナケレバナリマセヌ。十四回生、十五回生、十六、十七、十八、十九、二十回生ノ時ニハ何処迄到達スベキカト云フ事ガアナタ方ノ前程ニアラネバナリマセン。独リ先輩トカ後輩トカ云フ事バカリデナク、アナタ方ノ人格ガ偉大ナルモノトナラネバ此ノ活劇ヲ演スル事ハ出来ナイノデアリマス。

[適當]

ソコデ此ノ活劇ヲ致シマスルニハ、其ノ役者ト言ヘバ其ノ全体ノ劇ヲ演ズルニ適當シナケレバナラス。役者ガ其ノ役ヲ勤メルニ適當シナケレバ其ノ劇ノ現レルト云フ事ハナイノデアリマス。

ソコデ私ハアナタ方ガArtist或ハFreemasonニナル、又ハGreat dramaヲ演スルニ、先ツテ大キナル回生ノ人格ヲ作ラネバナラヌト思フ。至醇ノ生活ト云フ事ニ就イテノ私ノ意見ハ別ニ申スツモリデアリマスガ、其ノ生活ノ要旨ト云フ事ハ此ニヨク書キ現シテアルト思ヒマス。

[信条]

猶我々ノ生活ノ指針トナル如キ格言、真ニ其ノ生活ヲ促ス格言デアリ、其ノ道ヲ明カニスル教訓ノ如キモノガアリマシラバ、アナタ方ノ為ニ尊イ暗示デアリ、又大切ナ方法デアルト考ヘマス。今日ハ時間モアリマセンカラ、今年アナタ方ノ生活ヲ律スル信条トモ言フベキモノヲ初メニオイテ示シタイト思ヒマス。之レ迄ハ卒業ノ時ニ神明ニ誓ヒマシタガ、今年ハ初メカラ之レヲ誓フ事ニ致シマスナラバ一層有効デアラウト思ヒマス。

之レハクリスト教信者デモ、神道ノ信者デモ、仏教徒デモ、儒教ノホーシン者デモアリマシテモ総テニ共通シテ居リ、総テガ憧憬シテ居ル所ノモノデアリマセウ。夫レカラ信条ト云フト固定シテ停滞シ易イノデアリマス。ケレ共之レヲ象徴トシテ進ムナラバ一層ヨイ。ヨイ事デアラウト考ヘルノデアリマス。

之レハGreat dramaヲ演ズルニ是非私共ガ持ツテ居ラネバナラヌ所ノ原理デアリマス。其ノ出処ハ此ノ書物ノ中ニアリマス。此ノ書物ハFreemasonノ信条デアリマス。此ノ信条ハクリスト教其ノ他ノ十誠ヨリモ多分古イモノデアラウ。之レニハ学者モ王侯貴族モ、町人モ百姓モ階級ノ區別ナク、宗派ノ違ヒナク、総テノ者ガ満足ニ共同スル事ノ出来タモノデアリマス。

(1) 宇内ノ総テノ力ハ之レ神ノ力ナリ。神ハ永遠ニシテ全能易ル事ナキ知恵、至上ノ睿智、且ツ無尽蔵ノ愛也。爾敬虔

ノ念ヲ以テ神ヲ道崇シ慕セヨ。德行ヲ以テ神ヲ崇敬セヨ。

(2) 善ヲ行フヲ以テ爾ノ宗教トセヨ。善ヲ行フハ単ニ義務タルガ故ナラス。爾ノ悦楽ナレバナリ。聖賢ノ友ヲランガ為ニ其ノ教訓ニ従フベシ。爾ノ靈魂ハ不滅ナリ。故ニ決シテ之レヲ墮落セシムル事勿レ。

(3) 爾断エズ悪ト戦フベシ。己レノ欲セザル所ヲ人ニ施ス事勿レ。爾ノ分ニ安ンジ睿智ノ光ヲ輝カスベシ。

(4) 両親ヲ敬ヒ、先輩ヲ尊ビ、後進ヲ導キ、幼者ヲ擁護スベシ。

(5) 爾ノ家族ヲ慈シミ爾ノ母国ヲ愛スベシ。国法ヲ遵奉スベシ。

(6) 爾ノ朋友ハ第二ノ爾ナリ。不運ノタメニ彼レヲ疎ンズル勿レ。

(7) 不真実ナル友誼ヲ結ブ事ヲ避ケヨ。万事ニ於テ過度ヲ慎シミ、爾ノ記憶ニ汚点ヲ留ムル事ナキヲ期セヨ。

(8) 情欲ヲシテ爾ヲ支配スル事ナカラシメヨ。他人ノ激情ヲ見テ己ガ風ヲ直スベシ。

(9) 噓クヲ多クシテ語ルヲ少クシ、行フヲ能クセヨ。爾人ヨリ受ケシ害ヲ忘レヨ。善ヲ以テ悪ニ酬イヨ。爾ノ權威ヲ猥リニ振フベカラズ。

(10) 爾努メテ自己ヲ知ランガタメニ人ヲ学ブベシ。互ニ徳ヲ追セヨ。正義ノ人タレ。爾無為ナル勿レ。

之レハヨソカラ貰ッタモノデハナクFreemasonryノ創メタモノデアルトアリマス。之レハ皆サンデヨク研究ナサツテ、大ニ得所ノアル様ニ致シタイト考ヘルノデアリマス。

[中表紙]

大正五年五月十五日  
第一学年及ビ予科

大正五年五月十五日  
第一学年及ビ予科ニテ

此前ニ問題ヲアゲテ、次ニ其ノ問題ヲ一層考ヘ研究シテ御覽ニナル様ニ、尚其ノ問題ヲ重ク見ルヤウニ申シテオイタ。其ノ考ヘガ纏ツテ居ルナラ聞キタイノデアル。今日ハ其問題ニ私ガ答ヘルヤウニ、ソシテ此学年ノ方針ヲ示スヤウニシヤウト思フ。此問題ハ一年ノミナラズ二年ニモ三年ニモ全体ニ亘ル重大ナル問題デアル。ソレニハニツアリ、一ツハ自分カラ自発自動シヤウトシテ、アナタノ中カラ湧キ出ルヤウニシテ深ク各々ノ心ノ傾キヲ尋ネタノデアル。

他ノ方面ノ問題ハ一ノ衝動ヲ刺激シテ中ノ傾キヲ働サウトスル処ノ外部ノ感化力ヲ意味スルノデアル。此外部ノ刺激ト内ノ傾キトハ別ニ見エルケレドモ之ハ一ツノモノデアル。一ツノ生命デアルノデ決シテ別々ニ離レテ働クモノデナイ。然ルニ之ガ真実ノ教育ノ真髓デアツテ、此ニツノ力ガ相働ク事ガ人格發展ノ最モ大切ナル働キデアル。夫レガ出来ナケレバ他ノ事ハ只粕ニナリ、形式ニナリ却ツテ其發展ノ妨害ニナル。今日一般ノ教育、宗教ハ外ヲ忘レ外ヲ了解セズ、自分ヲ

ワカラズ、自分ヲ導イテ来レル先輩ワワカラズ、非常ナ損害ヲ被ッテ居ル。故ニ之ヲ直サナケレバ我々ノ持ッテ居ル理想ヲ開発スル事ハ出来ナイノデアル。之レハ第一アナタ方銘々ノ中ニ其光ヲ見、アナタ方ノカソレ自身ガ限ヲ醒マサナケレバ駄目デアル。自分ガ限ガ醒メ自分ガ生キテ発展スルト云フ事ハ、自分ガ生キルニ就イテ欠クベカラザル境遇ガ必要デアル。身体ニスレバ我々が生キルニ空気が入り、魚ハ其ノ水ガナケレバナラヌ。之ガナケレバ生キル事ハ出来ヌ。夫レノミナラズ光ト熱トヲ始終取ラナケレバ生キテ行カレヌ。其他無数ノカヲ受ケテ共通シ、始終其ノカト反応シテ居ナケレバ其ノ生ヲ保ッテハ行カレヌ。之ト同ジク我々ノ人格モ日夜ニ呼吸スル空気アリ。日夜ニ温マリヲ感ズル光ガアル。之レヲ境遇ト云フ。此ノ境遇ト力カラ離レテハ到底ダメデ、若シ離ルレバ丁度水カラハナレタ魚ノ如ク、如何ニ我々ノ意志ガ強クモ此ノ空気がナクテハ駄目デアル。此ノ呼吸シテ居ル空気が腐敗シテ炭酸瓦斯ノ多イ時ハ汚レテ居ルト云フ。

之レヲ呼吸スレバ身体ヲ損ジル。若シ自動的、自発的ニ活動シヤウト思フナラ境遇ガ大切デ、此ノ校風ヲ養ヒ充実スルガ急務デアル。此ノ空気が健全ニ充実スル事ガ誠ニ大切デアル。夫レデ今年ハ自発的ノ働キニ最モ自由ヲ与ヘタイト思フ。尤モ健全ナ空気を作ラネバナラナイ。此ノ空気ハ全世界ニ亘ッテ組立テラレテ居ル大精神、大生命デアツテ、之レハ我々ヲ教育スルニ欠クベカラザルモノデアル。

此ノ方針ヲ別々ニ説明シテ、段々ト今後ノ発展ニヨッテ大キナ空気を作ル為メニ全校ヲ大キナ空気ニ融合スルト云フ事ガ急務デアル。故ニ当分大学部全体ガ一緒ニナツテ、次ノ水曜日カラモーツ向上シタ生活ヲ送ル事ニシタ。其処デアナタ方ノ此時間ハ水曜日ノ午後ノ学科ヲ学ブ事ニナル。

三年ト一ツニナツテ同ジ流レノ中ニ泳グ事ハ幾分アナタニ不適當デアラウト思フガ、併シヤリ方ニヨッテハ総テニ交通シテ生活シテ行カレン事ハナイ。私ガ今ヤツテ居ル仕方ニ対シテハ一緒ニシテ行カレルト思フ。ムツカシイ時ハ指導者ニ手伝ッテ貰ッテ段々ワカッテ行クヤウニシヤウ。

時ニヨッテ一番進ンダ処ヘ入ッテ一緒ニ学ンデ行クノハ後進者ニハ利益デアル。実ハ個人ニ適切ニスル為メニ上ノ組ト相談シテ皆ニ適切ニシヤウト思ッテ居タガ、三年ト一緒ニナツテ聞イタ方ガ早く真髓ガワカリ易イト思フ。モーツ望ミヲ持ッテ居ルノハ、今年ノ一年ト予科トハ元氣デアリ無邪氣デアルガ直観的デアル。外部ナラズ内部ノ働キニヨリ時代ノ精神ニ触レテ共鳴シ、無声ノ声ヲ聞キ内観ノ能力ガ働イテ居ルヤウニ見エル。之レガ最モ大切デ真ノ生活ヲ知ル。又自分ガ實際ニ生キテ根本的生活ヲスルニ大切ナ能力デ、此真情ガ働キ真ノ生活ヲ経験スルト云フ事ガ必要デアツテ、只空ナ事ヲ思ッたり中間ノ知識ヲ記憶スルト云フ事ハ少シモ後ニ役立タヌノミナラズ、其ノ頭ヲ痛メ身体ヲ損フノデアル。其ノ弊ニ陥ラナイヤウニシタイト云フ事ガ見エル。此処デアナタ方ガ大キイ世界ニ出テ其精神ニスグ様感ジテ、直グ直観シテ見ル事ガ出来、又イロイロノ要求ヲ持ッテ居ルデアラフト思フ故ニ全体ノ中ニ投ゲ入レテ感ゼサセヤウト思フノデアル。此処ガ人間ガ大ニナルカ小ニナルカノ別レ目デアル。コレハ

歴史ニヨッテ見レバ明カデアル。

大キナ世界ニ働イテ居ル大キナ傾向、世界的精神ヲ観ル。直観アル国民ハ榮エ、夫レノナイ青盲、之レヲ感ジナイ国民ハ亡ビ、人ノ奴隷トナルノデアル。此ノ大学ニ入り夫レト触レ且ツ共鳴スル事ガ必要デアル。今年ノアナタ方、即チ十六回、十七回生ヲ組ミ立テタアナタ方ニ其ノ中ノ光ハ輝カントシテ居ル事デアル。自分ノ中ニ夫レ丈ノ経験ガアレバ私ノ言フ事ガ了解ガ出来ル。之レガアナタ方ノ為メ有効デアリ、全体ノ風ヲ作ルニ欠クベカラザル事デアルト思ヒ、其必要ヲ満タス迄此ノ方法ヲ続ケヤウト思フ。夫レニ就イテノ内容ト委シイ方針トハ水曜日カラ三年ト一緒ニ申シマセウ。

此処ニ発表サレタ計画ニツイテ疑問モアリ不審モアルデセウガ段々ワカルト思フ。之レニハアナタ方ニ説明スル事ガ沢山アルデセウガ、今説明シヤウトスル時間モナイガ、併シアナタ方ニハ夫レヲ直観スル事ガ出来ルト思フ。今其最モ大切ナ考ヘル処ヲ言フト、アナタ方ノ入学式ニ、宣誓式ニ、信念涵養、信念思考ト云フコトヲ申シ、Freemasonryノ事ヲ申シタ。一ツアナタ方ノワカラナイノハCardニ英語ヲ使フヤウニ言ヒマシタガ、ソレヲ使フ方法ノ意味、価値等モ問題ニナル事デアラフ。信念涵養モ同ジ事デアリ、コレハ三年間ヤツテ卒業ノ頃ニ漸クワカル事デアツテ、此ノ深イ真髓ニ達スルカヲ得ナケレバワカラナイ。人間ノ真髓ニ達シ交通スルト云フ事ノ方法ト致シタノガ夫レデアル。信念涵養ト云フ事ニ就イテ私ガ小冊子ヲ作ッテアル。之レハアナタ方ニ有益デアルト思フ。アナタ方ノ中ニハ宗教ヲ信ズル人ガアル。仏教、クリスト教、神道、儒教等種々ニ別レテ居ルケレドモ、ソレハ形式ガ別レテ居ルノデ、生命自身、信仰自身ト云フモノハ其性質ト云フモノハ決シテ違ッタモノデナイ。我々宇内ノ大生命ヲ呼吸シテ居ルモノデアル。

〔信念〕

信念ハ大生命ノ共通ノ真髓デアル。宗派トカ形式トカヲ超越シテ、我々ノ人格ノ根底トナツテ動イテ居ル生命、理想、感情ヲ指シテ信念ト言フノデアル。此学校デハドウ云フ宗教ハイケナイト禁ジテナイ。又宗教ハ宗派的デナイ。自由デアアル。ドウ云フ形式ヲ選ンデモ其ノ各々ノ向上ノ発口、各々ノ心ノ満足ヲ要求スル為メノモノデアル。夫レハ即チ此ノ学デ言フ信念デアル。ソレ故ドウ云フ宗教ニヨリ、如何ナル形式ニヨリテモ互ニ相排斥スルト云フ事ハナイ。互ニ同情シ助ケ合ッテ行カントシテ居ルノデアル。即チ自由デアアル。真ノ信念ガ妨ゲラレテ居ルガ、今日ノ通弊デアル真ノ人格ノ完成ヲ期スル事ガ此ノ学校ノ方針デアル。信念涵養ハ何処ノ学校モ家庭デモ同ジデアル。

Freemasonryト云フノハ其ノ感情ヲ実現スル方法デアル。此ノFreemasonryト云フ事ハ象徴主義デアル。象徴ヲ以ッテ儀式バラナイ、束縛シナイト云フ事カラ此ノ字ヲトク訳デアアル。モーツ適スルノハ人種的ノ偏見ヲ脱シテ居ル事デアル。多クノ宗教ハ其ノ国其ノ国ニ適スルヤウニナツテ居ルガ、此ノFreemasonryト云フノハ夫レト違フ。之レハ何万年モ昔ニアッタノデ、クリスト教ヤ儒教、又日本ノ神道ニモ似タ字ガ沢山用ヒラレテ居ル。夫レデ之レハ何処ノ人種デモ偏見的デ

ナイ。夫レニモ一ツハ固定シナイト云フ事デ、即チ時代ト共ニ流レテ行ク最モ新シク且ツ最モ旧イモノデアッテ、尚之レガ識者ノ間ニ行ハレテ居ル。欧米ニハ多クノ大学デコレガ行ハレテ居ルガ、我が国ニハナイ。ソシテ之レハ秘密デ、他ノ宗教ノヤウニ伝道シナイカラ知ラナイ人多イ。之レハ実ニ信用ノ厚イモノデアル。我が国人ハ変リ易イTrustシニクイト云フノデ、日本人ハ余リ此ニ加ッテ居ナイ。宗教ハ肉眼ヲ以ッテ見エズ、唯ダ靈眼ヲ以テノミ見ル事ヲ得ル神秘的ナモノデアルカラ、コノFreemasonryト云フ字ヲ取ツタノデアル。之レハ中々深イモノデアルカラ一寸アナタ方ニハワカラヌカモ知レナイガ、ヨク研究セラレン事ヲ希望スル。

Notion bookハ其ノ意ヲ表ス為メニ言葉デハ固定スルカラ象徴デ表サウトシタノデアル。之レヲ悟ル為メニエマーソソヲ研究シ、メーテルリンクヲ研究スル事ヲ奨励スル。又アナタ方ニNotion studyヲ奨励スル。詩人ガ自然ニヨッテ真ノ真相ガ見エ、宗教家ガ頭に画カレルVisionニヨリテ其ノ天地ノ偉大ナル感じ、傾キ、美トカ愛トカ知ル事ガ出来タノハスベテ象徴ニヨッテデアル。我々ノ五官ニ触レル現象ハ象徴デアル。宇宙ノ我々ニ言フハ書物デアル。之レガ我々ニ対スル宇宙ノ象徴デ、即チ之レヲ通シテ真トカ美トカ愛トカニ徹底スルノデアル。我レ我レノ形ト色トニ由ッテ其ノ心ガ読メル。大概アナタ方ノ心ハ顔ニヨッテ知ル事ガ出来ル。動作等ガ総テアナタ方ノ心ヲ表スノデアッテ、言葉ダケガ我々ノ心ヲ語ッテ居ルモノデナイ。思想感情ヲ見、其ノ中ニ入ルモノハ字ヤ言葉デハナイ。他ニ幾ラモ象徴ガアル。我々ニ大切ナノハ夫レニ捕ハレズシテ其ノ真ニ入ル事デアル。ヨク自分ノ心ヲ覆フト思ッテ言葉ヲ飾ル事ヲスルガ、言葉ハ決シテ其ノ心ヲ覆ヘルモノデナイ。形式ニ捕ハレ文字ニ捕レナイヤウニ、其ノ字ヲ通シテ真相ニ達スルヤウニシヤウト云フノデアル。

#### [Noteノ取り方]

Noteニ取ルノハ聞ク事デアル。知識ヲ消化シ同化スル事デアル。ソシテ其ノNoteヲ取ルニ就イテ大切ナ事ハヨク聞ク事デ、其ノ要点ヲ取ル事デアル。第二ノ取り方ハ写実的ニ取ル事、聞イタ事ヲ悉ク取り、学ンダ事ヲ全部覚エルト云フ事デアルガ、之レハドウカト云フニ、如何ニ能力アル人デモ宇宙ノモノヲ悉ク取ッテ消化スルト云フ事ハ不可能デアル。何故カト云フ、アナタ方ガ十四課目モ学科ガアリ、其ノ中ノ一課目サヘ随分複雑ニナッテ居ルガ、其ノ複雑ナルモノヲ悉ク同化スルト云フ事ハ人格ヲ統一シテ終フ事デアルガ、到底出来ナイ事デアルカラ事実ヲ覚エテ行クバカリデ人格ガ発展シナイ事ニナル。

消化ト云フ字ハ食物カラ来テ居ル。日本ノ食物ハ単純デアルガ、西洋ノハ獣食ガ複雑デアル。之レヲ何モカマハズ唯食ベテばかり居タラ其ノ身ニ消化スル事ガ出来ナイデ、遂ニ病氣ニナルト云フ訳デアル。夫レト同ジク宇宙ハ千差万別、実ニ複雑極マルモノデアル。然ルニアラユルモノヲ皆食ベサセルノガ今日ノ学問デアル。消化ノ出来ヌモノヲ無理ニ食ベサセルカラ身体ヲ損フノデアル。ソレ故ニNoteモ消化スルヤウニトラナケレバナラス。今日ノ我が国ノ教育制度ハ余リ

複雑過ギルノデ学生ハ物ヲ考ヘル時間ガナイ。今日ノ文明ガ進ムニ従ッテ生活ガ複雑ニナル。之レヲ単純ニシ、調和、同化スルヤウニ成ラナケレバナラス。Noteヲ取ルニ大切ナ事モ夫レデアル。統一アル同化ヲナシ得ルヤウナモノニナラナケレバナラス。講義ヲ聞キ、本ヲ読ミ、天地ノ理法ヲ見テNoteヲ取り、統一シ、調和スルコトガ大切デアル。Noteヲ上手ニ取ル事ガ出来ナケレバ本當ナモノデナイ。学生生活ハ出来ナイ。

其処デNoteヲ取ル事ニ重キヲ置クノハ能力ヲツケ、集注シ得ラレル為メニNoteヲ取ラセルノデアル。即チ要点ハ集注主義ニ取ル事デアル。此ノ集注主義ノ精神ニ従ッテ全体ガ足並ミヲ揃ヘテ組織ノ生活ヲ機敏ニスル為メ、各組ニ旗ヲ作ル積リデアル。其ノ旗ハ各学部及ビ各組ニヨッテ其色ヲ定メル事ニスル。ソレハ色ト云フモノハヨク感情ヲ現スモノデアル。例ヘバ空色ハ高イ天ニ属スル感ヲ抱カセ、即チ宗教心ヲ起サセ、赤ハPureヲ意味スル。此ノ意味アル色ヲ持タセテ旗ニ従ッテ心ヲ調和スル為メニ此ノ旗ガ必要ノデ、即チ之レニヨッテ組ノ気分ヲ現スノデアル。

[中表紙]

大正五年五月十七日

大学部全体

大正五年五月十七日

大学部全体ノ為ニ

#### [実現]

我々人間ハ現状ニ満足ヲ致ス事ガ出来ナイ。常ニ生ヤウトシテ居ルト云フノハ理想ニ生キヤウトシテ居ル。理想ヲ追ヒ求メ、理想ニ何時モアコガレテ居ルモノデアル。之レガ人間ノ向上発展スル所以デアルト云フ事ハ誰レモ承知シテ居リマス。併シ何時モ現状ニ満足シナイデ始終理想追フテ、将来ニ始終目的ヲ追フテ居ルノデハ満足シナイ。一方ニハ只今ノ生活ニ其ノ理想ヲ実現シナケレバ満足ハ出来ナイ。夫レデ今ノ生活ニ時々刻々實現シナケレバナラナイ。其ノ理想ヲ現実ニ生カシメ満足ナル喜バシイ幸福ナ生活ヲ實現スル実ヲ芸術ト云フ。

#### [芸術]

此ノGreat artヲ實現シタイト云フ事ヲ長イ間抱イテ居タ。今年ハ此ノ計画ヲ実行シテ見ヤウト云フノデアル。ソノ計画ノ意味ヲ現ハス言葉ニ至醇ノ生活ト云フ事ニ付シタノデアル。此ノ意味ハ個人ト団体、又精神ト肉体、宇宙ト其ノ実体、宇宙ト我々人間。其ノ間ニ最モ広イ、最モ高調シタ、又其ノ間ガ融合、調和シタ偉大ナ生活ヲ営マウト云フ目的デアル。ソレハ無数ノ要求ガ全体ニ亘リタ大発表トゲテ、即チ非常ナル複雑ナル生活ガ最モ完備ナル、帰一シタ、美ナルウルワシイ生活ヲ意味スルノデアル。様々ナル元素ガ化合シテ新ラシイ品質ヲ生ズ。ソレハ醇ト云フ字ガ米麦又発酵ノ種ガ加ハリ、ソレガヨク熟シテ味ノヨイ酒トナル。即チソノ



最も熟シタ酒ヲ酔ト言フノデアリマス。

[酔]

ソコデ最もモウルハシイ人格ガ集マッテ出来タモノヲ酔ト申シマス。故ニ此ノ酔ト云フ中ニハ純潔ト云フ事モアリ、美ト云フ事モアリ、又おいしいト云フ事モアリ、其ノ中ニ出来タ空気カラ申シマスルト愛ト云フコトモ含マレテ居リマス。此ニ於テ至酔ノ生活ト言ヘバ最も完美シタ生活ト云フ事デ、夫レニ違スルニハArtヲ要スルノデGreat drama of spiritual lifeト言フ事モ出来マスデセウ。ソレデWholenessトカHealthトカ云フ意味モアル。ソコデ至酔ノ生活トカ、生活ノ大技術トカ云フ中ニハ科学デ言フトコロノ一、総合トカ云フ様ナ意味モアリマス。故ニ此ノ域ニ達スルノニハ先ヅ第一ニ銘々ノ人格完成ヲシナケレバナラス。我々ノ人格真髓ニ変化ヲ起スノデアリマス。之レ迄ノ教育ノ様ニイロイロノ物ヲ注ギ込ムノデハナイ。銘々ノ根本カラ始メルノデアル。

自我發展ヲスルノニハ知的要素モアルケレ共、之レ迄ノ教育ニハ只物ヲ覚エル、知ルト云フ事デアルト考ヘテ居ッタノハ間違ヒデアリマシタ。此ノ力ノ本ヲ潤ラシテ折角生レカケタ生命ヲ殺シテ了ッテ發展ノ出来ル筈ハナイ。

[要素ノ統一]

我ガ人格ノ根本ハ熱デアリ情デアリ意志デアル。故ニ情意ハ我々ノ国家ノ王デアリ、知識ハ其ノ国王ノ下ニアル内閣ニスギナインデアリマス。其ノ情意ノ教育ヲ意ッテ人格ヲ育テヤウトスルノハ甚シキ誤リデアル。故ニ其ノ総テノ要素ガヨク統一シテ働ク様ニシナケレバホントノ生活ノ味ヒハ知ル事ガ出来ヌ。ソコデホントノ生活ノ出来ル様ニ人格ノ根本カラ改良シヤウト言フノデアル。

[生活ノモノガ目的]

幸福ヲ追及スル事ガ人生ノ目的デハナク、生活其ノモノガ目的デアル。勇氣ハ時シテモット熱烈ナモノハタメニ幸福ヲモ捨テル事ガアル。美術ハ、大美術ハ其ノ芸術ノタメニシタタメニ生ジタモノハーツモナイ。彼レ等ハ常ニ世俗ニ向ッテ奮闘シテ居ル。時ニハ迫害ヲ蒙リ赤貧洗フガ如キ者モアル。大美術家ハ天地ノ神ノ意志ヲナス処ノ聖徒デアルト云フ事ヲ信ジテ居ル。大美術家ノ目的ハ宇内ノ目的ト同一デアリ、宇内ノ意志ハ我ガ意志デアル。此ニ実現ヲ努ムルノデアル。然ルニ今日ノ所謂美術家ハ名ヲ求め、利ヲ得ン事ニ汲々トシテ居ル。斯クノ如キハ小人デアッテ決シテ美術家ト言フ事ハ出来ナイ。

ヴィクトル・ユーゴーハThe greatest artist

最も大ナル美術家ハ有限ヲ突き破ッテ無限ニ進ムモノデアアル。故ニ無限ノ価値ヲモッテ居ル。最も大ナル美術家ハ如何ナル理想郷ヲ描イテ居ルデアラウカ。天国ハ宇内ノ本体デアル。之レヲ体現シタ大家ノ住フ処ガ即チ天国デアル。地獄トハ何デアルカ。榮譽、義務、道德、其ノ他ノ七徳ヲ持ッテ居ル人ノ住所デアル。

[美術ノ真髓ハ人格]

ソコデ最大美術家ハ最大人格デアリ、偉人デアル。又最大美術ノ真髓ハ何デアルカト言フト人格デアル。ソコデ美術ノ奥ニハ必ず美術家ト云フ人格ガアリ、其ノ人格ノ奥ニハ必

ズ時代ノ精神ガアリ、時代ノ精神ノ奥ニハ必ず種族ガアリ、其ノ又奥ニハ宇内ト云フ大霊ガアル事ヲ忘レテハナラヌ。

[天才]

ソコデ今我々ガGreat artヲ体現シ、Great dramaヲ演ジヤウト言フニハドーシテモGreat artistヲ要スルノデアアル。ソコデ自分ノ人格ヲ完成スル事ガGreat artデアアル。此ニ於テ必ず問題トナルノハ、我々ハ果シテ天才デアルカ否カト云フ事デアアル。我々ハハセークスピアノ如キ、或ハラファエルノ如キ大天才ナリヤト云フコトガ問題デアリマス。私ハ之レニ答ヘテ我々ハ天才ナリ。我々ハ無限ニ發展シ得ル処ノ不思議ナル傾向、適性ヲ持ッテ居ル者デアル。生レナガラニサウ云フ本質ヲ備ヘテ居ルモノデ、之レガ人間ノ人間タル所以デアアル。之レガドーシテモ現実ニ満足シ能ハナイ所以デアアル。之レガ我々ノ内ニアル遺伝ノ二来テ居ル処ノ大藝術家タラントスル傾キデアリマス。天才トナラントスル処ノ通有性ガ皆ニアル。之レガ教育ヲ要スル所以デアアル。ソコデ私ハ先ヅ此ノ計画ヲ企テル前ニ、アナタガハ果シテ斯ク如キ潜在能力ヲ貯ヘテ居ルカト云フ事ヲ申サンケレバナラス。

[生キル自由ヲ与ヘル]

先ヅ第一ノ企テ其ノ天才ニ光ヲ与ヘ、其ノ能力ニ一大刺激ヲ加ヘテ自發シ得ル様ニ此ニ其ノ刺激ヲ与ヘル。之レハ銘々ニ備ハッテ居ル処ノ本能デアリマス。其ノ本能ガ今圧迫セラレテ居ルカラ其ノ圧迫ヲ取り去ッテ解放シヤウト云フノデアアル。其ノ解放ト云フハ生キルト云フ事デアアル。自由ヲ得テ始メテ生キル事ガ出来、生キテ始メテ自分ノ力ヲ知り、自分ノ価値ヲ認メル事ガ出来ルノデアリマス。飢エタル者ニ食ヲ与ヘ、渴キタル者ニ水ヲ飲マセルノデアアル。此ニ於テ嬉シイ、幸デアル、喜バシイト云フ感じガ起ッテ来ルノデアリマス。ソコデドーシテモ境遇ト云フモノ、即チ精神ノ空気ト命ノ水トヲ用意スルト共ニ、一方ニハ内カラ活動スル、内カラ生キヤウトスル自發的ニ起ル処ノ感情能力ニ自由ヲ与ヘル事ガ必要デアアル。ソコデ先ヅ第一ニアナタガニハ如何ナル芸術ノ資質ヲ備ヘテ居ラルカト云フ事ヲ解剖スル事ガアナタガノ自覚ヲ得ルニ必要デアラウト考ヘマス。我々オ互ガ皆共有シテ居ル処ノ第一要素ハCommunicate instinctデアアル。Communicateトハ人格ト人格又神ト人ト交通シヤウトスル能力デ、之レハ人間ニオミ与ヘラレアルモノデ、即チ言語デアリマス。言語ニヨッテ思想、感情、経験ヲ交換スル事ガ出来、之レニ由ッテ互ニ了解スル事ガ出来マス。其ノ言語ノ天才ヲ持ッテ居ル処ノ我々ハ、此ノArtistニナル尤モ大事ナ要素ヲ備ヘテ居ルノデアリマス。

A good listener is a good speaker. A good speaker is a good listener.

デ、ヨク人ニ聞クト云フ事ト人ニ話ス事ノ出来ルト云フ事ハ総テノ学問ノ根本デアリ、向上發展ノ根本デアリマス。ヨク聞ク人ヨリ話ス人ノ特徴ハ何デアルカト言フト、胸襟ヲ開ク事デアアル。何ノ隔意モナク、何ノ感情モナク心ノ戸ヲ開イテ話ス人デアアル。之レハ実ニ観察力ノ鋭イ人デアリ、ヨク進歩スル人デアアル。尤モ自然ニ、尤モ愉快ニ心カラ天真爛漫ニ自分ヲ表ス人デアリマス。其ノ力ノ尤モヨク現レルモノハ対話デアリ

マス。此ノ自発的ニ胸襟ヲ開イテ天真爛漫ニオ話ヲスルト云フ事ハ此ノ天才ヲ養フニ欠グ可カラザル事デアリマス。モーター大切ナ事ハ此ノ天才ヲCheckシテ、妙ナ顔ヲシタリ冷笑シタリスルノハ極メテイケナイ。トモカクモ人間ハ人ト交通シ、万有ト交通シ、天地ト交ハリ、目ニ見エヌモノト交通シテ偉大ナル感化ヲ受ケタイト云フ本能ガアル。之レハ人間ガ進歩スル上ニ尤モ大切ナル要素デアリマス。第二ノ天才ハ之レヲDramatic instinct演劇ノ本能ト言ヒマス。人間ハ互ニ思想ヲ交換シ、感情経験ヲ交換スルダケデハ満足シナイ。自分ガ其ノ人ニナツテ了ッテ、自分ガ其ノ人ノ生活ヲ実行スル事が出来ルヤウニナツテ初メテ満足スル事が出来ル。之レガ人格ト人格トノ融合デアリ、此ニ友情ガ起リ、犠牲ノ精神ヲ生ズルノデアリマス。人間ハ自我發展ト云フ事が目的デアル。段々ト自分以外ノモノニ入ッテ共同スル。之レガ出来ルヤウニナラネバドーシテモ大キナ人格ニハナレナイノデアリマス。此ノ力ノ真髓ハーツハ同情デアリ、一ツハ想像デアリマス。之レヲモーターツ向上シテ精神的想像ト言ヒマス。之レニ由ッテ我々ガ人ノ精神ノ内ニ入り、天地ニ融合シ、此ノ翼ヲシテ宇内ヲ逍遙スル事が出来ル。ホントニ一字内ノ神秘ニ入ルニハ之レヨリ外ニカハナイノデアリマス。之レガホントニ小我ヲ忘レテ宇内ト融合シテ了フ境界ニ入ルノデアル。又之レヲ神ノ意識ニナルトモ言フ。此ノDramatic exerciseニ由ッテ無限ノ力ヲ味ハフ事が出来ルノデ、之レガ演劇ノ起リデアリマス。此ノ演劇ノ本能ト云フモノハ我々総テノ人間ニアルノデアルガ、殊ニ子ドモニ盛ンデアリマス。併シ人間ハヤハリ神ノ子デアッテ此ノ要求ヲ本能的ニ持ッテ居ルノデアリマス。歴史カラ言ッテモ人格ノ向上トカ、趣味ノ養成トカ云フ様ナ事ハドーシテモ此ノ方法ニヨラネバナリマセン。夫レデ皆サンデ此ノ事ヲ味フテ戴キタイノデアル。

健全ナル空気ノアル時ニハ此ニ健全ナル人格ガ存在シテ居ルト云フ事が出来マス。昔ノ人ハ言ッタ事ニ愛ハ誤ラザル光デアル。サウシテ喜ビハ自称ノ保証ナリト云フ詞ガアリマス。之レハ私ノ拵ヘタ詞デアリマスカ。

自分ノ理想ト自分ノ目的ニ自分ノ身ヲ捧ゲルト云フ事ハ、自分ノ働キニ十分ナル価値ヲ与ヘルモノデアル。天才トカ偉人トカ云フモノハ自分ヲ忘レテスルモノデ、自分ヲ忘レ得ナイモノハ小人デアリマス。故ニ皆愛ト、喜ビト、犠牲ノ精神トヲ以テオ互ニ此ノ天才ヲ育テル様ニアリタイト考ヘマス。或ル人ノ詞ニ

Life's real interest is artificial. The access to life is our emotion.

ソコデアナタ方ガ学問ヲスル時ニ一番大事ナモノハLiving、夫レカラArt scienceデアル。生活ヲ完全ニスルタメニ技術ガ大切デアル。其ノ関係ヲヨク知ラナイト誤リヲ生ズルノデアリマス。ソコデ私ハ先ヅ初メニArt livingトノ関係ヲ申シテオク必要ガアルト思ヒマス。之ニツイテバーナードト云フ近代ノ大家ガ言ッタ詞ニ、

[Art and Life]

Bernard Shaw Happiness is not the object of life, life has no object, it is an end in itself. Courage consists in

readiness to sacrifice for happiness. "Art is for art's sake" means in practice success for money. Great art is never produced for art's sake. Great artists are who struggle with sublime, because they believe they are apostles who do the will of the great soul. The identification of the artists' purpose is the purpose of Universe. Victor Hugo The greatest artist broke out through the finite into infinite and his works therefore has eternal value. B.S. Heaven is the home of masters of seeking the hell in the home of honor, duty, moral instinct, seven deadly virtues.

[中表紙]

大正五年五月二十四日

大学部全体ニテ

大正五年五月二十四日

大学全体ニテ

[カノ根元]

第一 交通的

第二 同情

第三 美術的本能

今日ハArtノ中ノ美術、殊ニ絵画ニ付イテ申シ上ゲマス。絵画ハ形ト線トヲ結合シ、又色ヲ配合スル事デアル。美術トハ絵画、彫刻等デアル。美術的本能ト云フ事ハ遺伝カラモ来ルシ、又人類ノ生活ノ遺伝ヨリ来ク大體ヲ申シタ。之レガ人生ノ成長、發展スルソノ土台デアル。即チカノ根元デアル。之レヲ本能ト言フ。又ハ感情、欲望、意志ト云フ言葉ニ言ヒ現ハサレテ居ル。本能ガ美術的トスル処ハ何処デアルカ説明ヲ要スルノデアル。

[美術ノ目的ハ美、形、色]

ソノ美術ノ目的ハ美デアル。至醇ノ生活ヲスルニハ美ニヨラナケレバナラヌ。ソノ美術ハ如何ナルArtカラ出来ルカト云フニ、一ツニハ形、一ツハ色デアル。色ノ配合ハ形ノ均等ニヨリテ完成ナ美トナル。

美術ト云フ事ヲ説明スレバ、美ハ宇宙万有ノ目ニ映ズル美ヲ指シテ美術ト言フ。此レハ見エル美ニ目ニ見エヌ本質ガアル。目ニ見エヌ美ハ目ニ見エル美ニヨリテ現ハシテ居ル象徴デアル。

[我人モ美ノ創造力ヲ有ス]

即チ概念ニ現ハレル美デ、人間ハ美ヲ好ミ醜ヲニクム。ソコデ只天然ガ現ハス美形、美色ヲ見ル事ヲ以テ満足セズ、人間ガ美ヲコシラヘテ喜ブモノデアル。又ソレヲ要求スルモノデアル。ソレハ生活ノ美ヲ改善シタイ動機ヨリ起リタモノデアル。美ヲ想像スルコトヲ生レナガラニ有シテ居ル。然シ私ハ絵ヲ書ク事ガ嫌ヒデアルト言フガ、自分ノ風采デモ美ニカナワヌ時ハ外部カラデモ之レヲ飾リタテタリスル。即チ之レガスデニ絵ヲ書イテ居ル事デアル。彼様ニシテ日常生活ニ於

テ美術の生活カラノガレト云フ事ハ出来ナイノdeal。

[關係ノ充實]

今日ノ生活ハアマリ知的ニナリテ趣味ノ欠ゲタ生活ニナリテ居ル。ヨク調和サレテ完美シテコナケレバナラヌ。我々ハ今年此ノ生活ヲ望ンデ居ルノdeal。

先ヅコニ生活ヲ完美スルニ宗教、道德、美術ニ於テ關係ヲ完美スル事ガ必要deal。其ノ關係ハ人間ト宗教即普遍deal。完全ニ對スル態度deal。道德ハ之レヲ實現スルニ必要ナル原因、法則ニ從フノdeal。

[調和]

美術ハ道德的、宗教的の象徴ヲ現ハス。今日マデノ宗教ガアマリ人ノ感情ヲハナレテ居ルト云フ事ガ近代ノ欠陥deal。又道德ハアマリセマキ道德形式ニ固定シテシマヒ、又一方ニ遍長シテシマツ。之レヲ調和セン為メニ美術の運動ガ盛ンニナリテ来タノdeal。ツマリ美術ハ道德、宗教又ハ道德ト科学トノ調和ナルベキ媒介者トナツタノdeal。之レガ即チ美術deal。之レヲ簡單ニ言ヘバ身体、精神ノ融合統一ナノデ、精神的の發表表現、之レガ即チ美術デ、我々ノ生命ノ必要及ビ生活ノ要求ニ刺激ヲ与ヘル、又生キトスル処ノ美ノ熱望スルカヲ刺激スルタメdeal。又欲望ヲ表現スルタメdeal。美術ハ生活ノ象徴deal。凡テノ生活ニ於テ調和スル。又道ヲ開ク処ノ象徴deal。ソコデ昔カラ形ト色、即チ美術ハ宗教、道德ノ象徴ニ用ヒラレテ居ル。色ノ根底ニハ感情ガアル。思想ヲ現ハスモノハ形deal。宇大ハ皆眼ニ見エヌモノナリテ現ハレテ居ル。思想ノQualityハ色ヲ現ハス。思想ノ品質ハ形態ヲ現ハス。思想ノ確定ハ輪郭ヨリ起ル。

[白、赤、水色、空色]

美術ハ性格ヲ至醇ニスル刺激デアリ欲求ノ發現deal。ソコデ色ト形ハ我々ノ理想意志ヲ表現ス。

白ハ凡テガ調和サレテ至醇ニ至ル事ヲ示シテ居ル。赤ハ至醇ナル愛ヲ現ハシテ居ル。水色ハ犠牲ノ性格ヲ現ハス最高ノ理想ニ自己ヲ捧グ。空色、天ノ色、至醇ノ精神的生活ノ現ハレタモノ。今日ハ之レヲ儀式シテ各部ニ渡シ、此ノ旗ノ本ニ集マリ、動キ、調和統一スルノdeal。昔カラ旗ト云フハ大事ナモノナリテ居ル。乃木大将ハ旗ヲウバハレタ。ソレガ動機トナリテ自殺サレタ。即チ犠牲トナラレタノdeal。此ノ旗ノ元ニハ君ニ不從順ナルモノハナイト云フ様ニ、嚴肅ナル意味ニ於テナスト云フ事ニシタイノdeal。

[詩の本能]

#### 第四 詩の本能

之レハ人間ノ最モ元始時代ニ現ハレタ。又人間ニ向上シ始メタArtdeal。人間ノ児童ニ現ハルハ最モ初メノモノdeal。之レハ文学的天才トモ言フ。ソノ要素ニ色ト形ノアル様ニDancing、Singing、之レハ人間ノ感情ガ高調ニ達シタ最モ嬉シイ、最上ノ感情ノ際ニ現ハルモノdeal。身体ガ音律の二起リタモノdeal。此ノ音律の發表、音楽ノ調和ハ人格完成ニ必要ナル調和、団体のニ現ハレタモノガ音楽deal。

[音楽]

其ノ様ニ耳ニキコヘル音楽ハ目ニ見エル調和、人格ノ融合ニヨリテ出来ル安寧幸福ノ得ラルハ大盤deal。自分ヲ室内的ノ中カラ解放サレテ無限ニ自我拡大ヲナシ、無限ニ發展スルモノdeal。

[調和]

音楽ハ生活ヲ調和統一スル、或ハ社会ヲ解放スル調和高調ヲサシテ實現サス処ノモノdeal。音楽ハ宇大ノ心deal。又音楽ハ宇大ノ音律deal。生活ニ欠クベカラザル音律deal。即無声ノ声、目ニ見エヌ心、真情ノ象徴deal。殊ニ心ノ真髓deal。感情ノ融合、之レガ音楽deal。之レガ即チ文学deal。文学ハ音楽ヨリ起リテ発達シタモノdeal。人間ガ益々完全ニ進モトスルモノハ音楽deal。

[尋問の本能]

#### 第五 尋問の本能。

物ヲ探シ度イ、宇宙ノ秘密ヲアバキ度イ、宇宙ノ原因ガワカリ度イ、研究シタイ、即チ科学ガ成立ツ様ニナリタノハ此ノ尋問的ニナリ、事ノ方法ヲ見出シ、發明発見シテ初メテ人間ノArt、至醇ノ生活ヲ見出すニ至ルノdeal。之レガ感情dealト盲目トナルノdeal。即チ完全ナル人格トナルニ光リヲ認メ、思想ヲ組ミ立テル必要ガアル。ソレデ人間ノ此ノ尋問ヲ与ヘタルノdeal。之レガ發展シナケレバナラヌ。此ノ欲望、本能ハ誰レニモアルノdeal。

生活ノ効力ヲ見出サネバナラヌ。即チ我々ガ行クベキ途ヲ見出シテ行カナケレバ人間ハ進歩スル事ハ出来ナイノデアリマス。

[建設の本能]

#### 第六 建設の本能。

今ノ尋問の能力ガ分解スルト益々深カニ入りテ研究シテ行クノdeal。之レハ毎々總合統一シテ完全ナモノニ組立テ、統一サスモノdeal。所謂文学的、音楽的、美術的、科学的、之レラ凡テガ要素デーツニ完全ナル統一アリ、調和アリ、平均アリ、音律アリ、適合アル凡テノ完全ナル人格トナル要求及ビ結合デ、ソコニ完全ナル社会人類ヲ建設スル処ノモノdeal。宇大ノ無限ノ神トツニナル。無限ヨリ無限ニ至ルソノ根本的要求ヲ實現スル事ヲ瞬間々々ニ經驗スルト言フガ、即チ統一ト云フ事ニナル。之レガArt、Great dramaトナルノdeal。此ノ演劇ヲ誰ガスルカト言フニ、全校ヲマトメタ大人格deal。天ガGreat artヲ實現スルニ与ヘラレタ自発の能力ヲ誰ニモ与ヘテアル。然シ之レヲ互ニサマタゲニヨリテ互ヘラレテ居ルガ、之レヲ自由ニシタナラバArtニヨリテ實現シナケレバナラナヌ。

[自発の二目醒メ]

之レハ皆建設の能力統一ニヨルモノdeal。ソコデ之レハ研究ヲ要スル。オ互ニ此ノ点ニ進ンダナラバ未曾有ノ業deal。自発の二目醒メ、之レガオ互ノ心ノ中ニ思ヒ實現スルニ至ラネバナラヌ。之レヲ養ヒ育テル空氣、理想ガ団体カラ起ル様ニ充實シナケレバナラヌノデアリマス。

[中表紙]

大正五年五月三十一日  
大学部全体ノタメニ

大正五年五月三十一日  
大学部全体ノ為ニ

此ノ前ニ我々ノ内カラ湧キ出ヅル所ノ力、自動自発シテ発現致シマスルカノ要素ヲ六種類ニ分ケ、第一交通の本能、第二同情的或ハ劇的の本能、第三美術の本能、第四音楽の本能、第五尋問の本能、第六建設の本能。之レハ互ニ分ケル事ノ出来ナイ一ツノ力ニシテ。併シ其ノ働キノ方面又融合ノ内容ニサウ云フ要素ノ如キモノガアルガ、又銘々意識ニ感ズル事ノ出来ル実質ニシテ。併シ之レハ互ニ関係シ互ニ働キ合ウテ大キナ一ツノ力トナツテ、大潮流トナツテ流レヤマナイノデアル。夫レデ斯ウ云フ力ガ相互ニ如何ニ関係ヲシテ居ルカト云フ事ヲ考ヘンケレバナラス。之レハ多分銘々デ考ヘテ此ノ間ニ一ツノ統一ト見出ダス事ニオ勉メニナツラウト思フ。併シ之レハ我々ノ力ノ解剖ヲ致スヨリモモ一層ムツカシイ科学ノ研究ヨリモ哲学ヲ考ヘル事ガムツカシイ様ニ、此ニ統一ト見出ダス事ハ誠ニムツカシイ。此ノ点ガ今日ノ教育ニ欠ケテ居ル。之レハヨク考ヘネバナラス。故ニ斯ウ云フ研究ヲスルニハ多クノ時間ヲ使ハネバナラス。此ノ中デ先ヅ割合ニ多クノ時間ヲル人ハ一週間ニ三時間。之レヲ一日割リ当テルト二十分ダケヲ毎日ノ生活ノ為ニ使フト云フ事ニシテ。タゴール氏ノ如キハ毎日七時間ノ黙想時間ヲ要スルト云フ。古来偉人ト言ハルハ此ノ精神ヲ統一スル為ニ最モ多クノ時間ヲ得ルノデアル。斯ウ云フ事ヲアナタガ自ラ考ヘ自ラ研究ヲナサツテ実行シテ行カナケレバナラス。

[凡テ婦一]

演繹の二言フト自我婦一。此ノ根ガ前申シタ六ツノモノデアル。生活ノ統一或ハ生命ノ調和ト言ウテモヨロシイ。知情意、心身ガ婦一統一スル、自我生活ノ統一スル、尚ホ自他ノ人格ガ統一シ婦一スル、交通本能ガ互ニ了解スル、心ガ一ツニナルト云フノデアツテ、第二ノ演劇的モ自他ノ自我ガ合致スルト云フノデナケレバナラス欲望ニシテ。第三ノ美術の本能ヲ適合シ、我ト人、我ト団体トヲ適合シテ配合スルト云フ意味デ、第四ハ調和ヲ求メルカデ尋問の能力ガ全体ノ関係ヲ見出ダスモノデ、婦一セヨト云フノデアル。建設のモ全体ヲ統一スル欲望デ、婦一ニ合致スルモノデアル。之レガ必ズ本ト同ジモノデアル。同ジ本質ニシテカラ一ツノモノトナラウトスル目的モ、活動モ、美モ、善モ一ツニナラウトスル傾向ガアル。其ノ力ノ皆共同シテ一ツトナツタモノヲWillトモ言ヒSelfトモ言フ。其ノ自我ト云フモノニハ必ズ目的ガアル。夫レヲ生キルト云フ目的、或ハ向上発展ト云フ詞デ此ノ前申シタノデアリマス。

[Perfect]

夫レヲ英語デPerfectト言フ。アナタ方ノ至醇ト云フ事モ夫レデアリ、健康ト云フ事モ美ト云フ事モ總テアル処ノモノデ、絶対的ノ完全デアリマス。之レガ即チ人間ノ憧憬シテ居ル理想デアリ、又何時モ求メテ居ルトコロノ愛デアリ、又内カラ

起ツテ来ル処ノ向上心デアリマス。我々ガ心ノ中ニ持ツテ居リマス処ノ總テノ心理状態ノ源ハ其処ニアルノデ、其ノモノヲ得ヤウト云フノデアル。

[実体ハ何]

メーテルリンクノ所謂青イ鳥ヲ探シテ居ルト云フノハ夫レデアアル。人生ノArtノ目的ハ其ノ理想ヲ実現シタイ、其ノ理想ノ因マデ我々ガ到達シタイト云フノデアアル。我々ガ全力ヲコメテ突キ進ム処ノ実体ハ何デアアルカ。完全トハ何デアアルカ。

其ノ完全ヲ直観シヤウトシテ人間ハ美術ヲ愛スルケレ共、如何ナル美術モ之レガ完全デアルト云フモノハ無イノデアアル。又我々ガ満足スル様ナ、アキ足ル様ナ親切ノ行為、愛ノ情緒、人間ニ於テ顕レテ居ル深イ経験ヲ味ハツテ見タイト思ウテイロイロシテ居ルノデアアル。ケレ共此ニ在ルト云フ事ハ誠ニムツカシクテ見出ダシクイノデアアル。ケレ共私ハドーシテモ自然ノ間ニ完全ト云フモノヲ探シ出シテ見ヤウト云フ考ヘヲ起シマシタ。昨日以来私ハ之レガ完全デアルト言フベキモノヲ自然カラ見出ダサウト致シマシタ。ケレ共余程機微ニ触レナケレバ見出ダシクイノデアアル。書物ニハ沢山書イテアル事デアリマスガ、昨晚私ノ何時モ運動ヲスルニ階ノ縁側ニ蜘蛛ノ巣ガアリマシタ。其ノ糸ノカケ方ガ間隔カラ総テガ幾何学的デアリ、美術上ニ言フ適合性ガアリマス。此ノ数学ハ誰レガ考ヘ、此ノ目的ハ誰レガ考ヘタカ。此ノ実現ハ如何ナル自我ガ考ヘタカト云フ事ヲ幾ラ考ヘテモ、全ク蜘蛛ガ本能ニ從ツテシタモノニ違ヒナイ。然ラバ其ノ本能ニ從ツテ蜘蛛ガ動イテ居ル其ノ原因ハ何デアアルカト言フト、自然ト言フヨリ外ハナイ。此ノ蜘蛛ヲ象徴トシテ之レガ我々ニ示シテクレル処ノ完全デアリマス。

サウ云フ具合ニ段々ト自然ヲ觀察シテ見ルト誠ニ面白い。エマーソンハ斯ウ云フ風ニ觀察シテ天地自然ノ完全ヲ見出ダサウトシタノデアリマス。

Teach me your mood,  
Patient stars!  
Leaving on space no  
shade, no scars;  
no trace of age, no  
fear to die.

此ノ夜ノ数百万年ノ間輝イテ居ル処ノ天ノ星、其ノ生命、其ノ技術。我々ガ日夜ニ憧憬シテ居ル処ノ其ノ善、其ノ美、遮ルモノナキ宇宙ノ光り、宇宙ノ輝キ。此ニ我々人生ニ実現シヤウトスル基準ガ此ニアル。此ノ我々ガ実現シヤウト努メテ居ル理想ハ此ノ宇宙ノAbsolute selfニアル。此ノ宇宙ノSelfハ我ガSelfデアアル。其ノ我レト我レトガ一ツニナツテ了ツテ其ノ中ニ我々ガ入ル事ガ出来ル。之レヲサシテIdentityト云フノデアリマス。ソコガ即チ私共ノ行カウトシテ居ル処ノ大目的デアアル。其ノ基準ニ從ヒ、其ノ法則ニ從フ事ガ私共ノ実現デアリ、自分ヲ創造シテ行ク事デアリマス。

[統一ト]

之レガ人生ノ目的デアリ、又大美術ノ理想デアリ目的デアリマス。ソコデ我々ノ人生ヲ、我々ノ美術ヲ如何ニシテ行クベキカト云フ統一トハ此ニアルノデアアル。故ニ私ハ神ハ主義ノ

宮デアリ理想ノ王宮デアルト申シマス。蜘蛛ハ無意識的ニ巢ヲ作ッテ行クケレ共、人間ハ意識的ニスルカラ煩悶モアリ、罪モアリ、希望モアリ、苦シミモアリ、失敗モアリ、徳モアルノデアル。之レカラ我が人格ヲ完成シ、校風ヲ充実シ、国家人類ノ発展ヲ期シテ進ムニハ此ニ学バネバナラス。宇内ニハ主義ガアリ目的ガアル。夫レニ由ッテ行カネバナラス。

第一Fitness、適合或ハAptitude適性、第二Balance、第三Unity、第四Harmony、第五Rhythm

之レヲ欠イデハナラス。此ノ主義ヲ守ラナイカラ苦シミガアリ、ヤリ損ガアリ醜ガ出来テ来ルノハ皆ソレガ為デアル。故ニ此ノ中一ツデモ欠ケバ完全ニハナレナイノデアリマス。私共此ノ手本ハNatureニ由ッテ学ブノガ一番宜シイ。其ノ目的ニ適フモノデナケレバ美トハ言ハレナイ。次ニUnityト云フ事ガ大切デ、アナタ方ガ文章ヲオ書キニナッテモ此ノUnityヲ欠イダナラバ論旨徹底スル事ハ出来ヌ。人ト人トノ間ニモオ互ニチャント一ツニ融合スル事ガ出来ネバナラス。哲学的調デ言ヘバ

One and many又Unity is(千差万別ト云フ事)デ、ソノ本ハSelf Identityデアリマス。

エマーソンノ所謂One mindト云フモノガ此ノ宇宙ニアル。故ニ其ノMindトMindトガ融合シナケレバナラス。故ニ人間ト云フモノハ実ハ皆一ツナルベキモノデアリマス。つまり此ノ宇宙ハOneness Holeト云フモノデ、我々人類ノ向上スルトハ其処ニ行ク事デアリマス。

次ニBalanceハFitness, Unityノ中ニハ必ずアルモノデ、又BalanceガアルカラRhythmモアルノデ、Rhythmノアル処ニハ必ずBalanceガアルノデアリマス。

[中表紙]

大正五年六月七日  
大学部全体ノタメニ

大正五年六月七日  
大学部全体ノタメニ

適合性 独特性 通有性

之レハ我人互ヒニ如何ニ独特ナルトコロアリトモ互ニ了解シ、互ニ共通スルトコロノ性ガアル。

色トシテモ独特ノモノ、即天才ガアル。

以上ハ互ニ一ナルモノ、帰一ノ目的ヲ有スルモノデアル。之レハ即Unityデアル。

[Great art]

此ノ統一ハ決シテ外ヨリセシメラルハモノデナク、自由ノ選択ニヨリ自発的ニオモムク目的ガアル。個人トシテモ国家トシテモ且ツ人類、宇内トシテモ完全ナ一ツニナル。之レガGreat artデアル。

平均、均衡Balance、調和Harmony、韻律Rhythm。帰一ニ達スルニ此ノ内容ガナケレバナラス。此ノ多クノUnityヲ以テ一ニ達スルニハ調和ガアルノデアル。調和スルニハ必

ズRhythmガアリ、此ノ法則ニヨリテ一ツナル。又韻律ノアル処ニハ必ず平均ガアルノデアル。之レハ音楽ニモ、芸術ニモ、人格完成ニモ、宇内ノ中ニモスベテアラユル物ニ此ノ原理ヲ有シテ居ル。我々ガ高調ニ達シヤウトスルニハ此ノ生活ニナラウトシナケレバナラス。

[統一]

統一、帰一トハ決シテ型ニハマリタルモノヲツクルノデハナク、之レニハ向上アリ進化アリ、常ニソノ生命ハ流レテMusicノ如クユキテヤマズ、流レテツキヌモノデアル。コノ流レニハ必ず上下アリ。之レハ韻律デ高キ音ト低キ音トガ調和スル様ニVibrateスルノデアルガ、平均ハVibrationノ調和アリ。空ノ鳥ヲ見ヨ、飛行機ヲ見ヨ、タダソノ平均ヲ保チ、タダ両翼ノ調和ヲ保テルガ故デアル。

此ノ如ク宇宙ニハ抑揚アリ、調和アリ、平均アリテスベテ此ノ原則ニ支配サルハモノデアル。又之レニヨリテ美ヲモ生ズルノデアル。故ニ我人ハ真ニ生活セントスルナラバ此ノ原則ニ従ヒ、此ノ道ヲ通りテ常ニ向上ニ発展ノ道ニ進マネバナリマセン。

我人ノ世界ニハ常ニ大波ト小波トノ種類ガアル。我人ガ永久ニ大高潮ニ歩マントスル時ニハ決シテ漣瀾ニアリ意ヲ用フル事ナクシテ、常ニ大イナル波ノマニ進マネバナラス。即チ世界ノ大浪ニ向ヒ常ニ注目シテ行カナケレバナラス。

今ヤ全世界ニワタル大浪ハ悲劇ヲ以テ動イテ居ル。

我人ハ宇内ハGreat consciousナリ信ジツアル。然ルニ之レト矛盾シテ現世界ノ大争鬭アリテ此ノ信仰ヲ破ル。

シカシ之レハ只小サキ漣瀾ニスギヌ。之レハヤガテ到ラントスル大調和ニ向ヒテ進マントスル道ノデアル。殊ニ東西ノ調和ト云フ事ヲ知ラネバナラス。大使命ノアル事ヲヒソカニ感ジテ来タ。世界ノ波ハ高カクナッテ居ル事ヲ我々ハ感ジテ居ル。此ノ動機ハマホメット伝導者ト印度デ逢ツタ。ソノ時ニ思想ヲ交換シタ。此ノ時タゴール氏ニモアッタノデアル。尚ホ東西ノ交通ニハ各大学ヲ廻リテ、精神ノ交通モ一ツ根本ヲ探サネバナラス。

[タゴール氏]

タゴールニ付イテハ私モ長イ時ヲ費シテ読ンダ。タゴールハ九才ノ時カラ有名ナ人デアッタ。十九才ノ時劇評ヲシタ。シカシ二十五才ノ時ニ非常ナ悲観ニ陥ツタ。二十五才ヨリ三十五才ノ間大悲劇ニ陥ツタ。然シ自分ガ境涯ヨリマヌガレタノミナラズ、今日デモ続ケテ居ル。互ニソノ心底ニ輝キ、ソノ命ノ潮流ト云フモノガ実ヲ結ビ調和スルモノデアル。タゴールヲ殊ニ言ウタノハ調和的ニ音律的ニ詩ヤ歌ニヨリテ紹介サレタノデアル。ソレニヨリテ直接ニ感ズル事ガ出来ル。

今日我々ノ外ヲ流レテ居ル悲劇ヲ見テ、ソレノ底ヲ汲ンデ見ナケレバナラス。

軽井沢ノ生活モ今年ハ殊ニ高調ニ達シナケレバナラス。ソレハ只我々ノ役目ヲ全ウシヤウト云フノミデナク大合奏ニ達シナケレバナラス。

ソノ歌カラ調和ヲ感ジ、宇宙ハカウデアルト象徴ニヨリテホントノ音ガヒクト思フノデアル。

[中表紙]

大正五年六月十四日  
大学部全体ニ於テ

大正五年六月十四日  
大学部全体ノタメニ

今年ハ全体ノ目的ヲ至醇ト云フコトニ置キマシタ。其ノ中ノ項目ヲ挙ゲルナラバ

- 至醇
- (1) 健全 Health
  - (2) 完全(意識の領分=人格) Whole
  - (3) 聖全(意識、潜在、意識即チ我々ノ意識ト宇宙ノ大靈ト一致融合シ、尤モ高潮ニ達シタルコト) Holy

之レハ精神ノ完全デアアル。故ニ今日愈々實際生活ニ着手スルニハ先ヅ健全カラカラネバナラヌ。此ノ健全ト云フコトモ精神ノ完全カラデナケレバ得ラレナイ。又聖全ト云フコトモ完全ト云フコトカラカラネバドーシテモ出来ナイノデアアル。故ニ此ノ三ツハ分ツコトハ出来ヌノデアリマス。

私共ノ精神修養ヲシテ完全ナル人格ヲ作ル時ニ、故ニ先ヅ第一ノ健全ト云フコトガ只今ノ日常生活ニ於テ何処迄完全ノ域ニ達シタカト云フコトヲ知ルタメニアナタ方ガオ調ベニナツタノデアリマス。

私共ノ精神修養ヲシテ完全ナル人格ヲ作ル時ニハ、ドーシテモ健康ノ力カラ得ナケレバ出来ナイノデアアル。アナタガ学校ヲ出テカライロイロ世ノ中ノタメニオ尽シニナルニモ、亦母トナツテ健全ナル国民ヲ生ム母タル務メヲ全ウスルニモードシテモ健全デナケレバナラヌ。

御婦人ニハ貧血症、腸胃病、ヒステリー症ナドガ多イ。之レハ如何ニスレバ治ルノデアラウカ。之レハ私ガ申シタテアナタガ自身デ経験ヲナサラネバワカラナイ。今日国民ノ体力ガ弱クナツトハ余リニ人間業デ病氣ガ治サルト思ヒ過ギタ誤リデアリマス。オ医者様ニ治シテ貰ハウト云フコトハ科学カラ来ルトコロノ信仰デ、私ハ之レヲ科学ノ濫用ト言ヒマス。夫レデ私ハ此ニアナタ方ガ人工ト自然トノ区別ヲ知ツテ自然ニ従フ、自然ヲ信ズルコトガ必要デアアル。然ラバ人工トハ何ゾヤ。之レハ自ら工夫シ自ら創始スルカデアアル。自然トハ何ゾヤ。神ノ力ヲ信ズル、神ノ法則ニ従ヒ其ノ働キニ全然任也ル、自然ニ従フ、自然ニ任セルト云フコトハ詞ヲ換ヘテ言ヘバ神ト云フコトニナリマス。之レヲ見出シタ私ノ経験ヲ少シ申シマセウ。ドーシテモ自分ノ生活ハ自分で研究ヲシナケレバナラヌ。先年私ガ神經衰弱ニカツタ時、イロイロ薬ヲ飲ンダリ医者ノ助言ヲ聞イタリ、諸所ニ転地ヲシタリナド致シマシタケレドモ一向効能ガナイ。然ルニ輕井沢ヘ行ツテ自然ニ帰ルト云フ経験ヲシテ、始メテコダト云フコトガワカリマシタ。夫レト殆ンド同ジ頃カラ独逸デモサウ云フコトが行ハレテ、アノ科学万能ノ独逸デサヘ自然ニ接スルコトニヨツテ總テノ病氣ガ治ルト云フ考ヘカラ、ジャンボントカハーツカ云フ山ニ行クコトガ盛ニナリマシタ。

[自然ノ効]

私ドモデモ成ルベク室内ヲ開放シ、外氣ニ触レテ自然ニ

親シムト云フコトヲスレバ大抵ノ病氣ハナクナルノデアアル。私ノ此ノ指ノ爪ノ治ツタノモ自然ノ力デアアル。此ノ間申シタ様ニ蜘蛛ノ巣ヲ作ルコトデモ蜘蛛自身ノ知恵デハナイ。唯ダ自然ニ従ツテスルノデアアルガ、其ノ自然ハIntelligenceデアアル。此ニ不思議ナカガアリマス。

此ノ身体ガ自然ニ出来テ居ルノデアアルカ、此ノ機械ヲ使ヒ此ノ働キヲ調節スルモノハ何カト言フト私共ノ意識デアアル。ヤハリ私共ノ内ニ在ルカニ由ルノデアアル。アナタノ病氣ノ十中八、九ハアナタガツマラヌ心配ヲシタリ、怒ツタリ、キタナイコトヲ考ヘタリシテ自分ノ意識デ病氣ヲ拵ヘテ、之レハ治ラナイト思ツテ居ル、其ノ意識ニヨツテ起ツテ居ルト云フコトガ出来ル。私共ノ目ノ中ニハ涙ガアル。夫レガ時トシテ非常ニ心配ヲシタリ、物ニ感ジタリスルトポロポロ流レテ来ル。其ノ涙ノ粒ヲ明ケルモノハ自分ノ意識デアリマス。或ハ此ノ頃ノヤウナ暑イ時ニ蜜柑水ヲオアガリナサイト言ツテ人カラ出サレタリ、梅ノ実ヲ見タリスルト食ベナイ前カラ口中ニ唾ガ出ル。之レモ同ジコトデアリマス。目ニ見エヌ人格ガ發展スルト云フコトモ同ジコトデ、自分で展ビル、自分で運命ヲ開クノデアリマス。之レニ反シテ人ノコトヲ恨ンデミタリ、妬ンデミタリ、傲慢ナコトヲシタリ又イロイロ人ト感情ヲ悪クシタリ、自分で勝手ナコトバカリシタリスルト忽チ病氣ニナル。サウシテ其ノ病氣ハ治ラナイノデアアル。ナントナラバ其ノ治ル力ヲ自分で妨ゲテ居ルカラデアリマス。宇内ニハ意志ガアリ感情ガアリ知恵ガアル。私共ノ意識ハ其ノ流レヲ受ケテ居ルモノデアアル。故ニ其ノ大潮流ニ背クコトハ出来ナイノデアリマス。私共ノ病氣ガ治リ人格ガ發展スルト云フコトハ自然デアアル。然ルニ其ノ自然ニ背キ、不合理ナル生活ヲスルト云フコトガ病氣ノ大根源デアリマス。アナタ方ノ中ニハ心臟病モ貧血症モ遺伝デアルト信ジテ居ラルハ方ガアル。併シ私思フニアナタノ中ニハ其ノ病氣ヲ治シ、生活ヲ向上シタコロノ人類ノ経験ガ数万年蓄積サレテ居ル。其ノ遺伝ノ方ガ物質的遺伝ヨリモ遙カニ優勢デアリマス。故ニ大自然ト一致シ、大自然ト調和スルト云フ其ノ大音楽ヲキ、其処ニ生活スルト云フコトガ根本ノ治療デアリマス。

ソコデ之レカラ私共ガ如何ニ生活スルカ、ホントノ道ニ入ルカト云フコトヲ見出ダサンケレバナラヌ。其ノ経験ヲ味ハンケレバナラヌ。其ノタメニ私ガ此ノ間ク<sup>ゴ</sup>ールノ音楽ヲ紹介致シタノデアリマス。

[中表紙]

大正五年六月二十一日  
大学部全体ノタメニ

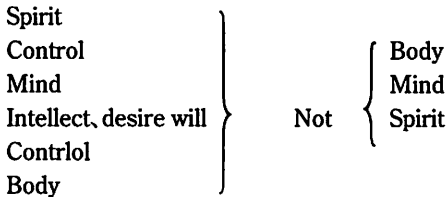
大正五年六月二十一日  
大学部全体ノタメニ

[宇宙ノ大靈]

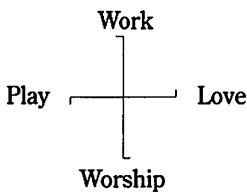
我々ノ心ノ中ニ憎ミカ不親切カ我ガ儘、利己的感情、恨ム、嫉妬ノ心ト云フヤウナモノガ潜在意識ノ中ニ少シデモ

アルトスレバ、ドー云フ結果ガ現ハレルカト言フト必ず病氣トナル。故ニ我々ノ身体ニイロイロノ結果ヲ生ズルノハ似タモノガ似タモノヲ起シテ来ルノデアリマス。夫レデ私共ハ私共ノ世界ニ大キイニツノ世界ガアルト言ッテモヨイ。其ノ一ツツ Universe、宇宙或ハ世界ト言ッテモヨイ。我々が意識デ直グ判別スル事ノ出来ル世界デアル。我々ノ身体ト云フ小宇宙ハ大宇宙ト始終関係ヲ持つテ居ル。故ニ此ノ大宇宙ト小宇宙トヲ常ニ調度スルコトガ、食物ヲトルコトヤ呼吸スルコト、又我々が始終トツテ居ル温度ヤ光ナドデアル。其ノ他電気ノ力、マグネットノカナドモ我々が健康ニナラウト思ヒ、又健康ニナルニハ始終調和シテ丁度ヨク働キ合フコトガ必要デアル。夫レニハ宇宙ノ法則ガアルカラ其レニ従ハネバナラス。其ノ法則ニ我々がヨク従フナラバ我々ノ身体ハ健康ニナルノデアリマス。ソレニハ目ニ見エヌ世界ガアル。之レヲ宇宙ノ大靈トカ神トカ云フモノデ、其ノ宇宙ノ大靈ト我々ノ神靈トハ断エズ相働キ合ウテ居ルノデアル。其ノ法則ニ従ウテ生活ヲシテ、我々ノ精神的向上ヲナシ發展ヲシテ居ルノデアリマス。故ニ私共ガ身体ヲ健全ニシヤウト思フナラバ、此ノ目ニ見エナイ世界ノ力ニヨッテ目ニ見エル世界即チ身体ヲ支配スルヨリ外ハナイノデアリマス。

我が国デハ病氣ヲ医術ノ力ニヨッテ治サウトシテ居ルケレドモ、外国デハ夫レダケデハ足りナイト云フコトニ氣ガツイテマイリマシテ、目ニ見エナイ力ガ病氣ヲ治スモノデアルト云フコトヲ信ズル様ニナリマシタ。或ルオ医者サンノ書イタモノニ、



斯ウ云フコトヲ研究ノ結果断言シテ居リマス。



十文字ハ西洋デ言ヘバ十字架デアリ、印度デハ梵字ニナリ、埃及ノ古代思想カラ言ヘバ円デ、完全ト云フコトヲ意味スルノデアリマス。其ノ働キヲ此ノ人ハ斯ウ云フ風ニ名ヅケテ居リマス。

我々ノReal lifeヲ斯ウ云フ風ニ改メネバホントノ健康ハ得ラレナイト言ヒ、今日ハ余リニ生活ニ逐ハレテ居ル。之レガ総テノ人間ヲ墮落サセ不健康ニサセテ居ル原因デアルト言ウテ居リマス。

ソコデ健全或ハ完全、或ハ精神生活ノ完全ヲ期スルニハ此ノ主義ノ生活ヲシナケレバナラス。其ノ第一ハ平均ヲ得ナケレバナラスコログ大ニ偏ツテ居ル。故ニ全体ガヨク調フ様ニ要素ヲランケレバナラス。サウシテ物質ノ生活ハ必ず精神ノ生活ト相働キ合ウテ居ラネバナラス。然ルニ食物ハ分量

ヲハカルコトガ出来ル。大抵アナタ方ノ年齢デ必要ナル一日ノカロリーヲ計算シテ見ルト、2800カラ3200迄ガ大抵適当ナ分量デアル。其ノ他水ノ量、空気ノコト、湯ノコト等Physical universeトノ交通ニ関スルコトヲ皆サンガ改メネバナラス。アナタノ病氣、アナタノ身体ト云フモノハオ医者サンガ治スノデハナイ。宇宙ノ神ノ力ガ治スノデアル。故ニ今マデノヤリ方ヲスッカリ改メネバナラス。

或ル人ハパンヲ食スナト言フ。ロックフェローノ子ドモガ病氣ニナツテ、之レハ多分パンノ為デアラウト云フノデ、一千万弗ノ金ヲカケテパンノ研究ヲサセト云フ実例ガアル。然ルニ森村サンハ胃ノ弱イオ方デアルガ、医者ガ御飯ヲ食ベテハナラス、パン計リニナサイト言ハレタ。パンバカリヲ食ベル様ニナツテカラ大層健全ニナツト言ッテ居ラレマス。夫レト同ジ様ニ、此処ニモパンヲ食ベト云フ反対説ガ掲ゲテアリマス。

人々皆体質ガ違ウテ居ルカラ、其ノ人ノ食べ物、飲物、入浴等ハ其ノ人ノ丁度必要ナ程度ニ適ハネバナラス。所謂個人的デナケレバナリマセン。然ルニ我が国デハ先生ガ仰ツタカラ、オ医者サンニ言ハレタカラト云フノデ人まねバカリスル。之レハ大キキ間違ヒデアリマス。故ニアナタ方ハ自身ノ精神デ命令ヲシテ丁度適当ナ生活ヲシナケレバナリマセン。人まねヲスルノハ自殺デアルト云フコトヲエマソンモ言ッテ居リマス。夫レハ奴隷根性デアル。ドーシテモ自分ノ考ヘデ自分ノ方法ヲ見出ダサネバナラス。Self-evidence、自分ガ経験シタコロノ自証ノ真理ホド強イ証拠ハアリマセン。自分デ生活シテイッテ其ノ経験ニ訴ヘテ研究ヲスルト云フコトガ出来ルヤウニナラネバナラスノデアリマス。

終リ

[中表紙]

大正五年六月二十五日

地久節ニ於テ

大正五年六月二十五日

地久節祝賀式ニ於テ

今日地久節ニ於テ 皇后陛下ガ我が女子教育ノ上ニ御奨励遊バサントセラル、御主旨ヲヨク弁ヘル事ガ大切デアリマス。

[実業教育]

皇后陛下ガ宮中ニ於カセラレテ養蚕ヲ遊バサルト云フ事ハ、実業教育ヲ御奨励遊バサル、御思召カラデアルト云フ事ハ予テ洩レ承ッテモ居リマシタガ、殊ニ内務省カラモ告示セラル、所ガアリマシタ。トカク今日ハ物質ノ知識ヲ得ル事ニ汲々トシテ、実業トカ手トカ云フ様ナ自ラ勞カスルコトニ由ッテ真面目ナ精神ヲ養フ事ガ忘ラレテ居リマス。然ルニ皇后陛下ニハ此ノ時弊ヲ矯メンガ為メニ此ノ養産業ヲ御奨励遊バサルハコト存ジマス。故ニ皆サンハ此ノ陛下ノ生キタ御手本ニ習ウテ、コノ欠ケテ居ル方面ヲ充実ナサルト云



フ事が大ニ大切ナ事デアラウト思ヒマス。之レニハ銘々係ガアリマスカラ、係ニ於テ着々研究モ積ミ、実行モナサル事ヲ希望致シマス。

夏休ミモ近クナリマシタカラ休暇中カラヨク研究ヲナサツテ、秋マデニ深く得ル処ノアル様ニ致シ度イモト考ヘマス。次ニ 陛下ニツイテ学ビ奉ラネバナラヌ御教訓ガイロイロアリマスガ、先年此ノ学校ニ成ラセラレマシタ時ニモ私ハツクヅク感ジ奉リマシタガ、其ノ中デモ尤モ私ノ心ニ深く刻マレマシタ事ハ 陛下ノシッカリシタ御性格デアラセラル、事、サウシテ何時モ時代ノ精神ヲ導イテオイデニナルノデアリマス。

[御歌]

此ノ時代ニ対スル御精神ハ 陛下御自身ニ御詠ミニナリマシタ御歌ノ中ニ最モヨク顕レテ居リマス。之レハ外カラ推察致シマスル事ト違ヒマシテ、私共ガ深く御心ヲウケル事ガ出来マス。斯ウ云フ精神上ノ交通ニヨリマシテ益々此ノ我が国家ノ魂ヲ養ヒ得ル事ト思フノデアリマス。夫レデ私ガ集メマシタモノ中カラ二、三首奉読シテ、ヨク皆サンノ心ニ之レヲ印象ナサル様ニ致シタイト思フノデアリマス。之レハ主ニ御題ノ御歌デゴザイマスケレ共、其ノ御歌ノ意味ノ深イ処ヲ恐察シ奉レバ、ドーモ 陛下ハ天然ヲ御覽ニナツテモ山海植物ニシテモ松竹梅ト云フヤウナオチツイタ、永久のナ、真面目ナルモノヲ尤モ御愛シニナルト云フ事ガ十分ニ我々ハ了解ガ出来ルト思ヒマス。殊ニ私ハ七、八年前デアリマシタカ、尤モ天然ヲ愛シタ時ニ一番好シクモノハ山デアリマス。山ト言ヘバ富士山モアリマスケレ共、ア、云フノデハナク碓氷峠ナドニアル様ナ不規則ナ岩山、夫レカラ名高イ山デハ Rocky Mountain、欧羅巴デ Switzerlandニアルヤウナサウ云フ高山ニ、孤ト云フ杉ノ聳エテ居ルノヲ見テ誠ニ深キ喜ビニ充タサレマシタ。其ノ時ノ心持チト余程一致スル様ナ御歌ヲ拝見致シマシタ時ニ、私ハ誠ニ喜バシク感ジマシタ。斯ウ云フ御歌ノ神秘的ナ深イ意味ヲ感ズル事ガ出来マシタナラバ、誠ニ我々ノ為ニナリマス。又 陛下ノ御高德即チ日常ノ御生活ガヨク表ハレテ居ルト思ヒマス。

皇后陛下御歌 巖上松

動きなく榮ゆる御代を岩の上の松にたとへて誰れかあふがぬ。

社頭松

松風も神のころになひきつ、枝をならさぬ御代まもるらむ

夫レカラドー云フ花ヲ御愛シニナツテ居ルカト言フト梅デアリマス。此ノ花ガ春咲ク事ハ当リ前デアリマスケレ共、雪ノ中ニ立ツテ圧迫ノ多イ中ニ厳然トシテ其ノ美ヲ表ハシテ居リマスモノハ我が国ノ梅、此ノ花ノ外ニハナイノデアリマス。此ノ花ハ決シテウカル、モノデナイ。酒ヲ飲ンデ浮カル、事ノ刺激ヲ与ヘルモノデハナイ。訪フ人モナイ厳寒ノ中ニ立ツテ我が美ヲ表ハシ、我が精神ヲ發揮シテ立ツテ居ルモノハ梅ノ外ハナイ。

寒月照梅花

香をとめて訪ふ人もなき梅そのを夜ことに照らす月の影かな  
[使命]

私ノ御手植エノ松ノ段々ト成長スルノヲ觀ルニツケテモ、

願ハクバ此ノ三首ノ御ウタヲ思ヒ起シテ、陛下ガ我が祖国ノ娘達ニ御希望ニナリ、御要求ニナル深イ御思召ヲ忘レヌヤウニ 陛下ノ御心トツニナリマシテ、帝国民ノ半数デアル我々ガ御国ノタメニ使命ヲ果シマシテ、銘々ノ務メヲツクサンケレバナリマセヌ。斯ウ云フ 国母陛下ヲ戴キ奉ル事ハ誠ニ我々ノ幸デアリマス。

ソコデ、陛下ノ御奨励ニナル実業の品性ヲモ日夜ニ培養シテ、銘々ノ人格ヲ堅実ナル道徳ノ上ニ建設センケレバナラヌ。猶其ノ上ニモ一ツ高イ処マデ達センケレバナラヌ。其ノ御思召モ此ノ三首ノ御歌ノ中ニコモツテ居ル事ト私ハ恐察致スノデアリマス。今日ハタツタ此ノ間迄非常ナ寒サヲ私共ハ感ジマシタガ、私共ノ寒サハ高ノ知レタモノデアルケレ共、夫レヨリズツ寒イ露西亜其ノ他歐羅巴ニ於ケル連合軍ノ毒瓦斯ノ烟々ニ取リマカレ、炎天ニ戦ウテ居ル兵士達ハドシナニ暑イコトデアリマセウカ。

[Militarism]

此ノ炎天ニ戦フ事二ヶ年。此ノ間ニ一千万人ヲ屠殺シ、其ノ間ニ使ツタ金ガ一千億デアル。此ノ悲劇ノ主人公ハ果シテ誰レデアルカ。今日トナツテ益世界ニ明ラカニナツテ参リマシタ。ニイチェノ哲学ヲ信ジ、二百年間教育ニヨツテ吹キ込ミマシタ極端ナル Militarism、極端ナル物質主義ヲ發揮シテ此ノ世界ヲ征服シ、人類ヲ奴隷トシ、我が武力ヲ以テ私欲ヲ逞シウセントスル横暴、之レハドンナ事ガアツテモ許サナイト云フ事ハ世界拳ツテ覺悟スル処デアリマス。

然ルニ我が帝国ハ独逸ノ如キ武力ヲ以テ東洋ヲ征服シ、其ノ力ヲ以テ西洋ニ当ルヲ得ントスルモノデアルト云フ誤解ガ此ノ頃アル様デアル。近クハ日米関係ヲ見テモ彼ノ平和主義ノ米國ガ大キナ大キナドレドノト云フ艦ヲ六ユニット四十八艘ヲ送り、其ノ上ニ飛行機ヲツレテ来ルノデアル。

此ノ間ミスガ我が 皇室ニ敬意ヲ表スルタメニ乗リ廻シタ彼ノ米國、其ノ他ノ飛行界ト我が国ノ飛行界トハマルデ比べ物ニナラヌト云フコトハ幾ラ隠シテモワカリキツク話デアル。斯ウ云フ時代ニナリマシタ。斯ウ云フ時ニ當ツテ我々ハ此ノ地久ク迎ヘルノデアリマス。此ノ頃大和魂ハ独逸魂ト同ジモノデアルト云フ様ニ思ハレテ居リマス。

我々ハドーシテモ国防デアルカラ国防ガ養ハネバナラヌケレ共、独逸ノ如キ極端ナル Militarism デハイケナイ。米國ガ此ノ様ニ沢山軍艦ヲ造ツテモ我が国ヲ討ツタメデアリマスマイ。ケレ共富ノ力カラ言フテモ、學術ノ力カラ言ツテモ戦後ノ経営トシテモ、斯クノ如キ軍備ヲナスノハ当然ノ事デアリマセウ。今世界ハ明カニ二ツノ力ガ相争ツテ居ルノデアル。我が国ノ封建制度ハ破レタケレ共、未ダ固陋ナル考ヘヲ持ツテ居ルモノガアリマス。

我が国ノ大和魂ヲ女性ノ御身ヲ以テ御表シニナツタ御方ハ、先ニハ 昭憲皇太后宮ガアラセラレ、現ニ 皇后陛下ガアラセラレマス。我が国ノ大和魂ハ王道デアル。霸道デハナイ。我が帝国ノ世界人文ニ貢獻シタモノハ何デアルカ。

外ニナイ、唯ダ一人其ノ人格ニ捧呈シヤウト致シマシタ。ソレハ 明治天皇ノ皇后陛下、其ノ御徳ハ御歌ニ表ハレテ居リマス。此ノ世界的ノ音樂ハ広ク世界ノ人文ニ貢獻セラ

ルモノデアルト感佩シテ、之レヲ 昭憲皇太后宮ニ捧ゲタ  
イト云フ事ヲ我が国ニ申シテ参リマシタケレ共、我が 皇室  
ニオカセラレテハ御コトワリニナク云フ事ヲ洩レ承リマシタ。

我が国ハ決シテ独逸ノ如キ Militarism デハナイ。此ノ精  
神ヲ發揮シテ國辱ヲ雪ギ、大ニ世界ノ人類ノタメニツクスト云  
フ事ハ我が国ノ娘デアル処ノアナタ方婦人ノ使命デアリ  
マス。

此ノ世界的ノ御思召ガ御女性デアラセラル、前皇后陛  
下ノ御文芸ノ上ニ現ハレテ世界ニ認メラレタ ト云フ事  
ハ誠ニ有リ難イコトデアリマス。其ノ思召ヲツガセラル、処ノ  
現皇后陛下ノ御日常ノ御生活ヲイロイロ洩レ承リマシテ、ア  
ナタ方ハ益其ノ御徳ニ並ヒ奉ルベキデアルト云フ事ヲ考ヘマ  
ス。

[中表紙]

大正五年六月二十八日

大学部全体ノタメニ

大正五年六月二十八日

大学部全体ノタメニ

[運動ニツキテ]

学生ト婦人ノ生活、殊ニ年齢四十ヲ越シテ段々年ヲ取ル  
ニ從ウテ一番大切ナ運動デアッテ、一番欠ゲテ居ルモノガ  
アル。夫レハ足ノ運動デアリマス。足ヲ運動サスト云フコトハ  
実ハ心臓ノ運動デアル。此ノ心臓ノ運動ト呼吸器ノ運動トガ  
欠ケ易イ。此ノ二ツハ離ル可カラザルモノデアルト云フコトハ  
皆サン御承知デアラウ。之レニ関連シテ大切ナルモノハ  
我々ノ感情デアリマス。

先ヅ此ノ心臓ト呼吸器トノ二ツヲヨクスレバ大抵ノ病氣ハ  
治サレルノデアル。夫レニハ足ノ運動ヲヨクシナケレバナラ  
ヌ。就中欠ケテ居ル所ノモノヲヨクシナケレバナラヌ。走ルコ  
ト徒歩スルコト、之レハ一番私共欠ゲル。殊ニ御婦人或ハ  
学生ガ之レヲ欠ゲノデアリマス。之レハ唯ダ体操ノ時間ニ課  
業トシテスルノデハナク、毎日日常生活ニシナケレバナリマ  
セン。かけるト云フコト、飛ブト云フコトハ其ノ真髓ニ於テハ同  
ジコトデアル。故ニダンスデモ宜シイ。之レハ大勢ヨッテスル  
ノデハナイ。一人デ毎日スルコトガ必要デアリマス。

[タゴール氏ノ歓迎ニツキテ]

私ドモハタゴール氏ヲ迎ヘテ氏ヨリ如何ナル真理ヲ貰ヒタ  
イカト云フコトヲ考ヘテオイテ、サウシテ私共ハ稀ニ得ラルト  
コロノ此ノ機会ヲ逸シナイ様ニシタイノデアル。之レハ皆言ハ  
ズシテ一致シテ居ルノデアラウト思フ。夫レハ如何ニ我々ノ  
生活ヲ集中スベキカ、夫レニ必要ナル瞑想ハ如何ニスレバ  
実ヲ結ブモノデアルカト云フコトヲタゴール氏ニツイテ聞キタイ  
ノデアル。前ニモ言ツタ様ニ、Genius is Concentrationデ、  
天才ハ集中ノ結果デアリマスガ、集中ニハ客觀的集中ト内  
面的集中トノ二ツガアリマス。

[集中]

タゴール氏ガ西洋ノ文明ヲ呪ウクト云フ様ナ声ガアリマス。  
之レハタゴール氏ノ演説ノ中ニ西洋ノ客觀的集中ニ偏シタコ  
トヲ批評シタ意味ノ詞ガ所々ニアッテ、西洋人ハ永久ニ進ム  
コトハ出来ナイ。何時デモ其ノ顔ハ後ヲ向イテ居ルト云フコト  
カラ説キ起シテ居リマス。



我々ノ人格ノ統一、或ハ統一ト云フコトハ中ニムイタ集中  
デアル。故ニ人格トカ又ハ精神ノカデアルトカ潜在意識ノ活  
動トカ云フコトハ、皆内ニ集中スルコトデアリマス。此ノ兩種  
類ガ存スルノデ、其ノ両方面共ニ人生ニ欠グベカラザルモ  
ノデアリマスガ、其ノ間ニ完全ナ調和ヲ求メネバナラヌ。人間  
ノ偉大ナコト、即チ天才ハ皆内面的集中ニヨッテ生ミ出サレ  
ルモノデアル。私共ノ今アコガレテ居ルコトハ其ノ内面的集  
中デアッテ、之レガ人生ノ根本要求デアリマス。此ノ集中ガ  
出来タナラバ總テノ価値ガ無限ニ発達スルノデアリマス。其  
ノ内面的集中ハドースレバ違セラレルカト言ヘバ、祈リヲス  
ル、或ハ瞑想スルコトデ、之レハツマリ意識ノ無限ノ集中デ  
アリマス。之レハ物質以上ノカデ、物質ヲ支配スルモノデア  
ル。此ノカガ我々ノ集中ニヨッテ出来ルノデアリマス。サウス  
ルト我々ノ目的地ニ達スルコトガ出来ルノデアリマス。タゴ  
ール氏ハ生レテカラ六十年近ク其ノ道ヲ進ンデ来タ人デアルカ  
ラ、其ノMeditationノ進ムコロノ経験ヲ聞キ、其ノ経験ヲ皆  
ガ学ビタイモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス。

其ノMeditationノ道ヲ見出ダスニ先輩ガ自ラ出テ活模  
範ヲ示スト云フ様ナコトガアツタナラバ、其ノ道ヲ見出ダスニ  
尤モ有益デアリマス。其ノ意味デ私ハタゴール氏ヲ紹介スル  
コトニ努メマシタ。夫レニハイロイロアリマスケレドモ、タゴ  
ール氏ノ書カレタコロノギタンジャリト云フ歌ガ尤モヨク表サレ  
テアルト思ヒマス。

Meditateスルト云フコトハ唯ダ自分ノ内ニ在ルトコロノカヲ  
統一スルト云フコトバカリデハナイ。モーツ深イコロノ潜在  
意識ノ中ニ入り込ムノデ、サウシテ宇宙ノ無限ナル大生命ノ  
音楽ヲキクト言ッテモヨシ、無限ノ震動ヲ受ケルト言ッテモ  
宜シイ。夫レデ尤モ深イ潜在意識ニ入ルノデアル。故ニ  
自分ガ其ノ道ヲ通ッテSubconsciousnessノ法則ニ從ハン  
ケレバナラヌ。ソコデ我々自身ノ心持チ、自分ノ態度ヲ改メサ  
ヘスレバ其ノ深イMeditationノ境遇ニ入レルノデアル。然ル  
ニ尤モ妨ゲトナルモノガ我々ノ中ニアル。夫レヲ  
Selfconsciousnessト言フ。其ノ本ハ何カト言フトSelfishness、  
Pride、Vanity或ハ我が儘デアリマス。

私共ガタゴール氏ニ会ハウト思ヘバ先ヅ一番ニ此ノPride  
ヲ去ラネバナラヌ。此ノ頃タゴール氏ニ就イテ悪声ヲ放ツ人  
ガアリマスガ、其ノ出処ハワカッテ居ルノデアル。我々ハ虚  
心平氣ニナッテ、其ノ光ヲ仰グコトガ大切デアリマス。

[中表紙]

大正五年七月五日  
大学部全体ノタメニ

大正五年七月五日  
大学部全体ノタメニ

第一、駆足ノ姿勢

- 1、駆足ノ姿勢ハ頭ハ少シク後方ニ枉ゲ、口ハ堅ク閉ヂ、呼吸ハ必ず鼻腔ヲ通シテナスベシ。
- 2、手ハ適當ニ枉ゲ、腕ハ少シク左右ニ伸バシ、足ノ運動ニ応ジテ振動セシムベシ。
- 3、肩ハ少シク後ニヒキ、胸ハ自由ニ張り、呼吸筋ノ働キニカアラシムベシ。
- 4、腸胃ハ自然ニ運動ノ出来ル様ニシ、之レヲ妨グルガ如キ服装ヲナス可カラズ。肺亦然リ。
- 5、身幹ハ真直ニ保チ、前後ニ枉グ可カラズ。
- 6、身体全部ヲ成ルベク動揺セヌ様ノ姿勢ヲ保ツベシ。常ニ音律ノ二動き、一方ニ偏スルガ如キコトアルベカラズ。
- 7、脚ハ駆足中常ニ一定ノ程度ヲ保チ、余リ変化ナキヲ要ス。又下脚ヲ前後ニ高ク上グルハ宜シカラズ。如何トナレバスカル動作ハ大ニカワ徒勞スレバナリ。
- 8、駆足中ハ常ニ足ノ趾部ノミヲ地上ニ触ルハダケニ止ムベシ。

第二、駆足ノ条件

- 1、不潔ノ空氣中ニ於テ駆足ヲ試ミル可カラズ。
- 2、駆足ノ初メハ成ルベク徐々ニナシ、漸次血液ノ循環ト呼吸ノ高マルニ從ヒテ速度ヲ増スベシ。
- 3、駆足中口ヲ閉ヂ、鼻ヨリ呼吸ヲ為シ、之レニ堪フル程度ヲ越ユ可カラズ。而シテこぶらノ筋肉ノユルス範圍ナルベシ。
- 4、心臓ヲ意識スル状態ニ至ラバ直チニ止ムベシ。
- 5、脇腹ニ痛ミ或ハツル感ジ起ラバ直チニ止ムベシ。
- 6、適宜ノ発汗ヲ促スコトヲ努ムベシ。但シ汗ヲ冷スコトハ許ス可カラズ。
- 7、駆足ノタメニ汗スル時ハ運動後身体ヲ洗フカ拭クカシテ掌ヲ以テ摩擦スベシ。
- 8、心、肺臓及ビこぶらノ発達ノ程度ニ応ジテ時間、数量ヲ増スベシ。

次ノ問題

- 1、冥想ノ目的及ビ經驗
- 2、夏期間ノ修養及ビ研究ニ就キテノ計画ト決心

Crossing the Indian Ocean.

I spread in my boat your carpet,  
my Master, which is over the world  
the sun of your days, the stars of your nights,  
the secret of your light and darkness.  
Bring into my heast,  
If with all the notes of your world-harp  
let my heart resound  
Let thrills of joy and sorrow,

Let greetings of flowers and storms  
Bring into my heart, the touch of your right heart.  
Sir Rabindranath Tagore  
終り

[中表紙]

大正五年七月十日  
終業式ニ於テ

大正五年七月十日  
終業式ニ於テ

[落付キ]

落チ付ク事ト腦ガ敏捷ニ働クト云フ事ハ同ジ事デアル。危機ニ遭フ時ハ只己レノミデナク秩序正シク動く事ガ必要デ、此ノ時ハ神経系統ヲ統一サセテ間隙ニナリテモ落付キ、凡テ支配スル事ノ出来ル用意ガナケレバナラヌ。次ニ心臓ヲ丈夫ニシテオカネバナラヌ。又呼吸器ヲ強クシテ之レヲ自カラ支配スル事ガ出来レバ健全ナル事ガ出来ルノデアル。

今日婦人ニ欠ゲテ居ル点ハ走ル事デアル。ソレニハ呼吸器ヲ丈夫ニスル事ガ大切デアル。

来年カラハ制度ヲ改善シタイ。我々ノ方モ支度ヲスルガ高等女学校モ大学部モ用意シナケレバナラヌ。日常生活ニ於テ殊ニ改メネバナラヌ。全体ニ渡リ大イニ改善ヲ加ヘタイ。第一自発的態度。自分デ改メテ行ク事デアル。此ノ夏一番真面目ニ自分ノ生活ヲ改メ自動的ニスルニハ此ノ時機ガヨイノデ、良イ結果ヲモツテ帰校スル事ヲ願フ。

[調和統一]

第二学期ヨリハ第一ニ調和統一サレタ空氣ヲ作りタイト思フノデアル。

今日ハ先ヅ高等女学校ニ言ヒ度イ事ガアルノデ申シテオキタイ。今学監ヨリ男女ノ交際ヲシッカリシナケレバナラヌ。各々如何ナル主義ヲ要スルカラ申サレタ。私ハ礼儀ト云フ事ニ付キマシテ申シテオキマス。之レハ男女間ニ大切ナ、又凡テニ於テ人間ノ守ルベキ大切ナモノデアル。

[根本ノ心]

ソノ礼儀ノ根本ハ心デアル。各々ノ人ニ対スル態度デアアルガ、只形ノミ礼儀ヲシテ居テモ心カラシナケレバソレハ空ナモノデアル。ソノ心ヲ表ハス礼儀ハムツカシク、様々ナ表ハシ方ガアツテ複雑デアアルガ、心ト云フ事ガ何ヨリモ大切デアアル。ソノ儀式ノ表ハレハ我ガ国固有ノ礼式デアアル。之レヲ守ラネバナラヌ。他国民ニ対シテハソノ場合ニヨラネバナラヌ。

[東西ノ礼式]

之レヲ大キク分ケルト東西ノ礼式ガアル。自分ノ価値ヲ自分デ守ル。人ヲ尊敬シ、自分ノ徳ヲオカサレト云フ事ハ必要デ、婦人ハ殊ニ大事ナ事デアル。西洋ニ於テモ知らヌ人ヨリオカサレタ時ハ恥辱トシテ居ル。第一二人ヲ尊敬シ自重スルニハ礼式ガ最も大切デアル。支那デハ七才ニシテ男女席ヲ同ジウセト言フノデアル。西洋デハ握手、接吻ト云フ

事ガアル。東洋デハ最モ調和シタモノデアルト思フ。又電車ノ中等ニ於テソノ態度トカ席ヲ注意シ威厳ヲタモタネバナラス。自分ガスルノミデナク社会ヲ改善スル様ニ注意シナケレバナラス。ソレハ心ガヨク出来ナケレバナラス。高等女学校デモ近来理想ヲシテ居ラルノデ、ソレニヨリテ大キナ大靈ト云フ様ナ心ノ底マデ見ヌキ、ソノ偉大ナ感化ヲ受ケルト云フ様ナ事ヲ作ラネバナラス。之レヲ事ハ小サイ時ヨリ味ヒ、ソシテ天知ル、地知ル、我知ル、君知ルト云フ様ナ事ヲ思ウテ修養シ、礼式ノ本ヲ養ハネバナラス。

[健全ナル心身]

礼式ト理想ニ心ガケ健全ナ身体トナリテ、各々満足ノ出来ル様ナ生活ヲシテ行カナケレバナラス。

[自分ノ要求]

大学部全体ノタメニ

私共ハ修養研究スルニ二様ノ目的ヲソナヘル事ヲ動機トシテ居ル。ソノ一ツハ自分ノ要求デ、自分ノ要求ト云フノガ自分ノ職業ヲ得タイト思フ、地位ヲ得タイト思フノデアル。

[時代ノ要求]

モーツハ外カラ或ハ国家カラ、又ハ其ノ時代ノ要求カラ招キテ受ケテ居ル。之レハ外カラ私共ガ要求サレテ居ル。自分ノタメニ要求スルト云フ事ハ男女共ニ一般デアル。ソノ要求ニ満足セヌ。之レヲ就職難ト言ウテ居ル。之レガ今日ノ学生ノ一ツノ状態デアル。シカシソノ満足ヲ得ヤウ、自分ノタメニ何カ資格ヲソナヘ度イ。此ノ様ナ事ヲ思ウテシテ居ルモノハアリアマツテ居ル。ソレカラ一方ニハ然ラバ職業ガナイカト言フニ、サウデナイ。多クノ仕事ガアルノデアル。各方面ヨリ招キテ受ケテ居ル。シカシソノ招キテ受ケルモノハナイト云フ事デアル。之レハ全体ニワタリテ論ズル事ハ出来ヌガ、我々ノ仕事ノ範圍ニ於テ事デアル。

ソノ事實ガ一般ヲオスニタルト思フ。ソレハ桜楓会高等教育ヲ受ケタ我が国婦人ニ於テ、ドーシテモソノ必要上ヨリソノ先ニ当リテモラヒタイト云フ事ヲ受ケタ真ニ国家ガ要求スル其招キニ応ジヤウト云フ人ハナイ。又真ニ応ジタイ人ハアルガ、ソレダケノ自信ナル人ガ乏シト云フ事デアル。

[万国婦人同盟]

事實ヲモツテオサネバナラスガ、欧州ノ戦争後ハ女子ノ責任ヲ感ジテ来タ。殊ニ宗教教育ニ大イニ革新ヲ得テ来タ。ソノ一ツデ万国婦人同盟ガ出来タ。ソレニ東洋ヨリ出シテ貫ヒタイト云フノデアル。ソノ声ニウゴカサレテ、将来之レニ到ルタメニ団体ヲ作リタイ。ソノ時我が国ヨリ果シテ選ブ事ガ出来ルカト云フ事ヲアヤブム次第デアル。

ソレカラ真ニ我が国ヲ代表シテ発言権ヲ以ッテ世界ノ中ニ入りテ、将来ノ運動ヲ起サウト云フ様ナ人ガアルカト言フニ、マダナイノデアル。

誰レモガ応ジタイト云フ意志ハアルガ、ソレダケノ実力ガナイノデアル。

今千六百人ヲ考ヘルニ、之レナラバ出来ルト云フ事ヲ選ブ事ガムツカシイノデアル。ソレニハドーシテモホントノコトヲスル人ハ婦人デナケレバナラスノデアル。

種々国際ハ開イテ婦人ヲ要求スル事ガ多クナツテ来タノデ

アル。此ノ学校ガ改善スル事ヲ何処ヨリモ叫ンデ来タ。ソレヲスル人ハ誰レデアルカト思フニ、ムツカシイノデ只四圍ノ境遇ニ支配サレズ、自分ヲ擗ゲテ働クト云フ人ヲ要求スル様ニナツタガ、之レガ出来テ居ラヌノデアル。

[良心ノ叫ビ]

日常生活ハ小事ニ於テ戦ツテ居ルガ、良心ノ叫ビニ応ジヨウト云フ様ナ大胆ナ処ニ行ク人ガ少イノデアル。世ノ人ハ彼様ナ人ハ此ノ校ニアルト云フ事ヲ目指シテ居ルガ、ソノ用意ガ我々ニハ出来ナイノデアル。

ソレデ今後ハ自分ノ要求ト国家ヨリ起ルモノト調和シテ、天職ヲハタス事ト学問スル事トガ一致スル様ニナツテ居ラナケレバナラス。

[根本的改善]

此ノ招キガ見エテ居ルノデアルガ、ソレニ対スル態度、理想、用意ト云フ事ガ出来ナイニシテモ、アナタ方ノ生活ガソノ方向ニアラナケレバナラス。之レガ根本的ニ改善シヤウト云フ目的デアル。マダモーツ充実シナイト云フ事ハ研究シ実行スル時ガ足りナイト云フ事デアル。今日此処ニマデ延バシタ事ハ試験ヲシテ苦シメルト云フ様ナ事ハ矛盾デアル。

大キナ天才ガノビヤウトシテ延ビヌ。此ノ様ニシテテモ養フ事ハ出来ヌノデアル。

改善ト云フ事ハ学生自身ガホントノ事ヲスルト云フ様ニナリテ初メテ変ルノデ、命ヲステルト云フ様ナ事ヲシナケレバトテモ出来ナイノデアル。之レガ出来ナケレバホントノ改革ハ出来ヌ。ソノ魂ガ覚メズニ改善ハ出来ヌ。形式ガ出来テソレデ実行ガ出来タト云フ事ハ出来ヌノデアル。国ノタメニ血ヲナガスト云フ事ハ出来ヌノデアル。非常ナル変ツタ実行ヲシナケレバ出来ヌノデ、ソレダケノ力ガナケレバ印度ニ行キテ大名ノ家ヲ改善スル事ガ出来ヌ。万国平和等ノ勢力ガ出来ヌ。ソノ本ガ出来ナイナラバ今後ノ使命ヲ全ウスル事ハ出来ヌ。

[実力]

今日ハ外面的知識ヲモツト云フ事デハ出来ナイノデ、実力ヲネラネバナラス。ソレデ之レヲ少シツノデモ發展スル様ニ方法ヲ講ジタ生活ヲ経験シナケレバナラス。ソレヲオコタリ雑事ニ支配サレテ、支配サル様ナコトデハ家庭ノ改善ハ出来ヌ。ソノ根本ヲ養フト云フニアル。此ノ夏ハフリーメーソソリノ主義ヲ研究シタイト思ウテ居ル。之レハ行ウテ知ル、行ウテ成ルノデアル。

自分ノ中カラ出来、自分カラ創始スルト云フ事ガ出来ナケレバナラス。フリーメーソソリヲ研究シ、モーツ大キク躊躇セズオ進ミニナル事ヲ願ッテオキマス。

[中表紙]

大正五年七月十六日  
日曜日修養会ニ於テ

大正五年七月

此ノ瞑想ガモーツPleyert云フ様ナ宗教的ノ神髄ニ入り  
タイト云フ希望ガアルト思ヒマス。初メニモーツ積極的ニ活  
動スル精神カラ要望シテ居ッテ、夫レガ意ノ如クナラスト云フ  
コト、夫レカラ瞑想ヲシテ時々閃キヲ見ルケレドモ、夫レガ太  
陽ノ光ノ如ク確実ナモノヲ見ルコトガ出来ナイ。又瞑想ガ断  
片的ニナッテ太洋カラウツテ居ル大波トツツニナッテ大キナ  
生活ニナリタイト云フ様ナ問題ガアリマシタ。

果シテ瞑想ノ生活ガ消極ニナルモノカ、又夫レガ余リニ  
徹底スルト遂ニ寂滅ニナルト云フ問題ガアル。モーツハタ  
ゴール氏ガ亡命国民デアルカラソウ云フ様ナ思想ガ彼レノ  
歌ニハアル。故ニソウ云フ思想ニ傾クト遂ニハ寂滅ニナリハ  
シナイカト云フ悪声ヲ放ツモノガアッテ、一部ノ人ハサウ云フ  
説ニ耳ヲ傾ケテ居リマス。斯ウ云フコトハ無限ノ宇宙ノ大生活  
ヲ批評スルニハ余リニ小サイ眼光デアル。

[大活眼]

故ニ我々ハモーツ少シ大キナ活眼ヲ開カネバナラスト思ヒマ  
ス。瞑想ハ果シテ曖昧模倣ナモノデアラウカ。タゴール氏ノ  
詞ヲ以テ言ヘバ、

O Giver of Thyself!

At the vision of Thee as joy.

let our souls, flamed to Thee and the fire, flow on to  
Thee, as the river, permeate Thy being as the fragrance  
of the flower.

例ヘバヨロコビニシテモ燃ユルガ如クアラネバナラス。汪  
溢シテ流ルハ大河ノ如クアラシメネバナラス。昔カラ如何ナル  
偉人ト言ヘドモ大勢ニ逆ラフコトハ出来ナクッタ。大河ノ急流  
ヲ藁ヤ葦ヲ以テ堰キトメルコトハ出来マセンデシタ。天カラア  
タヘラレタ処ノヨロコビト云フモノハ何物モ之レヲ遮ルコトハ出  
来ヌ。

We would pray to Thee to let the irresistible Current of  
Thy universal energy come like the impetuous south  
wind of Spring let it come rushing over covering the  
vast field of the life of man.

ツマリ家デモ吹キ飛バスト云フ様ナ、天カラ受ケルトコロノ  
カト云フモノハサウ弱イモノデハナイ。又時々ニ一寸起ルモ  
ノデモナク非常ニ強イカヲ持ッテ居ルモノデアリマス。タゴール  
氏ノ言フテ居ルトコロノ其ノ愛、其ノ喜ビト云フモノハ如何  
ニ強イモノデアルカト云フコトガオワカリデアリマセウ。其ノ生  
キルト云フカハ決シテ消極的ナモノデハナク、非常ナル勢ヲ  
持ッタコロノ向上力デアリマス。

モーツMeditationト云フモノハ感情デアリ想像デアル。  
故ニ感情トカ想像トカ云フモノガ大切ナル一要素デアルト云  
フコトハ申スマデモナイコトデアリマス。故ニ此ノ想像ヲ以テ  
宇宙ヲ創造スルコトモ出来ルノデアル。スミスガ飛ブ様ニ機  
械ヲ用フルカガ段々ニ進ンダナラバ月ノ世界マデ行クコトガ

出来ルカモ知レナイケレドモ、月ノ世界マデ行クコトコロデ知  
レタモノデアル。ケレドモ詩人ノ想像ノ翼ヲ広ゲテ行クコロノ  
精神界ハ無限ナモノデ、尊サト深サニ於テ否種類ニ於テ比  
較ニナラヌ程デアル。無論スミスニモ精神方面ハアルノデア  
ルケレドモ、トニカク此ノ感情ト云フモノハ瞑想生活ニ尤モ大  
切ナモノデアリマス。併シナガラ瞑想ト云フモノヲ唯ダ美ノ生  
活デアル、想像的ノ生活デアルト云フ様ニ考ヘルナラバ誤リ  
デアリマス。此ニ忘レラレ易イノハ意志ノ生活デアリ活動ノ方  
面デアッテ、徹底シタル状態ハ意志ノ生活デアル。サウシテ  
此ノ意志ノ中ニハ感情モアレバ知識モアリ、想像モアルモノ  
デアル。寧ろ私自身ハ其ノ感情トカVisionトカヲ見ルコトヲ努  
メルノデアリマス。例ヘバタゴール氏ニシテモストーリーナイト  
ノ様ニ心ヲ潜メテ天啓ヲ受ケ、自分ノ心琴ニ天地ノ音響ヲ受  
ケタイノデアル。此ニ音楽或ハVisionト云フモノガアリマス。  
之レト今迄アリ触レタ宗教生活トド一違フノデアルカ。

昔アッタ天啓、昔ノ人ノ受ケタVisionト同ジモノヲ得タイ  
思フノハ間違ヒデアル。今日私共ガ聞カウトスル音楽、見ヤ  
ウトスルVisionハ今奏セラレツアルモノデナケレバナラス。  
永久ノ神ガ今日創造シツアルモノデ、昔ノ物ヲ見ヤウト云フ  
ノデハナイ。昔カラノモノデアルガ今動キツアル命デアル音  
楽ト云フ感情ノ様デアルガ、大ナル宇宙ノDrama、意志ヲ  
以テ活動シツアルDrama、夫レヲ感じタイノデアル。故ニ  
Now present realityデ決シテ寂滅ニ入ルモノデハナイ。其  
処ニ始終具体的ナル命ノ潜在シツアルモノデアル。

其処ニ神秘ノ幕ガ段々開カレテ非常ナル生命ガ発現ス  
ル。ソコデ其ノ意志ヲ看破スルナラバ、未来ヲ洞察シテ預言  
スルコトガ出来ル大イナル宇宙ノ意志トツツニナッテ、私共  
ガ其ノ意志ヲ意志スルナラバ必ず之レヲ感得シ、之レヲ実現  
スルコトガ出来ルノデアリマス。故ニアナタ方ガ夏休ミニオ入  
リニナルマヘニ其ノ宇宙ノ音楽ヲ自分ノ堅琴ニ受ケテ共鳴ス  
ルコトガ出来、其ノVisionヲ見テオカヘリニナルコトガ必要デ  
アリマス。此ノ意志ハ今アナタ方ヲ呼ブ声トナッテ現レテ居リ  
マス。之レハ今ノ意志デアル。我々ヲ支配セントスルトコロノ  
力ガアル。此ニ参加シテ其ノ声ヲキ、夫ノ大ナル仕事ヲ成  
シ遂ゲルト云フコトガ出来ナケレバホントニ瞑想シタ生活ト  
ハ言ハレナイノデアル。之レハ曾テモーゼスヲ呼ンダコロノ  
天ノ声デアル。夫レガ今ノ子ドモヲ呼ンデ居ルノデアリマス。

モーゼスノヤウナ人モ躊躇シタノデアル。夫レハ私ノヤウ  
ナ者ニト云フコトデアルケレドモ、若ク弱キ者ニ天ノ召シガア  
ルノデアル。此ニ又第二ノ声ガキコエルノデアル。夫レニ答  
ヘヲシナケレバナラス。私共ハ何時モサウ思フノデアリマス。  
私ハ誠ニ力ノタリナイモノデアル。又境遇モ甚ダ宜シクナイ  
モノデアルケレドモ、天ノ召シガアルナラバ何処迄モ信ジ進  
ンデ行クノデアリマス。私ハ今非常ナル使命ヲ感じテ居ルノ  
デアル。私ノ使命ハヤガテアナタ方ノ使命デアリマス。我々  
ハ力ノ足りナイ小サイモノデアリマスケレドモ躊躇セズニ進  
ンデ入レト云フ天ノ声ガアリマス。夫レヲ共ニキコトガ大切デ  
ハナイカ。私共ハ今ドンナ使命ヲ受ケテ居ルカ。私ノ目ニハ  
Visionガ見エテ居ル。アナタ方ハ夫レヲ見シケレバナラスノ  
デハナイカ。我々ハ女子教育ノタメニ校風ヲ築カウトシテアナ

夕方共二日夜苦心ヲ致シテ居リマス。未ダ幼稚デハアルケレドモ其処ニ根本ガアルノデハナイカ。之レハ唯ダ我が学校ト云フバカリデハナク、帝国ト云フコトヲ思フト世界ト云フコトヲ思ハズニハ居ラレナイ。帝国ノ教育ト云フコトヲ考ヘルト共ニ世界ノ文明ヲ高メネバナラス。世界ノ文明ニツイテハ私共モ発言権ガアル。其ノ役目ヲ我々ハ天カラ仰セツケラレテ居ルノデアル。今後ノ世界ト云フコト、並ビニ東洋ノ将来ト云フコトニツイテハ我々ニ一ノ大責任ガアルノデアリマス。之レヲ耳アツテ聞ユル人ハキイテ戴キタイノデアリマス。目ニ見エナイ世界、目ニ見エナイ主国ヲ創造シ建設スルコトニ就イテアナタ方ガ参加スルコトガ出来ルナラバ、アナタ方ノ生涯ハ誠ニ貴イ価値アルモノト考ヘマス。之レハ帝国教育ノ問題、東洋婦人ノ問題、否世界文明ノ問題デアリマス。故ニ私ハアナタ方ノ理想ト云フコトヲ祈禱ト云フ様ナ深イモノトナツテ、銘々ニ其ノ深イ使命ヲ考ヘニナツテ、之レデ實現シ得ル生活ヲナサルコトヲ希望致シマス。

終り

[中表紙]

大正五年九月十一日  
第二学期始業式ニテ

大正五年九月十一日  
第二学期始業式ニテ

今朝ハ初メニ小供ニオ話イタシ、女学校、大学校、大学部ト順ニオ話致シタイト思フノデアル。今年ハ秋ノ学期ヲ始メルニツイテ全体ニ御注意致シタイトガアル。各自ニ深く考ヘテモラヒタイトガアルノデアル。小供ニハヨクワカラナイデアラウカラ後カラヨクワカル様ニ言ヒキカセテ頂キタイ。先ヅ小供ニワカル様ニ申シタイ。

[夢]

私ハ今朝東ガ白ミマス頃、起キカケニ夢ヲ見マシタ。小供モ夢ヲ見マセウガ夢ハドンナモノデアリマセウカ。昔ハ夢ヲ見ルモノハ愚者デアルト言ツタガ… 夢ハ起キル前ニヨク見ルモノデアル。眠ル時ニハ真底ノ私ハ寝ナイデハ考ヘテ居ルノデアル。ソシテ外ヘハ出テ来ナイノデアアルガ、起キガケニハヨク日頃ノ強イトコロノ心ノ働キガ表レテクルノデアル。即チ夢ハ眠ツテ居ル時ニ考ヘテ居リ想像シテ居ルコトガ表レタノヲ言フノデアル。

夢ハ迷信トノミハ言ヘナイノデアアル。心ノ働キガ表ハレテ夢トナルノデアアルカラ深イ意味ノアルコトガアル。ヨイ夢ニヨツテ深イ暗示ヲ得ルコトガアルノデアアル。今朝私ガ見タ夢ハ誠ニ面白クツタ夢デアル。我日本帝国ガ日清、日露ノ戦争ヨリモ、今日世界ノ大戦争ヨリモ尚ホ大ナル大戦争ガ起ツタ。ソレニ出陣スルト云フ場デアツタ。気高キオ方白キ馬ニ跨ガリ給フハ我が 天皇陛下デアアル。此ノオ方ガ此ノ大事件ニ対シテ今ヤ神明ニ誓ハントセラレテ居ル。其ノ右ニハ将士ガ居並ンデ居ル。其ノ一方ニ私ハ馬ニ乗ツテ居ツタガ、ヨク見ル

ト馬ノ尾ノ方ニ顔ヲ向ケテ乗ツテ居ル。ソシテ其ノ前方ニハ皆サンガ並ンデ居ル。ケレドモ馬ニ逆ニ乗ツテ居ルカラ手綱ヲ取ツテ向キ直ホシタ。此ノ時ニ玉音朗カニ何事カ聞エタ。オ読ミ上ゲ遊バス紙モ、オ姿モ、オ言葉モアリアト見エルノデアツタ。今ハ其ノ御言葉ハ覚エテハ居ナイガ。紙ニ書イテアルオ言葉ハワカッタ。

天ノ神ニ其ノ天祐ヲ祈リニナリマシタ。其ノ意味ハ我が帝国民ノ為ニ、内ノ色々ナル病氣ノタメニ、世界ノ大乱ノタメニ、我が帝国ハ立ツテ天ノ使命ヲ全ウスルニ際シ、天ノ威光ニヨツテ世界ノ紛乱ヲ救ハント云フコトヲオ祈リ遊バスコロデ、一同ハ皆共鳴シテ居ルト云フ有様ノ夢デアツタ。之レハ私ガ国ノコトヤ世界ノコトヲ考ヘテ居タメニ見タノデアラウ。又目ニ見エヌ意志ガ宇宙ニ漲ギツテ居ル。夫レガタメニコンナ想像画ノヤウナモノナツテ表ハレタノデアアルト思フノデアアル。此ノ時私ハ考ヘ出シマシタノハ、昔イスラエルヲ救フタイスラエル人ノ サミュエルト云フ人ノコトデアアル。此ノ先生モ深イ生活ヲシテ居タ人デアアル。幼時ヨリ朝夕ニハ必ズ目ニ見エヌモノニ祈リヲシテ居ルノデアアル。目ニ見エヌ神ノ声ヲ聞キ、イスラエルノ国ヲ救ヒ、敵ノ侵入ニ対シテ王ヲ立テ、遂ニ勝ち得タノデアアル。我が国ノ弘法大師モ人ヲ救ヒ、多クノ人ヲ救ヘル様ナ大先生トナツタノデアアル。此ノ二枚ノ絵ハヨク似テ居リ教訓ニナリマスノデ参考館ニ置イテアリマス。夢ノ意味ハ我国ハ世界未曾有ノ大戦争ヲ目前ニ見テ居ル。此ノ時ニ我国ハ如何ニナスベキデアラウカ。即チ我國民ハ全体出陣スル覚悟デナケレバナラス。水ノ中デモ火ノ中ニデモ飛ビ入ルノ覚悟ヲキメテ戦ハネバナラスノデアアル。此ノ学期ニ於テモ大ナル使命ヲ天ヨリ授カツテ居ルノデアアルカラ、一ツノ団結トナツテ自分ノ敵ニ向ツテ戦ハナケレバナラス。

第一ニ戦フコトハ近頃ヤカマシイコレト云フ流行病デアアル。尚肺結核又ハトラホームナドモ流行スルノデアアル。之レニ恐レズシテ衛生ノ力ヲ以テ、我々婦人ノ力ヲ以テ、病氣ニ打ち勝ツト云フ決心デナケレバナラス。先ヅ今日ノ前ニ来テ居ルコレラハ食物ヤ飲ミ物ニツイテ我々ヲ犯スノデアアル。第一ノ注意トシテハ飲食物ニ氣ツツケナケレバナラス。水ナドヲ飲ンダリセヌ様ニセンケレバナラス。流行病ハ自分一人デハ済マヌノデ、他ニ迷惑ヲカケルコトニナルノデアアルカラ尤モ注意センケレバナラス。

第二 腸、胃ヲ大切ニスルコトガ大切デアアル。身体ガ健全デアレバ此ノ恐レヲガレルコトガ出来ル。

第三ハ精神ノカデアアル。之レガ如何ナル病氣ニモ勝ツコトガ出来ル条件デアアル。精神状態ヲ純ニスルニハ信念ヲ養フコトガ大切デアアル。コノコレラハ目ニ見エル病氣デアアルガ、目ニ見エヌ病源ガアル。之レヲ取り去ラナケレバナラス使命ガアルト思フノデアアル。之レカラ女学校四年以上ニオ話シタイト思フ。

私共ハ微力ヲツクシテ參ツタ瘠馬ニ鞭アゲテ来ト云フコトヨリ外ニナイガ、之レデ勝利ヲ得タト云フ彼岸ニ尚遠シ得ナイ。モウ一層オ互ヲ激励シテ、モウ一段其ノ瘠馬ニ鞭アゲテ進マネバナラス。尚茲ニ覺悟ヲセンケレバナラス時ニアタリ十五年一日ノ如クオツクシニナリ、母校ノ娘トシテ永キ間君耐

シテオツクシニナツク皆様ニ、疍馬ニ鞭ヲアゲルト云フコトハ忍ビヌノデアル。シカシ如何ニシテモアルモノヨリ外ニハ出ナイノデアルケレドモ、姑息ナンドハ出来ヌ時トナツク。背水ノ陣ヲハルト云フ覚悟ヲシタノデ、最早ヤ生死ノ何レカヨリ外ニハナイノデアル。第二学期ニアタツテ明年四月ヨリ実行イタシマスル用意ニ取りカルコトニ全体協同シテ頂キタイ思フ。之レハ何ヲ意味スルカハ言フマデモナイコトデアルガ、初メニ一言明カニシテ深キ考ヘト固キ決心ヲ願ヒタイト思フノデアル。

私共ハ小サキナガラモ男一匹ヲコニ投ジタノ何ノ野心ハナイ。此ノ高等学府ヲ国家ニ設立スルト云フ目的ノミデハナイ。必生ノ事業トシテ、永久ノ目的トシテ是非実現センケレバナラス、我等ノ使命ヲ果タサネバナラスト云フ根本ノ目的ガアルカラデアル。其ノ目的ガ成就センケレバ、例ヘコニ校舎ハ充分ニ備ハリ基金モ充實シ、生徒ハ増シテモ、社会ノ名声ハ拳ガルトモ私共ハ満足セヌノデアル。我等ガ目的トシテ居ルコロニ達シ得ヌナラバ、コレ迄ノコトモ徒勞ニ帰シテ了フノデアル。之レハ説明スルコトノ必要ハナイ位ニワカッテ居ルコト思フ。私共ノ根本要求ヲ充タスト云フコトハ、今日迄ノ学問ノイヒ方デハダメデアル。尚徹底シ得ヌ状態デアルタメデアル。十五年ヲ算スルニ至ツタ今日、讓歩スルコトハ出来ヌノデアル。第一ニ改善スベキ要件ハ根ヲ築ク云フコトデアル。其ノ道ハ如何ニスベキデアルカト申シマス、之レハ言葉ノ上デハ常ニ述ベ、且ツ努力奮闘シテ今日ニ至ツタノデアリマス。ツマリ我等ノ生活、即チ学生トナツテ学問ヲスルト云フコトハ、科学的研究ヲスルト云フコト、モウツハ信念涵養デアル。凡テノ生活ニ根本ヲ有スル生活ニ入ルト云フコトデアル。今日マデハ表面ノ仕事ノタメニ實質ヲ取ルコトガ出来ズ、真ノ人間トシテ活動スルカヲ獲得スルコトガ出来ナイデハ戦ッテ居ルノデアル。来学年度迄ニ態度ヲ明ラカニシテ実行センケレバ、私共ノ居ルコトガ無意味ニナルノデアル。斯ナコトヲ言フト高等女学校位デハヨクワカラナイカモ知レヌカラ少シワカリ易ク説キタイ思フガ、時モナイカラ十分ニ申サレヌケレドモ、近代ニナツテ世界ノ文明ガ今日迄ノ文明ノ欠点ヲ見出し、真相ヲ漸ク知り初メタノデアル。我国ノ真相ノワカリ難イノモムリナラスコトデアル。論理学、文章学、言語ナドハ常識ト科学トノTermデ、器械の世界ヲ説明スル機械デアル。之レヲステ、精神界ヲ解サウトスルカラ真意ガ解サレヌノデアル。言葉ハ不完全ナモノデアル。然ルニ此ノ根本生活タル宗教マデガ物質化シテ、宗教モ次ニハ文学モ、美術モ共ニ弊ヲ受クルニ至ツタノデ、今日ハ此ノ弊ヨリ脱セントスル努力ヲシテ居ルノデアアルガ、殆ンド不可能ノ如キモノデアアル。或ル博士ハタゴール氏が我国女子ニ話ストモワカラナイデアラウト嘲笑的ニ言ッテ居ルガ、タゴール氏モ言ハレテ居ルガ、日本ノ学者ノ如ク真意ヲ解スルコトノ出来ヌモノハ少イ。モシ東京ニ大学デシタ演説ヲ米國ヤ英國デシタナラバ其ノ真意ハ日本ノ学者ノ如ク解シ得ヌコトハアルマイト。

。真理ガワカリ如何ニセバ生活ガ出来ルカト言フニ、之レハ今日迄ノ研究ノ仕方デワカラナイノデアル。神学、哲学ノ講義ヲ聞イテモワカラナイノデアル。自分ニ其ノ

実ヲ結フコトノ出来ナイノハ、今迄ノ如クニ記憶ノミシタリ器械ヲ取扱ッテ居テモダメデ、コレハカスト、道具ニ過ギヌ。Realityニハ達スルコトハ出来ヌ。此ノ信仰ヲ破ラナケレバナラス。徒勞ニ過ギヌノデアル。然ラバ如何ニナスベキカデアアル。之レハ極ク簡単デアアルガ、自分ノ考ヘガ本當ニナラヌ時ニハ真意ヲ取ルコトガ出来ヌ。一言デ明カニ言フナラバ其ノ知識ヲ得ル、其ノ実ヲ結ブト云フコトハ自発的ノ活動ニマツテ得ル経験デアル。経験ト云フノハ直感デアル。根本世界ニハ盲目デアッタモノガ愛、美が見エル様ニナリマシタ。心ノ目ヲ以テ靈界ヲ捕ヘルコトノ出来ルノハExperienceデアアル。スベテ私共ガ身ニ行フテ心ノ中ニ実現シテ、其ノ結果トシテ表ハレルコト、生活スル、自分ガ経験シ実行シ、自分デ感ジヲ考ヘ、自分デ愛シ、自分デ満足シ感謝センケレバナラス。自分ノ興味ヲ以テセンケレバナラス。此ノ如キ状態カラ遠ザカッテ居ツタノデアアル。ツマリ本末ガ転倒シテ居タノデアアル。此ノ根本ヲ啓発スルニハ信念涵養ヨリ着手センケレバ生活ヲ豊カニスルコトハ出来ヌ。之レハ十分実行シテ来タコトデアアルカラシテ、之レヨリ外ニ道ハナイト思フ。之レニ不信仰ノ人ハナイト思フノデアアル。各自ノ生活ノ方法ノ改善ハ以上ノ如キデアアル。之レハ常識的ニ言ツタガ科学的ニ言ッテモワカラヌ。各自ガ生活シテ、経験シテ見ンケレバナラヌノデアアル。此ノ様ニ根本的ニ改善致シタイ思フノデアアル。信念涵養ノ生活ガ出来テ制度ノ改善モ出来ルノデアアル。之レガ来年四月ニ表ハレテ来ンケレバ、引イテ帝國ノ教育改善ニモ及ブコトハ出来ヌノデアアルカラ重大ナル問題トシテ深く考ヘヲ要スルコト、思フ。モウツハ此ノ夏季ノ修養ニ於テ是非信念涵養ノ本ヲ築キ、尚基礎ノミハ実現シテ見タイ思ツタノデアアル。此ノ生活ノ代表ハ輕井沢ノ生活デアアル。之レハ二年モ此ノ心デ致シタノデアアル。又三年生モ此ノ決心デアッタノデアアル。此ノコトニツイテ一寸一言シテ全体協同ノ実ヲ挙ゲル様ニ致シタイ思フ。

今年ハ三年前ヨリ祈ッテ居ツタ。之レマデソレヲ色々ナル象徴的言葉ヲ用ヒテ居ツタ。其ノ一ツハGreat drama言ツタガ、此ノ協同主義デ四年前ヨリ知ッテ居タタゴール氏が来ルコトナリ、此ノ第一人ヲ私共ノ輕井沢生活ノ空氣中ニ加ヘルコトシテ各自ノ計画デ生活シヨウトシタガ、暗々裡ニ相通ジ合フタノデアアル。同ジコトヲ考ヘ同ジ意志ヲ以ッテ居タ云フコトヲ知ツタ。

同ジ心ノモノガ多数相会シタノデアアルケレドモ、実ハ代表的ノモノノミアッタノデアアル。故ヲモツテモ諸子ニ報告スルノ必要ガアルガ、ソノ会ノ目的ハ何デアアルカト言フニ、私ハ開会ノ時ニモ目ニ見エヌ精神的ノ同盟ト云フコトデアアル。尚ホ世界ニヒロガッテ居ル會員、婦一協會ノ人々ガコニ居ルSpiritual dramaヲ演ズルタメニ第一ノ總會ヲ開キ、而シテタゴール氏ヲ東洋ヨリ大使トシテ西洋ニ送ルト云フコトヲ言ツタ。

最後ノ会ニハ人格ト人格ガ緒ニ通ッテ居ル。目ニ見エヌCommuneデアアル。根本ノ根本ガアツテ神ノ意志ガ宿ッテ世界ヲ醒サシメテ、モウツ理想ニ向上スルト云フコトヲ斯クノ如キ相会デアアル此ノ精神的ニ使命ヲ感ジタ婦人ヨリ起ラナケ



レバナラス。其ノ婦人ノアツマリタル此ノ会合ヨリ出来ナケレバナラスト言ッタゴール氏モ、世界的ニ活動センケレバナラスト云フ使命ノタメニ立タレタノデアル。ソノ働キノ中心ハ日本デアルト言ッタコロガ、同氏モコニ我身ヲ投ズル決心ヲ示シ言ハルニハ、必要ニヨツテハ幾度モ日本ニ来ルト云フコトヲ言ハレタ。之レハーツノ団体ノ空気がアツク。シカシ之レハ又之レカラ宇宙ニ活動スル空気デアル。之レハ婦人ガ感ズル意識デアル。殊ニ諸子ニ感ジ得テ欲シイノデアル。山ニ行カヌ人モ共ニ参加シテ偉大ナル使命ニ捧ゲルト云フコトヲ解シテ頂キタイと思フ。自然ニ動ク氣ニ触レタノデ宇内ノ命デアル。夫レニ一致シ捧ゲタノデアル。自分ノ世界ヲ実現シ生活シテ行クノデ、茲ニ一段發展シ明ラカニナツク発達ヲ遂ゲ、信念涵養ノモノヲ作り得タト云フコトニナルノデアル。コレカラ教育ノ根本改善モ漸クナシ得ラレトと思フ。命ノ種子ノ如キモノガ蔭カレタト云フコトニナル。之レガ成長シテ婦人ノ大團結トナリ、世界婦人ハ協同シ二十世紀ノ文明ヲ生シ育テルト云フ大使命ヲ自覚シナサツテ、仕事ヲ自ラ初メテ、自分ノ内ニ経験ヲ積ンデ真ノ生活ヲスル様ニスル必要ナルコトヲ殊ニ訴ヘテ見タノデアル。終リニ一言言フベキコトハ、之レマデニ出来タ其ノ実質ハ何デアルカト云フコトヲ述ベタイ。夫レハスベテガ形式的デアルカラデアル。直感ノ力ヤ生活シテ見テ初メテワカルノデアル。俗ノ言デ言ヘバヤリ合ツテ見ルト云フコトデナケレバナラス。然ラバ宗教ト信念トハ違フモノデアルカ。私共ハ永久ノ生活ヲセンケレバ満足ハ出来ヌ。コニ至ツテ兩者ハ同ジコトデアルト言ハレル。今迄ノ宗教ト違ヒハ如何ト云フニ、今迄ノ所謂宗教ト云フハ即チ、第一、儀式Creedデアル。洗礼ヲ受ケネバ信者デハナイト云フノデアル。之レハ言葉デアリ儀式デアリCreedデアル。精神界ヲ外界ノ尺度、支配ヲ受ケシムル時ハ命ハナクナルノデアル。私共ノ言フ信念、宗教ハソコニ固マラヌノデアル。流レテ止マヌモノデアル。根本ハ感情デ、Reasonデ、意志デアル。之レハ一日モ止マルコトガナイ。瞬間ニ變ツテ居ル。此ノ天地ノ命ハ絶エズ流レテ停滯セヌノガ、儀式ニ束縛ヲ受ケナイ、常ニ流レテ居ルノデアル。

第二、宗教ト云フモノハ人間ト人間ノ団体、人間ニ妨ゲラレト云フコトデアル。即チPersonal Godトスルノデアル。即チ中間物ニ捕ヘラレテ居ル。真ノ信仰ハ直感的ニ神ヲ見ルトカ神ト相通ズルト云フコトデアル。Christ、仏陀ナドハ先生デアリ兄弟デアル。サレバ外界ノモノニ妨ゲラレヌノデ直ニ神ヲ信ズルコトデナケレバナラス。

第三ハ自発的ノ活動ヲスルト云フコトデアル。宗教、他力ニヨツテ居ッタガ、信念ハ自分ヨリ出ル生活デアル。教育モ自動的デアルガ宗教ハ自発的デアル。心ヲ表ハス、心デ人ヲ思フト云フコトニナルノデアル。今年ノSymbol. 第一、天心ト言ヒタイ。天ト心ト相交通スル生活デ、第二ハ天信デ、流レテ止マヌ信仰デアル。第三ハ天真デアル。自発的ニ表ハスト云フコトデアル。之レガ今コニ發生セントスル大切ナルモノデアル。之レハMeditationニヨツテ知り得ルノデアル。此ノ流レニ突入スル、出陣スルノデ願クハ同心ノモノハ其ニ進軍シテ貫ヒタイ折ル。

[中表紙]

大正五年九月十三日  
 大学部全体ニ於テ

大正五年九月十三日  
 大学部全体ニ於テ

[改善案ノ実施]

長イ間ノ宿題デアル改善案ヲ実施スル積リデアリマスノデ、共同生活ヲ充実スル空気が作ル事ニ勉メマシタ。夫レデ全体ニ亘ツテ申サネバナラス事モアリマスケレ共、第二期カラ致サネバナラス急務モアリマスガ、今日ハ全体カラ出タ要求ガアリマスノデ夫レニ応ズル様ニ致シタイノデアリマス。

[夏期ノ経験]

今学期ノ初メニ當ツテ尤モ早く知りタイ事ハアナタ方ノ現状デアリマス。故ニ夏期二ヶ月間アナタ方ノオ試シニナツク経験、今後ノ決心及ビ将来ノ希望等ヲカードニ書イテ一週間内ニオ出シニナル様ニ、三年ノ方ハ軽井沢デ最後ニ発表ナスツク事ヲ書イテ戴キタイノデアリマス。

[英、印ノ態度]

其ノ前ニ一昨日申シタ事ニツイテ一言補充シテオク必要ガアラウト思ヒマス。夫レハ英國政府ガ印度ニ対スル態度ト云フ事ニツイテ一言致シマシタガ、夫レニツイテフィリップスサンカラ手紙ヲヨコシテ下サツク事ハ誠ニ喜バシイコトデアリマス。

先ヅ第一ニ私ガ此ノ事ニ付イテ言ヒマシタ態度ヲ明カニシテオカネバナラス。先日寺内総督ノ部下ニアツテ朝鮮ノ教育ニ當ツテ居ル人ノ話ニ、寺内総督ハ一視同仁デ、朝鮮ノ事ヲ内地ト少シモ異ラヌ様ニシタイト云フ考ヘデアル。夫レニモ拘ラズ恨ミ背ク様ナ事ガアルナラバ彼レ等ガワルイノデアルカラ、日本政府ノ方デハ何処迄モ朝鮮ノタメニヨイ様ニシヤウト云フ方針デアルト言ツテ居ラレマシタ。夫レト比較スレバ英國政府ノ印度ニ対スル關係ハ多少事情ヲ異ニスル点モアルカラ、同ジヤウニハイケナイト云フ事モ察シナイデアリマセン。クリスト教ヲ伝道スル事ニツイテモサウデアル。故ニ決シテ同盟国タル英國政府ヲワルク言ツタノデアリマセン。併シ我々ハ今日ハ最モ公平ニ總テノ事ヲ觀ナケレバナラス。故ニ今日尤モヨク國際道德ヲ守ラネバナラスト云フ事ヲ申シタノデアリマス。

[國際道德]

我々ハ今世界ト云フ意識ヲ覺醒セント勉メテ居リマス。然ラバ世界ノ運命ニ付イテ公平ナル考ヘヲ以テ見ナケレバナラス。又公平ナル判断ヲ下サナケレバナリマセン。夫レハタゴールサント言ヒ合ヒマシタ話ノ中ニ國家ト云フ問題ガアリマス。タゴールサンハ今日ノ國家弊害ニツイテ慨嘆シテ居ラレマス。私ハ此ノ國家ト云フモノノ精神ノ方面ト器械ノ方面トニツイテ申シマシタ。此ノ精神ノ方面ニツイテハ私トタゴール

サントハ全然一致スルノデアルケレ共、器械的方面ノ事ニツイテハ合ハナイ点ガアリマス。

之レヲ大キク言ヘバ世界ニ大キナ強國ガニツアル。夫レハ英國ト独逸トデアル。英國ハ段々發展シテ行クニモ拘ラズ、独逸ハ狭イ國ニオシ込メラレテ居ルカラ何時カ何処カニ手ヲ出シテ成功シナケレバナラヌト云フ事ヲ常ニ考ヘテ居ルノデアリマス。

此ノ世界ノ富ガドー云フ処ニ集マツテ居ルカ、之レヲ歐羅巴ト亜細亞ト云フモノニ分ケテ比ベテ見ルナラバドーデアリマセウカ。東洋デ軍備ノアルハ日本バカリデアリマス。斯ウ云フ有様ニ唯ダ自分ノ國ノ事バカリ考ヘテ居ッテハドーナルデアラウ。之レガ私ノタゴールサント言ヒ合ツタデアリマス。私ハ斯ウ云フ事ニツイテモ何処カニ叫ビノアラン事ヲ希望シテ申シタノデアル。其ノ点ニツイテ御了解アラン事ヲ希望致シマス。

三年カラ殊ニ全体ニ貫徹スル様ニ今日話シテ貰ヒタイト云フ事ハ、二年三年ノ大部分ハ此ノ度輕井沢ニ於テ尤モ精神的ナル氣分ヲ養ヒマシタ。其ノ氣分ヲ全体ニ漂フ様ニ漲ラシテ欲シト云フ事デアリマス。

先日モ申シマシタ様ニ、此ノ度輕井沢デ達シマシタ頂上ハ之レヲ英語デ言フトEcstasyト言フノデアル。其ノ向上ノ道ハ如何ナルモノデアツカト申シマスナラバ、之レ迄度々使ツタ詞デ申スナラバGreat dramaヲ演シタト云フ事デアリマス。之レハ約三年前、モット前カラ我々ガ心ニ計画シテ居ツタ事デアリマス。夫レハ凡テ五幕程ニ分カレテ、第一ガ我々ノ幕、第二ガタゴールノ幕、第三ガアンドリュースノ幕、第四今後ノ使命ニツイテ談判開始ノ幕、第五入会ノ幕。其ノ第五ノ幕ガ未ダオリズニ今迄続イテ来テ居ルノデアリマス。

[タゴールノ幕]

タゴールノ幕ニツイテ私ガオ話スル訳ハ靈ノ王国ト申シマセウカ、アナタ方ガ憧憬シテ巴マナイ処ノ王国ハ如何ナルモノデアルカト云フ事ヲ之レニ由ッテ暗示シテ見タイト思フノデアリマス。

[心眼]

一昨日モ其ノ道ハ之レ迄ノ方法ニ由ッテハイケナイ。其ノ王国ハ内ニアル王国デ、即チ此ノ潜在意識ノ国デアリマス。即チ宇宙ノ実体デアル処ノ其ノ内ニ入ルニハ、科学デスル様ニ肉眼デ見ルノデハイケナイ。心眼ヲ以ッテ我々ガ内ニアル情緒、情操ヲ以テ、又根本要求ヲ以テ夫レヲ自分デ実験ヲスルヨリ外ハナイ。其ノ経験ヲスルニハ行ヒヲ以テ自発スル処ノ行ヒヲスルト云フ事ヲシナケレバ、盲目垣覗キデ役ニ立タヌト云フ事ヲ申シマシタ。其ノ私共ノ一番始マリノ働キハ自発ト云フ事デ、此ノ間天真ト申シマシタ自分ノ内カラ起ル行ヒデ、全人格ヲウチ込デ渾身ノ力ヲコメテスル処ノ活動ハ疑フ事ナク、躊躇スル事ハナク信ジテ進ムト云フ活動ヲシナケレバホントハ道ヲ見シテ功ヲ奏スルト云フ事ハ出来ナイノデアル。故ニ私共ノ修養活動ハ飽クマデモ内カラ発スル力ニヨラネバナラス。カラ念佛デハイケナイ。実ニ有効ナル信念ハ其処ニアルノデアリマス。併シ其ノ信念ハ決シテ孤立のナモノデハナイ。宇内ノ無限ナル絶対、其ノ自我ノ中ニ宇

宙ガコモツテ居ルト云フ事ガ出来ル。故ニ決シテ他ヲ排斥スルガ如キ非社会的ノ様ナモノデハナイ。之レニハ何カノ刺激ヲ要スルノデアル。其ノ刺激ヲ空氣或ハ四圍ノ境遇ト申シテ居ルノデアリマス。

[空氣]

斯クノ如ク我々ノ精神世界ハ此ノ目ニ見エヌ空氣ノ刺激ニヨツテ自発的ノ活動ヲ開始シテ自動的ノ仕事ヲナシ得ルノデ、之レヲ欠イタナラ如何ナル偉人ト言ヘ共、何事ヲモナシ得ナイノデアル。オ互ノ間ニ一度相互ノ了解ガ出来タナラバ何事デモ成ル。之レニ反シテ相互ノ了解ヲ妨ゲル処ノ嫉妬トカ高慢トカ交ツタナラバ其処ニ軋リ合ヒガ起ッテ来ルノデアリマス。空氣ガ出来タナラバ汝ハ第二ノ私デアル。相互ノ間ニ人ヲ知り己レヲ知ッテ貰ヒタイ。又私共ハオ互ニ応答ヲスル人格ヲ尊敬スルタメニ恭シクお辞儀ヲスル。夫レニ對シテ向フノ人ガ丁寧ニお辞儀ヲシテ下サル。之レガResponseデ、オ互ニ相反スル事ニ由ッテ空氣ガ出来ルノデアリマス。又何カヨイ事ヲ人ガ提議スルナラバ皆ガ相一致スル。之レヲ模倣ト言フ。タゴール氏ノ所謂Onenessデアリ、エマソンノ言フOne mindデアリマス。

[自発的の行為]

此ノ共通ノ空氣ガアツテ我々銘々ノ実質ヲ刺激シテ、初メテ我々ハ自発的ノ行為ヲ始メテ成ル。此ノ自発的ノ行為ガ重ナツテ初メテ天才ガ發揮セラルノデアリマス。此ニSelf-relianceト云フモノガ出来、四圍ノ境遇ト云フモノガ出来テカラ真ノ自発的ノ行為ガ發揮セラルノデアリマス。

タゴール氏ノ事ハドノ新聞デモ詩聖、聖徒ト書イテアル。此ノ天才ガ詩想ヲ養フニハドーニスルノデアルカ。彼レガ呼吸スル処ノ空氣ガ出来ナクッタナラ、彼レノ氣焔ヲアゲル事ハ出来ナイ。彼レノ熱弁モ迸リ出ヅル事ガ出来ナイノデアリマス。然ルニ輕井沢ニ於テ始メテタゴールサンノ本意ヲ吐カセル事ガ出来、タゴールサン自身モ高調ニ達スル事ガ出来タノデアリマス。

[中表紙]

大正五年九月二十日

大学部全体ノ為ニ

大正五年九月二十日

大学部全体ノタメニ

[目ニ見エヌ王国]

今日ハ前ニ一番終リノ幕、即チ王国ニ入ルト云フ、又夫ニ入ル宣誓式ト云フ様ナ事ヲ申シマシタ。

第一ニ其ノ目ニ見エヌ王国ト云フ我々ノモーツ確ナル、モーツ価値アル世界ハドーニスルモノヲ言フノデアルカト云フ意味ガワカラネバナラス。其ノ意味ノ解釈ガ必要デアリマス。夫レカラ夫レニ入ルト云フ行為、劇デ言ヘバActionヲ見ルト云フ事ガ大切デアリマス。サウシテ其ノ意義ノ解釈ト云フ事ハ誠ニムツカシイノデアル。何トナラバ詞ハモーツ深イ意

味ヲ表スニハ不適当ナル上ニ誤解ト云フ事モアルカラ、併シ私ノ出来ルダケノBestヲ以テ試シテ見マセウ。

[知識]

先ヅ実質ヲツカマエル事が必要ナル。之レヲカリニ知識ト云フテ居リマス。我々ガ生活ヲ有効ニシヤウ、即チ生キテ行クト云フ根本要求ヲ満足セシムルニハ其ノ知識ガ大切ナル。即チ生キテ行クト云フ道ヲ導ク光ガ大切ナル。

[知識ノ分類 過去、現在、未来]

其ノ知識ヲ分類シテ人間ノ過去ニ属スル経験及ビ現在、第三ニハ未来ノ知識、之レヲ先見ノ明ト申シマス。又其ノ直感ノ方面ノ知識ヲ預言ト言ヒ、之レヲ教フル人ヲ預言者ト言ヒ、先斯ク三ツノ部分ニ分ケテ、我々ガ学問ヲスル主ナル目的ノ部分ニ属スルカト云フ、言フ迄モナク未来ニ属スル明日ノ事ヲ今日カラ察知スルト云フ事ガ一番大切ナル。

例ヘバ気象学ト云フモノハ未来ノ天候ヲ知ルタメナル。之レニヨツテ天災ヲマヌカレル時ガ出来ル。科学ノ方ハ改善ト云フ事ガ目的デ、之レモ将来ノ事ヲ早く知ルト云フノガ目的ナル。斯クノ如クニ尚ホ一層靈感ト云フ事ハ預言ト云フ事ニアル。未来ノ摂理ニアルノデアル。之レガ宗教改革者ノルーテルノ如キモノ、其ノ他先祖ト云フモノハ之ヲ発輝シタモノナル。ソコデ信念生活ト云フモノハ始終未来ニ向ツテ発展止マザル処ノ生活ナル。之ヲヨクソノ真相ニ入ルタメニモ一ツ冥想ノ手立テヲ利用シテ、ソコニ出来ルタケ分解的ニ考ヘル事ハ全体ノ主観ナルト思フ。心理学ノ活動方面ヲ反省シテ見ル事ハ一ツノ助ケナル。

[直覚的知識]

心理学ノ第一ニ数フベキハ直覚力ナル。之レハ Matter、Thoughtト云フ方面ニ分ケテ、内ノ方面ナル。

直覚的知識ハ科学的推理ト云フ様ナ因果律ヲコエテ精神ニカハル事柄ヲ直覚スルコトナル。

此ノ抱負ト云フモノニハ非常ニ熱烈ナル憧憬ガアルケレ共、夫レガ果シテ出来ルモノデアルカ否ヤ。夫レガ成功スルカ、挫折スルカ、果シテ実現シ得ルカ否ヤト云フ事ノタメニ此ノ希望ニハ幾分ノ信仰ガアリマスケレ共、無限ノ力デ出来ンコトハアルマイ。必ズ出来ルモノナルト云フ事ヲ確信スルノデアリマス。即チ希望ト不安トガ戦ウテ其ノ希望ガ勝チツアルノデアリマス。故ニ希望ハ何時モ前ニ見エテ居ルモノナル。

[信仰]

第三ニ尤モ大切ナルモノハ信仰デアリマス。我々ノ直感ニ由ツテ、見エルモノニ由ツテ前ヘ前ヘト全力ヲ以テ全人格ヲ以テ押シ進メテ行クモノナル。故ニ信仰ハ人間ノ進歩ノ経験ナル。即チ人間ノ生キントスル根本要求デアリ、普遍ノ真理ニ叫フテ居ル処ノ意志ノ働キデアリマス。即チ絶対的人格者ト道ヲレトナリ、共同者トナリ、創造者トナツテ先ニ進んで行ク処ノ心理状態ヲサシテ信仰ト云フデアリマス。ツマリ信仰生活ト云フト卓見力アリ、理想ノ希望及ビ熱心ニ満チ、進歩ノ実現ヲ永久ニ続ケテ進ム生活ヲ申スノデアリ。モ一ツ大切ナル要素ガアル。夫レハ信念ト云フモノニハ理

想トカ、希望トカ、光トカ云フ特殊ノ働キデハナクシテ其ノ総テノ力ノ統一シタ処ノ全人格ガ、総テノ人格者ニ対シテ居ル処ノ態度ナル。ツマリ信念ノ骨髓ハ人格ト人格トノ融合或ハ交通デ、之レガ総テノ真髓トナツテ居ルモノデアリマス。

信トハ先ヅ人ヲ信ズルト云フ事ナル。アナタガ病氣ニナツテお医者さんニカツク時、ソノ指図ヲ受ケ、薬ヲ飲み、養生ヲスルト云フ時ハ自分ノ命ヲお医者さんニマカセテ了フト云フ事ガアル。夫レハ其ノ人ヲ信ズルカラナル。併シ外科ノ手術ナドヲスル時、切ルノハ医者ナルガ、其ノキズハ誰レガツギ合スノカ。之レハ医者デモナク、此ノ上ニ偉大ナルカガアルノデアリ。故ニ医者ニマカセタ以上ハ天ニマカセテ何モ心配シナイガヨイ。私共ガ此ノ社会ヲ改良シ、校風ヲ改メヤウトスル時、善ノ力ガ衰ヘテ悪ノ力ガハビコルヤウナ事ガアツク場合ニ、私共ハ必ズ善ガ勝ツ事ヲ信ズルノデアリ。

[絶対的人格者]

夫レハドー云フ様ニ考ヘルカト云フ、此ノ宇宙ニハ絶対的人格者ガアル。其ノ人格者ト一ツニナルト云フ考ヘガ大切ナル。夫レデ私ハ此ノ信念生活ヲ我々ノ演劇ノ経験ト申スノデアリマス。

第一ニ此ノDramatト云フモノハ面白イ処、又Dramaノ本質ハ預言的ノ所ガアル。今日此ノ精神生活ヲ尤モヨク培養シツアルモノハ劇詩人デアリマス。

演劇ニハ幕ガカツテ居ツテ、幕ハ現在デアリ其ノ内ハ未来デアリ、其ノ内ガ早く見タイノデアリ。故ニ何時デモ幕ヲアゲテ其ノ理想ノ実現ヲ望ンデ居ルノガ劇ナル。演劇ハ何時モ序幕ナル。第一ノ幕ハ第二ノ幕ニ対シテ序幕ナル。故ニ劇ハ何時モ序幕デアリ歴史ナル。夫レト同ジ人生ノ劇ハ何時モ序幕ナル。其ノ悲劇ト喜劇ト多イ人生ヲ写シタモノガ演デアツテ、演ガ先ニアツクノデハナイ。

此ノ間ノ一番終リノ幕、即チ目ニ見エヌ王国ニ入ルト云フ幕ハ今日ノ序幕デアリマス。今日ノ幕ガ上ツテアナタガノ靈覺ノ目映スルモノハ何ナルカ。其ノ時、其ノ時ノAction、即チ活動ナル。其ノ活動ハ必ズ人格者ニヨツテ其ノ役ヲ勤メテ居ルノデアリ。之レカラActionニ入ツテ其ノ關係及ビ実体ヲ同時ニ説明スル事ガ出来ルノデアラウト思フ。

[大正ノ維新]

私ハ今大正ノ維新ト言ヒ、明治ニ対シテ第二ノ維新ト申シテ居リマス。此ノ活劇ノ役者ハ確ニ婦人デアラウト思ツテ居リマス。明治ノ維新ハドーシテ行ハレマシタカ。之レハ私ノ小供ノ時ニ幕ガ開カレタノデアリマス。其ノ時山口デ藩論ガ二ツニ分レテ、維新派ト因循派ト云フモノガアリテ、維新派ハ初メノウチハ毛虫ノ如ク嫌ハレタモノナル。併シ青年ガ奮起シテ真先ニ死ヲ決シタノデアリマス。サウシテ其ノ指導者トナツタ人ハ神明ニ誓ツテ同志共ニ血判ヲシテ神社ノ本体ノ中ヘ奉納致シタノデアリマス。モ一其ノ人達デ今日生き残ツテ居ルモノハアリマセン。斯ウ云フ活劇ノ起ツタ時ニハ男子ハ命ヲ捧ゲルノデアリ。サウシテ神ニ対シテ誓ヒヲ立テ、仲間同志ハ一身同体トナツテ立ツノデアリマス。之レガ即チ維新ノ序幕ナル。

[第二十世紀ノ婦人]

今日世界ト云フ大キナ舞台カラ考ヘテ見ルト、第二十世紀ノ婦人ト云フモノハ如何ナル働キヲトリツアルノデアルカ。昨日私ノ手ニ入ッタモノヲ見マスルト、私ガ此ノ大戦争ノ始マル前ニ、多分サウナルダラウト言ッタ通りノ事ガ二年半後ノ今日ニ行ハレテ居ルノデアリマス。

其ノ尤モ烈シイ処ハ英國デアリマスガ、此ノアナタ方ノ姉妹ガシテ居ル活劇ヲ御覧ニナラズンバ居ラレナイノデアリマセウ。彼レハサフレージストニシテモサスレーゼットニシテモ婦人ガ国家ニ対スル態度ハ挙国一致デアリマス。我ガ国ニハ愛國婦人会ト云フモノガアリ、赤十字社ニモ多クノ婦人ガアリ、婦人矯風会ト云フモノモアリマスケレ共、何処ニサウ云フ事ヲRializeシタモノガアリマセウカ。

私共ガ三十年以上女子教育ヲシテ、ドーカ婦人ノ中カラ人格ヲ出シタイ。サウシテ其ノ人格ト人格ト融合シタ処ノ団体ヲ作りタイト考ヘテ奮闘努力致シマシタ。明治維新ノ時青年男子ガ血判シタ如ク、今日英國婦人ガ活劇ヲ演ジテ居ル様ニ、アナタ方オ互ノ間ニ同盟ヲ結ビ之レヲ神明ニ誓ウテオ互ニ目ニ見エヌ王国ニ入ラネバナラヌト云フ決心ヲナサツタ事、之レガ今年ノ輕井沢ニ於ケル最後ノ幕デアリマシタ。サウシテ其ノ幕ガ未ダ開イテ居ッテ、頻リニ活動ガ演ジラレツアルノデアリマス。其ノ目ニ見エヌ王国トハ何ヲ意味スルノデアリマセウカ。之レヲ今日申サウト思ヒマシタケレ共、今鐘ガナリマシタ。

[生ノ要求ノ実現]

私共ハ幕ノ明イテ居ルノモ楽シミデアルガ、又次ノ境ノ幕ノ下リテ居ル時モ楽シミデアル。何ントナラバ終ニハ千秋楽ニナルデアラウト思ウテ見ル。否私共ハ唯ダ見テ居ルノデハナク、銘々ノ生ノ要求ヲ実現シテ深イ目ノヲ達セネバナラヌノデアリマス。

[中表紙]

大正五年九月二十七日

大学部第二学期計画発表会ニ於テ

大正五年九月二十七日

大学部第二学期計画発表会ニ於テ

今学期各係ヨリノ要求ハ御モットモデ、各々共同シ各自ノ事務ヤ覚悟ヲ用意ナサレタ様デアル。之レニ付イテモット熟考シナケレバナラヌ処ガアル。今日ハソノ事ニ付イテハ次ニ譲リ、他ノ一、二ノ事ヲ申シテオキタイ思ヒマス。

今度ノ計画ニ付イテ何レノ部ニモ了解シテオカネバナラヌ事ハ、自恃、自発、自動ノ態度、且ツ關係ヨリナル空氣、銘々ガ反応シテ反動トナリ刺戟トナル境遇、自然、人、社会ノ關係ヨリナル空氣、境遇ノ調和ガ如何ニナセバ完全ニ出来ルカ、如何ニナセバ効力ガ益ス事ガ出来ルカ、ソレヲ中心トシテ考ヘネバナラヌ。其ノ理想ヲ追及シテ日常生活ヲ充分ニシテ行カネバナラヌ。ソレニ付イテ種々ノ方面ガアリマス

ガ、今日ハ最後ニ冥想、銘々ノ氣分、校風ノ充實等ノ改善案ガ出マシタガ、全体デモ一ツ注意シタラヨイト思ヒマス。

皆旗ヲ立テテ旗記シソノ元ニ団体ヲナシ、ソレゾレ色ガアル。ソノ氣色ヲ明カニシタイト云フノガ目的デアル。ソレニハ段ガアル。ソレデ筋ガ一、二、三、四トアル。段ハ常ニ進歩發展スル意味ヲ現ハシテ居ル。今日修養係ヨリ目ニ見エヌ空氣ニ香ル如キ其ノ色ノ意味ヲ發揮スル様ニシタイ。ソノ旗色ニ居ルモノハ何処ニ居テモ何処カニ女子大学ノ風ガアル。銘々ノ態度ニ、風采ニ、凡テノ事ニ現ハレテ居ル。誰レガ見テモ感ズル至醇ノ空氣ヲ感ズルタメニ目ニ見エヌ空氣ヲ感ジ、香ラヌ空氣ヲ感ジテ益々ソノ色ヲ現ハサネバナラヌ。ソノ事ヲ凡テニ現ハサネバナラヌ。又人間デアルカラ成就デハナイ。時ニハネムル様ナ時モアル。又之レヲ醒ス時ガアル。今日モ久シブリデ外国人ヲツレテ歩イタ時ニ Atmosphereヲ感ジタ。之レニ誰レモ甘ズルワケニ行カヌ。又大勢ノ中ニ入りテ汗ノ嗅ヒガシタ。此ノ様ナ事ハ外国ニ行ケバ決シテナイノデアル。此ノ様ナ事デハ先キニ整理ヲサシタ方ガヨイ。之レモ矢張り校風ノ責デアル。

ソレカラ各々ノ健康ニ付イテモ此ノ中ニ元氣ニ満チタ血ノ湧キ返ヘル様ナ人ハ見エナイ。凡テ心配ハナク平和ニ充チタ皆健康体ニシタイノデアル。人ニ厚意ヲモチ謙遜ニナルト身体ノ何レカニ現ハルノデ、之レモ旗色ナノデアル。之レニハ銘々ノ生活ヲ改メネバナラヌ。又氣分、空氣ニヨラネバナラヌ。ソレニハ冥想ト云フ事ガ必要デアル。ソノ冥想トカ考ヘルト云フ事ハ人ニ訓練シテ貰ウノデハナイ。根本ヲ有効ニ致スト云フ事デナケレバナラヌ。此処ニ自発ノ力ヲ呼び起スノハ生活ニ刺戟ヲ与ヘル空氣ヲ養フタメニ必要ナ事デアル。ソコデコニ会ヲ設ケタワケデアル。ソレデ充分デアルカト言フト之レハ信念ヲ養フツツ方法デアル。ソレヲ訓練ニヨリテ我々ガソノ態度ニナラナケレバナラヌ。ソノ生活ニハ縦モ横モアルガ縦ノ方ガ大切デアル。縦ニ進ムベキモノデアル。形ヨリモ心ニカナツタモノガアルナラバ団体トシテソノ Sentimentヲ定メタモノガ必要デアル。此ノ様ナ事ハ直グニ成立ツモノデハナイ。經驗シナケレバナラヌ。何レデモ自分ニ適スルモノヲ用フル事ガ必要デアル。而シテ真ニソノ旗色ガ旗デナク、心ヤ態度ヲアナタノ中ニ徹底サセタイノデアリマス。

[制度ノ改善ニ付イテ]

モ一ツイヨイヨ今日ヨリ之レヲ実行シタイノデアル。次ノ実践倫理マデニ只空氣デナク、自発ノニシタイノデアリマス。今度ソノ制度ノ改善デ、教授法ノ改善デ、試験ヲドースルカト云フ事デアル。ソレデ私ハ今学期ノ初メニ試験ヲドースルカト云フ事デアル。私ハ今学期ノ初メニシタイノデアル。ソノ試験ハ来週ノ水曜日ニ課業スル。ソノ時間前ニ何レノ方法ニデモヨイノデ、ソノ用意ヲシテ欲シイノデアル。ソレカラ三回ニ渡リタNoteノトリ方、ソレカラソノ結論トヲ書イテ貰ヒタイ。ソコデ次ノ水曜マデニ書イテ出シテ貰ヒタイノデアリマス。

此ノ前ニ我々ハ博物的ニ見ルノデハナク、過去、現在、未来ヲ見ル事ガ必要デアルガ、此ノ次ノ幕ハドー云フ筋骨キカ、又戦後ノ文明ガ将来如何ニナルカ、我々ヲ發展サス

Essenceデアルカラ我々ニハ目ガ醒メヌノデ、我々ノ幕ニハ如何ナルStageデアルカラ見ナケレバナラス。即チ十九世紀ヨリ二十世紀ヲ見ナケレバナラス。ソレニハ十八世紀ノ幕ヲ見ナケレバ次ノ幕ヲ見ル事ハ出来ヌ。

[宗教及び教育]

ソコデ三年ノ方ハ今後ノ宗教及ビ教育ハ如何ニ傾クカラ見出ス必要ガアルノデ、之レニ付イテ調べテ頂キタイノデアリマス。十九世紀ニハ科学ト宗教トガ相争ツテ来タノデ、之レガ今後分解スベキカ調和スベキカ、今我国デハ信仰ト学校ト云フモノヲツニシテハ居ラス。然シ我々ハ信仰上ニ学ビテ得テ居ルガ、今之レヲ明カニシナケレバナラス。

之レヲ知ル事ガ我々ノ自発的活動ニ関係スルモノデアル。二年生ハソレハムツカシイカラ

教育及ビ宗教ト自然ノ関係。之レハ幾分エマソンノ歴史論ニヨリテオ調べニナル様ニシテホシイ。

一年及ビ予科

教育トハ何ンゾヤ、宗教トハ何ンゾヤ。之レハ充分ナカ、Insideガナケレバナラス。ソレデ信仰ガドコマデ進ンデ居ルカワカルノデアリマス。

今日ハ時モ遅クナリマシタノデ之レダケニシテオキマス。

大正五年十一月二十八日

態度ト精神

[態度ト対象]

信念トイフ事モ、其ノ生活ノ実験ヲ如何ニシテ得ラレルカトイフ事モ、真ノ親友ニハ如何ニシテナレルカトイフ事モ、第一ニ注意スベキハ態度デアル。態度ニハ種々アル。真面目、不真面目等ガ夫レデアル。要スルニ誰モガ真面目ナ態度デナケレバナラス。態度トハ如何ナルモノカトイフニ、態度トハ何等カニ相対スル事デアル。彼我両極アル如ク、其一方ヲ主観或ハ自分トイフ。ソレニ対シテ必ず客観ガアル。即チ自分ノ対象物ガアルノデアル。此ノ態度ハ永久ニ連続スルモノデ、生命ノ在ル限リハ其処ニ何等カ対象物ガアル。即チ自分ト其ノ対象物トガ活ラキアウテ居ルノデアル。態度ノ悪イトイフ事ハ不真面目ノ事デアル。不真面目ハ対象物ニ反抗シテイルノデアル。又ソレニ構ハヌ事デアル。冷淡、無関係、他人行儀等ヲ悪イ態度トイフ。不得要領ガ即チ夫レデアル。

[態度ノ両面]

信念トイフ意味ノ根本ハ、自分ガ宇宙ノ本体ニ対スル態度デアル。又自分ガ其ノ宇宙ノ本体ト合スル一要素タル真理ニ対スル態度ヲ理性トイフ。真理ニハ絶対ニ服従スル。全力全身ヲ尽シテ研究ヲスルトイフ事ハ、真理ニ対スル態度デアル。此ノ態度ガ熱烈ニナリ、徹底シテクハ有様ヲ指シテ熱心或ハ忠実トイフ。凡テ物事ハ熱心ガナケレバ成立タナイ、信念ハ熱烈デナケレバ到達スル事ガ出来ヌ。

友ニ対シテ友誼ガ尽セナイノモ、自分ノ態度ガ冷淡デアルカラデアル。人ノ心ヲ動かス事ノ出来ナイノハ、自分ノ至誠ガ發揮スルニ至ラナイカラデアル。真理ヲ追究スル態度ガ不統一デアレバ、其ノ真理ヲ解ク事ガ出来ナイノデアル。期スル所ノ第一要件ハ、態度ガ不得要領デアルカラデアル。態度ガ熱烈ナラバ熱心ハ増進スル。態度ガ自発的ニ起ル領分ガ力デアル。発シ様トシテ居ルカラ悪習慣ニ依テ、ツマリ人工的ニ加ヘタ妨ゲニヨツテ發揮スル事ガ出来ナイ。

[直観的知識]

自分ノカラ何処迄モ意志トシテ真心ヲ以テ物ニ対スレバ、如何ナル事ニモ達シ得ラレル。ソレニハ先ヅ第一ニ態度ヲ作ラネバナラス。軍人ガ国家ノ為ニ倒レルトイフ覚悟デ出陣スル態度ガアレバ、如何ナル真理ヲモ追究スル事ガ出来ル。又如何ナル冷たい心ヲモ動かス事ガ出来ルノデアル。態度ヲ作ツテ後ニ人格ヲ作り、内ニ深く向ハネバナラス。内ニ向フトイフ事ガ即チ直観的知識デアル。自分ノ客観世界ニ突入スル事、自我に徹底スル態度ヲ執ル事ガ第一ニ大切デアル。

自分ノ内ニ注意力ヲ集メテ、其処ニ初メテ内観的感覚ガ限ラ覚マス。ソシテ初メテ自分ノ内面世界ヲ見ル事ガ出来ル。其カラ直感力トイフ。又其経験ヲ直観的知識トイフ。

[自動ト自己發展]

自分ノ内面世界ノ価値ヲ真面目ナ態度デツカマナケレバナラス。無限ナカラ出シテ自分ニ集注シ、自ら意識スル事ヲ自覚トイフ。人ハ各自、自分ノ使命、価値、天才ヲ自覚セネバナラス。自分ヲ知ルトイフ事、自分ノ本質ガ限ラ覚マストイフ事ハ大切ナ事デアル。之ヲ指シテ生キルトイフノデアル。生キルトイフコトハ、働ク、動く、行フトイフ事、即チ自動トイフ事デアル。自動ハ發展デアル。天才及ビ人格ノ發展モ同一デアル。我々が人生ノ価値、目的ト認メルノハ、即チ自己發展デアル。之ガ出来ナケレバ人間ハ盲目ト等シクナルノデアル。

[真正ナル態度]

我々ハ我々ノ態度ヲ客観的ニ内ニ集注スル事ガ態度ノ根本デアル。直観世界ニ入ルトイフ事ハツノ極デアツテ、其態度ガ進ミ、其ノ自覚ガ盛ニナル程其処ニ対極ノ方面ガ明瞭ニナル。即チ我々が宇宙ニ対スル態度トイフハ夫レデアル。コレヲ指シテ信念トイフ。信念ハ絶対ニ対スル態度デアル。要スルニ態度ハ神ヲ憧憬シ崇拜スルノデアル。感情的ニ言ヘバ愛スルトイフ事デアル。態度ノ真髓ハ愛デアラネバナラス。ツマリ人間ノ根本要求ハ愛デアル。態度ノ消極ニハ罪惡、病氣、煩悶等ガアル。人間ノ根本的要求ハ絶対者ニ対スル愛デアツテ、其処ニツノ関係ヲ作り、合体ヲ希望スル事ヲ真正ナル態度トイフ。

[寛容ト原動力]

自我ガ無限ニ發展スル事ハ絶対ト同一ニナラント奮闘、努力シテイルノデアル。永久ニ向上シテ止マヌ所ニ人間ノ教育ノ真意ガアルノデ、其目的ヲ達シ、意志ヲ遂ゲル事ヲ發展、教育、修養トイフノデアル。夫等ハ境遇ヨリ来ルモノデ、其境遇ハ宇宙ノ絶対者デアル。ソレガ発達セントスル心ノ食

物トナルノデ、相對シテイル事ニ依テ人格ノ發展、人生ノ価値ガ現ハレル。凡テノ根本ハ其処ニ始マルノデアアル。其ノ根本ヲ知ルノガ真理デ、真理ハ熱心ナ態度ガアツテ初メテ物ニ接スル事ガ出来ルノデアアル。宇宙ノ對極トイフ消極ノ交通ガ出来テ始メテ人格ガ出来ルノデアアル。其ノ關係ニハイルトイフ事ガ、神ト自分トガーニナルトイフ經驗ヲ生ジル。之ガ真理ノ真理デアツテ、人ヲ容ルハ事ノ出来ル大キナ度量トイフモ其処ニアルノデアアル。其真理、其哲学カラ凡テノ原動力ガ始マルノデアアル。

完

大正五年十二月十一日

自恃的精神

[女子ト依頼心]

外國ニ於テ人格者トイハレテ居ルロイド・ヂョウヂ及リンカニ等ハ、何レモ自恃主義デ成功シタノデアアル。何レモ學校ヘハ余リ行カナイ人デアツタガ、自恃的ニ修養シタノデアアル。自恃トハ米國ノ言義デアアルガ、英國デハ之ヲ自助ト言ッテ居ル。即チSelf-madeデアアル。最モ尊敬ヲ受ケル人格者ガ貧家カラ多ク出ル事ニ於テ、英米二國ハ世界第一ト言ハレテ居ル。男子志ヲ立テ郷閨ヲ出タナラバ、必ズ此ノ主義ヲ以テ何処マデモ貫イテ行クト云フ事ハ誰レモ当然トシテ居ル事デアアルガ、女子ハ果シテ如何デアラウカ。幼ニシテ父母ニ從ヒ、嫁シテハ夫ニ頼リ、老イテハ子ニ從ッテ、三界ニ家ナシトイフ如ク、何事モ人ニ頼ラネバ出来ナイノデアアル。ソレガ故ニ潜在意識(サブコンシヤス)の中ニ依頼心ガ深いノデアアル。自分ニハ何事モ出来ルトイフ自動的意志ガ少ナイノデアアル。卒業前ハ忠実デアツタ人ガ卒業後ニ自分ノ境遇ヲ改善スルトイフ事ノ出来ナイ人多イノハ、之ガタメデアアル。之デハ國民トシテ良妻トモ賢母トモ成リ得ル事ハ出来ナイ。故ニ女子ノ頭腦ヲ高メネバナラヌノデアアル。ソレニハ自恃的精神ノ修養ガ第一デアアル。種々ノ方面ニ偏セズニモウ一步其ノ主義ヲ徹底セシメネバナラヌ。思想ヲ徹底セシメ、生活上ニ於テ實現セネバナラヌトイフ事ガ凡テノ改善ノ根本デアアル。制度ノ効果ヲハス事ノ出来ル根本デアアル。

[信念ノ涵養]

態度ヲ改メテ真ノ生活ニ入り、其ノ主義ヲ徹底セシメルトイフ事ハ根本改善ニ就テノ第一要求デアアル。欠点ヲ補ッテ其ノ主義ヲ徹底セシメル前ニ考ヘネバナラヌ事ハ、一方ニ偏シテイル傾向ノ有無デアアル。自助ヲ力説シソレニ集注シタ結果、一方ニ偏シテ自重ガ自慢トナリ、自助トイフ事ガ少シ頑固トナリ、自分ノ欠点ヲ補ッテ行ク傾向ガアル様デアアル。之レハ真ノ自恃トナラネバナラヌ。禪宗デイフ野狐禪ノ如キモノデハナラヌ。西洋ニオイテモ個人主義ガ極端トナツタ結果、ニイチエ主義ノ傾向ヲ来シタノデアアル。物ニハ両極端ガアル。自我ト對我デアアルガ、絶対者ガアル事ヲ忘レテハナラ

ヌ。自由ハ絶対真理ニ一致スル事デアアル。之ハ真理ノ根本デ、永久無限ニ古今ヲ通ジテノ動カス能ハザルノ真理デアアル。天地ノ命令ヲ破ル事ハ出来ナイノデアアル。自恃ヲ徹底スルニハ信念ノ涵養ヲセネバナラヌ。之ガ我等ノ欠点ヲ補フニ大切ナル第一要件デアアル。個人主義ガ盛ニナリ自由主張ノ結果、今日ノ若イ人達ハ親ガ長上ノ命令ヲ守ラズ、其ノ心尽シノ了解ヲナシ得ナクナツタ。又今日ノ學生ハ昔ノ如ク師弟間ノ密接ナル關係ガナク、却テ長上ヲ侮辱スル傾向ガアルノデアアル。其レハ個人主義ヲ独立自營、唯我独尊主義ヨリ来ル事、我國ノ青年ノ頭ヲ支配シテイル傾キガアル様デアアル。不良少年ノ多クナツタモ其レニ原因スル。社会ノ傾向ハソレガ事實デアアルガ、我ガ校風中ニモ果シテ其ノ気分ガナイデアラウカ。若シアルトシタナラバ其レハ正シカラザルモノデアアルカ、將又個人主義ハ長上ヲ輕蔑シテヨキモノナルカラ熟考スル必要ガアル。師弟間、親子間ニ意志疎通ガアルカ否ヤヲ合セテ顧リ見ネバナラヌ事デアアル。

[自恃成功ノ実例]

英米仏ノ三ヶ國ニハ世界ニ名ヲ成シタ天才家ガ多クアツタ。ナポレオン、ヂヤンヌダーク、ネルソン、スコッチ、カーネギーガ夫レデアアル。而シテ其等ヲ考ヘルニ、皆悉ク自恃心ニ依テ名ヲ成シタノデアアツタ。中ニモカーネギーノ如キハ自ら起ッテ大事業ヲ為シタ人デアツタガ、夫レハ決シテ一時ノ機運ニ乗ジテ成功シタノデハナク、常ニ怠ラナクツタ労働ト修養トデ築イタ人格美ニ依テ出来タモノデアアツタ。ソシテ今日ニ至ル迄凡ソ二十年ノ間、七億ノ金ヲ世界人道ノ公共事業ノ為メニ費シテ居ルトイフ事デアアル。之ヲ日本ノ所謂成金業ニ比スレバ、其ノ差ハ如何デアラウカ。今更此処ニ説ク迄モナイ事デアアル。尚カーネギーハ、七十五歳ニシテ始メテ結婚シ、結婚後モ尚努力ノ生涯ヲ続ケテ、決シテ自分自身ノ休養ニ一分時ヲトモ無駄ニ費サナクツタトイフ事デアアル。之ハ財産ハ凡テ神カラ預ケラレタモノデアアツテ、一文ヲトモ私スベキモノデナイト信ジ、何人ニ對シテモ親切ニ謙遜ナル固イ信念ヲ持ッテ居タノデアアル。又ロイド・ヂョウヂハ英國人ノ自助主義ヲ代表スター人デ、ウエルスノ片田舎ニ生レテ、四、五才ノ頃父ハ死シテ、貧困ノ中ニ母ハ残サレタ三人ノ子ヲ養ヒ兼セタ程ノ境遇デアツタガ、其中ニ在ツタヂョウヂハ母ノ真心ニ感泣シツ、遂ニ自恃的精神ニ依リ、遂ニハ一國ノ宰相ニマデナル事ヲ得タ。斯ノ如ク世界ノ偉人ハ皆母ヤ師ノ影響ヲ受ケテ人格ヲ築イタノデアアル。

[正シキ道]

凡テ自恃主義ノ人格者デアアツタ。仏國ノ天才家ハナポレオン一世デアアル。然シ夫レヨリモナホ自恃主義ノ人格者ハLouisデアアル。ナポレオンノ一兵卒ニPasteurt云フ老兵士ガアツタ。此ノ老兵卒ハ除隊後皮鞋シノ職ニ從事シタ人デアアルガ、其子ノ教育ニハ貧困ノ中ニモ熱心デアアツタ。其ノ父ノ真心ニ励マサレテLouisハ有名ナバクテリア博士トナツタノデアアル。又米國ニ於テ大統領トナツタワシントンモ其心ノ高潔サハ何人モ知ル所デアアルガ、矢張父ノ教育ガ尋常デナクツタカラデアアル。此ノ如ク數ヘ来レバ偉人ノ人格ノ根本ハ皆自恃主義ノ態度デアアツタ。其發展ノ影ニハ必ズ父母或ハ師ノ

熱心ナ真心ガアツタ。若シ今日ノ我が国ノ若イ人達ガ多少物ヲ多く知ッテイタシテ、親兄弟或ハ師ヲ軽蔑スルナラバ、其レハ不完全ナル思想ニ因ハレタ結果デアアル。日夜自分ヲ思ウテイル親兄弟或ハ師ノ心ト共鳴シ、其レヲ理解シ、其レヲ尊敬シ、而シテ自分自身ノ正シキ道ヲ歩マネバナラス。完

大正六年一月二十二日

態度と自念

[各自ノ態度]

何ヲスルニモ第一ニ必要ナモノハ健康デアルトイフ事ハ此ノ前ニモ言ッタ通デアアルガ、第一期即チ二学期ノ調査ニヨレバ之レハ稍々好結果ヲ得タ次第デアアル。今学期ハ第二二位スル知力ヲ養フ事、即チ頭腦ノ改善ニ全カヲ注ガネバナラス。

今日ノ学生及ビ学風ノ欠点ハ、男女青年ガ不消化病ニ患ッテ居ルトイフ事デアアル。ソレニハ次カラ次ヘト忙ガシク詰メ込マレル知識ガ、消化サレテ健全ナ働キヲ如何ニシタナラバ為シ得ルカラ直サネバナラス。

第三ニ考フルベキ点ハ、意志薄弱デアアル。勇氣、注意力、努力トスベテノ点ガ薄弱デアアル。之等ヲ根本的ニ直サネバ、ヤガテ計画ノ実行ノ期ニ於テスベテハ不可能トナッテ来ルノデアアル。將ニ来ラントスル四月カラハ、学生改善ノ実行ニ移ルベキ過渡時代ニ於テ、全体ノ結束ヲ堅固ニシテ組織ヲ完全ナラシメネバナラス。先学期ニ説イタ原理、其ノ思想ヲ実行スル事ガ此学期ノ為スベキ事デアアル。スベテノ活動ヲ實際ニ始メネバナラス。採ルベキ方針ヲ各自ノ腦裡ニ刻ミツケテ実直ニ進ンデ行カネバナラス。先学期ニ説イタ所デハアルガ、如何ニシテ生活シ行クベキカヲ示スタメニモ一度繰返シテ見レバ、身体ヲ健全ニ導クニモ、人格ヤ意志ヲ礎クニシテモ第一ニ必要ナ事ハ各自ノ態度デアアル。人ハ唯実行セネバナラストイフコトハスベテノ時ニ於テ忘レテハナラス事デアアル。

[自念ト祈禱]

其レニ就テ態度ヲ改メルトイフ事ガ何ヨリモ第一ニ思ハネバナラス事デアアル。事アル時ニウロタヘ、アハテズ、又傲慢ナラザル態度ガ必要デアアル。小人トイフモ偉人トイフモ、其美ハ其処ヨリ生レルノデアアル。種々ノ群集ニ取り囲マレタ時、先ヅ第一ニ自分ノ態度ヲ思ハネバナラス。其処ヨリ真ノ自発的トイフコトガ出ルノデアアル。先ヅ姿勢ヲ直クシ深呼吸ヲシテ、一定ノ時間ニ之ヲ実行スル態度ヲ保タネバナラス。其処ニハ何かノ觀念ヲ持ツ必要ガアル。即チ私共ノ人格ガ雄大ニナル所ノ根本ニナルノデアアル。之ヲ名ヅケテ自念トイフ。之ハ宗教デイフいのりト同ジ様ナ事デアアル。然シ之レ迄ハいのりニハ迷信ガ這入ッテイタ。ソレガ為メニ若イ人達ハ輕シテイル傾向ガアル。故ニ茲ニハ之レヲ自念トイフ。天ノ自念トイフ言葉ガアル。宇宙ヲ支配シテイル自然ヲ天真トイフ。

即チ天真自然デアアル。之ハ天ノ生命、即チ天ノ実ヲ吸ヒ込ムノデアアル。

天真自然心身孟、天真爛漫自流露。

之即チ自分カラ外ニ向テ発スルノデアアル。之程正シイ無邪氣ナ事ハナイノデアアル。深呼吸ノ時此ノ觀念ヲ抱ク事ガ必要デアアル。ソレノミナラズスベテ事ヲナス時ハ此用意ガ必要デアアル。或ハ仏教ヲ信ズル人ナラバ

光明遍照十方世界、念仏衆生攝取不捨。

此ノ態度ヲ以テ事ニ当ルトイフ事ガ第一ニ大切ナル事デアアル。之ヲSentimentデアルト言ヒ得ルノデアアル。之ガ根底デアアル。之ニ依テ人生ノスベテガ發達シ進行スルノデアアル。

[突差ノ態度]

此ノSentimentヲ選ンデ態度ヲ改メルコトガ必要デアアル。其次ガ身体ヲ建設スルコトデアアル。消極的ニ言ヘバ意志ガ薄弱デアアルカラ病氣ニナルノデアアル。意志トハ何ゾヤト言ヘバ夫レハ勇氣デアアル。我国ノ婦人ハ此ノ勇氣ガ欠乏シテオルカラ人間ノ仲間入ガ出来ナイノデアアル。連合國側婦人ヲ見レバ、婦人モ亦戦争スルダケノ勇氣ヲ出スコトガ必要デアルトイフコトガ明瞭デアアル。決断ト勇氣トヲ婦人ハ当然養ハネバナラス。即チ寺内伯ガ朝鮮ヨリ帰ラレタ時ノ感想トシテ、我国ノ婦人ハ華美軟弱ニ流レテ来タト言ハレタガ、之ハ事實デアルト言ハネバナラナイ。我国ハ今交戦國デアアル独逸ガ勝利ヲ得テ、極端ナル軍国主義ヲ發揮シタスルナラバドウデアロウカ。夫等ヲ思ヘバ日本ノ婦人ハモット緊張セネバナラス。其ノ責任ハ總テ我々ニアルノデアアル。此ノ前ノ教育調査會ノ席上デ、我国ノ学校デ行ハル運動會ナドハ、酒ニ酔フ如キアルベカラザル風ヲシテイル学生ガ多イ。之ハ独り男子ノミデナク、女子ノ方モ義務ニ流レテ来テイル。我国ハ今ガ古来ノ心ヲ緊張サセル時代ニ當ッテイイルノデアアルカラ、運動會ナドノ楽隊ヲ廃止サセヨトイフ話ガ出タガ、真ニ最モデアルト言ハネバナラス。然シ此説ハ日本ハ現今、趣味殊ニ音楽ノ趣味ガ欠乏シテイルカラ、楽隊マデモ廃止サセルトイフコトハ考フルベキ点デアルトイフ説ガ出テ取消サレタケレドモ、之等ハ唯単ニ其ノ席上ノミニ談話トシテ抛擲サレナイ事實デアアル。斯ル時代ニ際シテ我々ハ如何ナル校風ノ内容ヲ保タセル必要ガアルデアロウカ。人間ハ突差ノ場合ノ態度ガ大切デアアル。夫レニハ常ニ筋肉ヲ練ッテ意志ノカヲ養ハネバナラストイフコトニ帰着スルノデアアル。 (完)

大正六年一月二十九日

教育ノ真髓ト我

[教育ノ真髓]

此頃ノ若イ女ハ如何ナル事ヲ要求スルデアロウカ。又親ハ如何ナル事ヲ考ヘテ子ヲ教育スルデアロウカト云フ事ヲ考ヘルニ、女ニハ実業教育ガ必要ダカラ実科高等女学校ヲ早く建テナケレバイケナイ。即チ之カラノ社会ハ女デモ職業教

育ヲシナケレバナラヌトイフ人ガアルガ、成程ソレハ一部ノ真理デアアルガ、然シ全部ノ真理デハナイ。若シモ教育ガナクッタナラ戦争ハ失敗スルニ定マツテイル。実行ト言テモ忍耐ト言テモ凡テ自分ノ頭腦ヲ高メネバナラヌノデアアル。実行ト言ヒ実業ト言ヒ、之等ハ全く誤ツタ意味ニ取ラレテイル。故ニ女子教育ニアタル人々ガ誤解スルノデアアル。如何ナル事ヲ学ブベキカト言フニ、自分カラ考ヘ自分カラ修メテ行カネバナラヌ。考ヘル事程實際のナモノハナイノデアアル。人間ノ働キハ其処ニアルノデアアル。身体ヲ使フト云フ事ハ精神ノ働カラ出ルノデアアツテ、我々ノ身体ヲ支配スルノハ思考力ガ基礎トナルノデアアル。考ヘヲ構成スル事モ大切デアアルガ、其考ヲ自念シ、人格ニ同化シテ、潜在意識ニ迄其考ノ波ガ進ンデ行ツテ、生カス力、建設スルカヲ自身ニ及ボサネバナラヌ。ソレハツマリ内容アル思想ガ心ノ中ニ動イテイルトイフ事デアアル。此ノ学校ノ制度モ改正サレテ、各自ノ自由ガ開放サレタ訳デアアルカラ、アナタ方ハ之ヲ生カシテ行カネバナラナイノデアアル。

#### [学問ノニ途]

自由トイフ事ヲFreedomト言フ。之ハ卵ノ名デアアル。其ノ卵ノ中ニEssene、即チ真髓ニナル、葉ニナル根本生命ガアルノデアアル。中心ニナル所ノIdeaデアアル。此ノ自由ノ卵ノ中ニハ如何ナル内容ガアルカトイフニ、其レハ自我活動ノ中心デアアル。根本生命ガ動イテ出ル中心デアアル。其第一ハSelf-exist(存在)デアアル。第二ハSelf-act(自動)デアアル。第三ハ統轄力(Self-control)デアアル。ツマリ自身ガ働キ、学ビ、行フ事デアアル。自分ヲ早く働カセル事デアアル。其レヲ妨ゲテイルノハ卵ノ殻デアアル。開放ハ其レヲ破リルノデアアル。或ハ外ノ圧迫ヲ破ルノデアアル。内カラ張ルカデ破レルノデアアル。張り切レル時マデハ其皮ハ必要デアアル。如何トイフニ自分ヲ守テイテクレルカラデアアル。其皮ヲ破ルノハ自覚デアアル。自覚ノ第一ハI amト云フ事デ、我アリ、我存在セリ、即チ自覚デアアル。自分ヲ知ルト云フノハ、自分ノ存在ヲ知ル事デアアル。私共ノ学問ニハ二ツノ道ガアル。自分ヲ知ルトイフ心理学、神学、人間学、哲学、宗教、文学ハ皆自分ノ学問デアアル。其ノ自分ヲ包ム皮ハ物理学、化学、数学、天文学、地理学、農芸学、経済学等デアアル。其ノ真髓ハ我ヲ知ル学問デアアル。

#### [我アルガ故ニ我レアリ]

宇宙ハ何カトイフコトモ我アツテ知ルノデアアル。凡テノ知識、学問ノ出发点ハ我デアアル。此ノ真理ヲ明ラカニシヨウトシタノハデカルトデアアル。

“What I am I know not, but I am assured what I am.”

初メテ人間ニ意識ガ出来タ時、人格ト云フ意識ガ生レタ時ニ、即チ天地ノ声ヲ聞クコトガ出来タ時、神ハ何ヲ人間ニ言ツタカ。夫レハI amデアアツタ。“What the Lord speaketh of himself with regard the people, He saith I am”

私ハオ前方ノ光デアアルトハ言ハナイ。天ノ光デアアルト言フノデアアル。即チ凡テニ対シテI amデアアル。之等ヲ一口ニ言ヘバ、我等ハ無限絶対ナル真善美ト同化シテ行クノデアアル。凡テヲ作用スルカガI amデアアル。実現スルカガ根本デ

アル。夫レガ自由トナツテ其ノ道ヲ考ヘテ行クノデアアル。“I am”、“I know”、“I act”、“I do”。夫レガ我等ノSub-consciousデアアル。自念スル生活ニハ天地ノI amト自分ガ混合スル精神ガ第一ニ大切デアアルコトニナル。(完)

大正六年二月五日

人格ノ修養ト婦人ノ自覚

#### [生活ノ目的]

絶対無限ナルモノガ即チ真理デアリ、愛デアアル。夫レニ対スル我々ノ態度ハ献身ノデアアル。奉仕デアアル。親デアリ友デアリ、又或時ハ君デアリ、生命デアアル。夫レヲ信頼ト言フ。其ノ自動自発ノ心、自由ノ心ヲ自分自カラ選択セネバナラヌ。夫レヲ信念ト言フ。服従ト云フコトモ、信頼ト云フコトモ、自立ト云フ事モ凡テ同一物デアアル。両極ガアツテ其力ガ共ニ働イタ時、中庸ヲ得ルト云フコトガ大切デアアル。我々ハ自立、自動、自修ト云フコトノ真理ヲ考究セネバナラヌ。之迄ノ如ク箇人主義ノ自己的勉強ヲ以テ頑迷ナルコトハ、一方ニ偏シタ宗教ノ結果デアアル。畢竟スルニ其人格ニ或ル欠陥ガ起ツテ来ルノデアアツテ、我々ノ生活ヲ律シテ行クニハ常ニ両極アルコトヲ忘レテハナラヌ。其ノ生活ノ目的ハ何デアアルカト言フニ、教育、修養、宗教ニアルノデアアル。即チ偉大ナル人格ヲ作り人間トシテノ道ヲ行クベキコトデアアル。凡テノモノヲ能ク内カラ発展サセテ立派ナル人格者トナル事デアアル。今日迄ノ婦人ハ或ハ機械視セラレ、或ハ奴僕セラレテ甘ジテイタノデアアルガ、今后ノ婦人ハ人間トシテノ性格ヲ表ハシテ確固タル信念モトニ生活ヲ統ケテ行カネバナラヌ。

#### [学問ノ最大目的]

無限ニ進歩発展スル目的ハ何処ニテ違セラルルカト言フニ、夫レハ無限ニシテ絶対デアアル。即チ其処ニ信念ガアリ、教育ノ目的ガアルノデアアル。其処マデニツキツメシ人格ハ立派ナル寢殿ニ住ムコトガ出来ルノデアアル。宇宙ノエーテルノ如ク其中ニ生活ヲスル所ノ人格デアアル。夫レハ帝王ノ如ク憐憫タル光ヲ放チテ天地間ニ之程ノ美ノ極ハナイノデアアル。其ノ帝王ガ栄エテ来ルノハ境遇ニ依ルノデアアツテ、ツマリ人格ヲ養フ所ノ境遇ヲ改善シ、完全ナラシムルト云フ事ニアル。寢殿トイフコトモ、天国ト云フコトモ、境遇ト云ツタコトモ、ツマル所同様デアアル。人格ノ基礎ヲ固メルト云フ事ガ、学問ノ最大目的デアアツテ、夫レガ我々ノ目的デアリ希望デアアル。其ノ人格ヲ建設スルニハ(人格ト境遇トハ共ニ在ルモノト思フベシ)如何ニスルカト言フニ、夫レハ自恃、自力、自念ト云フコトニアル。今日迄ノ如ク人工ノ建設物デナク、生命アル人格デアラネバナラヌ。無限絶対ノ内面ヨリクリエートスル力、発展デアラネバナラヌノデアアル。絶対ニ絶対信頼スルト云フ事ガ人格ヲ発展スル事ニナルノデアアル。其処ヨリ必ズ天才ハ生レテ来ルノデアアル。



[地上地下ノ生活]

然シ人間ガ如何ナル故ニ墮落腐敗スルカト言フニ、人間ガ漸ク啓蒙運動ヲ始メテ来タノデアツテ自恃、自動、自念ガ足りナイカラデアル。ツマリ依頼心ガアルカラデアル。夫レ故ニ根本的ニ生活カラシテ改善セネバナラヌノデアル。凡テノ物事ヲ能ク消化スルコトノ出来ル消化力ヲ増進サセテ、夫レ積極的ニ行ハネバナラヌノデアル。プラトーンナドハ、Thought(思想)ト言ツテイル。ツマリ人格ノ養成ハ自念ニアツテ、思想トイフ種子ヲ蒔ケバ何カノ行為ヲ刈リ入レル事ガ出来ルト云フ事デアル。デカルトハ「我ハ考ヘルガ故ニ存在セリ」ト言ツテ居ル。

“Self-contemplation, Self-mediation”

人格ノ種子ヲ第一ニ蒔ク事ガ大切デアツテ、蒔カレル土地ハツマリ境遇ニナルノデアル。上ニハ葉ガ茂ルト共ニ、地下ニハ人格ノ根ガ蔓コル。夫レニハ境遇トイフ土地ガ必要デアル。宇宙ノ力ノ種子ト云フノハ、ツマリ自分ヲ指シテイルノデアル。其処カラ出タ土地ノ上ノ生活ヲ意識(Conscious)ト言ツテ、地下ノ生活ヲ潜在意識(Subconscious)ト言フノデアル。ツマリ意識以下ニアルノデアル。

[潜在意識]

真ノ人格ヲ作ルト云フコトハ、自分ト云フ種子ニ対シテ豊饒ナ土地、即チ良イ境遇ヲ与ヘルコトデアル。根本的改善ト云フノハ、其処カラシテ改革スル事デアル。我々ノ行為ハ、ツマリ其地下ニ在ルワケデアツテ、其習慣ガ品性トナリ性格トナツテ表ハレテ来ルノデ、遺伝モ其中ニ潜ンデイルノデアル。宇宙ノ本質、神ノ本体ガ潜在意識中ニ潜ンデイルノデアツテ、意識ハ現ハレタ所ノミデアルガ、潜在意識ハ奥深イ凡テノモノヲ潜メテイル所デアル。人格ノ力、人格ノ深ミノ原動力ハ眼ニ見エヌ深イ所ノ我々ノ生命デアル。今日ノ心理学ハ意識以上ノ事ヲ言フノデ、之ハ又意識以下ノ学問デアル。意識ヲ超越シタ世界ヲ言ツテイルノデアル。世ニハ極端ニ煩悶シテ自殺スルト云フコトガアルガ、夫レハ潜在意識中ニイツカ遠メテイタ心ノ芽が出タノデアル。ツマリ良心デアル。神ノ声トモ言フ。自分自身が悶エ苛責スルノデアツテ、其良心トハ潜在意識カラ起ツテ来ルノデアル。夫等ガ動イテ来テ意識トナツテ表ハレルノデアル。夫レハ愛トナリ、忠トナリ、信実トナルノデアツテ、真ノ人格ヲ養成スルコトハ潜在意識ヲ養フコトニナルノデアル。内面カラ其ノ力ヲ養フノハ積極的ノ仕方デアツテ、考ヘル事、即チ行為ヲ蒔キ品性ヲ蒔クト云フ事ニナルノデアル。

(完)

大正六年二月十二日

教育ノ真髓

[教育制度ノ改革]

志ヲ立テタ心ガ行為ヲ支配シテイルトイフ事ハ、彼我ノ経

験ヲ参考ニシタナラ自ラ証明ガ出来ルト思フ。先ヅ我々ハ自分ノ行為ヲ有効ニシ、夫レヲ統一シテ行クニハ教育ニ依ラネバナラヌ。教育ハ頭腦ノ働ラキヲ高メルモノデアル。教育ノ真髓ニナルモノハ考ヘル事デアツテ、夫レハ自分自身ガ考ヘルノデ、本デ読ンダモノハ人ノ考ヘデアル。真ノ教育ハ其ノ考ヘヲ自分ニ見出ダサネバナラヌノデアル。此度ノ教育制度ノ改革ハ其処ニアルノデ、自分ノ経験ヲ作り、夫レ二人ノ経験ヲ参考ニスルノデアル。何事モ自分カラ実行シテ見ネバ自分ノモノニハナラナイノデアルカラ、学問ニ一番大切ナ事ハ考ヘルカデアツテ、此ノ考ヘルカト云フ事ハ消化スル事デアル。其処デ此ノ消化ハ三種類ニ大別スル事ガ出来ル。

第一ニハ物質ノ消化デアル。各自人ハ物質ト云フ身体ヲ持ツテイルノデアル。此ノ物質ノ消化ニハ選択ト同化トニツアル。第二ニハ感覚ノ消化デアル。物質ニハ色、味、質ガアル。冷熱モアルガ夫等ヲ消化スルニハ感覚ト云フ事ガアル。自分ニ消化スルノヲ感覚ト言フ。第三ガ統覚デアル。夫等ガ物ヲ知ルト云フ事ハ考ヘルコトデアル。如何ナレバ境遇ヲ同化スル作用ヲナス故デアル。其ノ知ル力ヲ養フノガ即チ教育デアル。大キナ世界ニ連絡シテ必要ナモノヲ取り入レルニハ、感覚ノ作用ニナルノデアル。世界ハ内外両面ニ分レテ居ル為メニ、自然ニ通りニ取入ラレルノデアルガ、夫レヲ正確ニ表ハスカヲ統覚ト言フノデアル。人格ノ高イ人ハ統覚ノ強イ人デ、凡テノ考ヘヲ同化スル事ノ出来ル人デアル。夫レニ依テツマリ人間ノ大小ガ分レル訳デアル。英国ノケムブリッジ大学教師ノ其夫人ニ盲目ノ人ガアツタガ、此婦人ハ非常ニ感覚ノ強イ人デ、学生ニ講義ヲスレバ政治運動ナドモシテ、自分ノ意思ヲ立派ニ貫イタ人デアル。然ルニ我國ノ婦人達ハ何故ニ眼覚メヌカト言フニ、世界的良心ガ発達シテイナイカラデアル。之レカラノ婦人ハ是非トモ此世界的良心ヲ養ツテ自ラ眼覚メテ行カネバナラヌノデアル。

[選択ノ力]

偉大ナル人格ニ同化シテ、統覚ニ依テ之ヲ自ラノモノトシテ高イ人格ヲ作ルニハ、撰択ノ力ガ必要デアルカラ、私ハ今アナタ方ニ其ノ何レヲ選バト云フ問題ヲ此処ニ提出スル次第デアル。

ワシントントナポレオンノ両者ニ於テ何レヲ選バヤ。

独逸ト連合軍ノ何レニツクヤ。

乃木將軍トカイゼルト何レヲ選バヤ。

ウイルソントベルハーゲルトノ何レヲ選バヤ。

タゴールトニイチェトノ何レヲ選バヤ。

タゴールハ文豪アウトイチノ曰ク「精神ニ酔フタ人」デアツテ、ニイチェハ「権力ニ心酔シタ人」デアル。

(完)

大正六年二月十九日

従順なれ

### [二個ノ極端主義]

此頃社会ガ一般ニ華美ニ流レテ来タノハ、真ニ歎カハシイ次第デアル。現今バカリデナク社会ハ常ニ反対ノ方面ニ向ッテ進ミツアルノデアッテ、常ニ両極端ガアル。十九世紀ノ終リニナッテ、世界ハ益々個人主義ニ傾イテ来タノデアアル。個人主義ニモ二通りアッテ、一ツハ健全ナル個人主義デ、モウ一ツハ極端ナル個人主義デアル。自分が今此所ニ言ハントスルノハ極端ナル個人主義ノ事デアッテ、其例ハ独逸デアル。極端ナル国家主義ハ個人ヲ奴隷ニシテ了フノデアアル。其ノ意味ハ誰レニデモ解ル事ト思フガ、人ハ時ニ迷フコトガアル。此ノ真ノ意味ノ自我発展、人格完成ハ即チ自分が常ニ奨励シツアル所ノ自治デアル。自治ヲ深く奨励シテ自分ノ選ブ所ヲ為スノデアアル。其ノ自由ヲ団体即チ国家、家庭、学校ガ妨ゲヤウトシタ時、ソレニ何処マデモ反対シテヨイト云フ思想ガアル。モウ一ツハ境遇ノ自由ヲ与ヘルト云フ事デアルガ、夫レヲ取り違ヘルト制度ニハ服従シナイデヨイ、団体ノ規約ヲ守ラナクモヨイト云フ様ナ事ガ起ッテ来ルノデアアル。モウ一ツハ極端ナ国家主義ヲ受ケタ人々デアル。或時“今迄私共ハ中学ヤ高等女学校デ教育ハ受ケタガ、自我ヲ発展シ個人ノ人格ヲ傷ツケルト云フ事ヲ先生カラ注意サレタ事ガナイ。オ前達ハ国民デアルカラ、国民トシテ生キネバナラナイト言ッテ教ハッタノダ”ト言ッタ人ガアッタ云フ事デアル。自由ヤ自治ヲ奨励スル意味ヲ取違ヘテ遠慮思想ニ囚ハレルノガ誤リノ第一歩デアル。此ノ中ニモソシトナ思想ガナイトモ限ラナイ事デアルカラ、若シアツトシタナラ速カニ改メテ貰ハネバナラヌ。夫レデナイト自分ヲ輕蔑シ、人ヲ傷ツケテ尚且校風ヲ破ル事ニナルノデアアル。之ハ我々ガ甚ダ遺憾ニ思フ次第デアル。

### [従順なれ]

先ヅ高等女学校時代ニ一番修身ノ時間等デ聞カサレタ事ハ、従順ナレトイフ事デアラウト思ハレル。殊ニ女ニハ昔カラ三従ト云フ道ガアツク。然シ現代ノ人ハ何ニツケテモ反抗スル傾向ガアル。若シ反抗シナイトナルト、意志ノ弱イ人間ノ様ニ思フ傾キガアルカラデアル。ツマリ従順ノ出来難イ心持デアル。従順ノ心ガ破レテ其ノ反動ガ激シイ様ニ思ハレテイルケレド、真ノ従順ハ決シテ自発ノ心ヲ枯ラシテ了フモノデハナイ。人ハ其ノ誤解ヲ解クニ努メネバナラヌ。モウ一步上ヲ歩ムト従順ト云フ言葉ハ力ノ事デアルト言ッテ反抗ノミスル事ガアル。其処ヲ明ラカニシタイト思フノデアアル。自治ト従順トハ真ニ意志薄弱者ノミニ依テ行ハレルモノデアロウカ。自分ノ意志ノ自由ヲ得ルト云フノハ果シテ悪イ事デアアルカドウカト云フ事ヲ先ヅ考ヘナケレバナラナイノデアアル。自治ト云フ事ハツマリ、Self-controlト云フ事、自分ヲ支配シ自分ノ心ヲ能ク治メルコトデアル。一番人格ノ高い偉人ト云フノハ、自分ヲ支配シテ自分ニ克ツ事ノ出来ル人デアル。ツマリ之ハ根本的自我ガ勝ツノデアアル。I am Kingト云フ事ハ、自分

ノ病氣ノ如キ自分ノ弱イ所ニ克ツ事ガ出来ルヲ云フノデアアル。弱イ自分ニ克チ、低イ自分ニ克チ、ソシテ之ヲ濟度スル事デアル。斯ウシヤウトスル意志ガ弱イノデアアツテ、自分ヲ標準トスルニハ先ヅ自分ヲ整理シナケレバナラヌ。其処カラ考ヘ起セバ、真ニ人生ヲ考ヘテ、家庭ニアツテモ国民トシテモ、真ノ従順者トナラネバナラヌノデアアル。

### [従順ノ美德]

凡テハ法則ニ従ッテ智力モ文学モ建設セラルノデアアル。宇宙ハ法則ニ依テ支配セラレテイルノデアアル。眼ニ見エヌ所ノモノマデモ悉ク真理ナラザルハナシト云フ事デアアツテ、我々ハ校則ニ従ッテ行カネバナラヌ。若シ校則ヲ破ル者ガオルトスレバ、夫レハ自カラヲ破ルノデアアツテ自分ヲ滅ボス基デアル。夫レガ故ニ我々ハ従順デアラネバナラヌノデアアル。自然ノ法則ニ従ッテ、其処ニ初メテ發明トイフ事モ美トイフコトモ現ハレルノデアアル。夫レデ宇宙ノ凡テヲ觀察スレバ限ニ見エヌ法則ガアツテ、夫レニ従ハヌ者ハ滅ビ、停滞スルノデアアル。其処ニ道德ガアリ、道德ヲ行フニ依ッテ人間ノ真ノ勢力ヤ権力ガ得ラルノデアアル。昔シノ女ノ三従ノ道ヨリ確カニ真理デアルケレドモ、男子ニモ婦人トシテノ要求ヲ願ッテ、社会ノ規則ノ為メニハ真ニ従順デアラネバナラヌ。師ハ主トシテ生徒ノ従順ナラム事ヲ希フノデアアル。然シ人ニ要求スルト共ニ自分ニモ同時ニ従順デアラネバナラヌ。人間トシテ凡テノ人ハ従順ノ徳ヲ養ハネバナラヌ。一方カラ言ヘバ奴隷トイフ事ガ言ヘルノデアアルガ、夫レハ我儕勝手ヲシナイト云フ事デアアツテ、決シテ悪イ事デハナイ。又一方カラ言ヘバ師ハ生徒ノ為メニ従順デアラネバナラヌ。親ハ子ノ為メニ、子ハ親ノ為メニ真ノ従順デアラネバナラヌノデアアル。

### [真ノ人格者]

或ル時ハ母親ガ子ノ為メニハ夜モ寝ズニ病氣ノ看病ヲシ、子ノ奴隷トナリ、子ニ従順デアル。子モ亦夫レニ対シテ身ヲ捨テ、モ親ノ為メニ従順デアラネバナラヌ。我々ハ天地ノ真理ニ従ッテ行カネバナラヌ。家ニ家人、社会ニハ社会ノ、学校ニハ学校ノ、国家ニハ国家ノ法則ガアルノデアアツテ、夫レヲ誤解シテ自治、自立等ノ思想ガ蔓コッテ従順ヲ無視スル嫌ヒガアルガ、之ハ真理ヲ解スルコトガ出来ナイカラデアル。凡テノ戸ヲ開ク鍵ハ従順デアルト西洋ノ諺ニモ言ッテアルガ、之ハ永久不滅ノ真理デアル。ケレドモ唯従順デアアルノミデハ進歩シナイノデアアツテ、其ノ真理ガ益々徹底シテ行カナケレバ人間トシテノ真ノ価値ハ無イノデアアル。ツマリ常識ダケデハ真ノ進歩ガ出来ナイト云フ事デアル。モウ一段高ク科学的ニ考ヘテ、哲学的ニ其ノ真理ヲ統一シナケレバナラヌ。即チ之ガ人間デアル以上、女子モ高等教育ヲ受ケネバナラヌ理由ニナルノデアアル。高等教育ノ門戸ハ如何ナル鍵ヲ以テ開カネバナラヌト云フニ、夫レハ従順デアルト言ハネバナラヌ。従順ノ中ニハ高尚ナル道義ガアル。真ノ従順ニナリ得タ人ハ必ズ道義ヲ全ウスル事ガ出来ル。凡テハ真理ノ根本ヲ考ヘテ真ノ法則ヲ統一シタ所ノ根本原理ヲ追求シ、其処ニ自分ノ生活ヲ結び付ケテ行クト云フ事ニ帰着スルノデアアル。真ニ考ヘル事ガ出来テ初メテ真ノ行為ガ現ハレ始メテ、真ノ人格者ニ成リ得ルノデアアルカラ、其ノ考ヘノ方法ヲ第一ニ

考ヘネバナラヌノdeal。

(完)

大正六年二月二十六日  
受験ノ態度ニ就テ

[受験ノ態度]

試験ノ用意ヲ如何ニセバヨイカト云フコトヲ考ヘルニ就テ、教師ヤ両親ナゾガ種々ノ事ヲ言ツテイル。或学校ニ於ケル試験、或ヒハ卒業スルニ當ツテ、学生ノ力ノ有ラン限リヲ尽シタ事ニ依テ其ノ知識力ヲ見ルト云フコトハ必要deal。此ノ学校ニモ日頃ノ課業ヲ試験ノ為メニ休マセルト云フ傾向ガアルトナレバ、教ハツコトヲ思出シテ答ヘニ応ジ得ルト云フ意味ニモ取レルガ、卒業前ニ充分物ヲ覽エサセル考ヘdeal。親ノ方デモ勉強ヲ奨励シテ試験ニ応ジル丈ノ力ヲ尽サセルガ、又或人ハ試験前ニ勉強サセルコトヲ嫌フ人モアル為メニ、学生ノ態度モニ様ニ分レテイル。試験ノ為メニ睡眠時間ヲ割イテマデモ勉強スル学生モアルガ、然シ夫レハ普通ノコトニナツテイル様deal。dealカラ試験ノ弊害ヲ除クト云フコトガ必要dealガ、然シ之ハ非常ニ困難ナコトdeal。夫レデ試験ヲ受ケル態度ト其ノ心得ト一ニ述ベテ見ヨウト思フ。試験ヲ受ケル態度ヲ健全ニ養ヒ、試験ト云フコトヲ生活ニ有効ニ用イル様ニスルコトガ肝要deal。教育ハ皆Not to turn steel into toolst云フコトニ基ツクノdeal。其ノ鋼鉄ヲ道具ニシテ了フノデハナイ。決シテ鋼鉄ハ道具ニ用ヒルノデハナイト云フノdeal。But to turn iron into steel. 鈍刀ヲ正常ニ造ルノdeal。決シテ鉄ヲ道具ニシテ了ウノデハナイ。寧ろ鈍刀ヲ鋼鉄ニスルノdeal。

[受験ニ伴フ弊害]

詰リ試験ハ知識ヲ試ミテ資格ヲ得ルノ、学校ヲ出テカラ用立テルト云フコトニアル。真ノ教育ハ人格ヲ作り、己ガボンクラ性格ヲ意志強固ナルモノニスルノdeal。然ルニ今日ノ教育ハ知識ヲ徒ラニ吸収スルノミニ止マツテイルノdeal。ソシテ夫レヲ自然ト云フ機械ニカケテ出シテ了ウノdeal。即チ徒ラニ知識ヲ吸収スル道具トナツテイルノdeal。我が実質ヤ真ノ意志ヲ鍛ヘ、心カラ鍛ヘ上ゲタ人格ヲ作ラネバナラヌノdeal。然ルニ試験ノ為ニ其ノ性格ヲ犠牲ニシ、健康ヲ犠牲ニシテ点ヲ取ルニ汲々トシテイル。即チ己レガ実質ヲ犠牲ニシテ、一時ノ侮辱的価値ヲ掴マヘルト云フ性格ヲ作ル事ハ今日ノ通弊ニナツテイルノdeal。之ハ実ニ恐ルベキ弊害deal。夫レヨリモ寧ろ真ノ鞭ニ叩カレテ、真ノ試験ヲ受ケル態度ニナルコトヲ希望スルノdeal。譬ヘバ大工ニシロ、唯其ノ手ノミヲ動かスニアルノデナク、筋力ヲ働カシテ置クト云フコトカラ始マルノdeal。夫レデ今自分ノ言ツテイルコトハ、運動ヲスルニモ試験ヲスルニモ、先ズ価値ノ問題カラ決メルノdeal。人生ノ価値ハ果シテ何dealカト云フ問題カラ定メネバナラヌ。

[人生ノ価値]

今試験ヲ受ケタ為メニ価値ヲ損サレタリ、建設シカカッタ価値ヲ碎カレタリセズニ強固ナル価値ヲ貫徹スルニ當ツテハ、先ヅ真ノモノヲ掴マエネバナラヌ。其処ガ其ノ人ノ態度ヲ決メル根本ニナルノdeal。其処デ今私ガアナタ方ニ一ツノ問題ヲ出シテ見ル次第deal。人ニ言ハレナイ秘密ヲ持テイテ、賢イ人ハ夫レヲアマリ外ヘ出サナイノdeal。ソシテ其ノ人ハ信用ノ出来ル人トシテ認メラルノdeal。試験ニ於テ競争心ヲ起シテモ、友ノ点ガ自分ヨリ多クカッタ時ナゾ真カラ夫レヲ悦ブコトノ出来ル人ニナラネバナラヌ。人間ノ価値ハ其処ニアルノdeal。即チ人ノ長所ト我が短所トヲ入レ替ヘルコトノ出来ル人間ニナルノdeal。ソシテ己レノ短所ハ己レノ力ニテ矯正セネバナラヌ。鏡ノ如キモノヲ以テシテモ恥カシクナイ心、試験ヲ受ケルト云フコトハ即チ其ノ美シイ心ノ価値ヲ見出スコトデアツテ、公明正大ノ心ニナルコトdeal。詰リ真ノ価値ヲ作ル態度ヲ以テ試験ニ向フベキdeal。(終)

大正六年三月五日

学問ノ土台ニナルベキ自分

[智情意]

I amトイフコト、I knowトイフコトハ離レザルモノdeal。物ヲ意識スルコトハ自分トイフ意志ガアルカラ出来ルノdeal。I knowガアルカラシテI amガ判ルノdeal。デカルトハI thinkト言ツク。自分ガ考ヘル為メニ自分ノ存在ヲ知ルト言ツテイルノdeal。I knowトI thinkハ同ジコトdeal。ツマリ考ヘルトイフ事ト知ルトイフコトハ同ジナノdeal。考ヘルニ就テ第一ニ先ヅI amヲ考ヘルノdeal。先ヅ自分ヲ知ルコト即チKnow thyselfガ第一deal。I knowトイフコト、I amトイフコトヲ意識シテ後ニI actトイフコトヲ知ルノdeal。I am, I know, I actトイフコトハ離レザルモノdeal。即チ智情意ガ互ニ働キ合ツテ或ル要素ヲ為シテイルノデ離スコトノ出来ヌモノdeal。Attentionノ向イタ所ガ其ノ力ノ向上deal。我トイフモノニハ永遠無窮ノ土台ナルベキモノガアル。即チ夫レガ我deal。発達シ進化スルモノハ宇宙ノ力ノ振動デアツテ、無限ニ動き、無限ニ進歩向上シテイル力deal。其ノ向上スル時、力ガ三ツノ方面ニナツテ現ハレテ来ル。即チ智情意ガ夫レdeal。夫レヲ波ニ譬フレバ、世界ノ偉人ト呼バレルモノハ最も高イ波頭ヲ指シテイルノdeal。昔シカラ女子ト小人ハ養ヒ難シト言ハレテイルノハ、即チ一番低イ波頭dealカラdeal。其ノ向上スル状態ヲAttention 即チ注意トイフノdeal。注意力ノ集マツタ時ハ智deal。然シ其時モ情ハ動イテイル。時ニハ又夫レガ感情ノ方ヘ向クコトガアル。感情ヘ向ク時デモ意ト智ハ働イテイルノdeal。

[精神一致ノ状態]

凡テノモノニ注意シタ状態ヲ精神一致トイフ。精神一致ハ其ノ波ノ高マツタ時deal。決断力ノ無イ人ハ愚図々々シテ

イル。其人ノ状態ハ小波デアッテ、人格ガ高マリ精神ガ向上シタ時ハ必ズ其ノ波動モ高マルモノデアル。其ノ波ノ打方ニヨツテ我々ノ運命ガ定マリ、又力ノ効力程度ガ定マルノデアル。自分ヲ知ルトイフコトハ自分ノ世界デアル。太平洋ノ如キ大波ハ潜在意識トイフノデアル。潜在意識トハ意識ニ上ラヌ前デアッテ、我々ノ潜在意識ハI amデアル。神ト自分自身ノI amトイフコトハ意識ノ波ヲ制御スルモノデ、根底ノ深イ永久ナモノデアル。自分ヲ知り自分ヲ学ブトイフコトハ潜在意識デアリ、又意識デアル所ノ我ノ働キトイフコトガ自分ニ判ルノデアッテ、夫レヲ意識スルトイフコトガ第一ニ大切デアル。我々ノ行為、知識、感情ハツマリ其ノ波ノ高低ニ依テ定マルノデアッテ、有効ニ生活シ目的ヲ立テルトイフコトハ、波ヲ高メルコトデアル。注意力ノ集中トイフコト、精神一致トイフコト、生活ヲ高源ニ達セラルトイフコト、統覚即チPerceptionハ大波ヲ作ルトコトデアル。ツマリ凡テノ力ガ調和統一シテ高源ニ達スルコトヲ言フノデアル。夫レハ即チ人格ヲ建設スルコトニナルノデアル。其ノ建設ガ有効ニナルトイフコトハ生活ガ向上ニ達スルコトハ同ジデアッテ、其処ヘ達スルニハ知情意ガ共同シテ働カナケレバナラヌノデアル。其一致協同サセル働キヲ統覚トイフ。統覚ハ何ニヨツテ出来ルカトイフニI knowトI thinkカラナルノデアル。高キハ神マデモ、低キハ根底マデモ行クトイフコトハ思考スル力ガ与ヘルノデ、其力ニ依テ我々ハ進マネバナラヌ。夫レデ我々が自己ヲ知ルトイフコトハ自分ガ思考スルモノデアッテ、其ノ価値ハ何デアルカトイフニ、又其ノ思考ノ道ヲ知ルトイフコトガ判ラネバナラヌ。考ヘルトイフコトハ学問ヲスル学生ニトツテ第一ニ必要ナコトデアル。如何ニシテ学問ノ道ヲ探ルカト言ヘバ、夫レハ考ヘル道一ツデアル。考ヘル道ノ理解ガアレバ、夫レハ自分カラCreateスルコトノ出来ル人格者トナルノデアル。考ヘルコトニハ階段ガ幾通りモアル。ツマリ高イ階段ニ行ツテイルノヤ文明人トイヒ、低イ考ヘノ人ヲ低能又ハ蛮人トイフノデアル。低能ト高能トハ思考力ノ階段ニヨツテ定マルノデアル。

#### [科学的研究]

今日ノ学問上一番低イ階段ニアルハ常識学デアル。此ノ常識ニモ二通りアッテ、凡テノ人ガ考ヘル常識トイフコト又Universalトイフ意味デ使用サレテイル常識トデアル。然シ此ノ時ハ前者ヨリモ高イ意味デ言ツテイルノデアル。ツマリ低イ教育ハ常識教育デアッテ、女ニハ常識教育デ沢山ダトイフノハ夫レデアル。常識トイフ普通用イテイル言葉ハ服装ナドノ如キ一般ノ二身体ノ生命ヲ統ケテ行ク知識デアッテ、世界人類ニハ誰レニモ備ワツテイルモノデアル。夫レニ一段上ツテ科学的ノ考ヘヲ持ツタ人ヲ文明人トイフノデアル。十九世紀ノ文明ハ即チ此ノ思考力ヲ物ヲ統一スルトイフコトニヨツテ生レタワケデアル。常識ヤ科学デ知識ヲ固メルコトヲ教育トイフノデアル。新ラヲシキ知識ヲ人世ニ応用シテ發明スルノデアル。野蛮人ガ文明人ニ負ケタトイフコト、ツマリ東洋ガ西洋ニ支配サレタトイフノハ常識ハ同ジダガ科学的方法ヲ知ラナクツカラ劣等ニナツタノデアル。今日ノ戦争ニ於テモ科学的研究ノ考ヘガ勝レテイル方ガ勝ツワケデアル。之迄東洋デハ女子ト小人ハ養ヒ難シト言ツテ女ヲ侮ツテイタ。夫レハ

科学的思考力ガ足りナクツカラデアル。米国ナドデ女子ガ人間ニナツテ来タトイフノハ、男子ト能力ガ等シクナツテ来タカラデアル。然ルニ我国デハ識者ノ間ニモ常識教育デ沢山ダト言ハレテイル。故ニ主婦ガ女中ノスル事ヲシテ女ハ足レリシテイル。然シ我々ハ常識モ行為モ大切デアルケレドモ、今日婦人ニ就テノ批難、即チ華美ニ流レ常識ガナイトイフハ矢張考フルトイフ能力ガ足りナイカラデアル。能力ガ劣等デアルカラデアル。考ヘノ伴ハナイ行為ハ無イ筈デアルカラ、行為ノ低イノハ能力ノ無イ為メデアル。其ノ根本ヲ養ハズニ結果ヲイフ思想ハ間違ッテイルト思ハレル。嘗テ此学校ナゾデモ思想ダケ進ンデ行為ガ伴ハナイト批難サレタガ、夫レハ考ヘル力、ツマリ能力ガ足りナイカラデアル。自分ガ常識ヲ高メルトイフコトハモウ一步Refineサレタ仕事ヲスル様ナ能力ニナルコトデアル。世ノ悪風ヲ如何ニシテ直スカト言ヘバ掃着スル所ハ能力デアル。

#### [最終ノ目的]

教養ノ革新、道路ノ改善、スベテ人間ノ人格ガ高メラレルトイフコトハ、何ガ本トナルカト言フニ能力デアル。常ニ哲学者ハ世界ヲ開イテイルノデアル。蠟燭ガ瓦斯ニナリ、行燈ガ電気ニナリ、昨日ノ出来事ガ世界中ニ今日知レ渡ルトイフ電報電信、其他電車ナド凡テ科学的思想ノ高源カラ生レタモノデアル。今日教育界ノ進歩モ教育者ガ自分デ考ヘタ様ナ風ヲシテイルガ、夫レハダーウインノ進化論カラ来テイルノデアル。我国ノ政治教育ガ如何ニシテ之迄發展シテ来タカ、又ハ如何ニシテ之以上ニ發展シナイカトイフノモ、我国ニ大哲学者、大思想家ガ少ナク、単ニ手足ヲ動カシテイレバヨイト云ツタ様ナ人多イカラデアル。良イ主婦、良イ女中、良イ僕トイフコトハ、良イ能力ヲ以テ適当ナ場所ニ適当ナコトヲ当テ運ブガ故ニ言ハレルノデアル。大学制度ヲ改メルトイフコトハ、ツマリ能力ヲ一段高メルトイフコトデアル。然シ科学ニモ限りガアッテ、夫以上進メナイ所ガアル。夫レ以上ニ向上シナケレバナラナイガ、夫レハ哲学トイフ意味ヲ使ハネバナラナイノデアル。此哲学ハ直覚デアル。Meditationデ考ヘル方法デアル。大学ニハ必ラズ此ノ哲学科ガ無ケレバナラナイ。我国ノ女子ノ能力ヲ高メルニハ哲学ノ思想ヲ高メネバナラヌノデアル。高等教育ヲ受ケタモノハ要素トシテ哲学科ガアラネバナラヌ。然シモウツノ思考力ヲSelf-contemplation=自念トイフ。即チ社会、自分ナドヲ建設、創造スル土ヲ自念カトイフ。之レガ無限トツニナル所ノ力デアル。常識ノ科学、哲学、熟考等ノ階段ヲ通ツテ此ノ自念トイフ所ヘ行クノガ我々ノ最終ノ目的デアル。

(完)

大正六年三月十二日  
卒業セントスル人へ

#### [暗夜ノ状態]

試験ト言フト日常ト異ナツタ態度ヲ以テ対スル様デアルガ、

之ハ大ニ改メナケレバナラナイコトデアル。試験ヨリモ日常ノ問題ガ大切デアルコトハ今更新ラシク言フ問題デハナイ。今後ノ妻トシテ母トシテノ日常生活ガ大切デアル。今ノ人間ハ意志薄弱デ困ル。凡テ自分自身ガ考ヘテ勉強スルニモ自動的ニ為ナケレバナラヌノデアル。試験ヲ受ケル態度ト日常生活ヲ一致サセルニハ、自分ニ必要ノ好奇心カラ起リ、又ハ要求カラ起ル物事ヲ捉ヘテ研究スル態度ガ肝腎デアル。ニュートンガ落チターツノ林檭カラ宇宙ノ大問題ヲ発見シタト云フ例モ、常ニ自分が問題ヲ持チ、物ニ当ルカラ出来タ事デアル。誰シモ日常凡テニ對シテ問題ヲ持ッテイルカラ、夫レヲ自分ガ解決シ、答ヘラレル態度ニナッテイルノガ必要デアル。学生ガ社会ニ出テカラノ態度ハ凡テ之デアル。現在ノ世界ハ暗黒ノ中ニ包マレテイル。然シ之ハ之カラ夜ガ明ケヤウトスル所ノ暁ガ近ヅイタ前ノ暗黒デアル。夫レデ将来ニ希望ヲ抱イテ来ラムトスル世界ニ活動セントスル国民ハ、恰カモ勉強家ガ東ノ白ム前ニ起キ出テ身仕度ヲシテイル如クニ最早ヤ眼覚メテイルノデアル。之ハ現ニ交戦國ニ近イ關係ノアル米國ヲ指シテイルノデアルガ、日本ハマダマダ夜中ダト思ッテ眠テイル状態デアル。

#### [世界の自覚]

此ノ時ニ當ッテ卒業セントシテイル学生ヤ、新学年ヲ迎ヘヨウトシテイルアナタ方ハ、之迄ト異ッテ余程覚悟ガ必要デアル。夜カラ昼ニナル時、今年カラ来年ニ移ル時、其処ニハ非常ナル新旧ノ差ガアルノデアル。明日ハ働カネバナラヌト云フ覚悟ハ夜ノ明ケナイ前ニシナケレバナラヌ。此ノ覚悟ヲ以テ最初ニ立ツクノハ英國デアル。實ニ英國ハ東ノ白ム前ニ燈火ヲ点ケテ世界ノ事情ヲ探ラムトシテイルノデアル。又米國紐育ノ新聞ニハ時局ニ對シテ如何ナル考ヘガアルカ。今後ハ如何ナル道ヲ探ルベキカト云フ問題ガ出テイタガ、之ハ日本婦人ハ大イニ考究シテ答ヘネバナラヌ大問題デアル。夫レカラミセス・ポーセスノ説モアツタガ、之ハ家庭週報ヘ出シテ置イタカラ能ク読ンデ考ヘテ頂キタイ思フ。此ノ時局ニ於テ世界ハ限ヲ覺マスノデアルカラ、日本婦人モモット世界的ニ自覚シナケレバナラヌノデアル。日本モ昨日ノ日本デハナイ。既ニ世界ノ日本デアル。其國民ノ母トナルベキ女子ハ今迄ノ女子デナイ。教育ヲ受ケタ立派ナ女子トシテ、何レノ地ニアルモ外部ノ境遇ニ支配セラレズニ永久ニ向上心ヲ捨テハナラヌノデアル。今後ノ婦人ハ自ら判断ノ道ヲ誤ラズニ進ミ、自らヲ保護シテ向上シナケレバナラヌノデアル。今後ノ世界ハ非常ナ勢力ヲ以テ進歩スルノデアル。婦人ト雖モ世界ノ大勢ニ遅レズニ、子供ニ對シテハ友トナリ、指導者トナリ、又夫ニ對シテハ好伴侶トナッテ常ニ人ニ遅レヲ取ラヌ様ニスル覚悟ヲ持タネバナラヌ。学生時代ニ習イ覚エタ事ヲ、卒業ノ暁ニハ実社会ニ応用シテ行ク心懸ガ必要デアル。何事モ自分ノ心ツツデアルカラ、英語ナドモ新刊物ニ眼ヲ通シテ見ル勢ヒヲ持タネバナラヌノデアル。

#### [国体心ノ必要]

英語ノカヲツケル為メニ今度自分が小冊子ヲ作ッテ置イタカラ、之ヲ読ンデ精神ヲ練ッテ欲シイノデアル。何ヲシテモ熱心ガ充チタ時ノ態度ハ美ノ極デアル。意識ノ鈍イノ醜イモ

ノデアル。力ノ抜ケタ人ニハ何事ニモ為シ得ラレナイ。イツモ力ニ充チテ熱心ニ真面目ニ物ヲスル人ハ、健康デ尊敬心ガ起ッテ麗ハシイ感ジノスルモノデアル。卒業生ハ卒業前ニ能ク考ヘテ、個人トシテモ、家庭ノ人トシテモ、國民トシテモ人ト共同スル事ノ出来ル人ニナラネバナラヌ。之ハ今後ノ戦争ヲ見テモ判ルコトデアルガ、精神力ヲ以テ社会ノ基礎ヲ作ルトイフコトハ人間トシテノ最大必要ナ点デアル。団体心ノナイ人ハ力ガ弱イカラ進歩ガ鈍イ。女子ノ人格ヲ高メルト云フコトハ、一方カラ言ヘバ真ニ団体生活ノ出来ル女子ヲ作ルト云フ事ニナルノデアル。種々ノ會合ニ名目バカリ並ベテイル日本ノ女子ハ、Organizationヲモット養フ必要ガアル。

終

大正六年度

大正六年四月二十三日

婦人教育ノ諸問題

#### [五個ノ問題]

此ノ学期初メニアツテ、現時我國ノ女子教育ノ進歩ヲ研究スル為メニ既ニアナタ方ニ問題ヲ提出シテ置イタガ、其第一ニハ入学ノ動機及志望ノ種類ヲ挙ゲ、第二ニハ信念修養方法及読書ノ種類ヲ分類スル事、第三ニ感想ノ類別、第四ニ問題要求ノ分類、第五ニ時間ノ分類及統計等デアル。又神教ヤ佛教ヲ信賴スル人ガアロウト思フノデ、此学校ハ信念涵養ニ根本ヲ置イテアルカラ神儒佛何レニ寄ルヤ、又何レガ宇宙ノ真理ト合致スルヤヲ考ヘテ信仰問題ニモ答ヘテ貰イタイノデアル。信仰問題トハ信念ヲ養ヒ修養ヲ積ムニ何レノ方法ヲ探リ、生命ヲ養フニ如何ナル食物ヲ摂ルカヲ考ヘル事デアツテ、賢母良妻主義ヲ指シテ婦人問題ト言フノデアル。自分ノ信仰ヲ告白シ自分ノ確信ヲ表白スルニ當ッテ、先ヅ自分ヲ反省シテ信仰ノ真髓ヲ捕マヘル様志スコトガ必要デアル。又人ノ經驗ヲ参照シテ時代ノ思想ヲ知ル様ニ心ガケネバナラヌ。今迄日本ノ婦人ノ向上心ガ沈衰シテ居タガ、稍覺メカケテ来タノハーツハ現時ノ歐州ノ戦争ニ婦人因ルト云ッテモヨイダロウト思ハレル。日清、日露及此度ノ戦争ニ際シテ婦人ノ態度ガ稍明ラカニナッテ来タ様デアル。

#### [象徴主義ト実行]

信念涵養ノ中ニ象徴主義(Symbolism)ト云フノガアル。信念涵養ノーツノシンボルトシテ実行シテイルノデアルガ、Createモ亦シムボルデアル。根本的ニ言ヘバNature(万有)ハ凡テ象徴デアル。夫レハ何等カノ意味ヲ語ッテイル。凡テ其処ニハ生命ガアルノデアル。天地ノ色ノ美、其美ハ形ヤ色ニ現ハレテイテ、其形ヤ色ハシムボルデアル。夫レハ形式ニ囚ハレル事ヲ免カレ、又其ノシムボルニ依テ真ノ自

分ヲ發揮スル事ガ出来ルノdeal。此ノ学校デハ色々ノシムボルヲ旗ノ色デ表ハシテイル。色ハ又気分ニ影響スルノdeal。家政科ノシムボルタルイロハ純白デ至純ノ生活ヲ表ハスモノdeal。白ハ汚レガナク、良ク調和シテ完全dealトイフ意味deal。相互ニ調和統一シテ美ノ生活ヲ実現スルノdeal。又国文科ノ赤ハ純潔ナル愛deal。教育ノ水色ハ高尚ナル大目的ノ為メニ生命ヲ捧ゲルト云フ意味deal。又天地ト一致スル所ノ空色ハ純潔ナル宗教観念ヲ表ハス意味deal。ピンクハCheerfulデ、私心ノ無イ愛情即チ爽快deal。各級ガ夫レヲ級風トシテ其ノ級ノ理想、特色ヲ發揮シテ欲シイノdeal。之ハ即チ象徴主義ノ実行deal。

#### [生活ノ第一歩]

凡テ我々ガ為ス事ノ原動力カモチイフ。自動主義ヲ行フニツキ人格者トナルニ就テ第一ニ知ラネバナラヌ事ハ自我deal。自我ニハ表ハレタルモノト、隠レタルモノトアツテ、今迄心理学デ研究シタ自我ハ隠レタル自我ノ発展deal。今迄知ラナクッタ大キナ世界ヲ発見シタノデアツテ、其レヲ研究スルニハ隠レタル自我ヲ発見シテ、無限ニ天才ノ自発力ヲ発達サセルニアルノdeal。信念モ信仰モ志望モ其処カラ起ルノdeal。隠レタル世界ヲ見ルコトハ段々根底ニ近ヅク世界deal。此ノ世界デ働イテイル自発力カMotive、即モチト言フノdeal。其ノモチノ真髄ハ憧憬スルカdeal。之ヲ向上心ト言フ。又ハ仁、愛ト言ヒ、欲望ト言フ。之ハ抑ヘル事ノ出来ナイ真情即自発力deal。其処デ此力ノ真髄及根底ハ情緒ノ如キモノ、又傾向deal。之ニモ種類ガ多クアツテ、一番肝腎ナノハ本能トイフ言葉deal。モウツツ仁、慈悲、愛トイフ。之ガMotiveノ両極ヲ持ツモノノ種類ノ調和、人格ノ根底タル力ノ働キdeal。其力ガ何ニ表ハレルカト言フニCreativeニ依テ表ハレ、此ノモチガ働キトナツテ天地ノ真価ヲ支配シテイル。之即チ人間トナルモチdeal。不思議ナル作用ガアリ、無限ノ力ガ働イテイルノデアツテ、世界ノ内容タル傾キ、自発力ガ人格トナツテ表ハレヤウトシテイルノdeal。不可見ノ天国ヲ建設シヨウト自発的ニ働イテイルノデアツテ、其ノ自発力ガ即チ自我ノ隠レタル世界ノ内容deal。其処デ我々ノ自発力ノ根本ハ我々ノモチ力ノ根本カラ自発スル事ニ努メネバナラヌ。之ハ生活ニ入ル第一歩トナルモノデアツテ、モチニ重キヲ置ク所以deal。完

四月二十五日

大正六年度第一回三、四年実践倫理

#### [新制度に対する新傾向]

今度愈々新制度を施く事になり、此所に新たなる傾向が生じて来る。其の傾向の内には我々が予期したものもあり予期以外の傾向も表はれんと致して居る。即で大体から申して見ると此の学年の傾向は至極健全であると思ふのであります。初めが大事である。殊に此の様に人心が動揺して居る

時これを指導して行くといふことは非常に大切な役目であり、且つ諸子第四年生又四年生を助けて行く三年生といふもの、今年度の責任は重大であります。

#### [選択の動機と態度]

それでは今年度の計画は深く考えてお立てにならねばならぬし、又諸子自身の各自の傾向、殊に諸子の傾向を支配する動機、即ち今迄建設してお出になつた其の基礎の上に自分の選択を致しまして新に自由を得ました。その新しい芽生を一即ち木に例へて言へば古株にきざして居た新しい動機を一其所に接ぐといふこと、この春といふ境遇を利用し新たな生長、発達をとげ様といふ場合に、諸子の態度、諸子の選択の動機といふことが自分のために大事なことばかりでなく、全校を指導して行く上に容易ならぬ関係を有して居るのであります。この前にも申したやうに、今年度の制度で成功するか失敗するかといふことは大部分学生の態度に関係するのであります。これ迄ともこの制度が我国で幾度か試みられたに關らず、いつも遂に失敗したのはその学生の態度宜しからざるためでありました。それ故今年度の新制度とても矢張諸子学生の態度如何によってその成敗が決するのであります。

#### [動機の善悪]

然らば動機の悪いといふことはどういふ事をいふかと申しますと、選択の動機が悪いといふことになるのであります。この動機がよかつたならば其所に自発力が生じて来る。そして其の志をとげらるゝのであるが、反対に選択の動機が悪いといふことは凡ての点に目的とは反対の結果をもたらして来るのであります。それで先づ初めに私共はこの動機を反省して見なければなりません時(その動機といふ言葉、英語でMotiveといふことはこれ迄諸子に屢々説明をしましたから、大体の意味は分つて居るのでありますから、その所は解つて居ることとして申したいのであります。)つまり私共の選択の動機の善悪、正邪を明かに致して、さうしてその動機の種類を選択せんければなりません。

#### [積極と消極]

之れを大別すれば二つに帰するのであります。或は一つにして申せば両極に帰すると申すことが出来ます。つまり積極と消極の反対に向ふて居る所の両極になる。(是れは前に両極を説きかけましたが、今はその哲学の深い意義を申すので無い。今日は極分り易い、即ち常識で判断の出来る説明をして置き度いのであります。)

其の選択の動機の消極の方面を申すと、平易な言葉で言へば打算的であるといふ事、自分の直接の利益算盤づくであるといふ事でありませぬ。例へば此の学問をして置けば斯ういふ利益があるといふが如きものであります。其の目的はいつも直接の利益といふ事にあるのであります。之れ丈の学問をして置けば是れ丈の報酬は得られる。此の研究をして置けば之れ丈の利益を受けるといふ考へ、之れを職業教育といふのである。即ちパンの爲めの教育、パンの爲めに芸能知識を自らのため貯へるといふ事、即ち利己といふ事である。眼の前の自分に直接に關係のある目的を打算的に立て、そし

て自分の学問行為を選択する。つまり利己と云ふ動機を基として行ひを決め学問を定めるのでありまして、これは消極的動機であります。

其のもう一つ反対がある。之れを英語でいへば'Disinterest或はLove、つまり無私といひますが、唯自分といふ利害を離れ、打算的な処を超越したもう一つ大きい目的、根本なる目的の為に働く、そういう興味が自分を刺激して、そうして自分の行ひを定め、学科目を選択すること、Disinterested、即ち無私(私を離れた処の即ち利害問題を離れた処の)興味、この動機で動く所の人をDevoutと申します。即ち献身的であります。全力を尽して生涯をかけ徹頭徹尾絶対に愛し、絶対に導き、絶対に信仰して渾身の力をそいで尽すと云ふことなのであります。

[職業教育と自由教育]

茲に職業教育と自由教育、所謂大学教育といふもの違ひがあるのであります。即ち学問の動機が違ふのであります。それで高等教育を受ける動機の研究をなさるのに必要な材料を前の英語の雑誌に二、三入れて置きました。その中の『成功する学生』といふのがその一つであります。茲に『如何にして成功するか』といふ字が使つてありますが、つまり今の問題は成功するか失敗するかといふことを申して居るのであります。これは英国の人の書いたものでありますが、独逸の人が矢張同じ問題を書いたものがあります。それを見ると、独逸の大学(歳十八才から)に入ると、絶対的自由無制限であります。其の報告を見ると学生の三分の一は不成功に終る。其の三分の一が成功するといふことがかいてあります。その自由制度に依つて自由教育を受けまして、墮落、不成功、成功の三種類の学生が出来て来る。然るに我が制度は自由選択といふても矢張其所には或程度の制限が置いてあるから、そういう独逸の如き例に成ることはあるまいと思ふて居ります。然し真に成功する人、又大学生として遂に成功することの出来ぬ人がこの中にも出ることはあるまいかといふことは私共が考へて置かねばならぬ事であらふと思ひます。

[献身的態度]

其の成功か失敗かの原因は今申して居る所の動機の如何によることであるから、第一に此の動機を選択を致さんければならぬのでありますが、それには茲に掲げてある(雑誌参照)第一の態度はDisinterestといふ事、打算的でない只自分の利害といふことを目的としないこと、即ち学問をするならば真理の研究に捧げること、即ち宗教的、献身的に研究するといふこと。斯道の為め仕へる態度、犠牲、奉仕の態度を以てする。即ち自分の使命を全うするといふ態度を以てせねばならぬ。それ故試験を受けて点数をどうかするといふが如き、或は資格を貰ふとかそういう打算的の態度を捨て、たとひ苦しみを受けること、犠牲になることがあるかも知れぬけれども、自分はそれに代へる其所に燃ゆるが如き熱情がある。そうして使命を果そうといふ決心と態度が出来来るからして、其所には実に捧げきつた所の愛、利益、観念を超越したる所の態度が出来来る。これが真の大学生であり、真理の発見者(Discoverer)、真のReformerであるといふことが出来るので

あります。此の故に真理を追究してそのために自分を捧げてしもふのであります。若し此の為に生涯かゝるものならば生涯を其所に打こむ、命をも捧げるといふ其の態度に非常に熱心が燃えて来るのであります。

[我等の崇拜する態度の価値]

茲に私共は科学者又は芸術家に対して其の研究にDevoutした人格を崇拜するならば、先づその人がDisinterestを以て居るかどうかといふことを第一に考へて見るのであります。即ち其の成否は動機によって定まるのであります。

ダウインが1837年に書いた一つの仮説があります。此の仮説に就てダウインは先づ初めに一つの假定を自分の頭につくりましたが、これを研究するのに如何なる方法をと、又どういふ問題を定めてよいか分らなかつた。夫れで彼れが自身でいつて居る(ライトリービングの中にある)種の起源といふことを研究するに一つのConceptionが出来た。初めには只それに関する材料、事実を蒐め、又その事実をいろいろ考へ、そうしてその研究の方角を考へて見た。その間が五ケ年であつた。この五年間は実に寝食を忘れて考へた。併もそれは山であるか雲であるか分らない間である。そうして漸くのこと初めてその意見を發表したのは1858年、初めて印刷にしたのは1859年である。即種の起源についての意見を漸く定めて、そうして自分の確信した所を初めて人に話すことが出来るやうになる迄には其の最初から21年間かゝつて居る。

これが所謂献身的態度であつて、若しダウインが矢張種の起源といふことを書いて世を驚かしてやらふとか又はそれで金儲けをしやう、名を挙げやうといふが如き自分の利益に対する考へが少しでもあつたら却つて人に悪魔の如くいやがられる位のことであつたらふけれども、之れに捧げて居る所の心、その純潔なる志を以て其の研究を続けたのであればこそ遂に成功したのであります。私共の子供の頃はダウインとかスペンサーとかいふ人は無神論者として悪人の如く思ふて居つたのでありますが、しかし夫れは皮相の感であつたことが此の態度を以て明かにされるのであります。

[真摯なる米国の態度]

又此の第二項には米国の科学者といふことが書いてあります(同ライトリービング参照)『米国は凡てに於て束縛といふことがないからして、あらゆる方面に何でも直様応用して見ることが出来る。従つて米国には發明、発見が多い。(世界の發明、発見は半以上米国に於てされる)併しそれは根本的研究、根本的發明ではなくして補助的である。故に如何に發明、発見をしてもそれは非常に實際的である。直接利益を目的として真にDisinterestの動機を以てするのではない』といふことをいふ人がある。それから又米国は事實(Fact)に重きを置く。それ故思想上の事はあまり進まないといふ人があるが、併し此頃は矢張事實の根本に重きを置いて来た。ゼームス又はデューエーなどいふ学者が居て、米国に適當なる哲学を発見した。即事實は事實であるけれども矢張其所に哲学的研究を積むやうになつて来たのであります。斯の如く米国も近來は余程變つて来た。殊に此の度の世界の動乱に

対する米国の態度及その動機は最もDisinterectであるといふことを言ひ得るのであります。米国の此の態度は真に世界的に、真に主義の爲めに、真に正義のためにこの世界を救ひ、真に人道をして最後の勝利を得せしめやうとする。この立派なる動機が動いて其所に奮闘する所の米国の態度は実に立派なものである。これを見ても従来米国の学者が只実利といふことばかりを主としていない証拠であります。若しそうでなかったならば茲に言ふてあるやうに、只利益ばかり主として居る所に真の偉大なる研究も出来なければ、真に文明に貢献するやうな大発見は矢張出来て居ないと思ひます。

#### [真理に到達する道]

それで成功する学生、真に高才教育を受ける学生は先づ第一に此の学問に対する動機の選択をしなければなりません。それから私共が科学を研究するにしても、又文学を研究するにしても只人の発見した知識を蒐集するといふばかりでなく、その知識を研究したその人の人格に親しんで、其の動機を研究することにつとめなければならぬ。それが我々の人格を培養する方法でもあるのであります。

即ち学問をした人の人格を研究し、又その人格を選んだ所の、その真理に到達した所のその道を研究するといふことは学生にとって大切なことであります。これが科学者(Scientist)にもあれ、又は芸術家(Artist)にもあれ、その根本教育になるものでありまして、我々が只知識を学ぶのでなくその真理に到着した道及びその困難に対したる態度といふ事を研究する必要があるのであります。

#### [比較研究]

そこで研究をする、又は書物をよむといふ時、その若者及び其の人格或はそのとつた道を研究観察して、その人の動機を学ぶことが大切であると同時に、又その説とこの説、自分と他との説を比較して見るといふことが必要であります。

ダウインが『先づ事実を観察し、その事実から仮説を立てたけれども尚それのみではなく、同時代の学者と引き比べて見てそして自分の説の慥かであるかどうかといふことを比べて見て、これに批評を加へた』といふが如き、ダウインのやうな大学者、大創始者であるにも関わらず矢張人の説に注意して見たのであります。又スタッフドといふ人は『一つの研究をする爲めに図書館に入って、二週間の間入って自分の説を検して見た』といつて居りますが、大家が人の説を蒐めその経験を見て、これに比較して自分の説の真明を検する手だてとするといふことをして居るのであります。

もう一つ学者が注意をするのは、自分の問題のあつかひ方があるけれど同時に他の学者はその問題についてどういふ態度を以て居るかといふことを参照することを怠らないことであります。

#### [新制度を有効ならしむる条件]

それで第一に私共が今度の制度を有効にしやうとすればそれを選択する動機から選択し、次にはそれを研究して行く方法を見出さなければならぬ。それをするには従来経験に鑑みるといふことが大事であります。

自動主義教育といふことはこれも成功するに種々な条件が

ある。此の条件を充たさなければならぬのであります。

#### [選択制度を執る用意]

それを充たすにも先づ動機を決めるといふことは第一条件になります。それで動機を決めますにも、又或る問題を補つてそれについて仮説を作るといふことにもそのもとは矢張人間といふ問題になります。その人格の自動が矢張動機から出て来るのでありますから、そして又その動機の真髓(Essence)は自念力であります。此の自念力を練つて行くには矢張思考力を練つて行かねばなりません。

さてこういふやうな用意があつて初めて選択制度を執ることが出来るといふのであります。そこで私は諸子のこの選択制度を執つたその動機を養ふにあらざれば、真に此所に学問が出来るといふことは出来ないといふのであります。

#### [指導者の任]

それで今年の第一年に入ったものは数が余程多い。そして比較的動機がよいやうにあります。それで若しも指導者の任に当る諸子が真によく指導して下さつたならば、非常に困難だらふと思つたことも、又その動機を選択の態度、又其の選択が現はれて学科の撰択、そういふあなたの撰択といふことが全校に非常に関係を及ぼして来るであらふと思ひます。

#### [私の懸念すること]

然るに私が今懸念することは此の自由の制度を利用して利己的のことを思ふ人はあるまいか。つまり動機によるので只外面に表はれる事丈ではわからぬのでありますから。併しこれまでは時間があまり多かつたために、それから要求されること及び学校から強制される学科が多かつた爲めに諸子が此の学校の主義に養はれてもその自分の根本要求に従つて生活するといふ事が出来なかつたのではあるまいか。それで今度は第一に時間を減じ、又選択の自由を与へて貰ひ度いといふ要求が多かつたやうであります。そして制度はその要求通りになりましたけれども、他の同制度の施かれてある諸外国の諸大学に比べて見るとまだこの時間は比較的に多いのであります。

即先づこの制度の平均的時間数は一週十五時間の課業時間ではありますが、この学校ではまだ十九時間を最少時間としてあります。十九時間といへば殆ど二十時間あります。この二十時間の教授課目時間を其の勉強を十分に、そして自分の選んだ処の学科を十分深く徹底する迄に真に学ぼうと思ふならば、それ以外にあまり沢山の課業時間をとつては出来るものではないのであります。

#### [実質を高めねばならぬ]

それではつまり今までのやり方を少し荷を軽くしたといふ丈のことで、選択制度の特長はなくなつてしまふのであります。要するに定まった時間割は少くして自由時間を多く、その時間を自分の真の研究時間にあてる必要があるのであります。それであるから私は今諸子の動機を問題として居る。若したゞ此の制度の改革が只分量を減じた丈けでは実質は同じ事になる。此の改善の精神は少しも貰いては居らぬのであります。

どういふものか二年、一年も多数はどうしても時間が多す



ぎる。十九時間でさへ多いけれど、尚出来る丈沢山の時間をとらうとして居る。この傾きはどこから来ているかといふことを私は心配して居る。

教育学部はこれ迄一週三十六時間、多きは四十時間もありません。これは資格問題といふこともあることであるし、文部省との関係もあるし、又現に当局の某役人は時間を多くした方が力がつくやうに主張して居る人もある位故これ等の関係上必ずしも学生自身の動機如何をいふことは出来ないけれども、私は粗製乱造といふこと、少しのものを根本的によくするといふこと、これは深く考へなければならぬことと思ふのであります。私はそういふ関係を離れて学習し得るものは自分の信ずる処を自由に執って行くべき筈のものであると思ひます。然るに英文学部も家政学部も矢張これに倣って、少しでもよけいの時間をとってよけいに学習すればよいかの如き傾向のやうに思はれると申した所で、又必ずしも時間を減じた方がよいといふわけではないが、どうしても自動力でやって見るといふには自由時間が少くは出来ないことであらふと思ふからである。つまり其所の動機によるのであるが、こういふことがつまり此度の改革について最も考へねばならぬことで、只形式になってしまつて真の實質を高めるといふことにならなかつたら、これは失敗になつてしまふのであります。其所が指導の責任ある上級生の態度が大切になる所以でもあるので、此の制度を一番よく聞いて居るのも諸子であるから、諸子の態度がとりもなほさず今度の学制の運命を支配するものであるやうに思ふのであります。

[小康に安ずるな]

それからもう一つ考へることは此の制度の改革に就て最早や時間を多くとるのも少くとも自由である。又其選んだ学科も自分で学んで行くのであるから、つまり前よりは少くとも制度の変つたことそれ自身が殆ど我々の勝利であるかの如く考へることがありはしないか。然すればこの改革といふこともあまりむつかしい事どころではなく、実にわけなく成就したもので、今は少し気ぬけがしたやうな所があるといふやうな事もないではないやうに聞いたのでありますが、そういふやうではとてもこの学制は成功しないのであります。言ふ迄もなく今度の制度はより以上に自奮しなければならぬ。より以上に自制しなければならぬのみならず、これからまだまだ様々な障害と戦はなければならぬのであるから、其の点に於て非常に警戒して置かねばならぬのに、今から其の考へであるやうでは到底駄目である。

併し之れは私の杞憂に過ぎぬものであればよいが、兔に角此度の転換に就てどういふ責任又影響を受けるかといふ事に就ては非常な覚悟を要するのであるから、其れに就ての要求方法がまだまだ足らぬやうに思はれる。併し其の形式が殆ど出来て居るのであるかも知れぬが、之れは初めに於てよほど考へてもらはねばならぬのである。

[道は拓かれたるなり]

今度真に此の大学生活を初めるにつきまして思ふことは、之れ迄のやり方が如何して根本的に行かなかつたといふ事、つまり非常に努力して其れ丈の効果を表はすことの出来な

つたといふことであります。これはFoundationを欠いで居つた。木で云へば根を欠いで居た、家で言へば上が堅い割合に土台が不充分であつた事に歸すると思ひます。茲に真の大学生活を築くにはどうしても其の土台を築かねばならぬ。けれども十六年間どうしても其所に行くことが出来なかつたと云ふのは、外部から始終強制されて居つて其の自由に研究を試みて見る余地がなかつたのである。卒業する迄にはどうかこうか土台を築けれども、その後には於てくづされるといふ者が多い。其れ故学生々活中に只信念といふ事、何が生命の根本だけは出来かけて卒業し、其れを常に養ふて行く者はそれで漸く生命を繋いで居る有様であるが、それはよほど困難な境遇である。夫れが此度学制改革と共に時間に余裕が出来たと同時に、学生各自が其れを善用して覚悟を決めさへすれば実に良境遇を与へられて来たのであります。

わづか後一年しか残らぬけれども、それでもこの境遇を善用すれば此の目的は大丈夫達せらると思ふ。

「初めに於て健全なる発達を」

それで此の度は一つその永久共通の土台を作らねばなりません。及び其の方法を見出さねばならぬといふ事になるのであります。私は時間に少し余裕をつけておく必要があると思ふ。そうキリキリでは又余裕の時間がない。自由な時間(研究)がなくなるわけである。此の度の時間の選択その物はいろいろな物に関係を持つことになるのであるから、これに就てはよほど考へて貰ひ度い。私は一、二年にはこの動機をかい、そして其の撰択の理由を書いて出さしめて居るが、之れは四年、三年も出して貰ひ度い。あなたの科目の組織編成及時間数、その選択したといふ動機理由といふものを一週間中に書いて私に出して貰ひ度いのであります。而して健全なる学問が初めから発達して行くやうにし度いものであります。

大正六年四月三十日

時間ノ使ヒ方

[時間ノ改正]

此頃考へテイルコトハ時間ノ使ヒ方デアル。今度改正サレタ時間割ハ今迄ト異ツテ時間ガ非常ニ少ナイカラ、従テ個人ノ自由時間ガ多クナツタワケデアル。今迄ノ様ニ学校ノ方デ順序正シイ時間ガ出来テイナイカラ、之カラハ自分自身デ夫レヲ旨ク生活ニ当テハメテ行カナケレバナラヌ。夫デ時間ノコトニ就テ一言述べテ見タイと思フ。夫レニ就テハアナタ方自身ガ能ク考ヘテ、之迄ノ学生間習慣ヲ改メネバナラヌ。又根本態度トナルベキ努力ニ就テノ意味ガ判ラネバイケヌ。然シ直前ニ学校及教授側カラ改良シナケレバナラヌ事モアル。常ニハ学校ノ始マル前ニ凡テノ準備ガ整ツテ時間表迄モ出来テイノデアルガ、今年ハ改良制度ガ許可サレルカドウカハ最後迄問題ニナツテイタノデアル。文部省ノ規則ト今度ノ改正規則トガ一致シナイ点モアツクシ、無試験検定ノ資格

ヲ得ルニハ条件ガ整ハナカッタ為ニ愈々許可サレタノガ学期開始間際デアッタ。学校ノ方デハ凡テ根本的ニ改メタイトフ希望ナノデ、教授ノコトモ凡テ設備モ許可ノ上デ手ヲ付ケル運ビニナツテイタ為ニ非常ニ手遅レガシタノデアル。殊ニ今度ハ制度ハ生徒自ラガ学課ノ選択ヲシナケレバナラヌシ、国文科再設ノコトモ広告スラ出セナカッタ為メ、希望者ハ願書ヲモ出セナイト云フ風ニ、凡テノ点ニ混雜ヲ極メテ、本年事例ハ其為徹夜ヲ幾日モシタ手筈デアッタ。ソナナ訳デ初メテ入学シテ来ル人ハ非常ニ困ツデアロウガ、最早落付カレタコト思フ。

#### [時間ト境涯]

扱テ今度ハ前ヨリ選択制度ニナツタ為メ空キ時間ガ非常ニ多イノデ、夫レヲ如何ニ使フカタイトフ生徒自身ノ覚悟ガ根本ニナルノデアル。時間ヲ有効ニ用フコトガ出来ナケレバ此制度ハ失敗ニ終ルノデアル。各々が自分ノ時間ヲ自分デ使ヒコナサナケレバナラヌ。初メハ難カシクモ、此ノ生活ニ慣レタナラ必ズ卒業後迄モ生キタ生涯ヲ送ルコトガ出来ルト思フノデアル。然シ其生活ヲスルニ就テ境遇トイフモノヲ忘レテハナラヌ。其境遇ハ共同生活カラ起ルコトガ多イノデ、夫レニ就テハ出来ル丈ノ設備ヲシテ相互ニ便利ナ方法ヲ取ラネバナラヌ。即チ自由時間ヲ活カシテ使フト云フノガ此制度ノ根本ナノデ、其大部分ハ読書ト思考トイフコトニアルノデアル。凡テノモノヲ観察シテ実験スルト云フコトモ大切ナルコトデアルガ、夫レニハ本当ノ境遇、ツマリ場所ト云フコトガ大ニ関係ヲシテイル。夫レヲ先ツ第一ニ今学期カラハ読書ト思考トヲスル静肅ナ場所ニ此講堂ヲ開放シ、第二ニハ修養館ヲ与ヘル。教育心理、歴史、数学、地理等ハ講堂ニ於テ調べルコトトシ、自然研究、婦人問題、宗教、哲学、文学、古物研究等ハ材料ヲ修養館ニ備ヘテ研究ニ便ナラシムルコトニシタ。寮生ハ又空キ時間ヲ学寮ノ図書室ニ費スモ宜イ方法デアロウト思フ。又思考力ヲ養フ時ハ自然ニ親ンデ、好時ノ時ニハ裏ノ方ノ森モ好場所ト思ハレル。幸ヒ場所ガ広イカラ出来ルダケ善イ方法ヲ取テ活カシテ使フ様ニ各々考ヘルガヨイ。自分デ研究スルト云フコトハ、体力、知力ヲ磨ク上ニモ、思考力ヲ養フ上ニモ一番力ノツクモノデアル。

#### [新タナル生活]

此制度ハ外国デハ既ニ小学校カラシテ好結果ヲ挙ゲテイルノデアル。又英国デハ非常ニ指導者ニ重キヲ置イテ、小数ノ学生ノ友トナリ、教師トナツテ、日常生活ノ上ニ助ケル事ハ言フ迄モナイ。日本デモ家庭教師ヲ頼ム家庭モアルガ、家庭教師ト言ヘバ食客ノ上ニ思テル家庭ガ多イ為メニ好結果ガ挙ラナイノハ残念デアル。一ニハ余リ職業的ニナツタ為メデアル。此学校デモ今年カラ指導者ニ重キヲ置ク事ニシタノデアル。生徒ノ師トナリ友トナツテ、神聖ナ職トシテ精神的ニ自己ヲ離レテ人ヲ指導シ、人ヲ助ケテ初メテ宗教ノ天才ガ發揮スルノデ、宗教ノ開祖、高僧ナドハ斯クナケテハナラヌ。然シ今日デハ僧侶モ、牧師モ、職業的ニナツテ、凡テガ金儲主義ニナツテシマッタ。学校モ亦月謝ニ依テ働ク様ニナツタノデハ真ノ教育ハ出来ナイノデアル。生徒間ノ各組ニ置ク指導者ハ組ノ後見人ノ様ナモノデ、之ハ生徒自身

モ或意味ニ於テ指導者デアル。人ニ与ヘ、人カラ享ケルトイフ心ハ各人ニナクテハナラヌ。其為ニハ係モアリ指導者モアルノデアル。指導者ハ義務ノ為ニハ何等ノ報酬モ得ズニ自分ノ力ノ有リ丈ヲ犠牲的精神デスルノデアルカラ、自然眼ニ見エヌモノヲ自分ノ人格ニ着ケテ行クワケデアル。之デ一通リハ理解サレタ事ト思フ故、生徒自身ガ助ケ合ッテ温カイ空気ノ中デ相互ニ新ラシイ生活ヲ立テ行キタイト希望スル次第デアル。 終

大正六年五月七日

一、二年実践倫理

#### [学科選択ニ就テ]

諸子ノ答案ニ依ツテ見ルト、学科ノ選択ニ就テノ各自ノ主義ガ問題ニナツテ居ル様デアル。夫レヲ二ツニ分ケルト一方ハ科学ニ重キヲ置ク、即チ家事ノ方デアル。其ノ中デモ裁縫、料理、技芸ニ重キヲ置イテ居ル。ソレハ今後家庭ヲ持つニ大切ナル科目デアルカラデアル。今一ツハ哲学、心理、倫理ト云フ様ナ学説、思想ト云フ風ヲ輕ンズルトイフヨウナコトハ實際生活ニ縁ノ遠イノミナラズ、自分ノ生活ガ不真面目ニナリ、又ハ空想ニ陥ル。ツマリ点ノ事バカリ氣ニシテ足ガ地ニツカナイコトハ無益ノミナラヌ、却ツテ危険デアルト云フ考ヘノ傾キガアル様デアル。又之レニ反シテ科学ト云フモノハ形ノコトデアル。極ク浅薄ナ事実デアツテ本当ノ人間生活ノ価値ニハ無益ナモノデアル。自分ハ頭ノモノ一哲学、宗教、語学、外国語ト云フヨウナモノヲ選バンケレバナラヌ。又カルモノヲ選ンダ人ハ料理、家事ノ如キハ時間ツブシデアルト云フヨウニ傾イテ居ル。諸子ヲ分類スルト三ツノ種類ニナリマス。又非常ニ甚シク感ズラルノハ学力投射ノ差ノ甚シイノデアリマス。ソノ点ハ大変オ困リノコト思フノデアリマス。

此ノ学校ニ入学サレタ方々ハ体カラ顔カラ言フテモ傾キガ違ツテ居ルノデアリマス。此ノ表ハレヲ以テ我国地方ノ傾キガ分ルノデアリマシテ、我国教育(女子)ガホバ分ルノデアリマス。諸子ノ教育ニ就テ少シ述ベテ見タイト思フノデアリマス。然シ今日ハ時間ガ少イ為メ、学科選スルタメ、其レヲ学習シテユク自分ノ方法ノタメ少シ述ベタイ。其レデ今アナタ方ニ説明スルトキニ尋ネテ見タイトデアリマス。即チ部門制度ト選択制度ヲヨク解シテ居リマスカ。此ノ両極ヲヨク解シ、カタヨリタリ或ハ誤ラヌ様ニナラナケレバ危険ナコトニナツテ来ルノデアリマス。ソレデ各自デ危険ニ陥ラヌ様ニシナケレバナリマセヌ。哲学ヲ選定シタ人ガ十人バカリアリマス。其ノ人違ハ大事ナモノデアルトオ感ジニナツタラウト思フガ、一番人ニハソウ云フ様ナ学科ハ實際生活ニハ無関係デアルト思フテル人ガアリマス。哲学ト云フモノハ聞イタ事ガナイデアラウガ、然シ之レ迄ノ生活ニ哲学ガ少シモ関係ガ無カッタハ思ハレヌ。ソレゾレ程度ハ違フガ皆ソルト云フ事ハボンヤリト頭ニ持ッテルコトハ誰レデモアル。實際ノ生活ニ必要デアルト

聞カサレタ事ハアルト思フノデアリマス。

アナタ方ノ中、哲学ハ實際生活ニ無関係ナモノデアルト思フ方ハアリマセンカ。未ダ哲学ノ如何ナルモノデアルカ知ラナイデセウガ、例ヘテ言フタナラバ今世界ノ人類ガ誰レモ彼レモ考ヘザルヲ得ナイ。實際ノ生活ハ戦争ト云フコトニ集注サレテ居ル様デアル。日本デハ政治、宗教凡テノモノガ戦争ト関係シテルト云フコトハ文部省デモ大變考ヘテルノデアル。然ラバ誰レデモ考ヘル人ハ此ノ戦争ト云フモノハ何ノ戦デアルカ、又如何ナル原因デアルカ。ソノ原因ニ就テハ一例ヘバ人種ト人種、即チ独逸種トスラブ種ト云フ様ナ人種ノ戦ヒ、又ハ經濟、政治問題ト云ヒ、ツマリ勢力争ヒト云フ實際問題カラ起ツタコトハ誰レモ分ッテルコトデアルト思フ。然シヨク其ノ真ノ原因ヲ知ルタメ、本當ノ研究ト解決ヲシ様トスルタメニハ哲学ニ依ラザレバ到底ムツカシイノデアリマス。

戦争ハ如何ナルモノナルカ。今後如何ニナルカラ根本的ニ考ヘルコトハ即チ哲理ニヨラザレバ駄目デアリマス。戦争ノ原因ハ独逸ニアリ、近因ト遠因トアレドモ、カルコトヲ研究シテイッタナラバ独逸ノ哲学、独逸ノ思想デアルト云フコトニナツテ来ル。ツマリ世界ノ思想ト云フモノガ動イテ活動ト云フモノガ起ツテ来ル。其ノ原因ハ極端ナル国家的觀念ト個人的觀念トガ今日ノ原因ヲナシテ居ル。フライチックノ哲学及ビニイチェノ思想ノ影響ヲ受ケシモノナリ。

〔(1)国家的觀念 (2)個人的觀念〕

(1)ハ、フライチックノ哲学ニシテ国家ハ権力ナリ力ノ主張ナリ。(2)ハ、ニイチェノ哲学ニシテ、権力主義ニシテ野蛮的ナル動行ヲ豪モ恥ザサルナリ。国家モ個人モ権力、意志ヲ以テ他國ヲ犠牲ニシテモ構ハヌト云フ権力、意志ノ人ナリ。虎ヤ狼ガ丁度羊ヤ鹿ナドノ弱キ動物ヲ殺ス如キデアル。即チ独逸ノ勢力デ、セルビヤノ如キ弱キ國ヲ襲フノデアル。ソレヲ少シモ惡イト思ハヌノデアル。一言デ言ヘバカル考ヘ、カル哲学デアル。真ニニイチェノ哲学ガ此ノ度ノ戦争ノ種ヲ育テタ。即チ人間ノ思想ハ人間ノ行為ニ行ハレル。故ニ哲学ハ實際ハ決シテ関係ナキモノデハナイノデアル事ガ証明サレル。

哲学トカ信仰トカ云フ如キ考ヘハ空虚理想デアルト云フ如キ考ヘハ非常ニ極端ナル考ヘデアル。又之レト反対ニ料理トカ裁縫及ビ作法ト云フ如キコトハ精神生活ヲスル人ニハ無価値ナモノデアルト云フ考ヘモ極端ナル考ヘデアリマス。物質ヲ支配スルニハ科学ヲ応用シテ行カネバナラヌ。独逸ノ思想モ平面ノ真理デハアルト思フケレドモ、非常ニ極端ニナツテルカラ不健全ニナツテシマウノデアル。ケレドモ將ニ眼ヲ醒サントシテ居ルカラ、今將ニ變化ヲ来スヤモ知レヌ。此ノ世ノ中ニ低能兒ガアリ白痴者ガアル。之レハ必ズ一方ニ遍シタコトデアル。私自身ノ生活ハ宇宙全体ト關係ヲ持ツテ居ルモノデアル。局部ト云フモノハ其ノ關係ヲ持ツテルト云フ所ニ意義ガアルノデアル。自分丈孤立シテルモノデナイ。ソレデ此ノ部門制度ノ選択ト云フコトハ一部ト全体トガヨク自分ヲ自発的ニ發展セシメル唯一ノ方法デアル。ツマリ此ノ制度ヲ施クノハ他カラ制限ヲ加ヘズニ自動的ニ志ストコロノモノヲ自由ニ撰択サセルト云フコトデアル。之レガ根本ノ發展ヲ来スト云フ

トコロニ本當ノ生命ハアル。

部門制度ト云フモノハ私共ノ生活ノ縦系デアル。

選択制度ト云フモノハ私共ノ生活ノ横系デアル。

縦系ト云フモノガ私共ノ生涯ヲ貫イテ行く目的デアル。之レガーツニ集注シテ自分ノ専門ノ如キモノナル。例ヘバ此ノ部門、哲学、教育、美術ノ部門ガアル。ソレハ自分ノ生活ノ縦ニ貫イテ行くトコロノ、永イ間繞イテ進ムトコロノ取ル可キ道であります。今学校デ学ブ間ハ其ノ専門ガ充分ニ表ハレナイガ、先ニ行く程自分ノ専門、ツマリ自分ノ天職ト思フ程明カニナツテ来ルノデアリマス。女子ハ今マデアマリハッキリシナカッタノデアルケレドモ、今ニ其処ニ明カニ職分ヲ完フサレルノデアリマス。部門ト選択ガ無関係ニナツテ来ルト集注ノ出来ナイニ重モ三重モノ人格ガ出来テ来ル。

部門ハ縦ニシテ選択ハ横カラ選ブ。

自由教育、人格教育、専門教育。

一方ニ遍ズル事ハ専門ニナル。基礎ガナクシテ直様専門ニナルト云フ事ハ職業的ニナル。片輪ニナリ易イノデアル。然ラズシテ人間ガ大キクナルト云フコトデアル。人間トナルニ大切ナ学問ヲスルノデアル。中学ヲ終ヘ段々集注スルト云フコトハ完全ナル人格ノ広イ教育ヲ受ケルト云フコトデアル。例ヘバ科学ヲ取ツタモノハ語学ナリ美術ナリヲ選ンデ、完全ニ発達セシメントメニ選ブノデアリマス。自分ノ部門ヲ一貫シテ生涯通シテ行くモノニシテ、其ノ目的ヲ補助スルヲメニ必要ナル学科ヲ選択スルコトデアリマス。然シ英語ナラ英語ヲシテ居ルト云フニ止ツテルノデナク、其國ノ文学ヲ学ブト云フ点ニ醒メナケレバナラヌ。教育部ハ唯先生ニナルタメニ非ズシテ其所ニ注意デナケレバナリマセヌ。英語デモ廣ク完全ヲ来サントメノ補助機関トシテ外國語ヲ学ブノデアルト云フノガ大事ナルコトデアル。

夫レニ就テノ根本思想、即チPhilosophyガナケレバナラヌノデアリマス。

旧制度ト社会ノ教育機関ト比較シテ書イテ出シテモライ度イ。ソレニハ二週間ノ時日ヲ上ゲマス。研究ト云フコトニナルト外國語ヲ読マナケレバナラヌ。自國語ダケデハ如何ニ進ンダ國デモ不可能デアル。一ツ上ノ外國語ハ是非大切デアル。卒業後ノ外國語ノ書物ヲ自分デヨメル様ニシナケレバナラヌ。教科及参考書モ原書ヲ使ツテモラウ様ニ先生方ニ願ツテ居ルノデアリマス。今少シ日常生活ニ応用スルト云フコトガ大切デアル。世界ノ激流ニ接触シナケレバナラヌ。夫レニハ日常生活ニ使用スル様ニシ度イ。其ノ為メ英語ノ雑誌ヲコシラヘタ訳デアリマス。

此ノ間ハ入学ノ動機、自念、確信、信仰ナド云フ言葉ヲ使ツタガ、然シ言葉ダケデナク其ノ方面ニ関スル思想ガマダムツカシイノデアル。ソノ方面ノ考ヘガ非常ニ進ンデ居ル人モアル。又或ハ非常ニ後レテ居ル人モアル。大学ニ入学シテカラハ女学校ト違ヒ根本ノ思想ヲ養フ様ニシナケレバナラヌ。自念ト云フコトハ一時一刻モ欠クコトノ出来ナイモノデアル。

健康ノ方カラ言フナラバ夜ハ安眠スルコト、意志勵行ト云フ事デアル。私共ノ心ノ用法ガ私共ノ眠ル、食ベル、呼吸ノ

姿勢ヲ正シスルコトナドハヤハリ私共ノ心ノ靈ノ自念力デア  
リマス。自念ハ私共ノ生活ノ根本デアリマス。自念ト云フ言葉  
ヲ組立テ居リマス。動機及ビ其ノ他ノ言葉ヲ調ベテ、其ノ意  
義ヲシラベテモライ度イノデアリマス。

自分デ経験シテ、自分デ反省シテ考ヘテ頭ニ作ラナケレバ  
ナラナイノデアリマス。

動機、確信、主義、目的、志望、信念、宗教、哲学、之レ  
等ノ言葉ノ定義ヲオ書きナサイ。

哲学辞書

参考書 宗教 //

百科 //

五月九日

午後二時より三、四年実践倫理

#### 〔集中の時機〕

今年度の計画を立て、二、三日前に全校に発表なされたのでありますが、今年は平年とは違ひ茲に新しい各自の習慣を養成しなければならぬ。同時に其の各自の傾向習慣が調和統一して新しい校風が発達しなければならぬ。其の目的を遂げるには其の時機、其の機会を良く用ひて参らんければなりません。只今は内に動機が動いて参りまして、あまり遠からん内に之れを此のお立てになつた方針及計画によく成形せしめなければなりません。諺にもある通り「鉄が熱して赫くなつた時に於て是れを打たんければならぬ」と云ふ様に、只今は常に希望する健全なる校風を形する最も適当な時であります。夫れから一方には此の機関を動かす所の根本の力となるべき、又成遂げねばならぬ、又し遂げ得るといふ意志、又これは我々で成し得ると思ふことは必ずなると云ふ意志と申しませうか。気分を養ふべき時であります。

「夏期生活を有効ならしむるには。」

諸子は今此の学期の初めに於て斯係りの任務を全うして於いて、是れから夏休み前に大体其所に目当が出来、根本の土台が築かれる迄にお進めにならんければならぬ。夫れから軽井沢に於きまして、又銘々の家庭に於きまして此の自念自動の生活が大いに熟する時機となるのが即ち夏季休業中であります。若しも夫れ迄にこの活動が有効に始まり得なかつたならば、諸子の計画は失敗に終るであらうと思はねばならぬ。此の夏迄と秋に入る迄の時機が最も大事な時であります。で其の時機を浪費しないやうに、又失は無いやうに各自注意して充分な共同をしなければならぬので、一寸其の時間の計算を初めから考へて置く必要があると思ふのであります。此の五月といふ月は残る日が二十二日、六月が三十日、七月に入つて二十日であります。之れを皆合はせると七十二日程ある。二月と一週間であるが正味二ヶ月と見なければならぬ。夏季休業の間が今年七月が十一日、八月が三十一日、九月が九日あります。合せて五十一日、今

年の夏季休業は五十一日であります

〔もう一つ根本の研究〕

夫れで四年、三年は一つの団体となつて二、一年を指導なさつて、今の間全校の校風を大体形作る事、而して銘々の内に自念自動の動機を養ふと云ふことを実際にお始めにならんければなりません。之れを始めるに就きまして只大体の計画組織が出来て来る丈でありまして、も一つ生活を有効にすべき実際の所説がまだ出来ないであります。夫れで此の各係が愈々機関の運転を始めるやうに、先づ上級の方から着手せねばならぬ。

「研究の方法」

其の前に之れが適切に共同して銘々の生活と共同の生活とが矛盾、衝突いたさぬやうに、其の間の調和統一を計る為めにもう一つ根本的に研究をしてお決めにならねばならぬ点がよくある。夫れで来年度にお立てになつた係の部分だけによりまして、先づ研究会を組織するといふこと、即ち今年の仕方はセミナーと云ふ方法に研究を進めんければならぬといふこと。即ち此の前に申しましたが、先づそれをこの係りの研究に應用して見るといふ事が必要であると思ひます。で先づ其の組織方法を申して置いて其の各部の問題と共同の問題とを定めて、早速其れに取りかかるやうに致し度いと思ふのであります。先づ其の研究の団体は体育部、修養部、研究部と此の三つに分けまして、各部が三週間に一度の研究總會を開くこととあります。それでも少し自動的に出来得る迄私がその研究会を指導しやうと思ふのであります、(其の訳はまだ諸子が其の方法を見出す迄に慣れないと云ふこと。然るに時は迫まつて居ること。今一つの理由は私が面会をしなければならぬといふこと。六百幾十人と云ふ人数であるから、それに一学期に一度宛会ふと云ふこともなかなか六かしい。夫れで此の研究会に於て諸子の傾なり人格に接し度いと思ふ。) (注意) その時寮監、指導者、殊に其の係りに関係のある方は必ず出席して貰ひたい。

先づ其の研究はセミナーのシステムに倣ふことが便利であらうと思ふ。今迄世界の大学に於て経験したよい所は採用する。先づその研究室が必要であります、之れは係々で相談して当局に問合せるがよいと思ふ。

〔先づ研究室の設備〕

其の研究室は其の研究問題に関する書物、又取調べ事項の報告雑誌類を集める。其の必要の材料はいくらも集まる。

例へば私の処だけでも種々の報告書類又ハ規則問題の種類などが随分沢山来るから、そいふものでも必要な場合に於て皆に報告すれば非常に有益に用ひらるゝことになる。これ等のことが私共で研究して尚之れを他の研究に供し、又必ず我が国の家庭に幾分か供することが出来るやうになれば両々相俟つて研究の助けになるのであるだらふと思ふ。例へば或る調査事項にしても一部の当局の人が決めてしまふといふこと、独断的になる傾きがある。私が前にもいつた事があるやうに、嘗てイブニングポスト及ロンドンタイムズ社から問合せ来た時にも私は何に依つて答へたかといふと、皆あなたの方の答案によって書いたのである。つまりそう云ふ風によく

の人々の実際の経験が集まるやうにして置けば、問題、問題によって各自に便宜なことが出来るのであります。

而して調べてからも一つ討議をするといふ適当な場所がなくはならぬ。同時に私が其の会の時には其の組に面会をするといふことも自ら出来るやうにしたいのであります。それに適当する場所を作らなければならぬと思ふ。

#### [国語改善の必要]

それで体育部は先づ如何云ふ問題をお選びになるかと云ふと、これも私は案を立てたのであります。皆説明する時を取りますから此の前にお話したことに関係した部分のみを話して置かうと思ひます。夫れは此度の制度を活用して学生の脳髓を効力あらしめるやうに生活すること。

其の生活を根本的に改めるには第一に国語を改善しなければならぬ。我国の国語は不完全である。又一定して居ない。漢文もあれば国文もある。又仮名交りもあれば口語体もあって非常に乱雑になって居る。子供の時から其の不完全な言葉を以て考へ之れを以て発表して居る為め、どれ丈脳力を費して居るか分らぬ。上田博士の話にも大学の文科の学生の論文でもまるで成って居らぬのがあるといふこと。つまり此の言葉の不完全なるために意見を発表するにも非常に損をして居る。それ丈これが邪魔になって居るといふわけで、どうも此後の国民の脳を養成するには不完全な国語である。で如何しても国語の改良をしなければならぬ。それで文科学長の上田博士を聘して今日から講義が始まったのであります。尚教授会を開いてもらつて生徒と共同して改善につとめて貰はなければならぬと思ふて居る。といふのは言ふ迄もなく国語は思想の機関であります。これは私共が広く天地を逍遥し、又天地のものが私共に接触する、即ち凡ての眼に見えぬ力、その精神の活らきを自分の方に引き付ける力、又自分の力を遠くこれを外に伝達するといふ所の其の機関であります。勿論これは国語丈ではまだ足らない。即ち世界の言葉でなくてはならぬ。夫れはどうしても外国語といふものが必要である。尚まだ其の他にもありますが、先づ此の眼は見える所の此の交通機関を改善しなければ今日の学生の頭の活らきを有効にすることは出来ないのであります。

#### [外国語学習の必要]

も一つはその外国語をなるべく早く学習することの出来るやうに考へなければならぬ。殊に家政学部の特徴としても一つ専門職業教育といふ、特に自由教育、人格教育といふものが高まらなければならぬ。それは外の専門教育(国文学部、英文学部)にも必要であるが、これ等の学部は時間が許さないといふこと、も一つは資格を得るために試験といふ特別の重荷を負はなければならぬことがあるから、強いて時間を動かすことが出来ないのであるけれども、家政科には婦人の特色である家政科といふ事であるだけで、其の外は凡て選択の自由がある。それ故家政科の人は第一に外国語を自分の力となさることをお進めする。

#### [成功・不成功の原因]

其の方法としては凡ての材料を英書によつてすることも其の方法の一つであります。その上にその英語で調べられるやう

に或る助けを其所に与へまして、其の目的を達するやうにする。そうすると必要に迫られて余儀なく外国語を使ふやうになるから、之れもやっぱり研究の根本を開拓することに関係ある問題であります。之れは家政科に限らず他の部でもなるべくそうして貰ひ度いが、時間に制限があると思ふから強いてはさしぬのであります。而して各研究部が共同して或一定ノ時機に研究して貰ひ度いものがある。其の問題は、

此ノ制度及本学年度ノ計画ノ成功ノ失敗ノ原因ハ何デアルカ。此レは自分の方面一自分が此の制度で学問して成功するか失敗するか。

皆さんの失敗は引いて学校の失敗である。之れが又引いて我が国教育の改善の失敗となるかも知れない。之れが反対になれば諸子の成功は学校の成功であり、我が国教育の成功すべき境界となるのであります。夫れで其の成敗は分らぬが、どちらにしても其れ相応の原因がある。其の原因が何であるかといふ事を予知することは現在の急務である。

#### [成功という字の意義]

此の成功といふ言葉についていへば、此の頃我が国で成功といふものは成金や大学の銀時計の事を連想して考へる人があるかも知れないが、私のいふ成功はこれと違ふのであります。成功とは幸福なる結果を得るといふ事、言葉を換へて言へば目的を達する事、理想を実現する事、も一つ深い言葉を以て言へばよいExperienceといふこと、即ち善い経験をするといふこと、夫れは即価値を獲得すること、実力を収獲すること、高德なる人格なるといふことで、即ち幸な結果を得るといふこと。之れに反してMiserableは即ち之れが失敗である。其の結果を得やうといふこと、実力を発展させやうといふことが皆が今希望して居る所の成功の結果であります。

#### [実践倫理と研究問題]

然し其の結果を得るには必ず原因があるのであります。若し諸子の活らきが水泡に帰するならば、必ず其の失敗の原因があるのであります。これを明らかにして置かねば此の目的を達する事は出来ないのであります。それ故各部の研究も到達点は其所にあるのであります。それで共同の研究と各自の研究と二つに分けて進みたいと思ふ。先づ銘々此の問題を論文として出して貰ふ事にして居ます。其の期日は五月三十一日迄。各係の調査及実験(或は経験)の報告は六月三十日迄。

此の二つの論文が此の学年の第一学期の試験といふことに致します。然し試験と云ふことは忘れてしなければならぬ。実は試験は弊があるが我国では止むを得ないからそうする。各係の方の研究問題は之れを連帯責任であります。其の点数は各自の頭へ割当て一人一人の点に加えることに致します。

#### [問題に対する注意]

序に此の問題をお調べになる要点を申上げて置きます。第一は人格といふ方面から研究すること。人格と成功といふこと、之れは真の意味に於ては同じものであります。今いふ成金といふこと、人格は別であります。今私の言ふ成功と云ふことは同じであります。此の例として森村翁の処へ近頃新聞

記者が尋ねて来て云々……家庭週報第四百十六、十七号参照。即ちかゝる意味に於ては人格と成功は同じことでもあります。又名高い人と成功とは同じであるといふこともいひ得る。即ち其の意味に於て大成功をした人を大偉人といふ。例へば東洋に於ては釈尊、孔子など……凡て偉人は即ち其の人の生れた目的を成就し、其の功績を遺して行く人であります。其の人の成功はどういふ風にして成功したか、又何に原因があるか。例へば先きに述べた森村翁が其所に行くには其の原因があるのであります。誰れに限らず偉い人には必ず伝記が残つて居る。それを読む時はその人の成功はどこに原因あるかを見出される。又必ずそれがなければならぬ。即ちそれも研究の一つであります。そして今どうしても斯う行かうと思ふならば其れに近い人格の人を調べ、そしてその成功の原因を見る事が一つの大切な研究方法となるのであります。

第二は校風といふ方面から調べて見ねばならぬ。昨年の十四回生は至純といふ目的を定めて進んだのであります……それは即ち校風発表の充実であります。此の校風によつて来る所を調べなければ国風即ち即大和魂、又は世界の魂、International Consensusといふやうなものと同じことであつて、その傾向は小は個人と個人から、又国と国との間に世界の良心或は意義が来つあるのでありまして、これは凡て今日の心理学にも哲学にも認められて居るものであります。さてそうした大体の研究即ち普遍的真理が出来て、それから我が校風といふものは何であるかを調べねばなりません。今年の計画は此の校風を養ふといふことに非常に重きが置いてあるのであります。

#### [校風、人格と潜在意識]

それで校風否人格とも申してよい位であります。それから人格はAtmosphereとも云ふ即団体人格といふ言葉がある。又宇内の人格といふ言葉もある。それで人格といふ言葉は今日と昔は大分違つて居る。今日はもう一つ深い意味が解つて来たのであります。この研究を始めるには哲学、心理、科学及宇宙の自然の研究をせなければならぬ。それ故此の問題はよほど大きい問題であります。殊に私が此の問題についても一つ深い問題を試みたがよからふと思ふことが潜在意識といふことでもあります。斯ういふ研究は随分古い時からあるのであります。最近はもう少し学問的になつて居る。私共が校風といふことについては一即眼に見えない人格といふことについては一此の潜在意識といふことに就て調べて見なければならぬ。潜在意識又は内在的意識といふ言葉はまだ日本には適切な言葉がない。

凡て斯ういふ新しく発見されてこれが世界の知識となる時はその言葉は直ちに世界の言葉となるのであります。そこで私共がもう一つ研究して自分の生活を進めて行かふとするには、其の世界共通の言葉が入るといふのであります。其の意味が此の問題を研究すると直ぐに解るのであらふと思ふのであります。

それからもう一つは此の研究的生活をするには矢張り外国語の一つ位は通じなければならぬのである。その意味から此の潜在意識の問題は始めたからよからうといふことを申した次第

であります。

#### [人格の根本]

所が此のSubconsciousといふことについてまだ我が国の学者では研究した人がないやうであります。いくらか書物の中にそういふ言葉が散在して居りますが、そういふ研究をしたオーソリティーはまだ無いやうである。

それ故これに就て調べるにはどうしても外国物によらなければ外に道がない。

今茲に示す書はUnconscious(アンコンシャス)といふ書物であります。此の人は此の書をかき前にカイザルの研究といふことを書いたことのある人です。此の人は潜在といふことを『人間行為の動的原因である』といつて居る。つまり我々の人格、又其の人格の思想は凡て此の潜在意識であると云ふことを言つて居るのであります。

我々の意識といふものは極く小部分であつて、其の大部分は人格の土台の地平線の下にある。我々の意識が小波であるならば、我々の人格の土台は大海の底に動いて居る大波であるといふのである。それで我々の仮定を決めるものは皆無意識のこの大海の底の波が定めて行くのである。我々の脳の生活の習慣及び傾向を作つて居るものは、其の原因はも一つ根本にある、深い所にある。即我々の意識の其の境を越えた所のも一つ大きな其の世界から来て居るのである。

#### [我々の神霊上の経験は潜在意識]

我々の情緒、情操及感情、我々の意見、立場又心の態度、凡ての性格及び人格と名づくる所の言葉、斯ういふもの皆我々の過去の心霊上の経験及先祖の経験—それによつて私共が発展した—即ちこれが私共の潜在意識である。其の潜在意識によつて私共が動いて居るのである。我々が嫉み或は愛を以て居るのであります。又非常な忠義又は不忠義を以て或は非常な同情を以て、或は悪みを以て、或は非常な理解を以て、或は非常な不理解を以て対する其の態度、又は我々が或る性質、又は理想、又は団体の行ひに、或は悪みを以て、愛を以て相対し反響し反抗して行く。それは何故かといふと、これは過去に於て我々の行ひ又は経験した感情がこの潜在意識の意見、道徳的意義、心の態度に傾き、又は本能といふものの中にちゃんと一つのものになつて、一つの人格に組織されて、そして其の潜在意識の中に保存されて居る。それでそういふ刺激に対して一致するか又はそれに反抗するの態度を以て応ずるといふことになるので、此の古い原因が潜んで居て私共は知らず識らず其の潜在意識に制せられて行くのである。

#### 「自分と四囲の境遇」

それともう一つは宇内の潜在意識と始終交通して居て、それが自分の主義を作り性格を作るのである。故に今日迄の修養と経験が皆此の潜在意識の中に保存されて居るのである。そういふやうに皆原因が皆潜んで意識となつて居るのであると云ふのであります。

校風と云ふことも非常に深い意味がある。只千四百余人の結び付いた処の融合したそれ丈の生命ではない。矢張り其の背景には宇内の人格があり、其処に私共の引力があり、感

化があるのであります。只自分の受けた潜在意識だけではない、もっと世界的、宇宙的にあるのである。

第三ハ國際的方面といふことにある。この三方面から研究して行かねばならぬが、一番大切なのは自分といふこと及級の友達といふことに就て調べねばならぬ。

それで之れを二つにすれば根本(自分)を四囲の境遇といふことになりませんが、先づ初めに分解的に研究して、そして之れを統一して行くやうにする。

五月十四日(月曜日)

一、二年実践倫理

[注意]

- 1、答案に対する誤字の注意
  - 2、出欠席及遅刻に対する注意
- カード使用のこと。

此の間十ばかりの定義をお答へになる様に申しましたが、その中で一番お困りになったのは此の自念といふ言葉のやうである。これは此の頃出来た熟語であつて、殊に此の学校で特殊の意味をつけて用ひて居るのである。それでこれはあなた方に一番六つかしい字であります。斯ういふ六つかしい字、これ迄味った事のない字、又は新しい字はどうして知ることを得るかといふたならば(此の意味には特別の意味がありませんけれども)これ迄に於て知り得る限り、又これ迄知つて居る言葉と関係のないものではないのであるから、その内にて最近の意味の言葉をよく考へて、それから此の所らしい意味を考へて見なければならぬのである。それで斯の如き新しき言葉を見つけて定義を知らふとすれば、以来の言葉から調べなければならぬ。先達の十の言葉の中でも此の自念の言葉の外の九つの言葉をよく調べ、其の言葉と外の関係ある言葉とを同時に調べ、即ち之れ迄の言葉と今度新しい言葉との関係を正当につけると云ふ事をしなければならぬ。之れがこれからの字引を使用する意味とならなければならぬ。それで此の十種ある言葉は必ず自分の特色がありますけれども、その十並べたのは其の間に悉く関係がある。それは同じ一つの大きな広い意味を見ますに、其の見方方向が違(Viewpoint)その故にいくらか違ふもう一つはDegreeが違ふ。即ち意識の差がある。併し其の根底に於てその中心点となつて居る共通の意味がある。その関係と相互の意味と両方を知らなければこの言葉の真の意味は解らない。それで私がこの言葉をだしたのは今度講義をするのにこの言葉を使はなければならぬと同時に、この言葉によってその講義を聞く用意を自身でなさる為めである。それで私は講義に於て此の言葉の関係、又その言葉が共通に意味して居る所の意義が同時に分らなければならぬ。それで私は先づこの十の言葉が意味して居ります共通の意味を三つの点に於てつかまへまして講義を進めて行ふと思ひます。

[自念の生活(或いは自念自動の生活)]

この自念生活の第一義は即ち此の十の言葉が意味して居る所の共通の意味であります。その内の第一義はその自念の生活が目的とする所は知らんとするといふこと、或は学ばんとするといふ生活であります。

あなた方が大学にお入りになった動機はこの自念の生活を遂げやうといふ、即ち学問をせやうといふ目的を以て入学をし、又その後困難と戦つて努力して居るのはどうしてもものが解り度、聡明なる頭を作り度、賢い人間となり度といふわけである。その問題の真髓、学問の動機、即ち学問生活の根本要求といふものは何であるか。

第一に人生の意義を悟り度といふのである。意義といふは英語でMeaningといふ。Meaningといふことは知る、悟るといふこと。悟るといふことは意義をつかまへることである。その意義をつかまへるがために人間は考へるのである。思ふのである。即で自念と云ふのは矢張自動的に思ふのである。思ふのは人生の意義をつかまへやうとすることであるから、一つは宇宙の根本意義、即ち第一には自分を知るといふこと、グリークの哲学者の言ふ如く自己を知るといふことである。

第二は宇宙の意義であります。即ち自分といふものと宇宙といふものとの関係を知らふとして努力することあります。そこでこの学生生活をするといふことはこの思ふことが有効に出来なければならぬ。これを人間の心意的努力と言ふ。心の活らきといふのである。

此の思考の目的を達する為めに其所に手段、方法が入ります。その方法として言葉といふものを拵へるのである。即ち言葉といふ媒によって或八種生存の意義、即ちその間に繋つて居る関係を見出すことが出来る。それで言葉の出来ている目的、又は言葉といふもの、真髓といふものはMeaning(意義)であります。故にその言葉の意義の解らない我等は役に立たぬばかりでなく邪魔になる。その言葉に捕へられるのである。その意義の世界に人間が到達することが出来なかつたならば、生活が停滞を致し、活動が停止してだんだんと自分の価値を墮落せしむるものであります。学生が言葉に捕へられる言葉を思考力の道具として正常に使用することの出来ぬといふことは非常なる不幸なことであります。

[思想の自由を得んとせば言葉の真髓に到達せよ]

そこで第一に思考の自由を得やうとすれば言葉の真髓に到達する自由を得なければならぬ。即ち我が生存と他の生存との関係を補足し、又この一思想と他の物間の思想の関係を付けて、各自の脳裏にこれを考へるといふ機敏なる活らきができるやうに訓練をいたさんければならぬ。その頭の訓練を有効にして行くには大切な二つの方向がある。その第一は一つの言葉を知るにはその外の多くの言葉との関係を知ること、即ち言葉と言葉の相互に密接の関係を付けて行くといふ術を覚えること。

第二はこれ等の凡ての言葉に共通する意味をつかまへるといふことあります。この言葉と言葉、思想と思想との連絡を付けて行くといふことは、その言葉が意味し、概念が意味する所の宇宙の実体が即ち種々の存在の間に種々の関係を持つ



て居るといふことから来て居ります。それで今私が諸子に十の定義を考へせしめたのはその意味を見出しむる為めでありませう。

そこで我々がそういふ考への活らきによって、即ち自念の活きの力によって人生の意義を知らふとしたならば、この自覚ある即ち自身が直感することの我人ノ本質をしらなければならぬ。

第二には我人が自念の力に依って宇宙を知らなければならぬ。これらの問題を研究するに、科学、哲学、宗教等の活らきが必要であります。即ち我人の本質又宇内に充ち満ちて居る本質、その本質の間に存して居る意義、目的等を見出すのが科学や哲学や宗教等の本質であります。そういふ学問の根本義であります。そこでこの科学と哲学といふことは特殊の意味に於て相異つて居る。又芸術と宗教とは特殊の意味を以て居るけれども、根本に於ては一つであります。その間には共通的目的を以て相互に扶け合ふ所の共同の仕事をして居るのである。其の学問を致して此所に人生の意義を見出して、我々の生活の背景や全景を明にするのであります。之れを言葉をかへて申しますならば、諸子は之れ迄は盲目である。是れから大学に入って眼あきにならなければならぬ。これまでは表面のごく浅薄なる外面やら又その実質の影を只見て居たのであります。これからは生活の本体を見様として居るのである。即ちこれまでの知識は身体の内眼で見えるもの、これ迄の聞えた声は身体の内耳に聞えた所の之等でありました。即ち接触した物体は皮膚の中にある触感の感じにすぎにぬるのである。これからは其の五感の活きでは見る事の出来ぬ、聞く事の出来ぬ所のものを見聞くことのない声を明らかに聞くやうにならふ。これを一度も見えなかつた一層美はしいひらめきに接触しやうといふことになる。これまでは眼に見えなかつた、あなたに潜在して居る所の世界を見やうといふのである。これ即ち直感の力である。

[直感]

(Intuition)

この見るものは媒である。其の媒を通して、又其の媒を離れて實在に直接する其の人が人間にあり、其の力と発展させる事といふたが、これは突然であり形而上学であることといふて居るけれどもそうでない。科学の目的と芸術の目的と同じく、矢張其の眼に見えぬ所の慥かなる存在を見出すといふことにあるのである。その現象に現はれた事実の関係を、即ち原因結果を見出すことである。其の科学の職分は事実を取扱ふものであるといふやうに考へられて居つたが、これは非常に後れた考へである。低級の科学である皮相なる見であります。今日進んで居る所の高級の科学の目的は、矢張此の五感に触れることの出来ない身体の内眼で見える事の出来ぬもう一つ深い所の本体を発見するといふ事が科学研究の目的であります。即ち眼に見えぬ根本原理を見出して、其原理によって眼に見えぬ事の解釈するといふことが科学の活らきであります。今之れを例して言へば科学の発見に依って非常に人生の価値に影響を及ぼした所のものはアトム(Atom)である。アトムは万物の根本である。ところが此の

アトムは見る事も触ることも出来ないものであります。科学はこれを見る事が出来るのであります。又宇内の法則、これも眼に見ることも手に触ることも出来ないが、これが物質を支配して居ることは慥かである。これを知らうとすれば科学によらねばならぬ。

物の最大原理といふものがこの眼に見えぬ所の現実界の原因であります。

又精気(Ether)といふけれど、これの電抗物は力である。その力が即ち電気であり、磁石であり、光であり、熱であるけれど、その力といふものは見る事は出来ない。

如何なる鋭敏なる感覚も之れに触る事は出来ない。只我々の眼に見えぬ自我霊界のビジョン、その経験が見るのである。これが永久に続くといふのである。今こういふ原理を発見した科学者、即ち例えばニュートンは此の世界は太陽が引きつけている。又月は世界が引きつけて居るのである。けれどもその網を見ることは出来ない。又我が世界はわが世界を周って一年に一周して居る。其の他の恒星は何十年とかかつて歩いて居るけれども、その道は人間の眼に見える道はない。併し乍らこの軌道があるといふこと、軌道を歩くといふこと、又太陽と世界の関係は此の眼に見える花や又は蕾よりも慥かなることであるといふことは識者の間に誰れも疑ふものは無いのである。

そこでやっぱり科学の目的は眼に見えぬ世界を見出す、其所に接触するといふことが科学の目的である。

哲学の目的は尚一層眼に見えぬこの実体を研究するやうになる。或は宇内の目的又は人間の力で認識することの出来る力、意志の力、無限の生命、こういふやうな凡ての眼に見えぬ実体を知る力を涵養するといふことが哲学の目的である。それで哲学の真髓といふものは哲学で養ふこの直感力である。

[哲者の踏みし道]

ピタゴラスの言ふて居る(哲学の元祖といはれる)『哲学といふ仕事を自分が初める前には沈黙の一年間を要した。』即ち一年の間沈黙を守って只瞑想に耽つて居たのである。その肉体の眼に見えない世界を見やうと、五感に感ずることの出来ない宇内の真髓に触れやうとして一年の間瞑想をしたのである。故にこの哲学の起り、又哲学の活らき、真髓は自念力である。

即で此の哲学者が自らを祭壇に捧げ、憧憬してつかまへやうとして其所に全力を注いで居る。その目的物は、又其の手段は物体の観察に非ず強度なる望遠鏡や、顕微鏡の力を以て達し得ることの出来ない所の実体である。即ち自念によりて我々が直観する処のもの、我々の神等、特に自分が直ちに触るゝこと出来る世界が、哲学者が即ち凡てを捧げて居る処の主人であります。

故に現実の内に永久を見ること出来る人に非れば、眼に見えるものゝ内と眼に見えぬものを発見し得る人に非らざれば、物質の中に精神を見出す人に非らざれば、有限によってこの無限をつかまへる人に非らざれば、哲学者たる事を得ない。哲学の知識を精得することの出来ない人である。



## [芸術家]

次に芸術家であります。眼に見えぬ世界を見る眼識を備へたもの、又其の眼識を備へんとするものである。芸術家は創始的創業(Creative power)であります。此の意味を創作し、又大詩作、大文芸を生み出す所の芸術家は此の眼に見えぬ天地の感応を受けて、神聖なる力を受けて、其所に自分の眼が開いて来て、初めて芸術家たる事が出来るのであります。例へばリールは神の子を見たる時初めて霊眼が開け、初めて芸術家たる事が出来たのであります。「これ迄見た事のない光りを海の上に、又陸の上に見ることが出来た。」といふて居る。これが絵となったものが即ち美である。故に眼に見えぬ所のものを見るのが矢張芸術の真の目的であります。これまで見ることの出来なかつた美を見、之れ迄入ることの出来なかつた王国に入り、これ迄味ふことの出来なかつた人生の高潮を味ふ事が出来るのであります。故にこれは時間、空間の制限を破り、其所に無限なる世界に突進しその無限なる世界を発見し、その無限なる光りを獲得するやうになるのを以て芸術家の目的とするのであります。故に芸術家は眼に見えぬ美を芸術(Art)に表象するのである。それが段々と徹底して遺憾なく發揮したるもの、之れを宗教と言ふ。眼に見えぬ大霊即ち宇宙の意志、目的、真善美と云ふやうな実体を経験する事でありませう。即ち我々が有限なる生命が相反し融合した所の実体、実現を宗教と申すのである。この宗教が科学や哲学、芸術と違ふ所の特長は、学問や他の芸術は比較的小局部の霊現を發揮し実現する所に銘々の特色があるけれども、宗教は宇内の原理(Universal life)この全生活、全実体を見るといふ所に宇宙の本意義がある。即ち宗教は外の科学よりももう一層広大なる(Large spiritual lifeをRealizeする)生命を理解するといふ所にあり、人生の永久無限の意義を見出すといふ所にあるのであります。即ち人の生れて来た人生の意義を全うする、我々の天真の目的を全うするといふことは、人格あり、人間の価値ある、生き甲斐ある所の人間たるには、現実世界の背景に横る所の眼に見えぬ生命に關係を有し、過去と現在に既に経験した事実を越えて、将来に來らんとする前途に横つて居る。

目的理想主義を銘々の動機として生活を致さんければ其の意味の成功を期することが出来ない。そこで今日いふ眼に見えぬ意味を表はすに種々な言葉があるが、これは生命の發表の程度が違ひ、又は同一物を見るその方面が違ふから銘々の言葉は違ふが、特種の意味を持つやうになつたけれども共通するものがある。

その第一共通点は、眼に見えぬ世界を見出そうとして、眼に見えぬ所の事実を了解するといふ第一点である。

此の共通点から見た動機は、意識した所の人生の目的。此の目的といふものは眼に見えぬものである。併しこれが人間が生きやうとし、發表しやうとする根本動力であります。それで先づ特に人間は目的的動物である。目的々の実体である。生涯又は永久に目的を追究し、理想を其所に實現して行く所のものである。これが即ち人生を活かせん間に力を起し人間に凡ての情を動かして來る所のものである。この動機は

宇宙の動機と相通じて居るものである。我々が宇宙を直感するならば、宇宙は目的々であり意志である。故にこの動機と目的は同一物であります。動機は主観的に、目的は客観的に見たものであります。丁度自然界に自然律が必要をなして居る様に、人間は此の動機によつて動くものでありますから、動機は人生の内面的原因であるといふことがいへるのである。三、四年生に成功・失敗の原因といふことを尋ねましたが、その原因の一つは動機の善悪である。人間は動機が大切である。その動機の客観的方面は目的であります。

その次に志考は動機の内愛、傾向、生きんとする所の願ひ、目的を告げんとする所の切情追究するものに遇はんとする憧憬、凡てこの生活の発動の一番の根となつて居るのであります。この中に本我といふやうなものも必ず潜在して居るのであります。

## [主義]

これは人が目的に到達せんとする時、其の道に關係する標準理想であります。即ちこの志望に知が加つて意志、覚悟となるもの、具体的にいへば宗教の信条、道徳、芸術の中心思想となるもの、即ち人生の根本我、その根本我に達せんとする心の希望、覚悟、Sentimentの如きものを言ふ。

大正六年五月十六日(水曜日)

## 三、四年実践論理

私ハ度々申シタ様ニ凡ソ四十年間微カラ尽シテ居リマス。外カラハ成功シタ様ニ見エルカモ知レマセンガ、内カラ見タラ如何モ其ノ望ミノ彼岸ニ達シナイノデアリマス。我ガ教育觀ハ二十年間サマヨツテ居リマスガ、其ノ案スラ解決スルコトガ出来ナイ。我國ハ諸外国カラ文物ヲ輸入シテ居リマスガ、強ク言フタナラバ全ク失敗デアリマス。

今我々ガシカッテ居ルコトモ随分氣ニハカッテ居リマスガ、事ノ成否ハ分ラヌノデアリマス。何故之レ丈シテモ為シトゲラレナイカ。外ニ咲ク花ノ如ク一時ハパツト咲イテモ何故直ニ散ツテシマウノカ。立派ナル人格者、真ニ此ノ教育ヲ改善スル如キ總理大臣ガ出ナイノデアリマス。我ガ国ノ教育ヲ任シテ立ツ如キ人ハ一人モナイノデアリマス。西洋ニアル如キモノハ形丈ハ何モカモアリマスガ、ナカナカ堅実ナル実ヲ結ブコトハ出来ナイノデアリマス。

一番適切デアル、一番手近イ研究デアル時局ノ問題ハ、今我ガ国ノ凡テノ方面ニ行キツマツテ苦シンデ居ル状態ヲ先ゾ一番ニ考ヘナケレバナリマセン。何故ニ斯クノ如ク停滞シテ形ダケニ止ツツノカラ研究シナケレバナラヌノデアリマス。第二ニハ時局問題ニ対シテ此ノ世界ノ潮流ガ如何ニ進ンデ居ルカト云フコトニ注意シナケレバナラヌ。

## [二ツノ潮流]

此レハ私ガ先学期ニ世界ノ潮流或ハ世界ノ空氣ヲ動カシテ居ル力ノ振動ニ兩極ガアルト申シマシタガ、其ノ積極的

中心ハ北米合衆国ニ現ハレントシテ居ル。其ノ反対ノ消極的方面ノ低気圧ハ中央欧州ニ現ハレントシテ居ル。此ノ二ツノ世界ノ傾向ヲ考ヘテ、此ノ問題ノ解決ノ資料トセンケレバナラヌ。今ヤ世界ハ混乱状態ニアルケレドモ、最早ヤ一段落ヲツゲヤウトシテ居ルノデアリマス。即チ之レ迄相争ヒシテ居ツタ所ノ其ノ総論ニ結論ヲツケ、其ノ為メニ払フ犠牲ノ効果ヲ納メ様トシテ居ル。最早ヤ今日ノ世界ハ第二文明ノ効果ヲ納メヤウトシテ居ル。即チ成功ノ時機ニ入ラントシテ居ルノデアリマス。其ノ大問題ヲ愛ニ解決シヤウト云フノデハナイガ、只私ハ其ノ時機ニ入ラウトシテ居ル徴候ノ天ノ彼方ニヒラメイテ居ル所ノ兆候、其ノ表現、表象ヲ参考ニ供シ度イ思ヒマス。此ノ頃婦朝サレタ話テ事柄ヲ聞キマスニ、成程トウナツカレル点ハ少クナイノデアリマス。

[第一矯風會(日本ニアルハ名義丈デアル)]

矯風會ガ非常ニ結果ガ出来テ来タ。唯講談シ説教シテ居ルバカリデハナイ。最早ヤ政事の運動トナツテ、社会改善事業トナツテ来タ。法律トナツテ禁酒ノ行為ヲ政府デ強制スル様ニナツタノデアリマス。所ガ非常ナル効果ガアツタ。風儀ハヨクナル。衛生状態ハヨクナル。犯罪ハ少クナル。貯蓄ハ殖エル。其ノ他人間ガ非常ニヨクナツタ。此ノ酒ヲ止メルト云フ事実ガ非常ニ利益スルト云フ結果ヲ表ハシ、夫レガ段々他ノ州ニ影響ヲ及ボシ効果ヲアゲテ来タト云フコトデアル。之レハ米國ガ墮落シタケレドモ尚ソノ中ニ健全ナル男女ガ居テ、トウトウ此ノ至難ナル実行ヲシタノデアリマス。米國ニ於テモ其ノ酒ノ害ハ知ツテ居タケレドモ之レヲ止メルコトガ出来ナカッタ。之レガ如何シテモ口ニ言フノミデ出来ナカッタガ、此ノ頃ニナツテ漸ク出来ルヤウニナツタノデアル。ソレカラ今一ツ空中楼阁ト思ツテ居タ世界平和運動ガカーネニギハ二千万ドル、ソノ他ノ富豪ハ数百万ドルヲ抛ゲウツタガ、何ノキ目モナク空シク戦乱トナツテシマッタ。所ガ此ノ頃ニナツテ愈々成功ノ時代トナツテ来タ。ヤッパリ之レモ酒ト同ジ事デ、人間ノ実行カデ以テ此ノ目的ヲ遂ゲルト云フ事デ、米國ハ自國ノ利益ヲ抛ツテ今度モ何モ要求シナイ。米國ハ六百億ト云フ金ガ去年一年丈デモ入ツタノデアル。世ノ為ノ人道ノタメ金ヲ費シ、人間ヲ犠牲ニシテ愈々世界強暴ヲオサメルト云フ心ヲ定メタ以上、之レ迄ウィルソンニ反対シテイタヴライアン、ルーズベルト等モ矢張ソノ國ノタメニ兵卒イルト云フ。此所ニ一番勢力ノアツタ米國ノ態度ガ定ツタメ、他ノ中立國ガ愈々決心シテコノ大問題ヲ解決シヤウト云フ事ニトリカッテ来タ。近来非常ニ積極ニナリ、今マデ世界デハ誰レモ馬鹿ニシテ空想トニ思ツテ居タ世界平和運動ガ、今日デハ愈々実現サレント云フ兆候ヲ見ルニ至ツタ。

ソレカラ此ノ頃デューエイヲ我國ニ招聘シヤウカト云フ声ガアリマスガ、此ノ人ノ教育主義(プラグマチズム)ハ日本デモ文部省デ訳シテ出シ、國民新聞ナドデモ之レヲ調べタガ、然シ少シモ実ヲ結バナイ。結果ガ現ハレナイ。ケレドモ合衆國ニ於テハ始終ソウイフ考ヘヲ実行シ、此ノ頃教育界ニ於テモ愈々結果ヲ挙ゲテ参リマシタ。実業、宗教、政事ノ方面ニモ教育ノ効果ヲ表ハシテ来マシタ。今度ノ欧州ノ大戦乱ハ基教ノ大失敗デアルト言フテ、千六百万人ノ基督者ガ同盟シ、

之レ迄人口ガツタ問題ヲ解決シ、愈々此ノ実行ニ手ヲツケタ。此レヲ我國ハ口ニ云フ。何ノ活ラキモシナイ。即チ何モカモ失敗ニ終ツテ居ル状態ヲ、今日米國其ノ他ノ欧州ノ一方面ニ表ハレテ居ル。活動ヲヨク觀察シテ見ルト、私共ハ世界ガ今ドウイウヤウニ向ヒツアルカ、又我國ノ現状ハ(事実)果シテ如何ナルモノデアルカヲ見出スノハムツカシクハナイダラウト思フ。今一ツ婦人ノ方ハ如何デアるかト言フト、大島大将ガ國ヲ支ヘテルノハ即チ婦人ノカデアルト言ハレルガ、今日此ノ世界ノ危機ニ於テ尚ヨク支ヘテ居ルノハ何ノカデアるかト言フ婦人ノカデアル。今独逸デモ凡テノ財源ヲ食ヒ尽シテ苦シイ間ニ漸ク支持シテ居ルノハ婦人ノカデアル。米國デモ愈々場合ニハ自ラソノ氣運ヲ教導シテ居ルモノハ婦人ノカデアル。英國デモ其ノ他ノ國々デモ、男子ニシテ國家ノ急ニ赴カン様ナ意氣地ナイ者ニハ物ヲモ言ハナイト云フ様ナ、此ノ婦人ノ健全ナ態度ガ實ニ此ノ軍國ノ基礎ヲ擁護シテ居ル。コノ一事ヲ以テ見テモ欧州ノ婦人達ガ之レ迄ノヤウニ只口デノミ言フテ居ルノデハナイ。自ラ婦人ノ価値ヲ表ハシテ来タ。即チ青年ノ教育ノ効果ヲ表ハシテ来タト云フコトニナルト思フノデアリマス。

デ此ノ時局ノ問題ニ就テ注意シテ、斯ウモシ様ト材料ヲ研究シテ一番手近イ所ノ材料ヲ扱ツテ、今ノ原因、問題ヲ調べルヤウニナサルト云フコトガ大切デアリマス。ソレカラ私ハ今ノ世界ガ將ニ成功ノ時代ニ入ラウトシテ来マシタト云フコトヲ考ヘルト同時ニ、我が母校ノ教育モ今ヤ又成功ノ時機ニ入ラウトシテ来マシタ。此処ニ今迄苦シンデ来タ其ノ結果ヲアゲ様トシテ来タト思ハレル。ソレデ私ハ毎年出シマス卒業生、又桜楓會員、ソノ桜楓會ノ事業ト云フモノヲ調べテ見テ之レハ成功シテ居ルカ或ハ失敗シテ居ルカ、其ノ原因ハ何デアるか。此ノ桜楓會ノ事業ハ私ハ成功ノ部分モアルガ随分沢山ノ部分ニ於テ失敗ニ終ツテ居ルト云フ事ハ事實デアラウト思ヒマス。夫レデ過去ノ原因ヲ調査シテソレカラ將來ヲ示シテ行カネバナラヌ。此ノ原因ニハ複雑ナ多クノ原因ガアル。併シ先ヅ第一ニ考ヘルノハコノ過去ノ成敗ノ原因デアリ、又將來モ又ソウデアラウト云フコトヲ示シマスルニ、第一ニ教ヘルモノハ何デアるか。コレハ私ハ十六年間乃至四十年間ノ女子教育ノ經驗ニ照シテ、今後心配ニナルコトハ同ジコトデアリマス。桜楓會ニ修養會研究会ト云フモノガアリマスガ、修養會ノ方ハドウヤラ眼鼻ガツイテ来タガ、研究会ノ方ハ如何デアラウカ? 如何シテモ出来ヌコトガアツアル。之レハ之レ迄出来カケテ如何シテモ出来ナイ制度ヲカヘテモ、良イ教授ヲ聘シテモソレハ出来ナイ。夫レハ如何云フ訳デ出来ナイカ。之レハ如何ニ私丈ガ心配シテモ努力シテモ出来ナイコトデアル、例ヘバ斯ウイウコトガアル。根本研究ヲシテ行クニハ如何シテモ本ガ読メナケレバナラナイ。ソレニハ如何シテモ外国語ノ一ツ位シナケレバナラナイ。ソレハ六カシコトデハナイト私ハ請合ツテ言ツタ。所ガナカナカ出来ナイ。如何シテ出来ナイカ? ソレハ空氣ガ出来ナイ、氣分ガ出来ナイト云フ事デアル。本當ニソノ氣分ニナレナイ。夫レ故校風ノ中ニ其ノ氣分ト空氣ガ出来ナケレバ如何シテモ出来ナイ。第一自分デスグ『出来ナイ』ト定メテシマウケレ

ドモ、其ノ気分ハ時々ハ出来ルケレドモ常住的ニハ出来ナイ。夫レ故ニ婦人ニハ試験デモシテオドカセバ出来ルケレドモ永続ガ出来ナイ。自動自発自念ナド言フケレドモ直ク其ノ気分ガ消エテイッテシマウ。自分ノ中ニ起ルモノモ自分デ消ス、他人ノモ消ス。互ニ消シ合フヤウニナリ、如何シテモ空気が出来、気分ガ出来ナイ。コレハ教育ハ出来ナイ。ドンナ天才デアットシテモ夫レハ出来ナイ。之レガ我が国デハイソウソウデアル。殊ニ我国ノ御婦人ノ団体デハドウシテモソノ空気が出来ナイ。此ノ空気が出来ナケレバ後ノ事ハ如何シテモ出来ナイ。夫レデ昔カラノ歴史ヲ調べテ見ルト如何シテ天才ガ出来タカ。先第一ニ気分ガ出来ナケレバナラス。私共字一ツ書クニモ出来、不出来ガアルノデアル。又此ノ体ノコトデモ只運動シテ食シサヘスレバ健康ニナルヤウニ思フケレドモ大間違ヒデアル。之レハ矢張ソノ気分ニナレヌカラデアル。身体ハ自分デ出来ルヤウニ思フケレドモソウデハナイ。天地ノ気分デ出来テ居ル。又自分ノ気分デ出来テ居ル。ソノ気分ガ出来ナケレバ効果ガ上ラナイ。夫レデ私ガ此度ノ計画ヲ立テ、先ヅ第一ニ力ヲ集注致サウト思フノハオ互ノ間ノ空気、ソレカラ銘々ノ気分ヲソコマデ養ヒ立テ見ヤウト思フ。他ノ事ハ悉ク其ノ中ニ存ルト言ッテモヨイ位ノモノデアル。ソレデ唯気分ト言フテモ解ラナイガ、一年ニハ動機ト云フコトヲ説イタ。ソレモ矢張此ノ気分デアル。大キクイヘバ潜在意識モコノ気分デアル。気分、心持、精神、熱誠、一氣呵成、天真爛漫、一心不乱 一念ト云フヤウナ言葉ガアリマス。此ノ反対ニ浮気、不真面目ナドガアリマス。ソノ様ナ悪イ気分ヲ表ハス言葉ガ沢山アリマス。此ノ十七年間縦ト横トニ共通シテ居ル所ノアナタヲ破シテユク気分、即チ暗示ソノ暗示カラ受ケテ製造スル所ノ気分、ソレハ一言デ言ヘバ「六ツカシイ」ト云フ言葉デアリマス。之レ程婦人ノ気分ヲ左右スルモノハナイ。

#### 第一 自分デ暗示スル

第二 他人カラ与ヘラレルノデアル。ソレカラ自分カラ言フト矢張此ノ暗示ヲ他ニ与ヘルノデアル。互ニ暗示シ合フ、即チ火ヲ消ス作用、熱ヲ冷ス作用ヲ互ニ与ヘ合ッテ居ル。之レガ時ニハ生意氣、高慢トナッテ表ヘル。即チ自分デ出来ナイト言フ丈デナク、人ニモ「ソレハトテモ出来マセン」ト言フノデアル。之レガ無意味ノ間ニ悪魔ノ如キ活キヲナシテ凡テノ成功ヲ無ニスル。凡テノ努力ガ無効ニナル様ニ互ニ無駄ヲサセ合フト云フ様ナ作用ガ行ハレテ居ル。之レハ非常ニ自分ニ考ヘテ見、態度ヲ反省シテ見ナケレバ分リ兼ルノデアリマスガ、私ハ其ノ悪イ暗示、其ノ一番ノ秘密ハ此所ニ隠レテ居ルト思フ。之レハ如何シテモ我国婦人、大キク言ヘバ我國民ノ欠点デアリマス。ソレデ之レ迄出来カケテ出来ソコネ、燃エアガラントシテ遂ニ消エ、階段ヲ上ラントシテ遂ニ陥タト云フ中ニハ、必ラズソノ悪イ暗示、空気がアツクメデアルコトヲ発見スル。今後モソノ目的ニ到達スルコトガ出来ナイモノガアルトスレバ、ソノ非ハ矢張如何シテモ勝ツコトノ出来ナイ悪イ暗示、又ソレカラ受ケル気分一臆病一ニヨッテ直ニ狼狽シテ悪イ影響ヲ受ケテ無能ニナッテシマウ。力ガ出ナイ様ニナッテシマウ。

ソレニ反シテ我々ニ何カ成就シタ所ガアリ、建設サレタモノガアリマスルナラバ、ソノ原因ハ矢張ソノ時ノ気分トソノ時ノ団体ノ空気が云フモノガ慥カニソノ原因トナッテ居ルモノデアアル。ソノ成就シタ所ノ気分ハ如何云フ事デアアルカト言フト、即チCreationト云フ事デアアル。自分カラ言ヘバ人ト為ルト云フ事デアアル。自分ガ發展スル其ノ「出来ル」ト云フコト、自分モ其所ニ霊ガアルカラ必ず目的ハ成就スル。理想ハ必ず実現スル。努力スレバ必ず為ル。即チCreatスルト云フコト、天地ハCreationデアアル。其ノMotive、ソノ内ニ堆積シテ居ル此ノ気分、ソウイフ感じガシテ居ル時ハ、ソノ気分ガ動イテ居ル時ハ必ず自分ガ進歩發展シテ居ル時デアアル。夫レデ之レマデノ過去ノ経験ニハソノ気分ニナッテ、ソウシテ其ノ気分ノ健康ノタメニモ能力ニモ、人格ニ体现シタト云フ経験ガ慥カニアル。又之レガ母校ノ精神トナリ、之レガ育チツアルコトヲ経験スル。同時ニ如何モ力ガ鈍イモ一ツ世ノ中ヲ焼キ尽シテ行クト云フ様ナ活動ガ如何モ出来ナイト云フ様ナ経験ヲ以テ居ル。即チ今日ノ我々ノ気分、校風ト云フモノハ時々ハ出来マシタノデゴザイマス。或ハ一年ニ一度或程度校風ガ高潮シタ事ガアリマス。併シ之レガマダ常住的ノ空気がナラス。永久ニ傾向ナルコトガ六ツカシカッタト云フノデアリマス。之レガ即チ未ダ我々ガ薄弱ナ所ヲ感ズル所以デアリマス。併シ其ノ表面ニハ段々ト永続シヤウトシテ居ル所ノ潮流ガ流レテ居ル。ツマリ前ニ述ベマシタヤウニ世界ノ今日ノ二大潮流ガアリマスガ、之レハ永イ間ズツ続イテ居ルノデアリマス。一勿論消息ハアリマスガソコデ私共ノ願、之レガ此ノ活動ガ集注サレテ益々永続的ニナリ習慣的ニナルト云フコト、ツマリ此ノ根本動力ガ実ニ我々ノ日常生活ニ表ハレテ、毎日、毎月、毎年ノ之レガ傾トナリ、空気がトナリ、気分トナリテ我々ニ根本動力ヲ支ヘルヤウニナル事ヲ祈ルノデアリマス。ソノ善良、有効ナル気持ガ永続的ニ有効的ニナルニハ如何ニシタラヨイカト云ヒマス、其ノ気分ヲ支配スル所ノ思想、意志ノ根本、我々タルソノ意志ガ我々ガ支配シヤウトスル其ノ悪イ傾向ヲ挫イテ、善良有益ナル気分ヲ建設スルヤウニ努力スルコトニヨッテ目的ヲ達シナケレバナラス。即チ善イモノヲ高潮シテ悪イモノヲ絶ス様ニ生活スル。ヨイ暗示ヲ与ヘ、ヨイ事ヲ深く念ジテ、ソシテ悪イ傾キヲ減ジテ行クヤウニ方法ヲラネバナラス。其ノ最良ノ根本ノ方法ハ自分ノ精神ニ不断ノヨイ暗示ヲ与ヘル。始終自分ヲ良イ空気が発生スル所ノ暗示ヲ与ヘルヤウニスル。

#### [自念ノ生活]

此ノ生活ガ即チ自念ノ生活ト云フノデアリマス。夫レデ今年ノ生活ノ第一要件タル自念ノ生活ハ、此ノ根本動力ヲ先ヅ内ニ蓄積スルト云フ事デアリマス。仏語デイヘバ之レハ本願成就ト云フ。成就ト云フコトハ本願ト云フコト、日夜ニ忘レズ絶エズ思フテ居ルコトガ成就スル。此ノ気分、此ノ空気が実現シタモノ、ソレガ形ニ現ハレ活動ニ表ハレタノガ今日ノ宇宙万物デアアル。ソノ天地ヲ通ジテ動イテ居ル考ヘガ我々ノ考ヘトナッテ内ニ動イテ居ル。ソノ生活ガCreationトナリ、人格トナルノデアアル。眼ニ見エヌ生命トナッテ表ヘルノデアリマス。之レヲ基督教デハ祈リノ生活、又宗教デハ信仰ト言フ。信

ズレバナル。信ズレバ山ヲモ海ニ移ス事ガ出来ル。不可能ト思フコトモ凡ド成就スルコトガ出来ル。水戸ノ烈公ガ民ヲ救フタメニ請願ヲ立テラレ、若シ之レガ成就セラレケンケレバ自分ノ生命ハ勿論ノコト我ガ家族親戚悉ク消滅ニ歸シテ貫ヒ度イト云フ事ガ書イテアル。大塩平八郎ガ二万両(二十万円)ノ其ノ時ノ金ヲ悉ク擲ツテ安政ノ大災ニ遇ツテ飢餓ニ迫ツタ民ヲ救ヒ、其ノヨイ富豪ヲ訪ヒ歩イタ。時ノ將軍ハ自分ノ邸宅ヲ造ルタメ却ツテ此ノ事ニ妨害ヲ加ヘタ言フ。義憤ノ為メニ腸ヲ切り、皆火ニ投ジタケレド徳川家ハ未ダアキ足ラズ死骸ニ鞭ウツテ大罪人トサレタケレド三十年後遂ニ此ノ義民ヲ認メ、政府モ国民モ其ニ立派ナル犠牲トシテ之レヲ崇拜スル様ニナツタ。矢張り斯ル義烈ナル人ハ如何シテソウイウ行ヒガアリ義烈ガ出来タカト云フ、矢張り其ノ根本ニハ深い請願ガアツテ、ソレガ成就シタト云フ事デアリマス。斯様ナ例ハ西洋ニモ沢山アルガ、我國ノ義士仁人ト云フ人ハ矢張り刀ニ依ツテ居タノデハナイ。隠レタル所ニ深い信念ヲ持ツテ居外云フ事ハソウ云フ人ノ伝記ヲ見レバ必ず見出す事デアリマス。

ソレカラ自念スルト云フコトハ只空ニ黙想シ、空ニ落付クト云フ事丈ケデハ無効デアリマス。今何カ其所ニ目的ガアリ、理想ガアリ、主義ガアツテ、ソレヲ願ヒ、念ジ、成就センコトヲ祈ツテ居ルノデアリマス。故ニ念ズルト云フ生活ニハ必ず集注スベキSentimentガアツテ、初メテ私共ニ有効ナル気分ガ出来、ソノ多数ノ間ニ一致シタ共通ナル気分、目的、主義ガ出来テ参リマシテ、我々ハ根本動カヲ与ヘル所ノカアル校風ガ出来テ参ルノデアリマス。ソレデ之レヲ大願成就ノ遠請ト云フ。ソシテ夫レハ永久の心霊ノ態度ニシテ此ノ大望ガ成就シ、自分ガ必ず成ルト云フ根本の歸一ノ思想感情デアリマス。即デ私共ハ時々ニ其ノ時相当ナル特色ヲ持ツタ気分デアルガ、根底ニハ永続進化、発展スル所ノ潮流トナルモノデアリマス。其ノ時々ニ表ハレル気分ヲアゲテ見レバ、研究成功ノ氣質発見、成就ノ気分、自発創始ノ心持、改善進歩ノ気性、困難ニ必勝ノ心持、ソウ云フノガ時々刻々ニ何カ始終私共ノ心ニ気分ノ形ガ出来、特色ガ出来、ソレガ進歩発展シテ永続シテ行カネバナラヌノデアリマス。其ノ生活ヲ有効ニシテ行ク人生ノ経験カラ出来タ人生ノSpiritual Lawト云フガ如キモノ。

第一ニ成可屢々自己ノ気分ニ又ハ団体ノ空氣ニ最高潮ノ律ヲ造ルト云フコトデアリマス。即チ出来ルナラバ度々毎日々々高潮ガ出来ルヤウナ生活ヲシナケレバナラス。

第二ニ如何ニソウ云フ生活ニ居ラム人間ナルガ故ニ時々失敗スル。時々反対ノ気分ニ捉ハレル時ガアル。併シ乍ラソノ手ニ永クツカマヘラルコトヲ許サズ、成可ク早く元ノ処ニ(態度)引キ返ス様ニ奮闘シナケレバナラス。其ノ場合ハ先ヅ第一ニ沈黙ヲ守リ、真ノ自我ニ立帰り、安静沈着ノ態度ヲトル様ニ努メル。第二ニハ其ノ時、其ノ場合ニ最適シタ仕事ニ取りかかり、凡テノ注意ヲ此ノ一点ニ注グ。ソシテ段々ト勇氣ヲ快復シ、希望ニ満チ、意志ノ支配ヲ受ケテ敏捷快活ナル気分ニ転換スル様ニシナケレバナラス。

第三ニ不幸、不運ヲ予想シタリ、明日ノコトヲ心配シタリ、

他ノ人ト自分トヲ比較シテツマラス煩悶ヤ気分ヲ追ヒノケル為メニ果斷ノ処置ヲラネバナラス。

第四(四)前ニモイッ様ニ真ノ感動トハ自我發展デアルカラ、此ノ目的ヲ達スルタメニ浩然ノ気分ヲ養フ事ガ大事デアル。即チ度量ヲ大キク、人ヲ寛容スルコト海ノ如クナケレバナラス。即チ自我開放、生活自由ノ為メニ己レヲ束縛シテ居ル障害物ヲ除クコト。即チSelfishness我儘、利己ノ気分デアリマス。我々ヲ圧迫シ、我々ヲ冷ス処ノ此ノ自我ニ捉ヘラレ、力ヲ消費サス処ニ此ノ自我カラ逸シナケレバナリマセン。此レハ昔カラ偉人、聖人ノ修養ニ於テ経験シタ処ノ万古不易ノ格言デアリマス。

『私自身ノ奴隷ニナルト云フ苦シミヲ自分ハ持ツデアラウ。自分ハ自分ト云フモノニ奴隷ニサレルト云フ苦シミヲ持ツテイルモノデアル。何トナレバ之レハ其ニ永続的デアツテ、又恥ヅベキ使役デアル。ソシテ自分ノ役サレル一番重イ荷物デアル。』

ツマリ人間ガ一番苦シメラレテ居ルコトハ低イ我レト云フモノデアル。之レニ就テ深い敬虔ノ念ニ入ツタ婦人ノ尊イ経験ガアリマス。

『神よどうか私の肩の上に重い荷物を負はして下さい。それはあなたの為めに私が愉快に負ふて行くためであります。』

ツマリ使命ノ為メ重イ荷物ヲ負ウテ行クト云フ事ガ自分ト云フ主ノ為メニ逃レル道デアル。昔カラ人生ニ於テ使命ヲ全ウシタ人ニ小言ヲ言フ人ノ一人モ無イ。ソノ尊イ事ノ為メニ仕ヘテスルト云フコトヲ悦ンデスル。此ノ人ハイツデモ湧クガ如キ力ヲ貰フテ奮闘スルコトノ出来ル人デアル。如何トナレバ我々ノ重荷ト感ズルモノハ自分ノ我儘ガ重荷デアル。之レヲ捨テル時ハ重荷ハナクナル。ソシテ生命ヲ得ルノデアリマス。即デ自分ノコトヲ第一ニ思フ人ハ必ず不平ガアリ、必ず憤怒ガアル人デアル。ソノ結果ハ気分ガ鬱トシテ煩悶ナリ失敗ニ終ル。故ニ我ノ強イ人ハ強イ程勢力ガナイ。之レニ反シテ己レヲ無クシ、己ヲ捧ゲル人ハソノ程度ニ於テ完全ナル人トナル。故ニ我々ガ束縛カラ離レバ離レル程益々精選サレ、無限ニ発展スル不思議ナル動力ヲ与ヘラル人トナル。之レガ浩然ノ気ヲ思フ一側面デアリマス。要スルニ私共ノ成就スル一番ノモノハ気分ニヨラネバナリマセヌ。此ノ気分ニヨツテ立テシ所ノ計画ハソノ成敗ガ決マルノデアリマス。

大正六年五月二十一日 月曜日

一、二年実践倫理

【読書の方法】

本は沢山の冊を読む事が必ずしもよいのではない。充分の考へもなく百巻の書を読むより、考へて充分自分に同化して一冊の書を読んだ方が価値のあるものである。それから其の分量を減して品質を高めるといふ事は只数を減すといふ丈ではない。本当の読み方をするには時間が沢山かかるから止

むを得ず減るといふ事になる。それ故よむ態度を改めんければならぬ。

此の度の学制制度を大変早く皆さんでお読みになったといふ事を聞いて大変嬉しく思ふたのであります。しかし小説を読むのと違って、一ページ読んで二日も考へなければならぬといふ如き本を、一時間で読んだといふ事はなかなか考へ問題であります。又三百ページの本を一日で読んだといふのも考へ問題と思ふのであります。私が外国に居た時外人曰く、私は此の一つの句、此の言葉を五年の間考へて居るがまだ私には分らぬが、私は捨てる事は出来ないといはれました事があります。それから我国には読書百遍意自ら通ずといふ言葉がある。百遍といふ事は幾度も幾度もといふ云ふ事である。

カーラエルは平均一日に五冊読んだといふ。それは読書百遍といふ意には違ふのである。深い思想をかみくだくといふ様なものは本の性質が違ふのであります。一卷の本といはれた名高い米国のリンカーンは即ちOne bookと名がついて居たのである。若しあの人に今少し時間を与へたならば、今少し有効な時を与へる事が出来たらふと思ふのであります。実は岩の中にあり、其の掘る処の努力をしなければ効力は現はれない。此の態度で本を読まなければならぬ。しかし読書百遍只繰り返して繰り返しても意味は出て来ない。其の言葉に制限されず、其の言葉の中に心が動いて行く様な読み方をせんければなりません。

「読むといふ奥義は考へる事にあり」

つまり読むといふ事の奥義は考へるといふ事にある。要するにオーム的に読んではいけない。之れは即ち考へない読み方である。それで其の読み方に直す事、本当の読み方になほす事は大事な事である。又人の読むのを聞いているといふ事も考へる事である。之れが本当に出来なければならぬ。あまり沢山の本があると却って邪魔になる事がある。本当に書物を選択して、本当に努力して読もう。一度で分らなければ意味が分るまで充分考へて読もうとしなければ頭が浅薄になり軽薄になる。けれども知識となすにはそんなにしなくてもよいが、知識をよく咀嚼して行く為めには此の方法をとらんければならぬ。そうしなければ思想が却って悪く私共に働いて来るのである。故に先づ動機を充分よく働かして熱烈なる愛情が起って、其の奥義に達しうるのである。又一旦心に入れたならば永久に物になるといふ様にしなければならぬ。先づ読むには動機如何といふ事を定めて取りかかんければならぬ。それで今本を読む時の態度及注意力を試み度い。能力の違いといふのは即ち集注力、注意力の違いである。今私がよみますからその要点をつかめた人は一番よい。その次にはその書いてあった概略をいふ事。次には要点及解答は言ひ表はしは出来ぬが、その意味丈は分った。三種があるから其の何れかにお答へ下さる様にしてほしいのである。

学制改良案に対する教育調査会からの批評の一節。

- (1) これは明後日中に、先第一に今聞いた事は如何いふ事であったかをかく事。
- (2) 其の概略を短かく縮めてかく事

(3) 此の要点はかかる事であったといふ事を答へてほしいのであります。そして頭の活きを見るのであります。

それから頭を次には次へ次へと一事一事に活かせんければならぬ。

此の前に字義を申して其の言葉の関係を後に申したんであります。間違つた訳ではありませんがあなたの意味を違へた点もあつた様でした。言葉を用ふる時には其の関係を現はさなければならぬ。人生の意義と目的が何であるかを見たのであります。靈眼によつて其の方面を言ひ現はす為めに使つたんであります。尚残つて居るのを申し度いと思ひます。今日は第二段の事を申すのであります。第一段には人生の意義とは何ぞやといふ事でありまして、その意義は眼に見えぬ確かなる事実であると申したのであります。今日の処は人生の価値の關係、即ち動機と修養の關係になる。

[人生の価値の關係]

先づ初めに我々の品性と動機の關係、即ち品性を現はして居る容貌と風采の關係を説明いたします。今私が皆さんを見渡しますと誠に真面目な、Brightな輝いた顔が処々に光つて居ります。又処々には上を向いてる方、下にうつむいてる方を見るとその人は何かを語ります。一々調べるのは大変であります。欠席の事や皆さんの顔色の悪い事は一番気にかかります。之れを人の表情といふて居ります。之れは発表のみならず眼にみえぬ価値を表はして居る。あなたの人格の如何を告げて居るのであります。故に人間の容姿は其の中でも顔の色、顔の形は殊に其の人の特長を示すのみならず実にその人の品性を表はすものであり、此の十人十色の容姿は、十人十種の顔は其の人々の人品の高下、醜美、善悪、愛憎の相違を表はすものであつて、之れ取りも直さず動機の差別であります。言葉だけでない。顔色に表はれ、之の人々の顔色の裏には其の人の性格の背景が存在して居る。又その人の行為や仕事の隠れ場となつて、かくれ場よりも潜在するといふ方がよい。そうして必ず其の人を離れず、日夜にその人を動かして止まない動機が潜在してるといふ事を知る事が出来るのであります。我々は人の人格価値を定むるのに又自己の生活価値を定めるのに、此の動機の種類、程度を以てするのであります。動機によつて力ある人か何かを知り得るのであり、繕ひではいけないのであります。

[動機は性格を見抜く所の唯一の反射鏡である]

故に動機は人の性格を見抜くに必要なる只唯一なる反射鏡であります。如何となれば其の動機は其の人の人格を造つて居るのであります。其の人の目的、理想を実現せしめて居るのであります。

即で動機は我人の真髓であり、本体であり、力であります。故に其の根本の傾向、其の人の實際を知らふと思ふならば、其の内面生活の精良と其の人の秘密を捜さんければならぬ。何によつてMotiveを捜す事が出来るか？ 之れは我々の直観の力、即ち心と心の接触動機と動機の感応、以心伝心の振動による。而して動機の振動は我々の体の様子、体の色合を造つて居るのでありますから、其の結果を見て原因の如何を

知る事が出来るのであります。又顔色を作って居る其の人の筋や人相によって其の人の動機が見えるのであります。此の動機は独り顔色のみには表はれるのみならず、其の身に付けて居る着物、頭の装飾などにても分るのであります。例へば過日に金子子爵が廊下の掃除を見て、又あなた方の服装を見て、此の学校が真面目であり又修養に努めて居らるゝ事が分ると感じられ、又聞いた事である。それで人の傾向は其の人の風采や髪形、服装住居等に表はれるものであります。之れに対して真面目なる献身的、奉仕的精神は其の人の風貌等に表はれるものである。然し最も適切に其の人の動機を現はすものはその人の人相であります。自然にその人の相に表はれる。是れは優美とか道徳、趣味といふ様な動機の発動と申したのであります。

[動機の根底になっているものは力である]

第二に動機の根底となつて居るものは力である。内から発動する力、之れが即大事をなす勇氣、臆病なる人の動機と違ふ所である。臆病な人は事をなす事は出来ない。其処は男子も女子も違ひないのであります。殊に此の度の制度にあなたの目的を達するには、勇氣といふ務めが動機に動かなければ何にも成就するものは無いのであります。即で此度の制度の精神は自動主義であります。

今一つは他動主義といふのがあります。之れ迄の注入主義、即ち他動的であつた其れを自動的に改めたのであります。動いて居るその表はれは似て居りますが大いに違ふのであります。例へば自動車といふものがある。今一つは人力車がある。自動車は中に発動機をもつて居るのであります。飛行機も又然り、空に飛んで行く時には発動機を持って飛んで行くが、人力車は他に力がある。そして引いて行くものであります。他動主義は然り。今までは親や他人が選択して居たが、之れからは自分で選択して行くのであります。即ち自動車は其の組織もむつかしいが、電気とかマグネットとかが大事である。私共の動機はマグネットであり電池である。此の電気が働いて力が動いて来るのである。勇氣が起つて来るのである。そして非常なる力を起す事が出来るのであります。

此の元気のない人は何時も顔色は蒼白い。何時も活気を持つて居る事は出来ないものであります。即で其の人の容貌、其の人の結果を見て、その人の原因である動機を研究して行かねばならぬのであります。純潔な即ち輝のあるならば何故であらふか。何故あゝいふ風に見えるであらふか。今まで勞れて居たけれどもあの人があゝ愛に入つて来て晴々したと言はれる人があつたがそれは何故でせうか？ 又之れと反対にいつもうつむいてしづんだ気分をつたへる人があつた。如何しても近づきにくい人があつた。又非常に強い人があつた。勇氣に充ちた、如何なる事があつても屈託しない人、又之に反して花火の様に一時はぱつとして一向統かない人があつた。如何いふ訳であらふか。如何してあの人には強いのか？ 如何いふ訳であつた人は弱いのか疑問が起る。

又自分の事でも自分は如何して力が出ないだらふか、どんなに骨を折つても力が出で来ないが如何いふ訳であるか問題が起るのである。

[遺伝]

病氣を直し度いならば如何しても動機の研究をしなければならぬ。それは原因の表はれでありますから、表はれの改善といふ事は其の本を見出すことを勤めなければならぬ。而して愛に今一つ見落さんやうにしなければならぬ事は、その原因は遺伝から来る事がある。そうすると遺伝の研究からしてゆかなければならぬ。遺伝即ち本能とも生れつきとも申します。それで動機を深く知るためには遺伝といふ事をよく研究してゆかねばなりません。

[境遇]

今一つ深く調べなければならぬ事はその境遇といふ事である。

此の二つは其の人の動機を動かすのに非常なる力となるものであるけれども、最も大きいのは其の人の真の動機の方である。即で私共の動機の種類及傾向を研究して見ると、私共の生活に重要な真理を発見する事が出来る。その真理を自分に及び社会に應用して人生の価値を高める事が出来、人生の浪費を助けるといふ事が出来て来る。

此の動機を研究して分類すれば大別して二つとなる

(一) 動物的動機………最も低い動機

(二) 精神的動機………

1、以上の二つなる。先づ(一)の動機の常識的実例をあげたならば我儘、放埒となつて身を亡ぼす結果になるのであります。

2、其の次には快樂的動機であつて、此の動機は人生を淺薄にし、華美虚栄は其の人の高いといふ事であり、而して根底に価値を失ふたものである。

3、利己的動機

此の動機は単に自分の利益、自分の安楽を追求して居る人である。

4、不道徳の動機

之れは社会的責任を尽さぬ人であり、身の行は墮落腐敗に陥り害を結ぶ人である。

5、純潔なる動機

此れは己れの神靈を清くし、悪傾向に戦ひ、宇宙の意志と共同する処のものである。

6、博愛的動機或は他愛的動機。

此の動機の人には如何なる職、如何なる地位にあつても、自己的にも国家的にも国體的にも人の利益、安寧を計つて、狭い自我の欲望に捕へられる事のない人である。

7、美術的動機

此の動機は己れの修養生活に対し高尚なる尚美麗なる而して崇高なる理想を画き真に自己を創始し實現して行くのであります。

8、信念的動機

此の動機は自分の天職にし、全生命を調和統一し、眼に見えぬ絶対者及び人道に貢献奉仕するに至る人格者であります。

而して此の動機を欠く人は恰も水に漂ふ木片の如く、波のまにまに風のまにまに自分の方向を左右せられ、一生到着す

る彼岸を持たぬ人である。又此の人は一生方向を指す磁石なき、舵なき船の如く、一定の方向を進む事が出来ない人間であります。私は此の頃新入生の内に少し不真面目な様に見える動作がさわさわして、修養に興味の少ないのではあるまいかといふ人が今私の眼につきました。即で其の動機を調べました上、其の人にも何の何の理想も信念もない唯楽しみとする処は活動写真や芝居であります。其の家庭を調べて見ると何の理想も教育心もない。唯偉い人にするといふ動機であります。かかる卑劣なる、価値のない人は必ず其処に動機の欠乏を見るのであります。又動機の低い事を示して居ります。又元気が憔悴し、その組の空気が沈滞して居るのはその組が下火になった証拠であります。故に衰へた大勢を挽回し様とするには各自の空気に養分をやらなければならぬ。実に此の理想が我人を向上創始するのであります。それで私共の人格、運命を支配してる根本的の道を研究して、一時の生活を継続するといふ事を初めなければ、其の他の計画は水泡に帰するのであります。そして此の動機は磁石であり、マグネットであり、電池であって、其の起るその起る本があり、道があるのであります。私共は其の根本まで徹底せんければ目的に達する事は出来ないであります。そうすると各自の団体生活が必要となつて来るのである。

### 五月二十三日(水曜日) 三、四年実践倫理

今日ハ前回ノツバキヲスル積リデアツケレドモ、係ノ方ノ研究ハ着手ヲ急グカラシテ、大体ノ実力方案シテ此ノ係ノ職責ヲ明ニシテ直接初メケンレバナラス。ソレヲ説明材料トシテアゲタ方ガヨカラウト思フノデアルカラ、ソウ云フ様ナ風ニ進ンデ行キ度イト思ヒマス。此ノ前ニ今度ノ目的、計画ヲ成就スルニ、先ヅ根本ニナル大事ナモノハ銘々ノオ互ノ気分ト云フ事、又其ノ関係カラ出来テ来ル空気ト云フモノガ出来テ来ナケレバ根本動力ナルモノハ出来ナイト云フコトヲ申シマシタ。ソレニ就テソノ生活ニ入ル大事ナ門ハ、之レハ昔カラ東西トモ同ジ事ヲ言フデアリマス。「狭キ門ヨリ入レ」。又克己ト云フ言葉ガアル。又涅槃ト云フコトモ根本ノ意義ハ同ジデアル。夫レヲ今日ノ我々ノ日常生活カラ申シマスト、即チ自分ヲ開放スル、即チ己レニ捕ハレナイコト。

[最モ自分ヲ虐ゲルモノハ自分デアル]

ミセロノ言葉ニ自分ヲ一番シタゲルモノハ自分デアル。殊ニ強イ人ハソウデアル。例ヘバポーロノ如キ「嗚呼我惱メルカナ」ト言フテ居ル。之レハ山ノ難、海ノ難、塩ノ難、凡テノ難ト戦ツテ居リマスガ、併シ其ノ中デー一番落シニクイ城ハ自分デアルト言ツタ。若シ己ニ勝ツコトガ出来ルモノ即チ怒リ、直グ感情ヲ制御スル人ハ城ヲトルニ優ル。デ此ノ人々ノ経験ニ依ツテ考ヘテ見ルト、勇氣ト云フコトハ矢張自分ヲ制御スルコト、即自分ニ克ツコトデアリマス。ソノ己レニ負ケルコ

トガ臆病ト云フ事デアリマス。ソレデ私共ガ茲ニ物ヲ成就スル氣分ヲ作ルト云フコト、此所ニオ互ノ目的ヲ達スルト云フコトハ先ヅ此ノ自分ヲ征服スルコトデアル。自分ヲ征服スルコトノ出来ヌモノハ成功スルト云フコトハ出来ヌト云フコトニ到着スルノデアリマス。夫レデ此ノ学年ニ私共ガ物ヲスル態度トシテ見ルトソウ云フ氣分ヲ作ルトニ努メテ居リマス。之レヲ昨年及一昨年ニ比ベテ見マスト少シ逆行デモスル如ク、或ハ矛盾デモスル如クトレヌデモナイト云フノハ、前ニハ其ノ空氣ヲ表ハサンタメニ自情ト云フ精神、個人ヲ発見スルト云フ、自分ニヨルト云フ精神ヲ余程養フテコトニソノ己レヲ控テルト云フ事、之レヲアマリスルト云フコトヲ主張スルト云フノハ所謂一方ハ己レヲ殺ス、一方ハ己レヲ活スト云フ風ニモトレルトデアル。即チ俗言デ言ヘバ「己ヲ空ニスル。己ヲ留守ニスル」ト云フ言葉ガアル。之レハ意味ガ一寸同ジヤウニ見エル。之レハ一方同意義ノ如クデアルケレドモ、此ノ二ツノ言葉ハ実ニ正反對ノコトヲ言フテ居ルノデアル。ソレカラ己レヲ殺ス、己ヲ活カスト云フコトハ実ハ同意義デアル。己レヲ無ウスルト云フコトハ虚心坦懐ト云フ事デアル。虚心ト云フ事ハ己ガ自分ニ戻ツテ来ル、即チ本心ニナルト云フ事デアルガ、之ヲオ留守ニスルト云フコトハ己レガ捉ヘラレタコトデアル。所ガ私共ハ孔子ヤ又ハシセル、其ノ他ノ偉人ガ言フタ如ク、如何モ己レヲオ留守ニシタガモノデアル。自分ガ自分ニ捕ハレテシマウ。ソレデ私ガ前ニ称ヘタ意味ハ己レニ克ツト云フコトデアル。虚心坦懐ニナルト云フコト、自分ヲ解放スルト云フ事デアル。ソコニ於テ我々ノ人格ガ真ニ内在的ノ能力ヲウルコトガ出来ルノデアル。始メテ事ガ成リ初メテ真ノ事ガ解ルノデアル。ソノ真ノ生活ニ歸ルト云フコトガ即私共ガ物ヲ為シ遂ゲル生命トナルノデアル。ソコノ意味合ヲ解イタモノデアル。即デ己レヲ無ウスル、己レヲ殺ス、己レヲ捨テル、無我ニナルト云フ事ハ決シテ悲観ニナツタリ、厭世ニナツタリ、禁慾主義ニナツタリスルコトヲ言フノデナイ。ソコデ私共ガ人ノ為メ身ヲ捧ゲルト云フコトハ己レノ為メニハ無ニスル、Devoutスルト云フ様ナ意味ニトレタ。

Devoutスルト云フコトハ犠牲ハ自分ヲ益スルト云フコト、発展スルト云フコトニナル。人ヲ感化スルト云フコトハ自分ヲ修養スルト云フコトニナル。ソレデ実ハ自分ノ目的ヲ達ゲ、或ハ自分ノ実力ヲ養フト云フ事ハ矢張他ノ為メニスルト云フ事ニ依ツテ出来ルノデアリマス。ドコカニ死ヌル所ガアツたら必ず我々ニハ生レル所ガアル。之レヲ知半解ニナルト大変ナ間違ヲ生ジテ来ルノデアル。夫レデ自分ノ内ニ非常ナル天才ヲ發揮シテ来ル。つまり自分ノ内ニ起ツテ来ル此ノ力ハ如何シテ起ルカト言フ、矢張献身的、犠牲的ト云フ事カラ出来テ来ル。出来ナイト云フコトノ最モ怖イ、最モ強イ敵ハ自身ノ内ニナルノデアル。ソノ自分ヲ捕ヘル所ノ夫ノ自分ト云フモノハ如何イフモノデアルカ。臆病デアル。臆ト云フノハ心配デアル。ソレガ卑屈ニナツテ疾ト心ニナル。又憤怒ノ情ニナル。驕グ。茲ニ私共ノ失敗ヲ招ク基ガアル。之レヲ悪魔ト言フテ居ル。此ノ眼ニ見エヌ自分ヲ捕ヘヤウトスル。落ソウトスル。実ニ恐ルベキ敵デアル。コレカラ私共ガ如何シテモ抜ケ出ル事ガ出来ナイト言フ。ソシテイツモ其ノ誘惑ヲ防グト言フ。

自ラ戦フ、自ラ防グト云フ勇氣ガ出来テ来ナイト、必ズ目的ヲ遂ゲルト云フ事ガ出来ナイ。必ズ失敗ニ了ル。一体其ノ敵ハ何デアルカ。其ノ敵ニ捉ヘラレタコトヲ、之レヲ地獄ト言フ。即チソノ悪ノ世界ノRealityヲ例ヘニ表ハシテ之レヲ地獄ト言フガ、併シ之レハ果シテ如何ナルモノデアルカ。之レヲ発見シナケレバナラス。又ソノ悪魔ノ鞫ハ果シテ如何ナルモノナルカヲ見破ラナケレバナラスノデアリマス。(ケレドモソノ本義ハ今日解クツモリデハナイ。唯斯クノ如キモノガアルト知ツテ置ケバヨイノデアリマス。)

即デ私共ガ虚心坦懐ニナルト云フコト、又自ラ悟ルト云フ事ハ矢張虚心坦懐ニナツテ初メテ自ラ自分ヲ修メ、自ラ境遇ヲ支配シ、理想ヲ創造シ、行ク力ヲ獲得シテ来ルノデアリマス。其ノ態度ガ「心此所ニ在ル」ト言フノデアリマス。此ノ言葉ハ己レヲ守リニスルト云フ事ノ反対デアツテ、心ガ其処ニ帰ツテ来タ、心ガ居ラスエテ居ルト云フコトデアリマス。即チPresent mindト云フコトデアリマス。ソコデ私共ガ此ノ主人ノ命令ヲ受ケテ、此ノ主人ノ考ヘヲ持ツテ万事ヲ行フ。此ノ指導ニヨツテ自分ノ方針ヲ定メ、方向ヲ決メ、而シテ後ニ行フ。即チ茲ニ在ツテ我茲ニ事ヲスルト言フノデアル。夫レカラオ互ノ団体ノ間ニハ団体意志、即チ社会意志(Social mind)ト云フモノガアル。此ノ心ガ矢張コノ底ニアリテ、ソシテ我々ニ指揮ヲ下シ、ソノ命令ニ依ツテ働キ、一致協同シテ行クト云フ此ノ状態デ事ヲ始メテ行カナケレバナラスト云フ同ジデアル。ソレデ此ノ改善ト云フハ今迄ハ如何モオ留守勝デアッタ。ソノ自分ヲ先ヅ自分ノ処ニ呼び返ス。先ヅ己レニ帰ルト云フ態度、即精神一に到スルコト、之レガ創造デアリ凡テノ事ヲシ遂ゲルト云フコトデアリマス。之レガ凡テノ個人ニ通ジ、凡テノ団体ニ通ジテ、第一番ニ之レヲ実現シナケレバナラス。之レガ私共ガ希望スル所ノ自分ノ気分、又ソノ気分ヲ養ヒ立テ行ク基デアリマス。其ノ運動ヲ指導スル所ノ真ノ指導者トナルモノデアリマス。夫レデソノ内容ヲ實際生活ニ応用シテソノ意味ガ鮮明サルハヤウニシタイト思ヒマス。

[係の目的]

係ハツマリ此ノ全体ノOrganizationヲ作ルタメノモノデアツテ、一部分ノミ離レテ他カラ組立テスルコトハ出来ナイ。ソノ様ニ私共ノMindハ自分ノMindデアル。ケレドモ此ノMind、同時ニ皆ノMindデアル。故ニ例ヘバ体育係ノ計画ハ体育部ニ任カシテ置ケバヨイノデハナイ。皆ソノ責任デアリマス。

凡テノ係ガーツノ心ニナツテ調和シ、共同スル事ガ出来テ初メテ自分ノMindモ全体ノMindモ出来テ来ルノデアリマス。自治団体ト云フ事ハ必ズ聊識ハスル。ソシテ其所ニ決議ヲスレバ之レハ全体ニ向ツテ命令ヲ下ス。自治団体ト云フモノハ命令ヲ下スモノデハナイト言フ人ガアルカモ知レナイガソウデハナイ。決議前ニ於テ十分意見ヲ発表シテ意志ヲノベ、一旦決議シタ以上ハ之レヲ確実ニ守ル。ソノ命令ニ従フコトヲ覚悟セネバナラス。

[体育係]

姿勢矯正ノ目的ヲ以テスル運動……………

ツマリ体カヲ増進スルト云フ事ハ色々仕方モアリマスシ、

又之レニハ順序ガアル。此ノ順序、階段ヲ踏ンデ行カナケレバ上レナイ。ツマリ力ノ増進ト云フコトハ先ヅ第一ニ其ノ浪費ヲ省イテ行カネバナラス。ツマリ此ノ体ノ浪費ヲ省キ、建設ヲ増ストコロニ健康ヲ進メテ行ク方法ガアル。

Wasteノ状態ヲ疲労ト言ヒマスガ、此ノ疲労ガマダ私ノ眼ニモ映ジ、又今度ノ体格検査ニモ見エルノデアリマス。此ノ身体ノWasteハ腦力ノ浪費トナリ、引イテハ時間、経済ノ浪費トナル。此ノ生活状態ガ改マラナケレバ矢張駄目デアル。如何シテモ此ノ体質ガヨクナラナケレバ矢張何事モ駄目ニナツテ来ル。茲ニ一番浪費シテ居ルト云フコトハ、ツマリ読書スルニモ、運動スル、食事スルニモ、眠ルニモ心ノオ留守ト云フコトデアル。Absent of mindト云フコトデアリマス。世ノ中ノ病氣ヲシタリ、煩悶ヲシタリ、失敗シタリスル人ハ何デアルカト言フト、ツマリ自分ノ心ガオ留守ニナツテ居ル。

孔子モ

心此処ニ在ラザレバ見テモ見エズ

聞ケドモ聞エズ、食ヘドモソノ味ヒヲ知ラズ

ト言フテ居ル。ツマリ心ガ此処ニナケレバ何ニモナラヌト云フコトデアル。私ハ前ニ斯ウ云フコトガアル。飯ヲ一口食ヘタナラバ五十回カムト云フヤウナコトヲイッタガ、併シソノ五十回カムト云フコトニ氣ヲラレテ居テハ心ガ茲ニナイワケデアル。飯ノ味ハ出テ来ナイ。胃病ニナルト云フノハ飯ガ悪イノデハナイ。食ベ様ガ悪イノデアル。飯ノ食ベ方ヲヨク味ツテ食ベルト非常ニ甘イモノデアル。他ノ要素ヲ混ル必要ハナイ。

矢張飯ヲ食ベルニハ必ズ入ル。食ル時ハ矢張心ヲ其所ニ置キ、心配ヲノゾキ、甘イ思フテ食ベル。ソウスレバ甘イ。故ニ精神的ニスルト云フコトハ独リ修養会ノ時バカリデハナイ。食事ノ時デモ寝ル時デモ心ヲソノ事ニ集注スル。所ガ寐ル時ニモ心ガ其所ニ居ナイ、明日ノ心配ノ方ヘイッテシマツテ居ル。夫レデ朝起キタ時モ少シモ疲労ガナホツテ居ナイ。浪費デアル。併シソウイフコトガナカナカ出来ナイ。何故カ言フトソレハ臆病ノ為メデアル。臆病ノ人ハ取越苦勞ニ心ヲ捕ヘラレテシマツテ居ルカラ何事モ出来ナイ。心ガ常ニソノ事ニ集ラナイ。矢張り心ガ其所ニ居テ、心ガスルト云フコトヲ思ハネバナラス。何事ニデモ之レハ私共人間ノ仕事、生活ト云フモノハ心ガスルノデアル。心ノ支配、心ノ考へ、心ノ命令、心ノControlデスルノデアル。ツマリサマザマノ誘惑デアル。ソニ捉ヘラレズ意ヲ以テチャントスルト云フコトガ所謂精神的ニヤルト云フコトデアル。斯ノ如クニシテ浪費ヲ省キ、力ヲ増シテ行クト云フ事ガ出来ル。

- (1) 消防隊ノコト
  - (2) 秋季運動会ノコト
- }ニ就テノ注意、

[栄養係]

尚無形ノ食物—光線、空氣、Etherニツキテノ注意。

食物ト云フテモ唯口カラ入ルモノバカリノモノデナク、将来主婦タルベキ人ガ家ヲ作ラントスルニ当リテ大ニ研究ガ必要デアル。

[研究係]

今度ノ生活ニ誰レモ必要デアルコトハ読書法デアル。丁度孔子ノ曰ヘル如ク「聞ケドモ聞エズ読メドモ解ラズ」。ツマ



り心が読ンデ居ナイカラデアル。之レガ日本ノ非常ナWasteデアル。

学生ガ本ノ読ミ方ヲ知ラナイ。宗教家ガ経文ノ読ミ方ヲ知ラナイ。之レハ非常ナWasteデアル。此ノ習慣ガ改マナケレバ駄目デアル。英語デモ日本語デモ同ジデアル。真ノヤリ方ヲシナケレバ却ッテ浪費ニナルト思フ。

五月二十八日、月曜日

## 一、二年実践倫理

此の前に私が読んだ本のお答へを見て見ますと、その成績の程度が非常に違っているのです。脳力が夫れ程違ふのではない。日常の読み方、注意力を示したものであります。話を聞いてそれを本当に意味を捕へる事が頭の活きであります。それを書く事を職業にして居る人がある。即ち新聞記者の如き。然るに記者に依って非常に違ふ事があります。此れはあなた方はまだ分らぬであらふけれども、我々は度々経験する事である。演説又は役所の速記をする時に間違ひが沢山あるのみならず、此方から話した事でなく全く反対な事に取れてる事がある。或は言ふた人を取り違へて書く様な事がある。又山川校長が津田塾で女子高等教育の非難をされた処が、広岡浅子氏が之れに対する反対演説をされたことが女子大学となって居る如き間違があるのである。それ故学生は今一つ注意を深くせんければならぬ。機械的でなく聞く時には心で聞く様にせんければならぬ。物をする時には注意力を払って刻一刻に謹聴してやらなければならぬ。

### [動機涵養と自念生活 信念と信仰]

信仰と信念とは同一実体を内外より見たるに過ぎぬ。即ち両者は一つのものにして動的のものである。

今までの宗教的信仰は信条を信ずる事であった。其の信仰及び知識は固定したものと考へられ、信条及び真理は動かすべからざる完全無欠のものと思はれて居た。但し其れは事実と相違して居る。

今日の世界に於ける信仰、或は人間の知識、真理は動いて永久に止まざるものにして必ず進歩するものなる事が見出された。

其の動きは必ず向上進歩する仮定である。これ即ち信念信仰である。その動きを起す動力は必ず信仰を進歩させる内在的の力である。

信仰には必ず目的有り、理想有り。(目的と理想は凡ど同一物である。)

我等も亦動的にして止まる事は既に滅亡といふ事なり。而して目的に到達せんとし、理想を実現せんとす。

### [希望]

此の目的に向へる我が心を希望と言ふ。即ちHopeと言ふ。Hopeは到達せんとする目的の客観的実在を指して居る。此の目的に到達せんとする力をDesire志望と言ふ。

DesireはHopeの元にして憧憬で有り、欲求である。Desireがあれば必ずHopeが有り、Hope有れば必ずDesire有り、其の目的に進む力が動機即ち前進せしむる動力が動機である。人生は旅の如し。可愛き児には旅をさせ、といふ如く、若し人生を旅に例へたならば人生の意義を全うする事はその旅に於て進んで止まぬ事なり。

### [信念]

Hope(希望)を詳しく言へば憧憬する人格を追求する心の状態なり。之れを信念といふ。

信念を確実にするために思考するのである。此の時直感力、即ち自分に知らざる力は之である。其の実体は向ふにある事を想像して、我が要求するそれを当てはめて仮説を作る。其の仮説を造った時は其の仮説の実体を見出す事が出来やうといふExpectation(期待)である。

自分のDesire要求より目的に達する迄の行路の仮定に信念、信仰、自念、確信がある。(之れ等種々の言葉は其の経験の要素を明に示さんために用ふ。)之れを客観的に見る時は信念は希望といふ心理状態より、確信(目的を成就してからの状態)の状態まで旅行してゆくものである。

其の自分の乗って行くものが動機である。即ち信仰生活の運動、進歩は希望より確実に進んで行く憧憬なり。そこで希望はそれ自身が目的に向って居ると、内より動機が湧くと両者である。

希望は熱烈、感激、発奮であり不定なる状態である。失望するかも知れぬ、出来損ふかも知れないといふ恐怖の分子も加はる。之れが信念と確信との異なる点。確信の確かなるものにして確かに成就するものに進む心理状態なり。愈々目的に達しられ確信を得たる時は、人格は完成せられ自覚は徹底的となる。此の目的に達する事を彼岸に達するといふ。

此の真理を説き明すにはコロンブスの例を好適例とす。即ち彼は一つの希望、信仰を抱いて凡ての困難を排して終に大陸を発見した。コロンブスにかかる事業をなさしめたのは信念である。即て我々が理想を実現し証明するためには命も惜まぬといふ心情になる。コロンブスの例は人生の真理をよく表はして居る。彼の舟は白い帆をかけた風の力で動く舟であった。今日の船は蒸気力で動く船である。即ち前者は他力、後者は自力である。之れ面白き対象なり。

### [信仰]

信仰は希望より目的に到る道を信仰といふ。

その目的即ち彼岸に達したらば仮定は証明される。愛に於て信仰は確実となった。即ち確信の状態にしてこに於て信仰の状態は無くなる。此の心には歓喜感謝が充満す。然れど人間は此に止まらず、目的を立て又それを実現せんとするなり。幾度か自信する経験を積むと信仰は益々強くなる。

信仰の生活は危険を恐れぬ。その内に動機があり外部より之れを妨ぐる事を得ざるなり。コロンブスをしてかかる事業をなさせたのは動機なり。彼は終に恨みを受けて牢につながられたれども、その名は赫々として尚後世に輝けり。

要するに信仰信念は希望の我国より目的理想の彼岸に達せんとする努力生活である。

信念は動機の方、主観的方面。

信仰は目的に向った方、客観的方面。

信仰の真髄は停滞にあらず機敏なる活動なり、生命なり。物質の如く死しものに非ず。空中の樓閣の如き覚めたる夢の如きものならず。

[信仰の真相は人格者を追求して止まぬ働きを言ふ。]

政治家が国家を創設し、教育家が学校を起し、宗教家が教会を建て、芸術家が美術を製作するその目的は物質であり動機であるかの如き感はあると、そは実に個人的或は団体人格なり。我々の熱烈なる憧憬、熱心なる働きは其の内に動ける、憧憬せる人格者を追求するのである。換言すれば信仰は我が精神がある人格者、絶対人格者に向って運動進歩して居る事、希望より確かなる実体に向って進まんとする意志及態度である。

信仰の種と芽は信念の言葉を用ふ。此の信念の発展に二要素あり。

(一) 要素 Intuition直感

(二) 要素 Intellect知力

信仰は直感的即ち自動自発的に起り来るものなり。直感知識より独立して居る。知識の証明のなきものなり。それで不確なるものにしてかくある事を望み、是非それを要するのである。信仰の起り又人種の信念の起りは想像的な処あり。迷心も少からず。科学は直観的に入り来れるものを仮定と言ひ、常識は之をGuesoといふ。憶測をする。

知力の働きはこの不確を確かにし真理である事を証明せんとす。失望せぬ様に真を信じやう、信じた事は実現し様といふ要求が生じて爰に各方の努力が必要となって来る。出来る限りの手段を取って見る。

知力の働きは原因、結果の理法を極めて進む。即ち朦朧たる所を明らかなる意識とする。

これは単に物質に於てのみならず精神上に於ても論理的に経験を以て将来を推る。即ち是れ知力の働きなり。

人生無限の生命、道徳心、自由、神等は科学の証明では分らぬ。此の神、眼に見えぬ実在は直観的に経験するのである。

信仰の最も良き助けとなるものは我が経験なり。直観的に進む経験と知力とに助けられて益々強くなる。高潮に達するのである。信仰生活を有効にするには(動機を高め、動力を動かすには)自念の生活が最も肝要なり。

五月三十日

[注意]

時間の使ひ方。殊に空時間の使用法に就て。

唯知識を得るばかりでない。大学の生命を吸ふて生活するのである。此の大学の中で研究する大学の呼吸を沢山吸ふ様にしなければならぬ。只今では通学は全然許さぬといふ

位に致し度いのである。若しそれを許すとするとよほど重大なる問題になりはしまいと思ふのである。静肅な時間を設ける事、講堂に入った時は勿論であるが、九時から三時迄尚其の後と雖も図書室で読書中は非常に厳格な時間を守らねばならぬ。恰も堂に人が満ちて居ても人無きが如くしなければならぬ。

之れは規則を設けてもよろしい。欧米の大学のLibraryや研究室に行くならば言葉を出す事は皆無である。人が入って来て眼がちらつく様ではいけないのである。ちゃんと何か一つに集注して居らねばならぬ。物をする時には心からいつでもしなければならぬ。声を出す時、笑ふ、泣く時も心からしなければならぬ。精神的渾身でなくてはならぬ。

やはり私共はSmiles of loveを望んで居るのであるが、憎しみの笑みが取り去られないのである。(真髄について居るBackboneの中について居る)如何にしてもそれを取り去らなければならぬ。唯一つ我々がしなかつた笑みをしたならば、人間の煩悶は消えてしまふ。One smileが出来なければならぬ。其処に面白い所がある。此のSmileで悲劇は喜劇となつてしまふ。自発的の動機が動かなければならぬ。詩人は必ず歌を唱つて居る。必ず何か唱つて居る。動機がある。私共の生活は、音律的である。今悲劇かと思ふと喜劇がある。力が発展するにはLawがある。其のLawはSystemである。即ち体の関係、調和といふものがある。其のLawに従順にしたならば光を放つて来るに違ひない。自分の世界の支配を怠らずして責任をつくす。其の者がCreatorである。其のCreatorは必ず自分の活きに生きてゆかなければならぬ。如何しても此の生活が有効である様に必ず活かしてゆかねばならぬ。其れには毎日のSentimentが必要である。それは凡そ順序を以て発展するものである。必ず法則があるものである。

此の制度は(選択)此の天地の行動に基いてゆくものである。今日の誠に従ふてゆかなければならぬ。私は十年前にして見たがSentimentは必ず必要なものである。正月から十二月まで各項目を設けて修養の方法をとつてゆく様にする。

私共には必ず天地の行動に基いた法則がある。真理のDiscoveriによってゆくのである。それにはちゃんとSystemがなくはならぬ。それにはだんだんと築きあぐ可き毎日のSentimentが必要といふ事になるのである。

我々は消極に打ち勝つていかなければならぬ。それがNormalである。

本当の心の喜びを持つてるか、活々した気分、態度が多いか。私共の心の生活が本当に満足してるか。本当に神が榮えてるのであつたらば感謝でなければならぬ。要するに我々は心からの笑みを持たなければならぬ。

大正六年六月四日 月曜日

一、二年実践倫理

[修養系の発表]

家政一年修養係

組全体が真の親睦を計りたき事、方法として

- (1) 各係から主任を出す事
- (2) 主任が各係の運転に務める事
- (3) 修養に出席する人の態度を気をつける事
- (4) 修養会の問題に注意する事
- (5) 係の者がよくこれらの事に責任を持つこと

熱心と真面目なる心を持って小さい私を捨て、此の方法、計画二就て務めて行き度い。

英文科

まだそれ程親しみが出来ないから会を中心として真剣な態度で務めてゆき度い。

国文科

一部、二部の長所を取って新しい綴風を作り出して行き度い。修養会は毎週すること。師範家政科東西

大体同じ。

[体育係]

家政科 全体の計画に準ず

団体及び個人の衛生を重んずる事(健康増進)

運動クラブの設計

姿勢の矯正法………研究中

時節と衛生

係同志はよく一致して居る。

[先生]

脚氣に就て体育係は方法を講じて居りますか。高木博士の海軍に実行された例でゆけば必ず脚氣は直るのである。殊に修養の基となる体を第一に知り、支配して行く事に努めなければならぬ。今脚氣の時季であるから其の道の研究を食物係と協力して行く必要があると思ふのである。

今一つは神経衰弱といふ事が一番よくないのである。精神の疲労してる人は其の予防をしないとイケない。お互いに知り合ふといふ事が大事であるが、先づ自分自身で知る事が大切である。

英文科

大体以上に同じ。

十分時間の運動奨励。

国文科

大体同じ。

師範家政科東西

大体同じ。出欠席に注意。

家政学部、師範科より栄養系の発表ありたり。

[全体の批評]

今少し高等教育を受ける学生である自信力があつてほしい。今一つは大学生なれども此の中ではまだ高等女学校五年の年令の人で普通教育がまだ完全に出来てないといふこ

とを忘れてはならない。

それから此度選択制度になつて今一つ深く考へて見なければならぬ。此所の制度は独逸の其れとは違ふ。独逸では満19にならなければ入学する事は出来ないが、此所では16の人があるのである。其所には弊もあるから、色々世界の大学の制度を参酌して此所の制度は独特である。

高等教育を受けるといふ自分の目的を持つてる学科に集注して行く態度が出来、而して人間としての態度が出来なければ片輪になる。英文科、国文科の人は料理などいらぬ。自分達の職分は本を読めばよいといふて睡眠も少く、御飯を食する時も暗誦しなければならぬと言ふて台所の事など不必要になる傾きがある。之れでは完全な発達とはいはれない。片輪な発達である。

[学生々活に就て(学問生活)]

学問生活した尊い経験を聞いて見る事は大変大切な事である。而して大切なる訓練になるのである。

今あなた方又には動機涵養に就いて説き、四年には校風といふ事を説いている。小学校は児童の信念涵養の問題である。人間に一つの芽が出て来る其の傾向を、親なり先生達なり鑑別する力がなければならぬ。そのよろしき得たら芽の成長もよろしきを得るのであります。私は満一六才になられるあなた方一日本では小供の様に取扱つて居ります。それにはいろいろな原因もあるが、今幼にして天才を発揮した人の実例をあげて見ませう。ウィリアム、ジェームス、サイデスはハーバート大学を一五才で卒業した。その学歴に日々彼れは一才半位の時から教育された。三歳の時は自国の読み書きが自由であつた。五歳の時家に有つた骸骨の標本に興味を起し生理学の勉強を始め、間も無く医師開業前期試験を及第し得る位の学力に達した。六才にして小学校に入学し、八才にして中学に入り九歳にして博士試験を受けた時の難題を即座に出来た。十一歳でハーバートに入り(大学)大学者も頭を痛める高等数学と星学が得意であつた。その他の実例もある。

人間には誰れにも尊い人格になるべき種がある。其の種の芽の出るのが傾向である。其の芽が自然にのびれば誰れも彼れも立派になる事が出来る。

天賦の才能は同じでも其の人の動機によって人格が異なる。選択制度に対しても偏した性格になつてはならぬ。之れが近世の教育の改革である。

(ペスタロッチ先生の教育主義、即ち之なり。モンテッソーリも之れに準ぜしなり)

[讃辭に就て]

所謂天才、少し物が他の子よりよく出来ると讃められる。それが意識される様では駄目である。悪口いはれて直ぐ溺れる子供はよくないが、賞められて惚る子供は更に愚である。人は偉くとも全知全能の神に比ぶれば誠につまらぬ者である。之れまで罌粟粒の大事の爲めに賞められて慢心する様では愚も極である。子供に自負心を起させる事は非常に悪い。如何なる天才も之れに陥れば最早や最後である。それ故讃辭を絶対に止めなければならぬ。

[ミルの実験]

他人の子供と遊ばせなかった理由

- (一) 他の人と知識の比較の結果慢心する。
- (二) 他の人から悪影響を受ける事。

そのかわりに出来なかった事

- (一) 団体の空気に触れる事が出来なかった。
- (二) 遊戯や喧嘩は出来なかった。

不可能な事を要求されない子供は自分の力を充分發揮する事は出来ない。六つかしい事を自分で解釈しなければ本当に自分の力をのばす事は出来ない。

(早教育と天才より)

大正六年六月十一日

一、二年実践倫理

此の前体育係から研究された事に就ては皆んなで実行して行く様につとめてもらい度いと思ふ。体が不完全である事は一個人の問題ではない。非常に影響を及ぼすものである。

[整理係]

家政一年

主義

整理整頓

方法(一) 団体の整理

(二) 規約を守る事

お互に知り合ひ、学校の精神を解し、校風に化する事につとめ、共同一致して計画の実を挙げる事。

英文科

規律的精神の養成

整理整頓………教室日誌、出欠席、遅刻者の調べ

教、東西科

文科

大体同じ

[研究係]

国文科

目的 知能の啓発

内容 研究的生活、個性の發揮

方法 個人の時間割を作り、なるべく浪費のない様に時間を活用する事

他の科も大体之れに準ず。

[批評]

各係を置いたのは自治制度の為めなり。自治制度は自動的精神を現はすに最も必要なる事である。真理を発見せんがためなり。未だ人間が見出し得ない部分が沢山ある。それを見出さんため修養カードを用ひて生活して行くのである。自分で自分のことを守る事が出来なければ校風など到底出来ない。

普通皆空時間といふが、それは遊んでもよい時間ではな

い。自習時間である。即ち研究に当つべき時間である。

[科学とは何ぞや]

科学といふ知識が成立ザレバ哲学も文学も宗教も成立しない。活きたものを直接研究しなければならぬ。花なら花を自分が観察しなければならぬ。直接に當つて知力が出来、而して科学が出来る。

生命の向上した意識を経験したり、実験したり、物其れ自身に直接當つて行く事が科学の仕方である。例へば花を見て奇麗であること、即ち本を見て美しいとか真であるとか感じる所の直接の感じが即ち直感といふ(Intuition)。此のIntuitionがなければIntellectは出来ない。直覚でつかまへた事実が無くてはならない。今日の教育は根本的事実を見出さんければならぬ。然らば事実とは何ぞや。眼に見えないものも事実なるべきか。経験をした事が事実である。(過去、現在)今日の経験は深く広い意味でいふのである。机上の花も事実である。事実を握まんければならぬ。そして個々の事実をつかまなければならぬ。事実の知識は常識でも分る。事実又は現象の知識を秩序整然と組立てられる事、其の事実の中に必ずコノ事実を支配して居る原理、法則の組織立った知識である。

科学は事実の学問であり現象の学問である。而して基礎学である。之れなくしては深い真理に到達する事は出来ない。

原理とは何ぞや  
 事実とは何ぞや  
 思想とは何ぞや  
 法則とは何ぞや

} 調べて来る事

大正六年六月十八日 月曜日

一、二年実践倫理

[趣味係]

師範家政科西組

趣味及び言語、礼儀の向上を計り、和歌、園芸、音楽の趣味を養成する事に努むること。

師範家政科東組

大体同じ。方法の一つとして投書箱の設けをする事。

国文学部

大体以上に同じ。外形のみならず暖い校風を養つて行き度いと思ふ。

英文学部

高尚なる趣味を養ひ、従順なる事、互に識り合ふこと。眼に見えざる深い処に氣をつけて働いてゆき度い。

家政学部

健全なる思想を養ひ、高尚なる趣味を養ふ。学校の計画に準じて大体同じ。

今年は地方から三百名余一つに集り来て、一年生を組

織したのであります。其の新しい要素が互に識り合ふて、而してその間に取舍をしてそこに一つの趣味が出来たのである。それが即ち銘々の気分となり、級風となり、校風が出来、而してそれが風儀言語に表はれ又容貌になっている事と思ふ。それで互の間にある才能或は特色なるものが初めて見た時が一番深く感ずるのである。爰に初めてお出になった時互に出来て居たものを感じなすった事と思ふのでありますが、其の感じが如何いふ風に感じて、如何いふ風になり、如何いふ様に発展してゆかねばならぬか。何か一つの標準が出来る事が大切であると思ふのである。

それで初めに少し比較研究して、地方に帰っても如何いふ態度、如何いふ主義を根本に持つて居る事が大切であるかを決める事が大事である。

趣味を養ふ事は芸術家が最も其の爲めに骨を折つて居る。然し如何にも其の趣味が上品を欠いて居るといふ点が随分多いのである。故に今日その係になっている方々は余程今日の一般の風儀に如何いふ風に成功すべきかといふ事を注意しなければならぬと思ふのである。

昨日の来客の中で各地方から来る生徒の着物や服装については如何かといふ話が出たのであるが、私は地方に於て色々特長があり一寸眼につく様な違ひが初めの内はあるが今日は眼につかなくなり、此の学校の風になった様であると答へたのである。却つて地方に帰つてその方に感化されるはしまいかと思ふのである。或る地方によっては非常に華美な処がある様に思ふのである。それで時代に感化されるか、人を感化するかの此の二つの中の一つである。これは我が国の教育にとって責任があるといふ事を忘れぬ様、殊に日本の今日の風教といふ事を忘れてはならぬ。

昨年あたりも数億の金が入り世間は好景気となり、諸工場は盛んに発展しつつあるが、しかし化学研究所も思ふ様にいかないものである。

大隈侯の話に、日々候の内に女中をして居た人で今関西で商売をして居る人があるが、拾万円の借金を払った上更に百万円の金を儲けて居るといふ事である。或商人が古物を買つて四百万円の利益を得た一例にても関西が如何に景気が高いかを示して居る。

米國は六百億の金が入つたのである。カーネギーは何億といふ金を貢献して居るのである。八十になつても若い人と同じ様に働いて居るのに、我が國では僅かの金に甘んじて骨董品を買つたり茶道具を玩んだり、酔ふた様にしてダイヤの指輪で用ひて居るに違ひない。それが日本の一般に如何いふ反響を起して居るか。実に先が案じられるのであります。

かる華美な風がおこり、空気が漂っている時であるから、趣味係はよく注意して皆さんが散じる前に堅実なる風を養ひ、一般婦人を導く様にしてほしい。

今一つよろしからざる事は不良少年である。(此頃不良少女も出来て来たが)警視庁の調査の結果、間に触れたのが300名ばかりあったが、まだ此の外に沢山あるのである。斯る人はコレラよりペストより恐るべき病毒を持つて居るのである。故に如何か此の学生は斯る事によく考へを持つた人になつて

もらい度い。

[事実とは何ぞや]

眼に見えぬ実在、神とか人格とかいふもの、団体になつて居る精神、即ち経験する事の出来る事を事といふ。我々が経験をするといふ事即ち事実である。

経験 { 体の経験  
心の経験  
精神の経験

其の事実は存在である。確かなもの、真なるもの、現実なるもの、之れを指してFactといふ。故に存在の内容には斯る意味が入つて居る。具体的といふ事になつて居る個々の事実も事実であるけれども、宇宙とか神とかいふ事も事実である。然らば事実といふ事は確かな、疑ふ事の出来ない、消す事の出来ない、即ち信仰を確めるために論証が入るといふた如きである。然らば事実の論証は何であるか。即ち誰れか自分を疑ひ、神、宇宙の存在をも疑ふ人がある。しかるに之れは確かなる事実であるといふ事を確めた人デカートは、私は考へるから私の存在はある。これは自分の存在を自分が直観したのである。それは自分の心の奥底に自分の精神が之れを知覚する。故に之れより確かなる事は無い。此の自分といふ確かなるものがあるから、その眼で宇宙の存在をみとめる、又味ふのである。事実といふ事は我々が経験する事である。見る事である。直観する事である。

[原理とは何ぞや Principle]

倫理的 }  
科学的 } の見方によって区別がある、  
哲学的 }

極簡単に言へば事実の存在又は事実の誠を定めるものがPrincipleである。つまりPrincipleは凡ての事実を決定するもの、Creatするものである。此の中には動機もある。原理の根本要素は意志なり。凡てBeingするものが事実である。我々の人格はWillなり。凡ての宇宙を支配するものは真理なり。其の真理も原理である。此の言葉はラテン語から来て居る。その意味は物を起す、始める、存在せしめる、物を決定し命令、支配する権力、之れが原理である。故に之れを人格的にいへば私共の原動力になるもの、我々が完全な人になり人格者になつても此の力によるものである

Principleは事実の母であり父であり、事実の根本動力である。経験を決定し有効にするものは原理である。

我々は宇宙の原理と一つになつて動き、共同する事が私共の力になる。即で私共の経験を支配するものであるから原理と団体にならんければならぬ。その原理とは向上心となつて(意志)現はれるものである。今一つは事実(Fact)と原理(Principle)の働きの方面を了解するには経験といふ事はExperienceといふ字から来て居る。

人生は旅である。人間の生涯は旅の如きものである。『可愛児には旅させよ』『学問は坂に車を押す如し』といふ言葉があるが、進歩するといふ意味がある。(To try, To make)といふ事である。試るのである。つまり物を始終先へ先へと進んで行く試み、丁度坂を登る様に其れを試みる。それで人間の

事実の進化、始終今までの事実が新しい事実によって Createされ進化されていくのである。それには理想あり想像あり計画がある。其の計画を立て、方向を定め存在を決定したり理想を決定したりするのが原理である。その出来てゆくものが事実である。その目的を遂げる原動力が Principle である。其の経験を試すには必ずそこに活らきがあるのである。その活らきは Trier である。我々はいつも試して見なければならぬ。然し其の試しは間違つたならば其の効を奏する事は出来ないのである。それで如何に試みるかを考へなければならぬ。それには道がある。その道を指して法則といふ。

[法則とは何ぞや]

自然界の法則を Natural law といふ。我々は精神的実現に於て必ず真理がある。之れをさして法則といふ。人間の関係、其の法則を定めたのを倫理学即ち道德律といふちゃんとした法則がある。我々は其の法則を研究せんければならぬ。此の法則に従はんければならぬ。其の原理を見出し、法則を見出さんため学問が必要である。それで始終天地の法則に合体し、従つて初めて満足が出来、初めて実力が出来て来るのである。如何しても其の処まで行かんければならぬ。其の関係から離れて孤立したならば枯れてしまふのである。それは丁度私が只今爰に持って来ました野木瓜が最も好適例である。昨年は五十七個の多くの実を結び大変珍らしいのであったが、今年も又沢山なつたのであるが、如何いふわけであるか、虫のせいとか気候のせいとか125の実が母木から縁を切つて落ちてしまったのであります。この関係を断たれた木通(あけび)はもう大きくなつてのびることは出来ないであります。我々も其の宇宙の大生命の生命の蔓に、大原理に従ふて居て初めて我々の人格が発展するが、それが断れたならば駄目である。如何かあなた方三百名の方は此の原理に従つて根本的原理を研究してなければならぬ。只無暗に出来ていくものは出来ないのである。私共は其の法則に従はざれば実を結ぶ事は出来ない。又結びかけた実も途中で挫折するのである。それで根本原理を学ぶ様にしていかなければならぬ。

大正六年六月二十五日 月曜日

地節

御歌

[うごきなく栄え行く世を岩の上の松にたとへて誰れか仰がん]

小学校、幼稚園

今日は六月二十五日でありまして、丁度我が 皇后陛下、即ち我が国民の御母様の第三十三回目の御誕生をお迎へ申す事は一同深く喜ぶ処であります。陛下はよほど宮中の奥深く御住い遊ばされまして、其れまでは我が国民の直ぐ様御顔を拝するといふ事はできなかつたのであります。然る

に此の小学校、幼稚園の半分は此の学校にお出為すつて親しく拝顔する事が出来ました。誠に親しく自分の母様の様に、国民としてお親しい情といふ心で此のよき日をお喜び申すのであります。

未だ妃殿下に渡らせる時、此の学校にお出を願ふたのは満五年前でありました。其の日を記念するため松の御手植えをお願い申し上げたのであります。今日は岩上の松のお歌を拝誦いたしました。我が国民は松の精神であります。松は雪にも大風雨にも耐えて国民の高い操と永久に続くといふ精神を持って居ります。

その御手植の松を賜まして五年になります。

それから 国母陛下として行啓を賜りましてから二月と二十日になります。其の時の事は永久に忘れることは出来ない。其の時の記念の木とか、又陛下が御便殿にご使用遊ばされました館物も忘る事は出来ません。又、陛下から『益々学業に励む様に』と云う御言葉を賜りました事は最も深く私共の脳にしみ込んで、永遠に忘る事は出来ません。この事がそのまゝでしたら日常薄らいで来ますけれども、私共が日常行ひに現はすという事によって益々意味も深くなります。其の時受けた尊い感化は如何に成長しますか。五年前の御手植の松が今日のように成長した様に、私共の日常の生活も進み、校風もその様に発展するに違いない。

その日講堂に集まつて式があつた。又一方にはあなた方は山の方に行つて喜んで遊んで居りましたが、陛下も誠に御満足遊ばされました。その時の様に皆さんもお行儀よくなつて居る事は大変嬉しく思います。

松の木がおおきくなる様に、あなた方も体が大きくなって、又目に見えぬ心も立派になつて行く様に五年前とよほどよく変わったといはれる様に、今後も五年後にはよほど進んで行かねばなりません。松の木の様に忍耐をして、六つかしい事にも耐えて、春ばかりでなく枯寒にも、ひどい嵐にも耐えてゆかねばなりません。そして動く事なく千代に栄えて、いつまでも盛えて行く様にせんければならぬ。

此度陛下から賜りましたものは鏡に松であります。今までの桜と楓に加ふるに、松の精神を以てしたいのであります。今一つ記念樹としましたものはおがたまであります。それは世界の同志を招き寄せるそのしるしであります。今一つ忘れてならぬのは晩香寮であります。これは皆の代表をして居るものであります。

その時陛下は直接先生となつて御教へを賜つたのである。皆んながして居る事を具さに御覧遊ばされ、御自身で子供を御導き下さつた事は出来ない。そのしるしとして晩香寮を薄いピンクでぬつたのであります。その色の精神は無私の愛を表はすのであります。赤は至純の愛を表はすのであります。無私の愛は誠に人を愉快にするものであります。

当日は御子様にでもお接し遊ばす様に、誠にお近づき遊ばされ、御休憩遊ばされました時は丁度至純の愛でありました。おがたまを永久に発展する宇内的に発展する様に、私共は務めんければならぬのであります。

此のお目出度い日に当たりまして、我が國家の過去を悪

い将来に及ばなければならぬ今日に当たりまして、私は一言我が国家と 皇后陛下といふような題目につきまして申し上げたいと思います。

今日はInternational感はInternationalism、国際主義といふ事が議論の焦点になって居るので、即ち世界の大論となつて居ると申しても過言でなからふと思つてあります。此の頃この といふ大きな団体がある。これはボストンに本部がある。其所から種々な論説や決議は大抵そこから出版して居る。会員は七万程ある。私共もその一員である。

国家とはなんぞやといふ事について書いた論文がある。今送つてきた文にPrinciple of national (nationality)即ち、国家主義と云ふ題であつたが、此の中にun nationとNationalityと云ふ言葉がある。Nationalityと云ふ言葉は1831年今から八十年前に、其の時の文化の中心とも言ふべき仏蘭西のAcademical dictionaryといふ字引に初めて此の字が掲げられた。当時よほど欧州に於てこの考へは問題になつたのである。私が考へたのにこの字の発展した階段を説明した事があります。

今日のNationといふ言葉は皆Stateといへば国家である。又Nation……国家、Nationalityもやはり国家と訳してあるけれども、Internationalismといふ訳はまだ我が国の字引きには出来て居らぬかも知れぬ。International Lawといふ事は出来て居るが、今日この使つて居るInternationalismといふことは果たして日本の人の常識となつて居るか如何か問題である。今日今その字義を決義することは出来ないが、只この字義がいろいろ使はれて居る。これを大別すれば二つとなる。

一つの意味は国家といふ事を外部的に一経済的-国防的-として出来て居るものとして、即ち機械的国家と言ふ。これをStateといふ。けれどもNationalityといふとそれ丈では無い。国家といふものが一身同体となり人格者となつて歴史的に進歩発展した所の、その眼に見えぬ心の関係によって出来ているものが、即ちNationalityである。故にこれの議には国家の身体と霊と両方面を備へて成立つて居るところのものである。

我が国にも国の魂といふものがあるが、その魂と一つになつて出来て居るものがNationalityである。

丁度我々の身体に心が宿つて居る。此の心が支配して此の人格を統一して居るが、国家もそれと同じで-これを即ちNationalityといふが、それでこの今から百年ほど前の世界の革命は個人の自由であつた。今日の大戦争は国家的ナショナルネーションの自由をいふのである。白耳義・セルビアの如き、その他弱国を強国で奴隸的にして居るのである。それでその小さい、正しいNationに真の自由を与へるといふことが今日の戦争の目的である。即ち之れをInternationalといふ。互に小さい国家を保護し、其の美談を保存する。小さい国を蹂躞することは今日迄の政治が甚だ不完全であつたといふことを英も仏も米も皆自覚して来た。然らば此の意義は我が国体、我帝国古来の教へにそむいて居るのであるが、我が国体は今日のこの大勢に一致協同出来ないものである

か。かかる事は我が国民として第一に起つて来る問題であります。このNation nationalismといふやうなものを読んで見て、少しも寸分と我が国の国使と違つた所はない。たゞ異なつた所があればそれは独逸魂の誤解である。我が帝国の皇祖、皇宗の淵源といふものは全く此のNationalityと同じものである。

私はこの今日の精神に触れ、少しこれを考へるために小論文を書き集めたものを夏休前に4版しやうと思ふ。今朝奉続いたしました勅語の内にこの訓へを古今は通じて誤らず之を中外に施して悖らす。即ち永久に変わぬ真理である。東西永久に施して矛盾するものでないといふは勅語の通りである。けれども我が国が凡ては長じて居るといふわけではない。前に陛下は知識を世界に求るといふ御言葉がある。これは即ち普遍又は永久的なる真理公道であるといふことが出来る。

我々が日本の女子教育家として、又日本の娘として、殊に陛下にお近づきして、益々私共の使命は大いでありませう。我が帝国の半ばしめて居る国民は如何なる自覚を以て将来に向かはなければならぬかといふことを考へたい。即ち今日爰に申す言葉のNationalityといふが、国体とは一致する所のものでございます。

然らば我が 国母陛下の御聡明な御知恵と御徳とはこの国体に如何なる関係を有して居るものであるかを、今日最も大切なるものとして考へなければならぬ。我が国体は 皇后陛下より生れ出で居る。我が皇祖といふお方は矢張り 皇后陛下である。我が国をお建てになりました 天皇のその後とおなりになりましたのは矢張り 皇后陛下である。即ち天照大神である。神武天皇はそこにお出になつて、そのお話は継承し給ふたものである。

我が国の国体の中心、又要素には 皇后陛下がお出になる。我が国の三位一体は 天皇、皇后、皇太子であります。

神にも三柱の神といふものがあります。殊にこれが我が国の根本に逆つて見ると、寧ろ女性に重きを置いてあります。その女性の感化力の大なる事は十分に証明出来ると思ひます。その目的を説き明かし、我が国の真理と世界的な潮流と同一のものであることを識する学者が段々多くなつた。

今から百年前ドリゲル(仏の哲学者)の書いたものが最もよく今日のいふ処の国体を説明して居る。此の人の本が此の頃積まれて出た。私は三年前に出版当時買った。それは今日の時代を實によく予言してある。

#### 三種の神器

鏡……知

玉……仁

劍……勇

が表象になつて居る。これは即ち国の訓へが今日まで伝はり、又時代にしがいてはこれが進歩発展に守つたのであります。天照大神は我が国の一番初めの 皇后陛下である。我が国を生み、我が国を育て、我が国を教育遊ばされた処の皇祖であります。

『あし原の千五百あきの瑞穂国』

この行けといふことが向上発展であります。これが段々先へ先へと進んでいくことであります。即ち今日の言葉でいへば向上といふ、発展といふ、生きるといふ意志であります。此の意志を遂げて行くには知、徳、勇がなくてはならぬ。行け！Go！—強い言葉である。我が国の行けといふ言葉は強い言葉である。これが建国の魂、我が国の武士道はここに淵源して居るのである。この行け—永久的であります。決してこれは外部的厭迫によって妨げられるものではないといふ—お言葉である。

私はこの御主旨と今の 皇后陛下の御歌

動きなく栄ゆる御代を岩の上の松にたとへて誰れかあをかむ  
磐石上に立つて栄ゆる処の岩の上の松を誰れか仰がむ。  
永久に発展して進む千代に栄行く天壤と共に永々に操をかへない所の松の木。この岩石の上の松を誰れか仰がむものがありませうか。

第一の詔物は

我が帝国の皇祖天照大神より出ました。今上陛下の 皇后様は帝国の使命を深くお感じになり、我が三千万の娘を率いて行け、行け、世界に行け。我が帝国を益々世界的に進めよ—これは独逸の侵略主義とは違ふのである。何故ならば此の国を改め給ふた国は決して権力的意志ではなかつた。帝国は平和の魂である。平和の主義である。我が国の言葉に和魂(にぎたま)—Spirit of peaceである。荒魂(あらたま)—軍国主義である。けれども此の荒魂は和魂が支配するものである。日本の剣は人を殺す刃ではない。我が国の魂は我が皇祖の初めにある『行け』といふ言葉は矢張調和統一にあります。私共は我が国家が実に非常なる国家の責任を考ふる時に当たり、我国古来の其の真髓をとって世界の列強と、この世界的 全うせねばならぬ。

殊に我が国の女性はこの和魂を生んだ処の母であり、又これを養育する所の保護者である。その深い母の大責任を完うしなければならぬ。

といふ論文を集めたものであります。今同じ同盟国の大学、学生は何をしつあるか。我が大学学生は如何なる使命に向つて共同致さんければならぬか。我が国では之を奨励する必要があるけれども、彼の国でない。その中戦争に出たものは13,128名出ている。その中1,500名は戦死した。オックスフォード大学は11万1,000といふ数であるが、大学に残つて居るものは不具者と脳力の低級者のみである。真先に戦死したものは其の級のリーダーズである。優等生は妥妥死んでしまった。1,500名ばかり死んだ。行方不明は200名ばかりである。即で戦ひて勲章を受けているものがオックスフォードで千何百人ある。彼等は国の法律が強制するから出たのでない。自由の意志である。国家のために何をするかといふ事が問題である。何をすることが出来るかといふ事が問題である。つまり如何して自分のBestを国家の爲めに尽くすかといふことで、義務といふ問題でない。初めから自分の感情、本能的に国家に捧げている。何も義務的にするものは一つもない。又戦争に行つて怪我をして帰つて、苦しかった不平話ををする人も一人もない。黙して語らず。そういう事は問題でない。

爰に有力なる指導者は第一に級に応じて、第一発に出てしまつた。それからだんだん出てしまつた。止めることが出来ないのである。此れは男学生ばかりでない。女学生も皆国家のために参加したといふてもよい状態である。我が国の女性にもこの義侠心が本然的に宿つて居る。今日は奨励する必要はない。如何したらベストを捧げるかといふ事が問題である。

これは我が国、国のカレッジでは百五十人の学生は今僅か六人となつて居る。

この愛国心は我が国の専有ではない。国家心斯の如き愛国心がある。殊に教育あるレチースは第一に出陣したのである。我が国でも是非、先ず第一にこの潮流に準じて向かふべきであるといふことは我々の感情の中にあるのである。説明はいらないのである。

此の時に當つて我が 国母陛下の高い、深い御歌を拝誦して、此所に共鳴して、私共の赴々々処に赴かんければならぬ。Go、行け。この声をよくうけねければならぬと思ふ。

大正六年七月二日 月曜日

一、二年実践倫理

注意

- (一) 公共器具、図書の取扱ひに就て
- (二) 他人に属するものの………
- (三) 自分に………

不始末より生ずる時間の浪費。

之れ等の悪弊を本当に直すには自分の頭の中の整理から根本的に直さんければならぬ。即ち考へる事から直さんければならぬ。立派なる品性を養ふには考へる事、冥想することをせんければならぬ。学生生活に於て否生涯に於て此の考へることは最も大切な事である。

[Thought]

Thought of reality.

Thought of life.

意識の初めは知覚である。其の初めは考へる事であり繰り返す事である。比較判断する事であり帰納演繹する事もやはり考へる事である。Thoughtを現はずには色々沢山の言葉がある。それはUnderstanding Cogitation Meditation Comprehend(包含), Apprehend(一つの事を考へる事), Contemplation,

過去の実事を判断し想像して未来の実事を想像する。私共の対象即ち事実を知る時五管で感覚し知覚し、其のものを知り思考し、或一つの原理に連絡をつけ、一つのものに纏めて行く。つまり統一する事が思想である。水蒸気が昇つて冷却され、卵大の雹となつて百姓の頭を砕いた—これは事実である。星と星、月と世界、林檎と世界との関係、或は飛行機の車が止つたら必ず落ちる。之れには必ず関係があると



いふ事を見出したものがある。

凡て万物は個々別々の様であるけれ共、悉々引き付けるといふ関係があるといふ事を考へて、事実と事実の間には一つの力が働いて居て凡ての中に貫徹した意義を見出す事、その一つの意味が即ち引力といふ法則(Law)である。又この事実は様々であるけれども皆動いて居る。自発的に内から出やうとする力、即ち生命がある。その生命は進化して行かうといふ向上心を遂げ様、実現しやうとするのである。其の関係をつけたのがダーウィンである。斯の如くすると凡ての事物及び人間の経験又は事実と事実の間には必ず関係を有して居るものである。決して孤独的のものではない。其の間に大きな秩序といふものがある。其の個々別々な事実といふものはお互の間に実に密接の関係を有して居る。此のMeaningを知る事をUnderstandingといふ。知る力である。夫れが非常なる力を以て知るのである。その関係を結びつける働きである。それには意志がいる。(どの働きにも意志がはいって居る。)即ち考へることは意味を知る事、考へを結びつける事、即ちMeditationである。その関係が結びつかないと天地は内乱が起るのである。人格が統一し思想が纏まる事は意志の力によってその方法よろしきを得たのである。

関係を実現するのが思想である。新しい組立に新しい関係をつけて初めてCreationといふ事が行はれる。そこに私共の生命が創造されるのである。発展されるのである。

Meaning 二種の意味がある。

- (一) 意味を意識し建設する主人なり。即ち自我之なり。自ら宇宙を知る自我の實在、自我は抱容的な総て天地を包容し得る實在なり。
- (二) 宇宙の本質即ちRealityを捕へる事、事実の根底はRealityである。精神的愛のThoughtである。了解といふ事は無限に発展する生命価値、人生の意義を理解することが即ち考へる事になる。万有を意識する要素なり。

[Realityとは何ぞや]

- (一) 事実のRealityを知る事は考へる事である。宇宙に働く原理を事実のRealityといふのである。

[Reality of doing] (人間の行いの本質)即ち力である。

Doingといふ事は自発の力である。向上する目的に向ふ力である。これが実質である。

- (一)本能
- (二)情操
- (三)靈感

これが一つに調和されて一つになつて居る処の大中心がある。之れを絶対と申します。或は意志といふ無限絶対の意志である。此れが此のSelfを指している絶対的自我といふ。その関係を本当に見る、実現する、之れが即ち本当の自分といふものであるといふ事を知り、天地の宇宙を知る事、即ち思想は生命であり、思想は光りである。

先づ此の生命の根本義を悟ることが私共の生活の淵源とする処である。今少し研究したならば此の大きな謎を解く事が出来ませう。

思想を有効にし、思想の実現し、思想生活の奥義は如何なるものであらふか。

大正六年七月九日

一、二年実践倫理

意志の力を強くせよ

人間の力は大きい力から湧き出て来るものであって、電気の如きマグネットの如きいろいろな要素が互に生き合つてその調和を得て、其の共同の力で不思議なる力が出るものである。

天才

無限なる力の發揮である。かかる生活をして真の力は出るものである。然るに今日の青年はその真意が分らない。殊に実力を養ひ、勢力を養ふといふ事を知らない。又それを教育家は教へずして空しく青年を逝かせるのである。こには私共は多少考へを持つて居るものである。

[生活の秘訣]

活けは活らぐ程——人に与へれば与へる程——力が出るものである。此の生活の秘訣を知つたならば如何に暑さが来ても恐るにたらぬ。如何に弱い体でも鉄石の如き体に作りかへる事が出来る。其の方法を知らぬのは無知—盲目の結果である。

[人間はお互に愛の関係を有せり]

(一)

試験勉強の原泉は天地の大法則から離れ、丁度鳥が空気が離れて死ぬ如く、人間も関係によって生きて居るものである。然れば人たるものは必ず愛に依つて生きて居るものである。——友人の間、家族の関係、社会の関係、悉くお互に同情を求むる! お互に愛する。愛の生活から遠ざかつて、朝から晩まで、年の初めから暮れまで愛といふ幸なる経験を味ふ事の出来ない人はこれ程寂寞なる人はあるまい。

- (1) 人間はヒューマニティーの關係に生きて居るものである。
- (2) 宇宙の生命と關係を持つて居る。
- (3) Natureとの關係がある。

如何にしても人間はヒューマニティーの關係に生きて居るのである。お互の關係から力になつて發生するものである。又人は宇宙の大靈と名のつくべき宇宙の生命といふべき關係を持つて居る。又Natureに關係を持つて居る。その關係のよろしきを得て生きて居るものである。この三つの關係によって感情の生活となり、活らきに現はれる意志の生活となる。然るに学生は試験に捕はれて人間の關係から全く離れてしまふ。朝から夜まで唯試験より外にない。彼れの頭には両親なく他人なく、利己心ばかりで遂には此の結果は精神衰弱となり、終には自殺となる。つまり愛の生活關係、即ち生命の關係から離れて一身に片よつた方に向ふたから、天地の行動にそむくのであるから当然である。

(二)

次に天地の行動に遠ざかるまでもなく神に交るといふ愛を知らず、天地の大生命に離れ様離れ様とするのである。酒を飲む、煙草を飲む、異食をする。Natureとの關係よろしきを得ないのである。本当に食しない、本当に寝ない、かかる事

で無視して利己的の勉めをして事足れりとするが如きはNatureに対して犯罪をしているものである。

Natureは共に楽しみ喜ぶといふ事であるが、何日と顔をそむけ、いつも吸々としてくつろぐ事はない。喜ばなければならぬ。楽しまなければならぬ。筋肉で働かねばならぬ。然るに喜ぶ事もせず、天と交る事もせず、低い慾に幾らかの慰めを求めて荒んでしまふといふ様な生命の源から遠ざかって、一方に辺るといふ事は今の試験までは及第しても駄目である。それは一生懸命の勉強の様でも本当の学問にあらず。かかる勉強法は決してこの学校では許さない。瞑想して大きい大生命の内で生活して行かねばならぬといふことを奨励して居る。歌を唱ふ時には心から唱ひ、手の舞ひ、足の踏む処を知らぬといふ様な生活をする様にならなければならぬ。

多忙の中にも—自分の欠点を直すことの出来る恩典を与へてある。益々その原動力がふえて来る。然るに吸々として之れを枯れては駄目である。それ丈の完全な生活をし様としてするならば予想外の結果は上る事と信じる。残る日を成就し十分に有効に使うには、その本当の生活をして行かねばならぬと思ふ。

#### [自我とは何ぞや]

総ての知識の出発点である。知識の主人公である。それ故に修養をする人、又実力を養はんとする人は此の問題を考へない人はない。自分を調節するにも自分を纏るにもその中心となるべきものは自我である。その自我は不思議なもので、又その力を人が見ないものである。支那人などは目的は金である。日本人には米国に行って数々何万を持参し帰国するものは少ないが、支那人は数万数千を持帰る事は少ない。名譽もかまはなければのみならず生命もかまはない。金は人生の価値である。

我国にもかかる人がある。かかる人は自我を知らず自分を知らぬ人である。人間の生活を有効ならしむるには先づ自我發揮、自我發展せしむる事である。その本当の自我、生命に到達し様といふのである。それで本当の生活をするにも研究するにも、考へる仕方、考へを進める処の—考へが目的に到達する道すじを見出すといふ事—その考へが実行できるといふ考へが大切である。

#### [考へる仕方]

形式、様式、型である。口に言はないでも考へる事は同じである。

#### 確心を得る事

知識の始まりは想像である。—これを科学でいふと仮説といふのである。例へば此の凡てが進化する法則で支配されてるといふならば、種と種とが段々相交へられて変つて行くものであらふと、それならば或る物と或る物を交へても一つよい物を得られるといふ様なことを、バーバックスといふ人が仮定した。そして世界中のもの、即ち花と花とを試して見て結果が出た時初めて確められるのである。なるであらふ、こんなものであらふと云ふ事を段々証明して、遂に真理に到達して考へを確めたならば確かにそうである。初めには物を想像し憶測して、遂にそれが本当であるといふ様にして知識が出来て

来る。それで自身の知識、想像は考へんければならぬ。これを帰納法といふ。

今一つは特殊の真理を以て凡てに應用して行く事を演譯法といふ。

いづれも此の考へ方をする事を論ずる判断Judgementをして行くといふ事である。即ち確信を得る事、実行をする事、その人を信じしめることである。人を感化し、人を奨励し刺戟して奮起せしめる事である。実践倫理は此の種類である。

#### [Meaning]

今一つの考への仕方はミーニングである。即ち事実と事実の間に関係を継ぎ合せて、その意味を解明にする、其の考へを明にする事、説明する事、講義をする事である。即ちナレーションといふ。つまり考へる事は物を結びつける事であつて、それには四種類ある。此の事をよくわきまへて、自分の考へをわきまへてよい連絡をつけて行く様にせんければならぬ。

- (一) 記事
- (二) 叙事
- (三) 説明
- (四) 議論

#### 眼鏡の御話

天地の行動にそむかず、自分は自分でいつも修養し、學問し、又国の為にし、社会の為めに尽して居る。愛もNatureのために捧げているといふにならねばならぬ。考へて実行しなければならぬ。自分で独立しなければならぬ。

大正六年七月十六日

暑中休暇を利用して自己の生活を徹底し拡大せよ。

時代の精神、宇宙の精神と動け。

世界の大学の学生として世界共通の振動に触れよ。その世界の大学の使命を完うせよ。

欧米の青年男女が如何なる活動を以て生活して居るか云ふ事を話したのも、世界の潮流を今一つ進歩し拡大せしめんが為なり。

英国の大学にては戦争に加つた人が少くない。時代の精神に動いて居るのは最も大学生に多いのである。

#### [What is a nationality?]

女子も世界の文明を建設する為めの一として目を醒さなければならぬ。世界と共に生活の出来る国民にならなければならぬ。

世界的生活をするには思想の交通する精神を持たねばならぬ。言葉を充分解しなければならぬ。其のためには語学の勉強をすべし。

#### [自我は人である]

自分だけ孤立して居る様に考へる人があるが、それは大変な誤りである。自我は人である。人は一人ではない。Humanityである。Humanityを具体的に言ふと人格である。

人格は小宇宙である。色々な世界が組立って複雑になり、それが統一されて出来て居るものが人格である。

宇大を知り、複雑なる関係を知らなければならない。物理学にしても、物質等の知識を知るために学ぶものなり。よく組織立ち、完全なる知識が一つにならねばならぬ。其の知識が纏まらねば徹底しない。

学問をする時事実を解剖するけれども根本を一つに纏める。即ち凡ての関係を結び付けて来なければならない。考へが如何に道を進んで行くか、其の道を明かにせんければならぬ。

問題 { 思想の理解を如何に纏めしか。  
自我の向上発展は如何なるものなるか。  
自分の知識をまとめて自我がこれである、其の自我に徹底するには如何に生活をしなければならぬか。徹底したならば直ぐ行為に現はれ事実となるのである。  
自我発展の徹底に就て。

意志、感情が徹底しなければ向上は出来ない。然るに今日の学生のする事は徹底して居ない。七分通り位はいいとしても後の三分は出来ないのである。学ぶ事、考へる事が如何にしても心の底までとゞいて居ない。唯皮相的にしか考へて居ない!! 学んで居ない。本質に達しない(Reality)。

#### [自我の徹底]

Realityは事実であり実在である。即ち徹底するといふ事はRealityにとどく事である。これ即ち自我の徹底なり。

人格、神、宇宙の大霊なるものが即ち実在である。其の実在の意志が出来て、実在の意志に感ずる、これを誠と言ふ。誠が即ち至誠である。

Realityの成立を大悟徹底といふ。先づ愛まで行かんとする人は実在の研究から始める。実在なるものは総ての存在の根底である。心髄である。普遍的なものである。永久的のものである。絶対は互に衝突しない統一したものである。其れを分けるといふ様な事は出来ないものである。それからRealityたるものが総ての存在の創造者である。総ての存在は実在の現はれである。それ故に天地間に現はれたる存在は即ち存在物の心髄、其の命は実在なるものと同一である。根本が一つである総てのものがその間に姉妹関係を作り、大なるものに成らふと共同的な原理に支配されて居るものである。何故に社会には善あれば悪あるか。弱肉強食といふ事があるか。然し根本要求は平和なり。然るを事実には争ひあり。

実体を大別して力とは何ぞや。

力とはVibrationなり。即ち振動なり。振動とは如何なるものか。引力、電気、マグネットの力等も振動である。力の反応、総ての物質的力、其の物質及び進化の力、Vibrationは総ての世界にある。これが即ちクリエートするのである。Realityの大切なものも人格といふ。これを根本的実在と言ふ。実在の根本は人格である。

徹底する力、感ずること、情緒、情操、愛なるものなり。宇宙の本体は人格である。徹底した人格にして感情の世界で徹底した自己を云ふ。

#### [普遍的実在]

宇宙には断片的実在はなく、組立んとする意志の様なものが総ゆる処に動いて居る。

宇宙は感情である。之れを指して人格といふのである。その宇宙の実在と自分と云ふもの、本質とはそこに一つのものがある。人と私とは同感であり、同質である。宇宙に共鳴し合うといふ同質があるから普遍的のものに心が相一致するのである。その根本要求が心に同一する事が私達の満足する点である。

満足は態度を徹底すると言ふ事が出来る。私共が、本当の実在の大生命に觸れ様と言ふ——其の実在に到達し、其の道を歩き、天地の振動に心から觸れたる時は言ふべからざる強い力がはびこつて来るのである。実在を知り、感じ、其の実在と生活が一致する事になる。其の深い生活に入る自分になり、力があるのである。その道に色々あり、道をよく見出す様にせんければならぬのである。

大正六年九月十七日 月曜日

二時より。初めの時間は経緯のつづき、御注意

今年には時候の具合で伝染病の微菌が繁殖するのに都合がよいのであるから、汽車等で勞れて居る時などは殊に注意を要するのである。故に電車等では注意する様にしてもらひたい。家庭に於ても幾分か多い様に思はれるのであるが、毎年の経験によると学期初めの揃ひも良い様にあり、且つ又入学者が多ければ退学者も自然多いのが普通であるが、本年の学生は意志が強固で体も強いから途中で退学する人も少い様である。この傾向は私は秘かに喜んで居ります。今代表者から休中の経験を聞いて大体は分ったが、夫れも言葉でなく尚諸子の意志を証明して居る事と満足したのである。私が予想した通りである。今働いて行く意志の力、即ち度合ひで意志の力を計る事が出来るのである。諸子は自我発展を目的としたといふたが、それを妨げるものがある。即ち意識の状態である。私は昨夜寝が足りないため今日は眠むたい。そうすると諸子が先生は眠たいに違ひないと思ひはしまいかと思ふと尚眠むたいけれ共、自分を忘れて諸子を見るのと嬉しくなつて眠たいのはなくなる。即ち自分を忘れなければならぬ。銘々の人格の感化を受け、自我の発展を遂げることが私共の目的である。夫れには天真爛漫に自分を發揮する事である。話す人は自分の事は気にかげず、自分の心の至誠を表さなければならぬあまり、自分のことを気にしたり、自分が偉いと思つたりしてはならぬ。自己制裁して自由に心の活らきが出来様になるといふことが大切である。これは前より余程出来る様になつた様に思はれた。

大正六年九月十九日  
水曜日休中の経験の会

先生の御注意

私はあなた方が如何いふ経験をお持ち帰りになったかといふ事を楽しみにして居たのであります。其の報告によればよき経験といふ事であったので私は満足して居るのである。然し其の言葉に現はれました其の経験は、あなたがたが山或は家庭で直接経験なすった事とは非常に違ふと思ふ。それで如何も言葉や文章に現はしたものではありません。又感じる事は困難と思ふ。其の自分の経験と経験を記憶の中から呼び出して、制限して自分の頭で思想に組み立てて話すといふ事は非常に雲泥の差である事を見出す事が大事と思ふ。軽井沢での集会の時得た経験を本当に申す事は出来ないのである。言葉丈を抽象的に申しても、お互に本当に同情を持って聞く事はむづかしいといふ事である。

私共の経験は大切であるが、到底申上げる事は出来ないのである。方法によっては出来ない事はないかも知れないけれど大体に於て然りである。

言葉丈を聞いては大きい事をいふとか、時には冷笑したり又雷同したのであると言ふ人もある。又口にはその様な事は言はずとも自ら心で思つて居る人があることは毎年あつて、如何に高潮するかといふ期待に対する反動となるのである。

言葉に現はした其の實質と其の時味ふた経験は同一のものでは無いのである。其の時には一気呵成してやるが報告会になると其の様にはないのである。最も各方面の結果を皆が持って帰つたのである。それで居てなかなか気分を現はす事が困難である。故に私は軽井沢に居りましたから、今日如何にして現はしたか其の實際を知つて居るのであります。

例へばこの実(鉢植の)を見て丸くて赤い形のものとは見ない。是れは一つの実であり生命であると思ふ。之れを絵に書いて一見するのとは違ふのである。私共の経験は生命である。それは斯ういふ報告会には本当の生命が得られないと思う。自分の経験を語る。自らの経験を実現する。お互に経験の交換をすると云ふ事が大切であり、一つになつて働くといふ事にならねばならぬ。

又一方皮相の批評を慎まねばならぬ。計画発表会も近くにあるが、夫れもよほど考へねばならぬ。(今までの方法とは違つて)又勉強の方面も大切であるが、修養の方も余程考へて、夏二日間考へて新しい経験をし新しい覚悟を持って帰つたのであるから、活きた修養の経験を交換をして、一年中で一番引き締つた此の第二学期に於て慎重な態度を以つて行動を取つてもらひ度いのである。

英米仏が此の戦争に於て新たに得た経験として教育の革新を試み様として居る。それに当り我々は先づ此の学校から愈々率先して新制度を施行したのである。此の制度に就て内外の批評を聞いたが、批評が無いのみならず如何しても此の後の教育は斯くある可きであると賛成の声が高い。今一つは信念涵養の問題である。今から四年前に此の問題を提

供した時、賛成した帰一教会の団体の如きも如何して実行するかと云ふ事になると意見がまちまちである。然し今日では一人一人が必要と認めたのみならず、自分達の信仰を養ふ事が大なる根本であると言ふのである。親も子も先生も生徒も自ら修養して行かねばならぬ事になった。帰一教会でも軽井沢で其の生活をする様に話が纏つた時、出席はしなくても賛成した方は多かつた。殊に外国人のミッションナリの人も大変熱心であつた。大学の教授で大変熱心に修身の教科書を研究して居る人が日本の宗教と倫理を研究し、私の処に来て意見を聞いたのである。

世間で注意を引いたのは之れを言ふばかりでなく、これを實際に行つて居る、然も努力して居る、お互が出来、又の生活と経験をすると云ふ事が幾分か社会に影響を与へて居る原因であると思ふ。議論はいくらでも百出するが経験は行ひである。これが誠である。

あなた方が勝利を得るか如何かといふ事は、大いにあなたの今後の将来に関係を持つて居ると思ふのである。軽井沢での直接の経験はあなた方と共にしたのであつた。知識とは内容が違つて居る。其の事は銘々で自覚してもらひ度いのであります。

大正六年十月一日 月曜日

一、二年

諸子の答案の中の有つた問いは、丁度四年に解いた講義が当てはまつて居る。夫れは週報にあるから一読するやうに勧めるのである。或人は自分の感情をおさへる事が出来ない。要するに意志が弱いと云ふ事もあつた。

天候の関係からでもあつたらふが、今年は病人が出たりしたので我々は大いに考へねばならぬ。暑氣に、或は病氣にまけるのも本人の身体の疲労である。或る意味に於て近頃非常に主張されて居る事であるが、薬の力で病気を殺す事は出来ないといふ事である。即ち意志の力で人格の調和が出来なければならぬといふのである。一方にばかり寄り易い学生――一方に身体の発達する大事な時機に於て体を疲労させて置く事は良くない事である。

私共が若い時代には余程無理をしたのであるが、これに耐えたのは全く精神の力である。私と同年輩の人は一人として残つた人はない。皆倒れたのである。私は在米中初めの頃自炊生活をしたのである。そして猫と二人であつた。そしてパンも焼き、ケーキも作つたのである。それは学資に乏しかったから、一週間に五ドルの入費は止むなく自炊生活をするに於てしたのである。然るに少しづつと頭を痛め、少し疲労した様であるから医者に診察してもらつたら熱病であると云ふ事であつた。そして六十日ばかり倒れたのである。これは疲れたのが原因である。今考へると実に馬鹿な事をしたと思つた。故に学生でも誰れでも疲労をしてはいけなかつた。此の

度の人々の発病の原因も多分疲労から来た様に思ふのである。今までの寝不足とか疲れとか一寸した事を誘ふて倒れるのである。故にチブスをした人は却つて丈夫になる人が多いのである。大いにメディテートして新生涯に入ることと思ひ、本人も良い経験をしたし又諸子の為にも大いによろしくあらふと思ふ。

昨夜は大嵐であつたが、其の為め眠れなかつたため定めし皆さんが勞れた顔をして居る事と思ふて居たが、案外欠席者も少く元氣のよい顔に接して嬉しかった。意志さへしっかりして居れば物におぢけないでよろしいのである。昨夜の嵐に対しての感じは如何であつたか。

少しも覚えなかつた人。

恐ろしかった人。

少しも恐ろしくなかつた人。

かかる時如何いふ暗示を受けたか、経験を如何したかといふ事である。現ら現らしかねむらなから多少勞れた人が大部分にもかゝらず、勞れた顔をしていないのは私も喜ぶ処である。之れ全く意志の力の示さるゝ処である。実は戦時状態に入るといふ事の必要の折り、伝染病に侵かされ再び大嵐の襲撃を受け、大いに考へる様にしてほしいのである。皆が疲れている折から一時間は講義を休むことにしたのである。

大正六年十月七日

夏休の経験から考へて今一層意志の方面に進んだ方がよいかと思ふ。意志の訓練といふこと、其れにも意味がある。意志の本質に就ては心理学で研究して居ると思ふ。これは講義の時いふ事と特殊の時用ふことがある。意志に就ては心理学でも、又私からもお話したから了る筈である。それで意志に就てお話しして居ると生活に就て適切なことが後れますから、これは解した事として進めて行きたいのである。

意志は凡ての物を支配して凡ての物が進行したものである。之れを幾つかの物に分解することは出来ないが、これを色々な方面に分ける事は出来る。時局の事を解するにも此の意志の方面を研究しなければならない。

[権力意志、道徳意志]

此の一方面を権力意志と言ひ、今一方面を道徳意志といふ。意志働く方面は身体を統御する働きである。意志の訓練は筋肉の訓練である。而して筋肉のよき訓練は意志が司る。精神の働きと筋肉の訓練とを共に訓練さするものは即ち意志である。それで其の方面に大いに意志の訓練をして行かねばならぬ。身体の病氣をよく統御して打ち勝つて行くものも矢張り意志の働きである。其の身体の働き、体の本能的支配(統御)と云ふ人間には階段がある。此の階段を経て、上級に行く活動を知力と言ふ。即ち我々の学問勉強する其の活きを司っているものが矢張り意志である。学問をすると云ふ事は知の活きと今まで言ふて居る。意志が薄弱であると云ふ事

は、これは反面の心理ではあるが、意志が徹底したら確かに学問も徹底して来ると思ふ。

即で此の間から制度が變つて今迄と違ふ新しい経験をして、それにつき疑問を持ち、それを貫くには困難であると云ふ事を聞くのである。それで先づ今学期は意志、知力を統御すると云ふ事を始め様と思ふ。即ち意志の訓練と学問、学問をすることは意志の訓練を齎す。智力を練るのが矢張り意志の訓練となる。

先づ第一に本当の訓練をするには態度(Attitude)と云ふ事を注意しなければならぬ。恰も筋肉の訓練に筋肉の平均、又筋肉と筋肉との共同を全うするのに姿勢と云ふ事を注意しなければならぬ様に、知力の働きを有効にするには学問に対する態度からなほして行かねばならぬ。体の態度は姿勢と言ふ。

学問をする我々は如何なる態度で講義を聞くか、筆記をするかも皆態度である。故に学問をするにも意志の統御がいる。然らば学問をするには如何なる態度を持つてするか。

消極的には盲目的研究であつた。

能動的には自動的、研究的態度であつた。

即ち能動的、研究的勇氣がなければならぬ。又元氣がなければならぬ。決断力、批評、判断する力を持たねばならぬ。之れが第一のものである。即で学問の目的は問題に就て調べ研究するのが目的である。唯本を読み講義を聞き、そして其れを記憶して居るのではない。即ち意志の働きの根本にならなければならない。意志の働きの其れを支配し、知力の働きの其れを練りきたふ様にならなければならない。問題を作つて其れを研究して表にするには其の目的に集注しなければならない。想像、感情に強く加つて証明をしなければならぬ。之れに伴つて信仰が実験となつて初めて物がよく分つて来るのである。

[物事に対して凡て研究的態度を取れ。]

人靈の例—寮舎の附近に出るといふ噂に対しての注意。流説を聞いて、恐ろしがっている人は意志薄弱の人である。そんな事があつたら確かめて研究的態度を以て実際に研究しなければならぬが、よく分らぬのに直ぐ様靈であるとか漏電かといふ事が了り如何なる処から来たかといふ事を知ることが研究的態度である。人のいふた事を直ぐ信ずる事は意志の無い人である。どこ迄も研究した上で信じなければそれは盲目的態度である。

[読書の態度]

今一つは本を読む所の態度である。盲目的に書中の事に支配されてはならぬ。自らが読んで人道的で批判的態度を持つて行かねばならぬ。盲目的に読むことは害になる。むしろ読まない方がよろしい。それで本当に精神的態度を持つてその本髓に触れ、其の書の真髓に到達する様にならなければならぬ。此の態度が即ち犠牲的勇氣にして根本要求でなければならぬ。

---

日本女子大学校長成瀬仁蔵先生述

## 実践倫理講話筆記

大正五・六年度ノ部

2002年9月30日発行

編集・発行

日本女子大学成瀬記念館

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

制作

キャラクター

〒106-0031 東京都港区西麻布3-2-12 西麻布ソニックビル3F

---



